



Satera

MF269dw / MF266dn / MF265dw / MF264dw / MF262dw

ユーザーズガイド

もくじ

セットアップ	3
おもな機能のご紹介	4
お使いになるために必要な作業	6
不正アクセス防止対策について	8
設定ナビでセットアップする	10
日付／時刻を設定する	12
ネットワーク環境を設定する	14
有線 LAN か無線 LAN かを選択する	16
有線 LAN に接続する	17
無線 LAN に接続する	18
WPS／AOSS／らくらく無線スタートで自動設定する（プッシュボタン方式）	20
WPS PIN コード方式で設定する	23
無線 LAN ルーターを選んで設定する	25
すべて入力して設定する	28
SSID やネットワークキーを確認する	31
IP アドレスを設定する	32
IPv4 アドレスを設定する	33
IPv6 アドレスを設定する	36
ネットワークの設定を確認する	39
パソコンとの通信設定をする	42
印刷プロトコルや Web サービスの設定をする	43
印刷ポートの設定をする	46
プリントサーバーを設定する	50
使用するネットワーク環境に合わせる	53
Ethernet の設定をする	54
送信パケットの最大サイズを変更する	56
ネットワーク接続時の待機時間を設定する	57
DNS の設定をする	58
SMB の設定をする	62
SNMP で監視／制御する	64
SNTP の設定をする	68
ドライバーをインストールする	70
ファクスの設定をする	71
ファクスの用途を確認する	72
ファクス番号とユーザー略称を登録する	73
受信モードを設定する	74
電話回線に接続する	75
スキヤンの設定をする	77
スキャナーとして使うための準備をする	78
E メール送信設定の流れ	79
E メール送信の設定をする	80
Eメールの通信設定をする	83
共有フォルダーへの保存設定の流れ	86

共有フォルダーへの保存設定をする	87
------------------------	----

基本操作 92

各部の名称とはたらき	95
本体前面	96
本体背面	98
本体内部	100
フィーダー	101
手差し給紙口	102
給紙カセット	103
操作パネル	104
電源を入れる	109
電源を切る	110
操作パネルを使う	111
おもな画面	112
ホーム画面	113
＜状況確認＞画面	117
メッセージ表示	119
おもな操作方法	120
文字を入力する	126
原稿をセットする	131
用紙をセットする	135
給紙カセットにセットする	137
手差し給紙口にセットする	141
封筒・はがきをセットする	144
ロゴなどが印刷された用紙をセットする	149
用紙サイズと種類を設定する	151
給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する	152
手差し給紙口の用紙サイズと種類を設定する	154
定形外サイズの用紙を登録する	156
用紙サイズを絞り込んで表示する	158
ディスプレイをカスタマイズする	159
ホーム画面をカスタマイズする	160
機能の初期値を変更する	162
音を設定する	163
静音モードにする	164
スリープモードにする	166
宛先を登録する	168
アドレス帳に宛先を登録する	170
ワンタッチダイヤルに登録する	172
アドレス帳にグループを登録する	174
アドレス帳に登録した宛先を編集する	176

コピーする 178

コピーの基本操作	180
----------------	-----

コピーを中止する	185
コピー状況や履歴を確認する	187
コピー品質を高める／調整する	188
原稿の種類に合わせてコピーする	189
鮮明にコピーする（シャープネス）	190
コピーの便利な機能	192
原稿を 1 ページにまとめる（ページ集約）	193
＜用紙節約コピー＞を使う	195
ソートで仕上げる	196
ID カードをコピーする	197
パスポートをコピーする	198
 ファクスする	 201
ファクス送信の基本操作	203
ファクス送信を中止する	210
ファクスを受信する	212
送信時の便利な機能	216
過去の設定を呼び出して送信する（送信履歴）	217
通話してから送信する（手動送信）	219
いろいろな受信方法	221
受信した文書をいったん本機に保存する（メモリー受信）	222
受信した文書を自動転送する	224
送受信状況や履歴を確認する	226
パソコンからファクスを送信する（PC ファクス）	228
PC ファクスを送信する	229
 プリントする	 232
パソコンから印刷する	233
印刷を中止する	235
印刷状況や履歴を確認する	238
 スキャンする	 241
スキャンの基本操作	243
スキャンしてパソコンに保存する	244
ショートカットキーを使ってスキャンする	246
E メール送信する／共有フォルダーにファイルを保存する	249
送信を中止する	257
スキャンの状況や履歴を確認する	259
きれいにスキャンする	261
画質を調整する	262
濃度を調整する	263
鮮明にスキャンする（シャープネス）	264
スキャンの便利な機能	266
ファイルサイズと画質のバランスを調節する（データサイズ）	267

過去の設定を呼び出して送信／保存する（送信履歴）	268
Eメールの設定をする	270
パソコンを使ってスキャンする（リモートスキャン）	272
アプリケーションから原稿を読み込む	273
ScanGear MF を使う	275

モバイル機器と連携する 277

モバイル機器と接続する	278
無線 LAN ルーターを介して接続する（LAN 接続）	279
ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）	280
アプリを使って本機を活用する	283
AirPrint を使う	284
AirPrint で印刷する	289
AirPrint でスキャンする	292
AirPrint でファクスする	294
AirPrint を使用できないときは	296
Google Cloud Print を使う	297
本機を遠隔管理する	299

本機を管理する 301

アクセス権限を設定する	303
システム管理暗証番号を設定する	304
リモート UI の暗証番号を設定する	306
ネットワークセキュリティを設定する	308
ファイアウォールで通信制限する	310
IP アドレスでファイアウォールを設定する	311
MAC アドレスでファイアウォールを設定する	314
ポート番号を変更する	316
プロキシを設定する	317
TLS 用の鍵と証明書を設定する	319
ネットワーク通信用の鍵と証明書を生成する	321
鍵と証明書署名要求（CSR）を生成する	324
ネットワーク通信用の鍵と証明書を登録する	327
IEEE 802.1X 認証の設定をする	329
機能を制限する	333
宛先操作／送信機能を制限する	335
アドレス帳の使用を制限する	336
指定できる宛先を制限する	338
ファクスの宛先操作／送信機能を制限する	340
USB の使用を制限する	342
HTTP 通信を無効にする	343
リモート UI を無効にする	344
パソコンから本機を管理する（リモート UI）	345
リモート UI を起動する	346
状況や履歴を確認する	349

本機の設定を変更する	355
リモート UI から宛先を登録する	358
リモート UI からアドレス帳を保存する／読み込む	362
付属のソフトウェアでアドレス帳データを読み込む／書き出す	364
ファームウェアをアップデートする	366
設定を初期化する	369

設定メニュー一覧 372

<ダイレクト接続>	373
<ネットワーク設定>	374
<レポート出力>	385
<環境設定>	386
<タイマー設定>	391
<共通設定>	395
<コピー設定>	397
<ファクス設定>	400
<スキャン設定>	411
<プリンター設定>	417
<調整/メンテナンス>	419
<システム管理設定>	426

メンテナンス 435

日常のお手入れ	437
本体外部を清掃する	438
原稿台ガラスを清掃する	439
フィーダーを清掃する	440
定着器を清掃する	444
本体内部を清掃する	445
トナーカートリッジを交換する	448
ドラムカートリッジを交換する	452
消耗品の残量を確認する	456
本機を移動する	457
印刷ページ数を確認する	459
レポートやリストを印刷する	460
無償保証や保守サービスについて	465
無償保証について	466
キャノンサービスパック (CSP)	467
キャノン・ケア・ギャランティ (CCG)	469
消耗品	471

困ったときは 475

よくあるトラブル	477
設置／設定のトラブル	478
コピー／印刷（プリント）のトラブル	482

ファクス／電話のトラブル	485
正しく印刷できない	487
きれいに印刷できない	489
用紙がしわになったり、カールしたりする	499
用紙が正しく送られない	501
メッセージや#で始まる番号（エラーコード）が表示される	502
メッセージごとの対処方法	503
エラーコードごとの対処方法	516
紙がつまったら	523
フィーダーに原稿がつまった	525
本体内部に用紙がつまった	528
トラブルが解決しないときは	532

付録 534

第三者のソフトウェアについて	535
活用術	536
節約してエコロジー	537
効率アップの使いこなし術	539
紙の文書をスッキリ電子化	541
まだあるこんな使い方	543
おもな仕様	545
本体	546
フィーダー	550
用紙について	552
ファクス機能	555
スキャン機能	556
プリント機能	557
管理機能	558
サポート環境	559
ネットワーク環境	561
オプション機器について	562
マニュアルの種類と内容	563
ユーザーズガイドの使いかた	564
ユーザーズガイドの画面構成	565
ユーザーズガイドの読みかた	569
Windows の基本操作	571
メニュールートマップ	580
おことわり	581

セットアップ

セットアップ	3
おもな機能のご紹介	4
お使いになるために必要な作業	6
不正アクセス防止対策について	8
設定ナビでセットアップする	10
日付／時刻を設定する	12
ネットワーク環境を設定する	14
有線 LAN か無線 LAN かを選択する	16
有線 LAN に接続する	17
無線 LAN に接続する	18
WPS／AOSS／らくらく無線スタートで自動設定する（プッシュボタン方式）	20
WPS PIN コード方式で設定する	23
無線 LAN ルーターを選んで設定する	25
すべて入力して設定する	28
SSID やネットワークキーを確認する	31
IP アドレスを設定する	32
IPv4 アドレスを設定する	33
IPv6 アドレスを設定する	36
ネットワークの設定を確認する	39
パソコンとの通信設定をする	42
印刷プロトコルや Web サービスの設定をする	43
印刷ポートの設定をする	46
プリントサーバーを設定する	50
使用するネットワーク環境に合わせる	53
Ethernet の設定をする	54
送信パケットの最大サイズを変更する	56
ネットワーク接続時の待機時間を設定する	57
DNS の設定をする	58
SMB の設定をする	62
SNMP で監視／制御する	64
SNTP の設定をする	68
ドライバーをインストールする	70
ファクスの設定をする	71
ファクスの用途を確認する	72
ファクス番号とユーザー略称を登録する	73
受信モードを設定する	74

電話回線に接続する	75
スキャンの設定をする	77
スキャナーとして使うための準備をする	78
E メール送信設定の流れ	79
E メール送信の設定をする	80
Eメールの通信設定をする	83
共有フォルダーへの保存設定の流れ	86
共有フォルダーへの保存設定をする	87

セットアップ

6AAS-000

本機の各機能をお使いいただく前に、あらかじめ使用環境の設定が必要です。はじめにセットアップ完了までの一連の流れをご確認いただき、そのうえで実際の設定を行ってください。🔴**お使いになるために必要な作業(P. 6)**



- お買い上げの機種によって搭載機能が異なります。あらかじめ、🔴**おもな機能のご紹介(P. 4)** を参照してご使用になれる機能を確認してください。

本機の初期設定を行う（設定ナビ）

- 日付／時刻やネットワークの設定など、本機を使うために必要な初期設定を画面の案内に従ってかんたんに設定することができます。🔴**設定ナビでセットアップする(P. 10)**

おもな機能のご紹介

6AAS-001

本マニュアルは、お買い上げの機種シリーズすべての機能を網羅しております。はじめに、お買い上げの機種でどの機能が使えるのかをご確認ください。

○：機能あり ×：機能なし

機能	MF269dw	MF266dn	MF265dw	MF264dw	MF262dw
コピー	○	○	○	○	○
プリント	○	○	○	○	○
ファクス	○	○	○	×	×
スキャン	○	○	○	○	○
両面印刷	○	○	○	○	○
ファクス受信転送（自動）	○	○	×	×	×
スキャンデータの送信（e-Mail/SMB）	○	○	×	×	×
有線 LAN 接続	○	○	○	○	○
無線 LAN 接続	○	×	○	○	○
リモート UI	○	○	○	○	○
鍵と証明書	○	○	○	○	○
モバイル機器と連携	○	○	○	○	○
ディスプレイ	モノクロ 6 行タッチパネル	モノクロ 6 行タッチパネル	モノクロ 6 行タッチパネル	モノクロ 5 行 UI	モノクロ 5 行 UI
フィーダー／原稿台ガラスカバー	フィーダー（両面読み込み）	フィーダー（片面読み込み）	フィーダー（片面読み込み）	フィーダー（片面読み込み）	原稿台ガラスカバー
ハンドセット	オプション	オプション	オプション	×	×



- お使いになれるドライバーの種類は、付属の User Software CD-ROM/DVD-ROM またはキヤノンホームページ (<https://global.canon/>) で確認してください。
- ユーザーズガイドでは、画面によって操作が異なる場合、「モノクロ 6 行タッチパネル機」／「モノクロ 5 行 UI 機」と表記して区別しています。

- 同じ操作の場合、おもにタッチパネルディスプレイの画面を掲載しています。モノクロ 5 行 UI 機ではモノクロ 6 行タッチパネル機と画面が異なりますが、表示される用語に従って操作してください。



関連項目

- ▶ **ユーザーズガイドの読みかた(P. 569)**

お使いになるために必要な作業

6AAS-002

Step 1 ～ 5 の順で本機のセットアップを行います。リンクをクリックして該当するページを表示し、詳細を確認してください。また、本機を安全にお使いいただくために、**不正アクセス防止対策について(P. 8)** もあわせて確認してください。

Step 1

▶設定ナビでセットアップする(P. 10)



Step 2

▶ネットワーク環境を設定する(P. 14)

- 設定ナビに含まれていないネットワークの設定を行います。また、設定ナビを使わない場合は、ここからネットワークの設定を行ってください。



Step 3

▶ドライバーをインストールする(P. 70)



Step 4

▶ファクスの設定をする(P. 71)



Step 5

▶スキャンの設定をする(P. 77)



便利な機能

リモート UI から設定する

- ネットワーク環境の設定が完了したら、パソコンからリモート UI を使って本機を効率的に設定できるようになります。▶ **リモート UI を起動する(P. 346)**

不正アクセス防止対策について

6AAS-003

外部ネットワークからの不正アクセス防止対策について記載しています。本機や他のプリンター、複合機をネットワーク環境でお使いの方、管理者の方は、ご利用の前に必ずお読みください。近年のプリンターや複合機は、ネットワークに接続することでコンピューターから印刷やリモート操作をしたり、スキャンした原稿をインターネット経由で送信したりなど、さまざまな機能を利用できるようになっています。その反面、ネットワーク上では外部からの不正アクセスや盗聴による脅威にもさらされるため、情報漏えい等のセキュリティリスクへの対策が不可欠です。以降では、ネットワーク環境でプリンターや複合機を使用する際に必ず行っていただきたい不正アクセス対策のポイントについて説明します。

外部からの不正アクセス対策のポイント

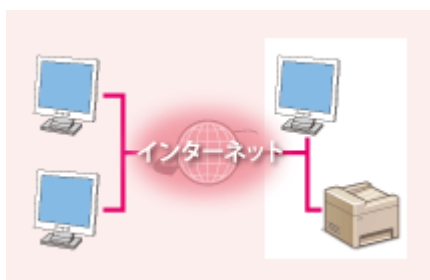
- ▶ プライベート IP アドレスで運用する(P. 8)
- ▶ ファイアウォールで通信を制限する(P. 9)
- ▶ TLS 暗号化通信を設定する(P. 9)
- ▶ 複合機が持つ情報を暗証番号で管理する(P. 9)



- 本製品は電気通信事業者 (移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど) の通信回線 (公衆無線 LAN を含む) に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由して接続してください。

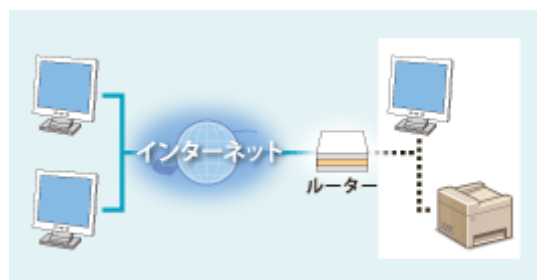
プライベート IP アドレスで運用する

IP アドレスとは、ネットワーク上の機器に割り当てられる番号のことで、インターネット接続に使われる IP アドレスを「グローバル IP アドレス」、社内 LAN などのローカルエリアネットワークで使われる IP アドレスを「プライベート IP アドレス」と呼びます。プリンター、複合機に設定されている IP アドレスがグローバル IP アドレスの場合は、インターネット上の不特定多数のユーザーからアクセス可能な状態であり、外部からの不正アクセスによる情報漏えいなどのリスクも高まります。一方で、プライベート IP アドレスが設定されているプリンター、複合機なら、社内 LAN などのローカルエリアネットワーク上のユーザーからしかアクセスすることができません。



【グローバル IP アドレス】

外部からアクセス可



【プライベート IP アドレス】

ローカルエリア内でのみアクセス可

基本的には、プリンター、複合機の IP アドレスにはプライベート IP アドレスを設定して運用してください。プライベート IP アドレスには、以下のいずれかの範囲のアドレスが使用されます。お使いのプリンター、複合機に設定されている IP アドレスがプライベート IP アドレスかどうかを確認してください。

■ プライベート IP アドレスの範囲

- 10.0.0.0 ~ 10.255.255.255
- 172.16.0.0 ~ 172.31.255.255

- 192.168.0.0 ～ 192.168.255.255

IP アドレスの確認手順については、[IPv4 アドレスを設定する\(P. 33\)](#) を参照してください。



- プリンター、複合機にグローバル IP アドレスが設定されていても、ファイアウォール等で外部からのアクセスを防御する環境を構築すれば、不正アクセスのリスクは軽減されます。プリンター、複合機にグローバル IP アドレスを設定して運用したいときは、ネットワーク管理者にご相談ください。

ファイアウォールで通信を制限する

ファイアウォールとは、外部ネットワークからの不正アクセスを防止し、ローカルエリア内のネットワークへの攻撃や侵入を防ぐシステムです。お使いのネットワーク環境で、特定の外部 IP アドレスからの通信を制限することで、危険と思われる外部からのアクセスをあらかじめ遮断できます。キヤノンのプリンター、複合機に搭載された機能でも IP アドレスのフィルタリングができます。IP アドレスのフィルタリングについては、[IP アドレスでファイアウォールを設定する\(P. 311\)](#) を参照してください。

TLS 暗号化通信を設定する

TLS 通信については [ネットワークセキュリティを設定する\(P. 308\)](#) を、設定手順については [TLS 用の鍵と証明書を設定する\(P. 319\)](#) を参照してください。

複合機が持つ情報を暗証番号で管理する

万が一、悪意のある第三者から不正アクセスを受けたとしても、プリンター、複合機が持つさまざまな情報を暗証番号で保護しておけば、情報漏えいによるリスクを大幅に軽減できます。キヤノンのプリンター、複合機は、さまざまな情報を暗証番号で保護できるようになっています。

■各機能の暗証番号設定

- リモート UI の暗証番号設定
詳細は、[リモート UI の暗証番号を設定する\(P. 306\)](#) を参照のうえ、設定してください。
- システム管理項目の暗証番号設定
詳細は、[システム管理暗証番号を設定する\(P. 304\)](#) を参照のうえ、設定してください。
- アドレス帳の暗証番号
設定詳細は、[アドレス帳の使用を制限する\(P. 336\)](#) を参照のうえ、設定してください。

上記は不正アクセス防止対策の一例です。その他の詳細は [本機を管理する\(P. 301\)](#) を参照のうえ、お使いの環境に合わせて必要な対策を行ってください。

設定ナビでセットアップする

6AAS-004

初めて本機に電源を入れたとき（**電源を入れる(P. 109)**）、画面に沿って本機の初期設定を行う設定ナビが始まります。設定ナビは、次の順番で設定画面が表示されます。

Step 1

日付時刻を設定する

本機の日付と時刻を設定します。

- 1 日付と時刻を入力し、＜確定＞を選ぶ（**OK**）

モノクロ 6 行タッチパネル機

- カーソルは＜**<**>または＜**>**>をタップして移動し、テンキーで日時を入力します。

モノクロ 5 行 UI 機

- カーソルは**◀**または**▶**で移動し、テンキーで日時を入力します。

Step 2

アクセス保護対策を設定する

リモート UI へアクセスするための暗証番号を設定します。リモート UI はパソコンから本機の設定を変更できるため、暗証番号を設定することをおすすめします。

- 1 ＜はい＞を選ぶ
 - ＜いいえ＞を選ぶと、暗証番号を設定せずに Step 3 へ進みます。
 - リモート UI のアクセス保護対策は、あとで設定することもできます。**リモート UI の暗証番号を設定する(P. 306)**
- 2 暗証番号を入力し、＜確定＞を選ぶ
- 3 同じ暗証番号を入力し、＜確定＞を選ぶ

Step 3

無線 LAN を設定する

無線 LAN でネットワークに接続するための設定をします。

- 1 ＜はい＞を選ぶ
 - ＜いいえ＞を選ぶと、無線 LAN を設定せずに設定ナビを完了します。メッセージを確認し、＜閉じる＞（**OK**）を選んでください。
- 2 ＜OK＞を選ぶ
- 3 設定方式を選ぶ
 - 無線 LAN の設定について詳しくは、**無線 LAN に接続する(P. 18)**を参照してください。
- 4 メッセージを確認し、＜閉じる＞（**OK**）を選ぶ

⇒ 設定ナビが完了すると、以下の画面が表示されます。

モノクロ 6 行タッチパネル機

モノクロ 5 行 UI 機

セットアップ

🏠 ホーム	
📄 コピー	📠 ファクス
📠 スキャン	📧 アドレス帳
メニュー ⏪ 1/5 ⏩	

コピー開始: スタートキー	1
100% ① A4	
濃度: ±0	
原稿の種類: 文字/写真	
両面: OFF	

日付／時刻を設定する

6AAS-005

本機の日付と時刻を設定します。設定した日時は、時刻を指定する機能の基準として使われますので正確にセットしてください。

- タイムゾーンを設定する(P. 12)
- 現在日時を設定する(P. 12)

タイムゾーンを設定する

タイムゾーンを変更すると、それに合わせて＜現在日時の設定＞で設定した値も自動的に変更されます。

1 ＜メニュー＞画面を表示する ● ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、＜メニュー＞を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

 を押す

2 ＜タイマー設定＞▶＜日付/時刻の設定＞▶＜タイムゾーン＞の順に進む

3 タイムゾーンを選ぶ

タイムゾーン		
(UTC+09:00) ヤクーツク		▲
(UTC+09:00) 大阪、札幌	5	
(UTC+09:30) アデレード	24	
(UTC+09:30) ダーウィン	28	
(UTC+10:00) ワラジオストイ		▼



UTC とは

- UTC とは世界各地の基準となる協定世界時のことで、日本は UTC との間に + 9 時間の時差があります。インターネットを介した通信では、正しく設定することが前提となっています。

現在日時を設定する

1 ＜メニュー＞画面を表示する ● ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、＜メニュー＞を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

 を押す

2 ＜タイマー設定＞▶＜日付/時刻の設定＞▶＜現在日時の設定＞の順に進む

3 日付と時刻を入力する

モノクロ 6 行タッチパネル機

カーソルは＜＞または＜＞をタップして移動し、テンキーで日時を入力します。

モノクロ 5 行 UI 機

カーソルは◀または▶で移動し、テンキーで日時を入力します。

4 ＜確定＞（）を選ぶ



- ここでの設定を行う前に、まず＜タイムゾーン＞を設定してください。＜タイムゾーン＞をあとで設定すると、ここの設定は自動的に変更されてしまいます。

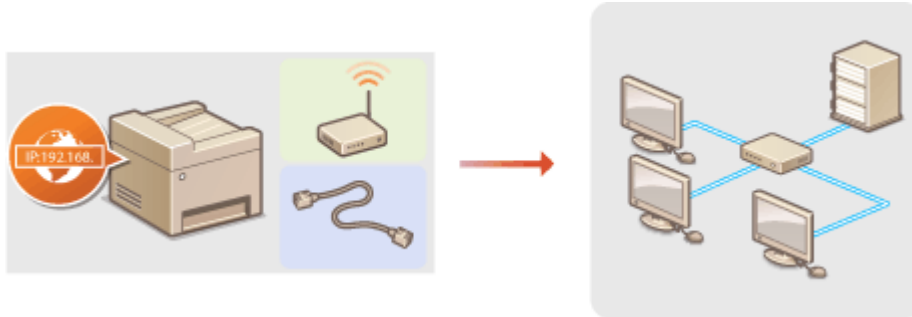


- 日付と時刻の表示形式をそれぞれ変更することができます。
 - ▶＜日付の形式＞(P. 391)
 - ▶＜時刻の形式＞(P. 391)

ネットワーク環境を設定する

6AAS-006

本機をネットワークに接続するには「無線 LAN による接続」と「有線 LAN による接続」の 2 つの方法があり、いずれの場合もネットワーク内で固有の IP アドレスを使用します。接続方法については、通信環境やお使いの機器に合わせてお選びください。設定する IP アドレスについては、お使いのプロバイダーやネットワーク管理者にお問い合わせください。



- 十分なセキュリティ対策が行われていないネットワークに接続すると、個人情報などのデータが第三者に漏えいする恐れがあります。



- 有線 LAN と無線 LAN は同時に使用できません。
- 本機には LAN ケーブルやルーターは付属していません。別途ご用意ください。
- お使いのルーターが有線 LAN または無線 LAN のどちらに対応しているかわからない場合は、機器付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

■作業の前に確認してください

次の順序でネットワークへの接続作業を行います。



はじめに確認する

- パソコンとルーターは正しくつながっていますか？詳しくはそれぞれの機器に付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。
- パソコン側のネットワーク設定は完了していますか？設定が正しく完了していないと、以降の手順を行ってもネットワークでお使いいただくことができません。



- お使いの環境によっては、ネットワークの通信方式や Ethernet の種類の設定を変更する必要があります（**Ethernet の設定をする(P. 54)**）。詳しくは、プロバイダーやネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 本機の MAC アドレスを確認するとき

- ▶有線 LAN の MAC アドレスを確認する(P. 39)
- ▶無線 LAN の MAC アドレスや設定情報を確認する(P. 40)
- IEEE 802.1X を導入したネットワークに接続するとき ▶IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 329)

2



有線 LAN か無線 LAN かを選ぶ

- ▶有線 LAN か無線 LAN かを選択する(P. 16)

3



有線 LAN または無線 LAN に接続する

- 手順 2 で選んだ設定に応じて次のどちらかを選びます。
 - ▶有線 LAN に接続する(P. 17)
 - ▶無線 LAN に接続する(P. 18)

4



必要に応じて IP アドレスを設定する

- お買い上げ時、IP アドレスは自動取得するように設定されています。特定の IP アドレスを使用したいときは設定を変更してください。▶IP アドレスを設定する(P. 32)



関連項目

- ▶パソコンとの通信設定をする(P. 42)
- ▶使用するネットワーク環境に合わせる(P. 53)

有線 LAN か無線 LAN かを選択する

6AAS-007

本機とパソコンを無線 LAN で接続するのか、有線 LAN で接続するのかを決めたら、実際に操作パネルで設定します。なお、有線 LAN を無線 LAN、または無線 LAN を有線 LAN に設定変更した場合は、すでにインストールされているドライバーを一度アンインストールしてからインストールしなおす必要がありますのでご注意ください。詳しくは、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。

1 <メニュー>画面を表示する ◀ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機



を押す

2 <ネットワーク設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。▶システム管理暗証番号を設定する(P. 304)

3 <有線/無線 LAN 選択>を選ぶ

4 <有線 LAN >または<無線 LAN >を選ぶ



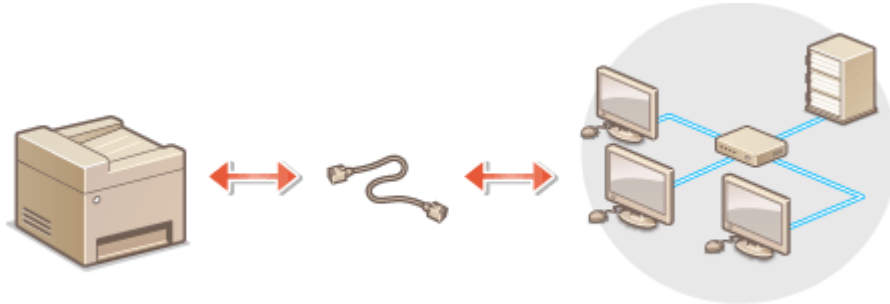
関連項目

- ▶ネットワーク環境を設定する(P. 14)
- ▶有線 LAN に接続する(P. 17)
- ▶無線 LAN に接続する(P. 18)

有線 LAN に接続する

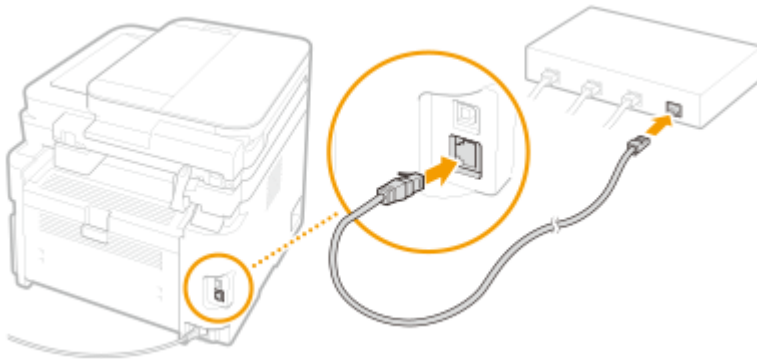
6AAS-008

ルーターを介して本機とパソコンを接続します。接続には LAN ケーブルを使用します。



1 LAN ケーブルを接続する

- LAN ケーブルを使って、本機をルーターに接続します。
- コネクタがきちんとポートに収まるよう、カチッと音がするまで押し込んでください。



2 そのまま数分間待つ

⇒ IP アドレスが自動的に設定されます。



- IP アドレスは手動でも設定できます。▶ [IP アドレスを設定する\(P. 32\)](#)

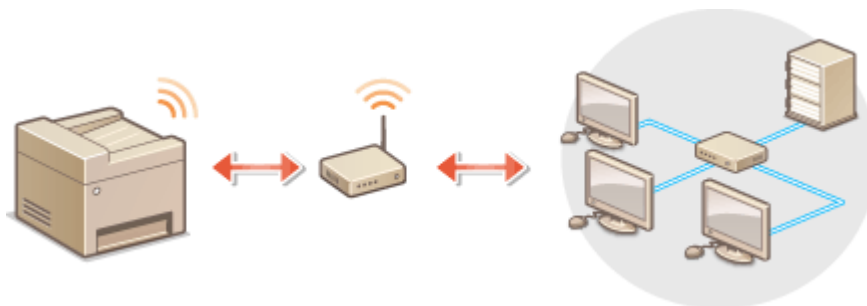


- ▶ [ネットワーク環境を設定する\(P. 14\)](#)

無線 LAN に接続する

6AAS-009

無線 LAN ルーター（またはアクセスポイント）を介して、本機とパソコンを無線（電波）で接続します。無線 LAN ルーターが WPS/AOSS/らくらく無線スタートに対応している場合はボタン操作でかんたんに接続できます。これらの規格に対応していない場合や、認証や暗号化などの設定を詳しく指定したい場合は手動で設定します。パソコン側の接続はあらかじめ済ませておいてください。



● WPS/AOSS/らくらく無線スタートで設定する(P. 18)

● 手動で設定する(P. 19)



情報漏えいのリスクについて

- 無線通信に使用する電波は一定の範囲内であれば壁などの障害物を越えてしまうため、十分なセキュリティで保護されていないネットワークに接続した場合は、お客様の個人情報などが第三者に漏えいする恐れがあります。本機を無線 LAN に接続するときは、お客様ご自身の判断と責任において使用してください。

無線 LAN のセキュリティ規格

- 本機の無線 LAN は、WEP、WPA-PSK、および WPA2-PSK に対応しています。お使いの無線 LAN ルーターが対応しているかどうかについては、機器付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。



無線 LAN 接続に必要な機器

- 本機に無線 LAN ルーターは付属していません。必要に応じて別途ご用意ください。

WPS/AOSS/らくらく無線スタートで設定する

お使いの無線 LAN ルーターが AOSS またはらくらく無線スタートに対応している場合は、プッシュボタン方式でかんたんに設定することができます。WPS に対応している場合は、プッシュボタン方式に加えて WPS PIN コード方式による設定も可能です。

■ プッシュボタン方式

無線 LAN ルーターの外装箱に次のようなマークが記載されているか、または機器本体にこれらのボタンがあればプッシュボタン方式で設定できます。▶WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する（プッシュボタン方式）(P. 20)



■ WPS PIN コード方式

WPS 対応ルーターの中にはプッシュボタン方式に対応していないものがあり、この場合は PIN コードを入力して設定します。外装箱または取扱説明書の WPS PIN コードの記載を確認してください。▶WPS PIN コード方式で設定する(P. 23)



- 無線 LAN ルーターが WEP 認証を使用するように設定されている場合、WPS では接続できないことがあります。

手動で設定する

手動設定には、アクセスポイント選択方式と手動入力方式があります。どちらの場合もあらかじめ SSID やネットワークキーなどの必要情報を手元にご用意ください。▶SSID やネットワークキーを確認する(P. 31)

■ アクセスポイント選択方式

手動設定でも、できるかぎりかんたんに設定を済ませたいときは、この方法で設定します。▶無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 25)

■ 手動入力方式

認証や暗号化などのセキュリティ設定を詳しく指定したい場合は、SSID やネットワークキーを自分で入力して設定します。▶すべて入力して設定する(P. 28)



関連項目

- ▶ネットワーク環境を設定する(P. 14)
- ▶有線 LAN か無線 LAN かを選択する(P. 16)

WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する（プッシュボタン方式）

6AAS-00A

お使いの無線 LAN ルーターが、WPS/AOSS/らくらく無線スタートのプッシュボタン方式に対応している場合には、ボタン操作によってかんたんに設定できます。



- 無線 LAN ルーターの操作方法は、機器によって異なります。必ずお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

1 <メニュー>画面を表示する ●ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

 を押す

2 <ネットワーク設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。 ●システム管理暗証番号を設定する(P. 304)

3 <無線 LAN 設定>を選ぶ

- <無線 LAN を有効にしますか?>と表示されたら、<はい>を選んでください。
- <現在のダイレクト接続が一度切断されます。よろしいですか?>と表示されたら、<はい>を選んでください。

4 メッセージを確認し、< OK >を選ぶ

5 < WPS プッシュボタン方式>、< AOSS >、または<らくらく無線スタート>を選ぶ

- お使いの無線 LAN ルーターが対応している機能を選んでください。

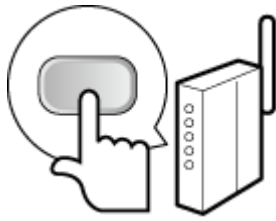
6 <はい>を選ぶ

7 無線 LAN ルーターのボタンを押す

■WPS/AOSS の場合

- WPS の場合は 2 分以内、AOSS の場合は 1 分 30 秒以内にボタンを押します。

- お使いの無線 LAN ルーターによっては、ボタンを 2 秒以上押す必要があります。必ずお使いの機器の取扱説明書で確認してください。



■らくらく無線スタートの場合

1 1 分以内にボタンを長押しし、無線 LAN ルーターの POWER ランプが緑色に点滅するのを待つ

⇒ ボタンを離すと、POWER ランプがオレンジ色の点滅に変わります。

2 30 秒以内に再びボタンを長押しし、POWER ランプがオレンジ色に点灯するのを待つ



設定中にエラーメッセージが表示されたら

- <閉じる>を選び、手順 5 からやりなおしてください。

8 <接続しました。>が表示されるまで待つ

⇒ IP アドレスなどが自動的に設定されるまで、数分間お待ちください。



電波の強度について

- 接続できる無線 LAN ルーターが複数存在する場合は、電波強度（RSSI）が最も強い機器に接続します。



- IP アドレスは手動でも設定できます。▶ **IP アドレスを設定する(P. 32)**
- モノクロ 6 行タッチパネル機の場合、無線 LAN 接続中は、ホーム画面や各機能の基本画面に Wi-Fi アイコンが表示されます。▶ **ホーム画面(P. 113)**



消費電力を抑えたいとき

- <パワーセーブモード>を設定すると、無線 LAN ルーターが送信する信号に合わせて定期的に本機を節電状態にします。▶ **<パワーセーブモード>(P. 375)**

本機の IP アドレスが変更された場合

- DHCP 環境では本機の IP アドレスが自動的に変更される場合がありますが、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続は維持されます。



関連項目

▶ **無線 LAN に接続する (P. 18)**

WPS PIN コード方式で設定する

6AAS-00C

お使いの無線 LAN ルーターが WPS の PIN コード方式に対応している場合は、本機で生成した PIN コードをパソコンなどを使って無線 LAN ルーターに登録します。



- 無線 LAN ルーターの操作方法は、機器によって異なります。必ずお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。



パソコンから

1 お使いの無線 LAN ルーターにパソコンなどからアクセスし、WPS PIN コードの設定画面を表示する

- 操作方法については、お使いの無線 LAN ルーターの取扱説明書をご覧ください。



操作パネルから

2 <メニュー>画面を表示する ▶ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

 を押す

3 <ネットワーク設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。▶システム管理暗証番号を設定する(P. 304)

4 <無線 LAN 設定>を選ぶ

- <無線 LAN を有効にしますか?>と表示されたら、<はい>を選んでください。
- <現在のダイレクト接続が一度切断されます。よろしいですか?>と表示されたら、<はい>を選んでください。

5 メッセージを確認し、< OK >を選ぶ

6 < WPS PIN コード方式 >を選ぶ

7 <はい>を選ぶ

⇒ 生成された PIN コードがディスプレイに表示されます。

パソコンから

8 生成された PIN コードを無線 LAN ルーターに登録する

- 手順 1 の WPS PIN コードの設定画面を使って登録します。
- PIN コードは手順 7 で<はい>を選んでから 10 分以内に登録してください。



設定中にエラーメッセージが表示されたら

- <閉じる>を選び、手順 6 からやりなおしてください。

操作パネルから

9 <接続しました。>が表示されるまで待つ

⇒ IP アドレスなどが自動的に設定されるまで、数分間お待ちください。



電波の強度について

- 接続できる無線 LAN ルーターが複数存在する場合は、電波強度（RSSI）が最も強い機器に接続します。



- IP アドレスは手動でも設定できます。▶[IP アドレスを設定する\(P. 32\)](#)
- モノクロ 6 行タッチパネル機の場合、無線 LAN 接続中は、ホーム画面や各機能の基本画面に Wi-Fi アイコンが表示されます。▶[ホーム画面\(P. 113\)](#)



消費電力を抑えたいとき

- <パワーセーブモード>を設定すると、無線 LAN ルーターが送信する信号に合わせて定期的に本機を節電状態にします。▶[<パワーセーブモード>\(P. 375\)](#)

本機の IP アドレスが変更された場合

- DHCP 環境では本機の IP アドレスが自動的に変更される場合がありますが、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続は維持されます。

関連項目

- ▶[無線 LAN に接続する\(P. 18\)](#)

無線 LAN ルーターを選んで設定する

6AAS-00E

接続可能な無線 LAN ルーター（またはアクセスポイント）を本機のディスプレイから選びます。ネットワークキーには WEP キーまたは PSK を入力して設定します。SSID やネットワークキーなどの必要情報はあらかじめ確認のうえ、メモしておいてください（**SSID やネットワークキーを確認する(P. 31)**）。



セキュリティ設定について

- 無線 LAN ルーターを選んで設定すると、WEP の認証方式は＜オープンシステム＞に、WPA/WPA2 の暗号化方式は＜自動＞（AES-CCMP または TKIP）に設定されます。WEP の認証方式に＜共有キー＞を選びたい場合や、WPA/WPA2 の暗号化方式に＜AES-CCMP＞を指定したい場合は、＜手動入力＞で設定してください。**すべて入力して設定する(P. 28)**

1 ＜メニュー＞画面を表示する **ホーム画面(P. 113)**

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、＜メニュー＞を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

 を押す

2 ＜ネットワーク設定＞を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。**システム管理暗証番号を設定する(P. 304)**

3 ＜無線 LAN 設定＞を選ぶ

- ＜無線 LAN を有効にしますか?＞と表示されたら、＜はい＞を選んでください。
- ＜現在のダイレクト接続が一度切断されます。よろしいですか?＞と表示されたら、＜はい＞を選んでください。

4 メッセージを確認し、＜OK＞を選ぶ

5 ＜SSID 設定＞を選ぶ

6 ＜アクセスポイント選択＞を選ぶ

⇒ 接続可能な無線 LAN ルーターが探索されます。



- アクセスポイントが見つからないメッセージが表示されたとき **メッセージごとの対処方法(P. 503)**

7 目的の無線 LAN ルーターを選ぶ

- メモしておいた SSID と一致する機器を選びます。



接続したい無線 LAN ルーターが見つからないとき

- ネットワークに接続できる状態か、確認してください。▶ [設置／設定のトラブル\(P. 478\)](#)

8 メモしておいたネットワークキーを入力する

- ネットワークキーを入力し、＜確定＞を選びます。
- 文字の入力方法については、▶ [文字を入力する\(P. 126\)](#) を参照してください。

9 ＜はい＞を選ぶ



設定中にエラーメッセージが表示されたら

- ＜閉じる＞を選び、ネットワークキーが正しいか確認したあと、手順 5 からやりなおしてください。

10 ＜接続しました。＞が表示されるまで待つ

⇒ IP アドレスなどが自動的に設定されるまで、数分間お待ちください。



電波の強度について

- 接続できる無線 LAN ルーターが複数存在する場合は、電波強度（RSSI）が最も強い機器に接続します。



- IP アドレスは手動でも設定できます。▶ [IP アドレスを設定する\(P. 32\)](#)
- モノクロ 6 行タッチパネル機の場合、無線 LAN 接続中は、ホーム画面や各機能の基本画面に Wi-Fi アイコンが表示されます。▶ [ホーム画面\(P. 113\)](#)



消費電力を抑えたいとき

- <パワーセーブモード>を設定すると、無線 LAN ルーターが送信する信号に合わせて定期的に本機を節電状態にします。▶<パワーセーブモード>(P. 375)

本機の IP アドレスが変更された場合

- DHCP 環境では本機の IP アドレスが自動的に変更される場合がありますが、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続は維持されます。



関連項目

- ▶無線 LAN に接続する(P. 18)

すべて入力して設定する

6AAS-00F

セキュリティの設定などを詳しく指定したい場合や、他の方法で接続できない場合は、無線 LAN 接続の設定をすべて手動入力で行います。SSID やネットワークキー、セキュリティ規格や認証／暗号化方式などの必要な情報は、あらかじめ確認／メモしておいてください。🔴**SSID やネットワークキーを確認する(P. 31)**

1 <メニュー>画面を表示する 🔴ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

 を押す

2 <ネットワーク設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。🔴**システム管理暗証番号を設定する(P. 304)**

3 <無線 LAN 設定>を選ぶ

- <無線 LAN を有効にしますか?>と表示されたら、<はい>を選んでください。
- <現在のダイレクト接続が一度切断されます。よろしいですか?>と表示されたら、<はい>を選んでください。

4 メッセージを確認し、< OK >を選ぶ

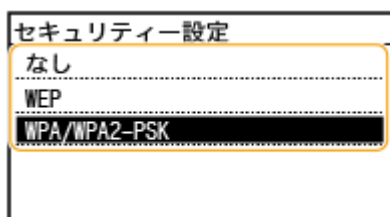
5 < SSID 設定> ▶ <手動入力>の順に進む

6 メモしておいた SSID を入力する

- SSID を入力し、<確定>を選びます。
- 文字の入力方法については、🔴**文字を入力する(P. 126)** を参照してください。

7 メモしておいた情報をもとにセキュリティの設定をする

- セキュリティの設定をしないときは<なし>を選びます。



■WEP を使用する

- 1 < WEP >を選ぶ
- 2 認証方式を選ぶ

<オープンシステム>

一般に「オープン認証」と呼ばれる認証方式です。

<共有キー>

パスワードとして WEP キーを使用する認証方式です。



<オープンシステム>を選んだ場合

- 無線 LAN ルーターが共有キー認証を使用している場合は接続時に認証エラーが生じますが、本機の設定は自動的に<共有キー>に変更され再接続が試みられます。

- 3 編集する WEP キーを選ぶ
 - < WEP キー編集 > ▶ WEP キー（1～4）の順に選びます。
 - WEP キーは 4 つまで設定できます。
- 4 確認／メモしておいたネットワークキーを入力する
 - ネットワークキーを入力し、<確定>を選びます。
- 5 使用する WEP キーを選ぶ
 - < WEP キー選択 > ▶ 編集した WEP キーの順に選びます。

■WPA-PSK または WPA2-PSK を使用する

- 1 < WPA/WPA2-PSK >を選ぶ
- 2 暗号化方式を選ぶ

<自動>

接続する無線 LAN ルーターに合わせて、自動的に AES-CCMP または TKIP を設定します。

< AES-CCMP >

暗号化方式に AES-CCMP を指定するときに選びます。

- 3 メモしておいたネットワークキーを入力する
- ネットワークキーを入力し、＜確定＞を選びます。

8 <はい>を選ぶ



設定中にエラーメッセージが表示されたら

- <閉じる＞を選び、設定した内容が正しいか確認したあと、手順 5 からやりなおしてください。

9 <接続しました。>が表示されるまで待つ

⇒ IP アドレスなどが自動的に設定されるまで、数分間お待ちください。



電波の強度について

- 接続できる無線 LAN ルーターが複数存在する場合は、電波強度（RSSI）が最も強い機器に接続します。



- IP アドレスは手動でも設定できます。▶ **IP アドレスを設定する(P. 32)**
- モノクロ 6 行タッチパネル機の場合、無線 LAN 接続中は、ホーム画面や各機能の基本画面に Wi-Fi アイコンが表示されます。▶ **ホーム画面(P. 113)**



消費電力を抑えたいとき

- <パワーセーブモード＞を設定すると、無線 LAN ルーターが送信する信号に合わせて定期的に本機を節電状態にします。▶ **<パワーセーブモード>(P. 375)**

本機の IP アドレスが変更された場合

- DHCP 環境では本機の IP アドレスが自動的に変更される場合がありますが、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続は維持されます。



関連項目

- ▶ **無線 LAN に接続する(P. 18)**

SSID やネットワークキーを確認する

6AAS-00H

手動設定では、無線 LAN ルーターの SSID やネットワークキーなどを指定する必要があります。SSID やネットワークキーは無線 LAN ルーターに表記されている場合がありますので、あらかじめ確認／メモしておいてください。詳しくは、各機器の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

SSID	無線 LAN のネットワークを識別するための名前です。「アクセスポイント名」や「ネットワーク名」などと表記されることもあります。
ネットワークキー	データの暗号化に使用されるキーワード、またはネットワークの認証時に使用されるパスワードです。「暗号化キー」、「WEP キー」、「WPA/WPA2 パスフレーズ」、「PSK」、「事前共有キー」などと表記されることもあります。
セキュリティ規格（認証／暗号化）	手動入力方式では、セキュリティ規格や認証／暗号化などの方法を指定する必要があります。次のような情報を確認してください。 ● セキュリティ規格（WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK） ● 認証方式（オープンシステム／共有キー） ● 暗号化方式（TKIP/AES-CCMP）



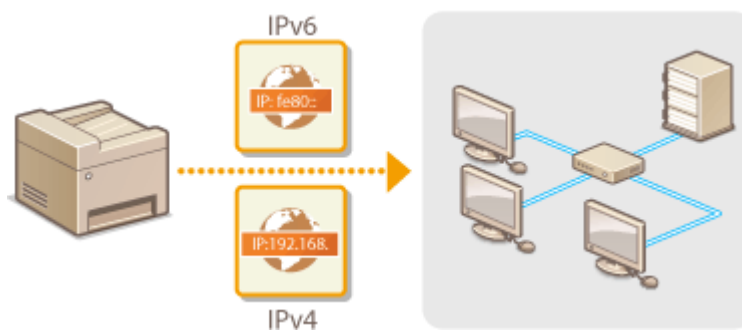
関連項目

- 無線 LAN に接続する(P. 18)
- 無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 25)
- すべて入力して設定する(P. 28)

IP アドレスを設定する

6AAS-00J

本機をネットワークに接続するには、そのネットワーク内で固有の IP アドレスが必要です。IP アドレスには「IPv4」と「IPv6」という 2 つのバージョンがありますので、お使いの環境に合わせて設定してください。なお、IPv6 アドレスを使うためには、IPv4 アドレスが適切に設定されている必要があります。



- ▶ IPv4 アドレスを設定する (P. 33)
- ▶ IPv6 アドレスを設定する (P. 36)

IPv4 アドレスを設定する

6AAS-00K



IPv4 アドレスの設定方法には、DHCP などを使って自動で割り当てる方法と、自分で入力する方法がありますのでいずれかを選択してください。有線 LAN に接続するときは、作業を始める前にまず LAN ケーブルのコネクタがポートにしっかり差し込まれているか再確認してください（**有線 LAN に接続する(P. 17)**）。また、必要に応じて接続テストを行ってください。

●IPv4 アドレスを設定する(P. 33)

●接続テストをする(P. 34)

IPv4 アドレスを設定する

1 <メニュー>画面を表示する ●ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

 を押す

2 <ネットワーク設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。 ●システム管理暗証番号を設定する(P. 304)

3 < TCP/IP 設定> ▶ < IPv4 設定> ▶ < IP アドレス設定>の順に進む

4 IP アドレスを設定する

IP アドレス設定
自動取得 : ON
手動取得
設定確認

<自動取得>

DHCP によって IP アドレスを自動的に割り当てるときに選びます。< ON >と表示されているときは、自動割り当てが行われています。

<手動取得>

IP アドレスを自分で入力して設定するときを選びます。自動取得が< OFF >のときだけ設定できます。

<設定確認>

現在の IP アドレス設定を確認できます。

■自動的に割り当てる

- 1 <自動取得>を選ぶ
- 2 プロトコルを選ぶ
 - <プロトコル選択> ▶ < DHCP >の順に選びます。



アドレスの自動割り当てに DHCP を使わないとき

- < OFF >を選びます。DHCP を使用できないときに設定すると、本機はネットワーク内でサービスが提供されているか確認し続けるので、無駄な通信が発生します。
- 3 < Auto IP >が< ON >になっているか確認する
 - < OFF >のときは、< ON >に変更します。
 - 4 <確定>を選ぶ



- Auto IP が有効でも、DHCP で取得された IP アドレスが優先されます。

■自分で入力して設定する

- 1 自動取得しないように設定する
 - <自動取得>を選んだあと、<プロトコル選択>と< Auto IP >を< OFF >に設定します。
- 2 <手動取得>を選ぶ
- 3 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定する
 - それぞれの画面にテンキーで入力し、<確定>を押します。
 - 文字の入力方法については、**文字を入力する(P. 126)** を参照してください。



正しく設定できたか確認するには

- パソコンでリモート UI のログイン画面を表示できるか確認してください（**リモート UI を起動する(P. 346)**）。パソコンが使えないときは、本機の操作パネルから確認することもできます（**接続テストをする(P. 34)**）。

プリンタードライバーをインストールしたあとに IP アドレスを変更したとき

- MFNP ポートを使用している場合は、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続は維持されますので、新しいポートを追加する必要はありません。標準 TCP/IP ポートを使用している場合は、新しいポートを追加する必要があります。**印刷ポートの設定をする(P. 46)**

*使用しているポートがどちらなのかわからないときは、**プリンターポートの確認方法(P. 576)** を参照してください。

接続テストをする

- 1 <メニュー>画面を表示する **ホーム画面(P. 113)**

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、＜メニュー＞を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機



を押す

2 ＜ネットワーク設定＞を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。▶ [システム管理暗証番号を設定する\(P. 304\)](#)

3 ＜TCP/IP 設定＞▶＜IPv4 設定＞▶＜PING コマンド＞の順に進む

4 ネットワーク内の他の機器の IPv4 アドレスを入力し、＜確定＞を選ぶ

⇒ 正しく接続されているときは、＜ホストから応答がありました。＞と表示されます。



関連項目

- ▶ [IPv6 アドレスを設定する\(P. 36\)](#)
- ▶ [ネットワークの設定を確認する\(P. 39\)](#)

IPv6 アドレスを設定する

6AAS-00L



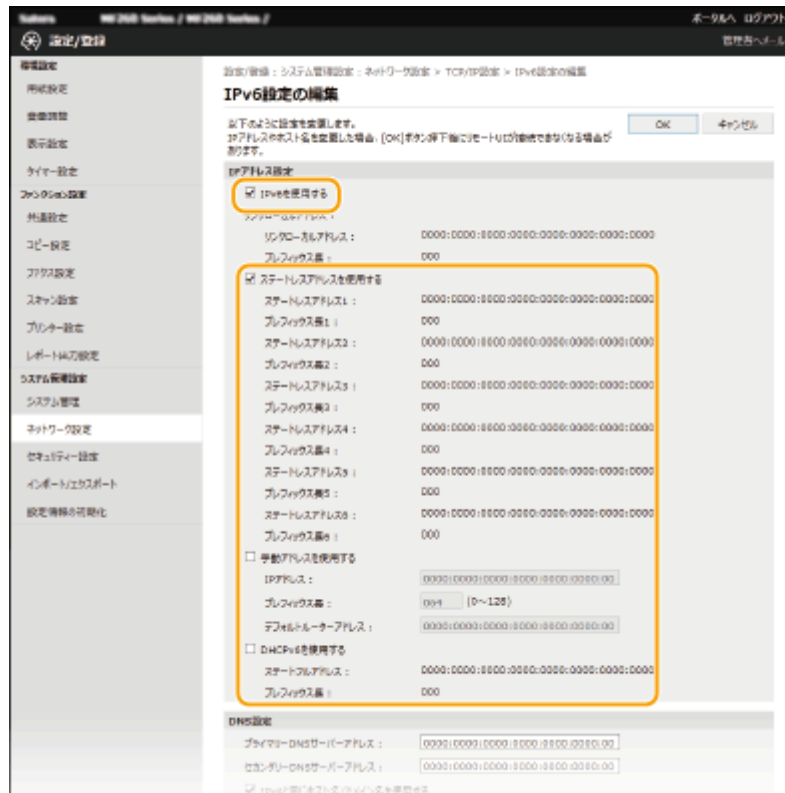
IPv6 アドレスはリモート UI を使って設定します。IPv6 アドレスを使うためには、IPv4 アドレスが適切に設定されている必要がありますのであらかじめ確認しておいてください（**▶IPv4 の設定を確認する(P. 39)**）。また、IPv6 環境ではスキャナードライバーや MF Scan Utility によるスキャンはできませんのでご注意ください。IPv6 は、次のような複数のアドレスを登録できます。

種類	解説
リンクローカルアドレス	同一リンク内でのみ使用できるアドレスです（ルーターを越える範囲の通信には使用できません）。IPv6 アドレスを使用するときは自動的に設定されます。
手動アドレス	手動で入力するアドレスです。プレフィックス長およびデフォルトルーターアドレスを指定します。
ステートレスアドレス	ルーターから通知されるプレフィックスと本機の MAC アドレスから自動生成されるアドレスです。本機の再起動（または電源 ON）時に破棄されます。
ステートフルアドレス	DHCPv6 を使って DHCP サーバーから取得します。



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、**▶本機の設定を変更する(P. 355)** を参照してください。

- 1** リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶リモート UI を起動する(P. 346)**
- 2** ポータルページで、[設定/登録] をクリックする **▶リモート UI の画面について(P. 347)**
- 3** [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] の順に進む
- 4** [IPv6 設定] の [編集] をクリックする
- 5** [IPv6 を使用する] にチェックマークを付け、必要な設定をする



[IPv6 を使用する]

本機で IPv6 を使用するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[ステートレスアドレスを使用する]

ステートレスアドレスを使用するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[手動アドレスを使用する]

アドレスを入力して設定するときはチェックマークを付け、[IP アドレス]、[プレフィックス長]、[デフォルトルーターアドレス] を入力します。

[IP アドレス]

IPv6 アドレスを入力します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）とループバックアドレス (::1) は入力できません。

[プレフィックス長]

ネットワークアドレス部の長さを入力します。

[デフォルトルーターアドレス]

必要に応じてデフォルトルーターをアドレスで指定します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）とループバックアドレス (::1) は入力できません。

[DHCPv6 を使用する]

スタートフルアドレスを使用するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

6 [OK] をクリックする



正しく設定できたか確認するには

- 本機の IPv6 アドレスを使ってリモート UI のログイン画面を表示できるか確認してください。▶ **リモート UI を起動する(P. 346)**

操作パネルで設定するとき

- <メニュー>画面のから IPv6 設定を行うこともできます。▶ **<IPv6 設定>(P. 379)**

プリンタードライバーをインストールしたあとに IP アドレスを変更したとき

- 新しいポートを追加する必要があります。▶ **印刷ポートの設定をする(P. 46)**



関連項目

- ▶ **IPv4 アドレスを設定する(P. 33)**
- ▶ **ネットワークの設定を確認する(P. 39)**

ネットワークの設定を確認する

6AAS-00R

- ▶ IPv4 の設定を確認する(P. 39)
- ▶ IPv6 の設定を確認する(P. 39)
- ▶ ダイレクト接続情報を確認する(P. 39)
- ▶ 有線 LAN の MAC アドレスを確認する(P. 39)
- ▶ 無線 LAN の MAC アドレスや設定情報を確認する(P. 40)



- IP アドレスが「0.0.0.0」と表示される場合は、適切にアドレス設定されていません。
- IP アドレスが正しく設定されていても、本機をスイッチングハブなどに接続しているとネットワークに接続されないことがあります。この場合は、本機の通信開始のタイミングを遅らせて接続しなおしてください。▶ **ネットワーク接続時の待機時間を設定する(P. 57)**
- ネットワークの設定情報は一覧形式で印刷できます。▶ **ユーザーデータリスト(P. 462)**

IPv4 の設定を確認する



 ▶ <ネットワーク情報> ▶ <IPv4> ▶ 確認したい項目を選択 ▶ 設定を確認

IPv6 の設定を確認する



 ▶ <ネットワーク情報> ▶ <IPv6> ▶ 確認したい項目を選択 ▶ 設定を確認

ダイレクト接続情報を確認する



 ▶ <ネットワーク情報> ▶ <ダイレクト接続情報> ▶ <接続詳細> ▶ 設定を確認

有線 LAN の MAC アドレスを確認する

1 <メニュー>画面を表示する ▶ ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

 を押す

2 <ネットワーク設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。▶システム管理暗証番号を設定する(P. 304)

3 <Ethernet ドライバー設定>を選ぶ

⇒ MAC アドレスが表示されます。

無線 LAN の MAC アドレスや設定情報を確認する

1 <メニュー>画面を表示する ▶ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

 を押す

2 <ネットワーク設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。▶システム管理暗証番号を設定する(P. 304)

3 <無線 LAN 設定>を選ぶ

- <無線 LAN を有効にしますか?>と表示されたら、<はい>を選びます。
- <現在のダイレクト接続が一度切断されます。よろしいですか?>と表示されたら、<はい>を選びます。

4 メッセージを確認し、< OK >を選ぶ

5 <無線 LAN 情報>を選ぶ

6 確認したい項目を選ぶ





MEMO

セキュリティ情報を確認する

- WEP や WPA/WPA2-PSK の情報を確認するには次の操作を行います。
＜セキュリティ設定＞ ▶ 表示されたセキュリティ規格を選択 ▶ 確認したい項目を選択

＜状況確認＞画面から確認する

- ＜無線 LAN 状態＞と＜最新のエラー情報＞を確認するだけであれば、からの操作も可能です。
 ▶ ＜ネットワーク情報＞ ▶ ＜ネットワーク接続方式＞ ▶ ＜接続情報＞ ▶ 確認したい項目を選択



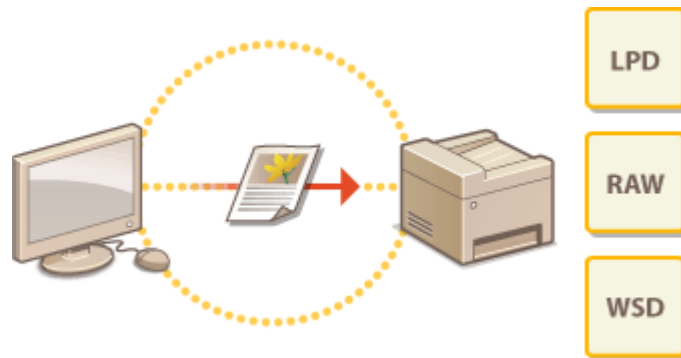
関連項目

- 🔗 無線 LAN に接続する (P. 18)
- 🔗 IPv4 アドレスを設定する (P. 33)
- 🔗 IPv6 アドレスを設定する (P. 36)
- 🔗 DNS の設定をする (P. 58)

パソコンとの通信設定をする

6AAS-00S

ネットワークを介して本機をパソコンから使用する場合、プロトコルやポートの設定を行うことができます。また、ネットワーク内にプリントサーバーを設けることも可能です。ただし、基本的な準備作業はあらかじめ済ませておいてください。詳しくは、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。



- ▶印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 43)
- ▶印刷ポートの設定をする(P. 46)
- ▶プリントサーバーを設定する(P. 50)

MEMO

- ここで説明するプロトコルは、パソコンと本機の間で文書データをやりとりするための方法で、用途やネットワーク環境に応じて使い分けます。
- ポートとは、ネットワーク機器の間でデータを受け渡しするいわば出入口に相当する部分です。ネットワーク接続で通信できないときは、このポートの設定に原因がある場合があります。

印刷プロトコルや Web サービスの設定をする

6AAS-00U

パソコンから文書を印刷するときに使用する印刷プロトコルの設定をします。



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、**▶本機の設定を変更する(P. 355)** を参照してください。

- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶リモート UI を起動する(P. 346)**
- 2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする **▶リモート UI の画面について(P. 347)**
- 3 [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] の順に進む
- 4 印刷プロトコルの設定をする

■LPD または RAW の設定をする

- 1 [LPD 印刷設定] または [RAW 印刷設定] の [編集] をクリックする
- 2 必要に応じて設定する



[LPD 印刷を使用する]

LPD を使用して印刷するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[RAW 印刷を使用する]

RAW を使用して印刷するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

- 3 [OK] をクリックする

■WSD の設定をする

- 1 [WSD 設定] の [編集] をクリックする
- 2 必要に応じて設定する



[WSD 印刷を使用する]

WSD を使用して印刷するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[WSD 参照を使用する]

WSD を使用してパソコンから本機の情報を取得するときはチェックマークを付けます。[WSD 印刷を使用する] にチェックマークが付いているときは必ずチェックマークが付きます。

[WSD スキャンを使用する]

WSD スキャンは、スキャナードライバーをインストールしていないパソコンにも文書をスキャンして取り込むことができます。WSD を使用してスキャンを行うときはチェックマークを付けます。

[PC スキャンを使用する]

WSD スキャンを操作パネルからの操作で行うときはチェックマークを付けます。[WSD スキャンを使用する] にチェックマークが付いているときだけチェックマークを付けることができます。スキャンするときはホーム画面で<スキャン>を選ぶか  (コピー/スキャン) キーを押して、WSD で接続中のパソコンを保存先として指定します ( **スキャンしてパソコンに保存する(P. 244)**)。

[マルチキャスト探索を使用する]

マルチキャストによる本機の探索に対して応答するときは、チェックマークを付けます。チェックマークを外すと、本機がスリープ中にマルチキャスト探索パケットを受信してもスリープ状態を維持します。

3 [OK] をクリックする



操作パネルで設定するとき

- <メニュー>画面から、LPD、RAW、および WSD の設定を行うこともできます。
 -  < LPD 印刷の設定>(P. 380)
 -  < RAW 印刷の設定>(P. 381)
 -  < WSD の設定>(P. 381)

WSD ネットワークデバイスを追加する

- WSD ネットワークデバイスは、プリンターフォルダーから追加できます。プリンターフォルダーを開き ( **プリンターフォルダーの表示方法(P. 571)**)、[デバイスの追加] または [プリンターの追加] をクリックしたあと、画面の指示に従ってください。WSD ネットワークでドライバーをインストールする方法については、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。

ポート番号を変更するには

- 印刷プロトコルのポート番号は、本機側とパソコン側の設定を同じにする必要があります。

- ▶印刷ポートの設定をする(P. 46)
- ▶ポート番号を変更する(P. 316)



関連項目

- ▶印刷ポートの設定をする(P. 46)

印刷ポートの設定をする

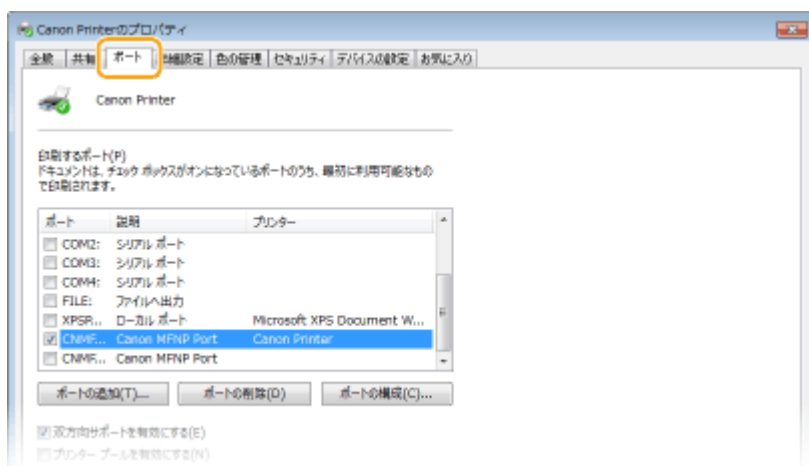
6AAS-00W

本機の IP アドレスが変更されたり、Windows のプリンターフォルダーでプリンターを追加したりすると、パソコンから文書を印刷しようとしてもエラーが発生して印刷できないことがあります。これは「パソコン側でプリンタードライバーに設定した印刷ポートの種類や番号が間違っている」など、印刷ポートの設定に問題がある場合に発生するトラブルです。このような場合は、パソコンから印刷ポートの設定を行ってください。



- ここでの操作をするには、管理者のアカウントでパソコンにログインしている必要があります。

- 1 プリンターフォルダーを開く ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 571)
- 2 本機のドライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする
- 3 [ポート] タブをクリックし、必要な設定をする



■ポートを追加する

本機の IP アドレスを変更した場合や、ドライバーを Windows のプリンターフォルダーからインストールした際に正しいポートを選択しなかった場合などは、新しいポートを追加します。ポートには、「MFNP ポート」と「標準 TCP/IP ポート」の 2 つがあります。お使いの環境などに合わせて追加するポートの種類を選んでください。

MFNP ポート
(IPv4 環境のみ)

本機の IP アドレスを自動検出することができるポートです。本機の IP アドレスを変更しても本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続は維持されます。そのため、IP アドレスを変更するたびに新しいポートを追加する必要はありません。IPv4 環境で本機をお使いの場合、通常はこちらを選んでください。



	ドライバーを付属の CD-ROM/DVD-ROM からインストールした場合や、キヤノンホームページからダウンロードしてインストールした場合にのみ追加することができます。
標準 TCP/IP ポート	Windows に標準搭載されているポートです。本機の IP アドレスを変更したときは、その都度新しいポートを追加する必要があります。IPv6 環境で本機をお使いの場合や、MFNP ポートを追加できない場合に選びます。

MFNP ポートを追加する場合

- 1 [ポートの追加] をクリックする
- 2 [利用可能なポートの種類] で [Canon MFNP Port] を選び、[新しいポート] をクリックする
- 3 [自動検出] を選び、本機が表示されたらそれを選択したあと、[次へ] をクリックする



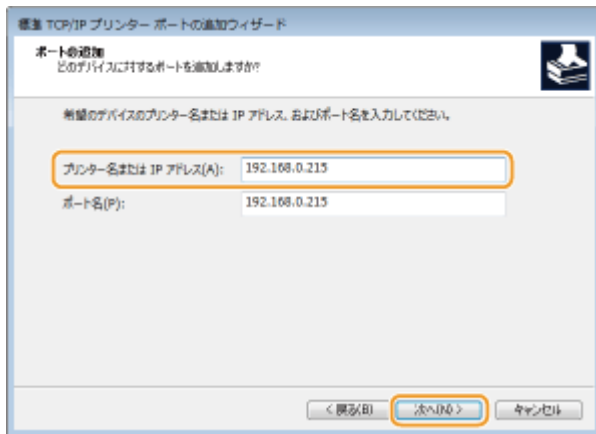
本機が表示されないとき

- [更新] をクリックします。それでも表示されないときは、[IP アドレス] または [MAC アドレス] を選び、本機の IP アドレスまたは MAC アドレス（**ネットワークの設定を確認する(P. 39)**）を入力してから [次へ] をクリックします。

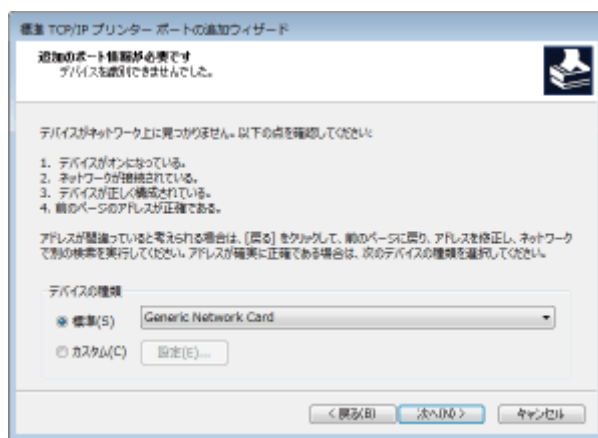
- 4 [追加] ▶ [完了] をクリックする
- 5 [閉じる] をクリックする

標準 TCP/IP ポートを追加する場合

- 1 [ポートの追加] をクリックする
- 2 [利用可能なポートの種類] で [Standard TCP/IP Port] を選び、[新しいポート] をクリックする
- 3 [次へ] をクリックする
- 4 本機の IP アドレスまたは DNS 名を入力し、[次へ] をクリックする
 - [ポート名] は自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。



- 次の画面が表示されたときは、画面の指示に従ってください。



* [デバイスの種類] を設定する場合は、[標準] の [Canon Network Printing Device with P9100] を選んでください。

- 5 [完了] をクリックする
- 6 [閉じる] をクリックする

■ポートの種類や番号を変更する

本機側で印刷プロトコル（LPD または RAW）の設定を変更した場合（**印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 43)**）やポート番号を変更した場合（**ポート番号を変更する(P. 316)**）は、パソコン側の設定も同じ内容に変更します。なお、WSD ポートの場合、この操作は不要です。

MFNP ポートの場合

- 1 [ポートの構成] をクリックする
- 2 [プロトコル] で [RAW] または [LPR] を選び、[ポート番号] を変更する
- 3 [OK] をクリックする

標準 TCP/IP ポートの場合

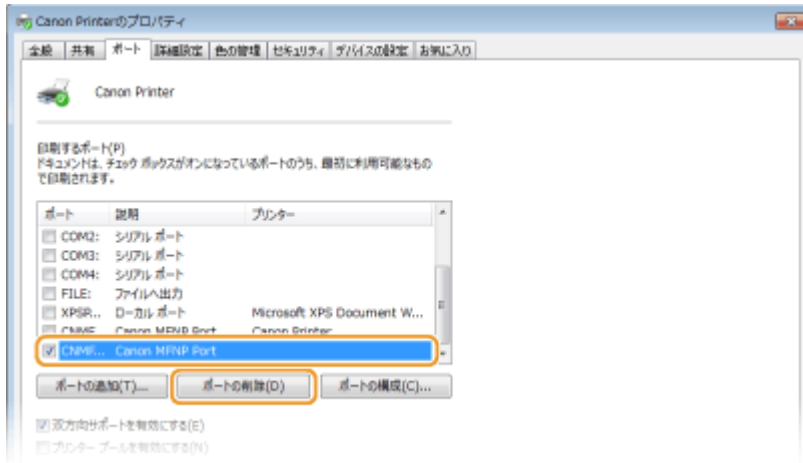
- 1 [ポートの構成] をクリックする
- 2 [プロトコル] で [Raw] または [LPR] を選ぶ

- [Raw] を選んだときは [ポート番号] を変更します。
- [LPR] を選んだときは [キュー名] に「lp」と入力します。

3 [OK] をクリックする

■ポートを削除する

1 削除したいポートを選び、[ポートの削除] をクリックする



- 使用中のポートは削除できません。本機で使用するポートを選択 [適用] をクリックし、使用するポートを別のポートに変更してから削除してください。

2 [OK] をクリックする

4 [閉じる] をクリックする



関連項目

- [プリントサーバーを設定する\(P. 50\)](#)

プリントサーバーを設定する

6AAS-00X

プリントサーバーを設定すると、印刷を行うパソコンにかかる負荷を軽減できます。ネットワークを介して他のパソコンにもドライバーをインストールできるようになりますので、パソコンごとに CD-ROM/DVD-ROM からドライバーをインストールする手間も省けます。プリントサーバーにするパソコンをネットワーク内から選び、そのパソコンに対してプリンターの共有設定を行います。



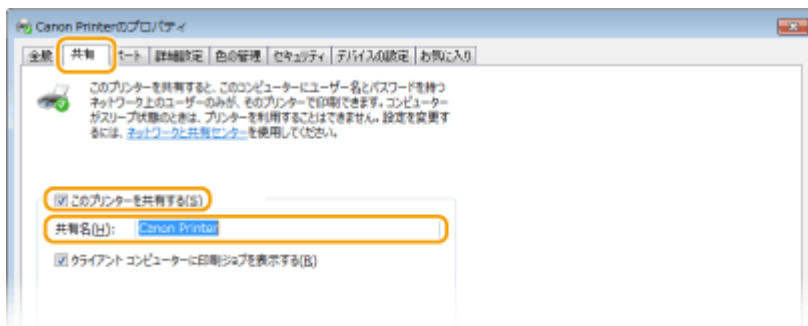
● **ご注意**

- ここでの操作をするには、管理者のアカウントでパソコンにログインしている必要があります。
- プリントサーバーの OS とパソコンの OS が 32 ビット版と 64 ビット版とで異なる場合、ネットワークを介したドライバーのインストールができないことがあります。
- ドメイン環境でプリントサーバーを設定する場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

1 プリンターフォルダーを開く ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 571)

2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする

3 [共有] タブをクリックし、[このプリンターを共有する] を選んだあと、共有名を入力する



MEMO

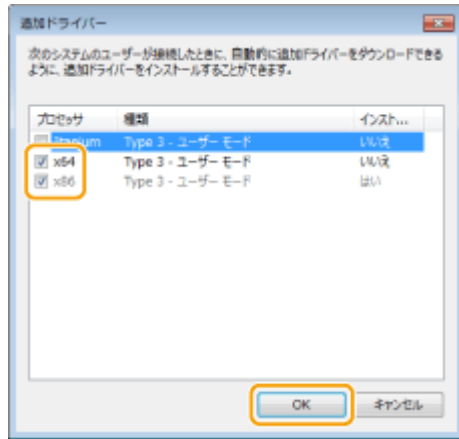
- [共有オプションの変更] ボタンが表示されているときは、ボタンをクリックします。

4 必要に応じて追加ドライバーをインストールする

- この作業は、プリントサーバーとはプロセッサバージョン（32 ビット／64 ビット）が異なるパソコンに、プリントサーバーを介してプリンタードライバーをインストールしたいときに必要です。

1 [追加ドライバー] をクリックする

2 追加ドライバーを選び、[OK] をクリックする



- 追加ドライバーはプリントサーバーの OS に応じて、次のように選択してください。

プリントサーバー	選択する追加ドライバー
32 ビット版 OS	[x64] にチェックマークを付けます。
64 ビット版 OS	[プロセッサ] が [x86] の項目にチェックマークを付けます。



- 32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかがわからないときは、[▶ プロセッサバージョンの確認方法 \(P. 574\)](#) を参照してください。

- 付属の CD-ROM/DVD-ROM をセットし、[参照] をクリックしてドライバーが収録されているフォルダーを指定したあと、[OK] をクリックする
 - プリントサーバーが 32 ビット版 OS の場合は、CD-ROM/DVD-ROM 内の [intdrv] ▶ [CARPS2] ▶ [x64] ▶ [Driver] フォルダーを指定します。
 - プリントサーバーが 64 ビット版 OS の場合は、CD-ROM/DVD-ROM 内の [intdrv] ▶ [CARPS2] ▶ [32BIT] ▶ [Driver] フォルダーを指定します。
- 画面の指示に従って追加ドライバーをインストールする

5 [OK] をクリックする

■ プリントサーバーを介してパソコンにドライバーをインストールする

- プリントサーバーの共有プリンターを表示する [▶ プリントサーバー内の共有プリンターの表示方法 \(P. 572\)](#)
- 共有プリンターをダブルクリックする
- 画面の指示に従ってドライバーをインストールする



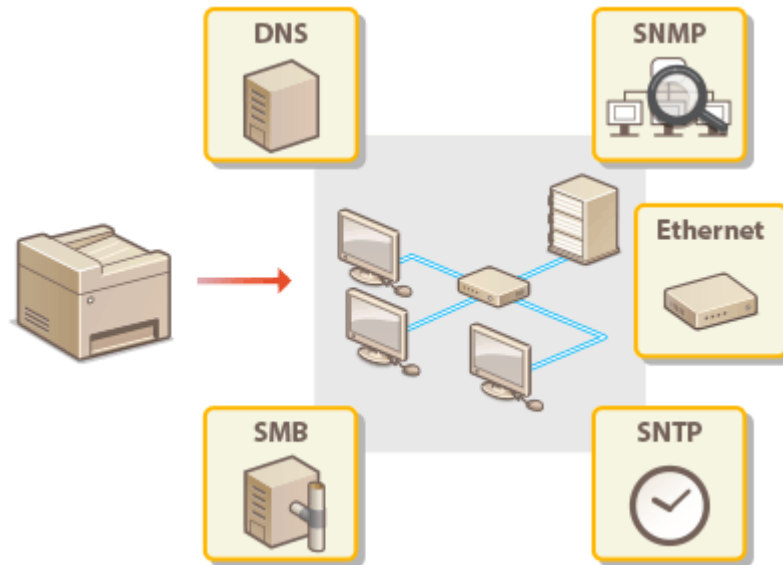
関連項目

▶ **パソコンから印刷する(P. 233)**

使用するネットワーク環境に合わせる

6AAS-00Y

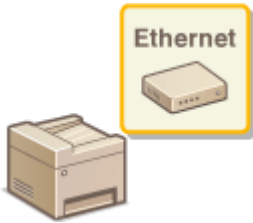
ネットワークの規模や形態は、目的用途によってさまざまです。本機はできるかぎり多くの環境に適合するよう、多様な技術を取り入れています。あらかじめネットワーク管理者にご相談のうえ、お使いの環境に合わせて必要な設定を行ってください。



- ▶ Ethernet の設定をする(P. 54)
- ▶ 送信パケットの最大サイズを変更する(P. 56)
- ▶ ネットワーク接続時の待機時間を設定する(P. 57)
- ▶ DNS の設定をする(P. 58)
- ▶ SMB の設定をする(P. 62)
- ▶ SNMP で監視／制御する(P. 64)
- ▶ SNTP の設定をする(P. 68)

Ethernet の設定をする

6AAS-010



Ethernet は LAN 内の通信方法を定めた規格です。本機では通信方式や Ethernet の種類を設定できます。通常は初期値（▶< Ethernet ドライバー設定> (P. 384)）のままで使用できますが、お使いの環境に合うよう、必要に応じて変更してください。

1 <メニュー>画面を表示する ▶ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

を押す

2 <ネットワーク設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。▶システム管理暗証番号を設定する(P. 304)

3 < Ethernet ドライバー設定> ▶ <自動検出>の順に進む

4 自動または手動の設定をする

- 自動検出する設定にすると、使用できる Ethernet の通信方式や種類が検出されて自動的に設定されます。

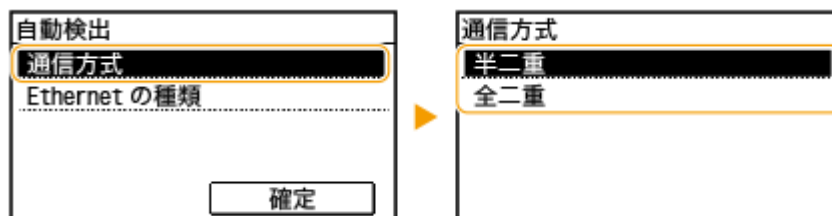


■Ethernet の設定を自動検出する

<自動検出>で< ON >を選びます。

■Ethernet の設定を手動でする

- 1 自動検出しないように設定する
<自動検出>で< OFF >を選びます。
- 2 <通信方式> 通信方式を選ぶ



<半二重>

送信／受信を交互に行います。接続するルーターが半二重通信を使うように設定されているときに選びます。

<全二重>

送信／受信を同時に行います。通常はこちらを選んでください。

3 < Ethernet の種類 > ▶ Ethernet の種類を選ぶ

4 < 確定 > を選ぶ



関連項目

- ▶ 送信パケットの最大サイズを変更する (P. 56)
- ▶ ネットワーク接続時の待機時間を設定する (P. 57)

送信パケットの最大サイズを変更する

6AAS-011

Ethernet ネットワークで送信できるパケットの最大サイズは通常 1,500 バイトです。「パケット」とはデータの小さなまとまりのことで、データはいくつかのパケットに分割されて送信されます。送信パケットサイズはお使いの環境によって異なる場合がありますので、必要に応じて本機の設定を変更してください。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 <メニュー>画面を表示する ◀ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

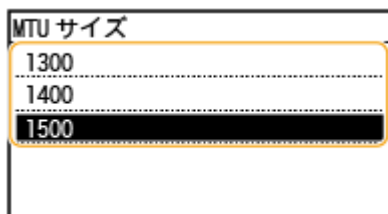
 を押す

2 <ネットワーク設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。▶システム管理暗証番号を設定する(P. 304)

3 < TCP/IP 設定> ▶ < MTU サイズ>の順に進む

4 パケットの最大サイズを選ぶ



MTU サイズ
1300
1400
1500



関連項目

- ▶Ethernet の設定をする(P. 54)
- ▶ネットワーク接続時の待機時間を設定する(P. 57)

ネットワーク接続時の待機時間を設定する

6AAS-012

スイッチングハブなどを数台つないでネットワークの冗長化を図った場合、パケットのループを回避するための仕組みが必要となります。そのためにはスイッチポートの役割決めが有効ですが、ネットワークに新しく機器を追加するなどの変更を行った直後はうまく通信できないことがあります。このようなネットワークに本機を接続するときは、通信開始までの待機時間を設定します。

1 <メニュー>画面を表示する ◀ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機



を押す

2 <ネットワーク設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。 ▶システム管理暗証番号を設定する(P. 304)

3 <起動時の接続待機時間>を選ぶ

4 ネットワークとの通信を開始するまでの待機時間を入力し、<確定> () を押す



関連項目

▶Ethernet の設定をする(P. 54)

▶送信パケットの最大サイズを変更する(P. 56)

DNS の設定をする

6AAS-013

DNS (Domain Name System) は、ホスト名 (ドメイン名) と IP アドレスを対応させる名前解決サービスです。お使いのネットワークに応じて DNS や mDNS、DHCP オプションの設定を行います。IPv4 と IPv6 とで設定が分かれていますのでご注意ください。



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、**▶ 本機の設定を変更する (P. 355)** を参照してください。

- 1** リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶ リモート UI を起動する (P. 346)**
- 2** ポータルページで、[設定/登録] をクリックする **▶ リモート UI の画面について (P. 347)**
- 3** [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] の順に進む
- 4** DNS の設定をする

■IPv4 の DNS を設定する

- 1** [IPv4 設定] の [編集] をクリックする
- 2** IPv4 の DNS を設定する

a [DNS 設定]

[プライマリー DNS サーバーアドレス]

DNS サーバーの IP アドレスを入力します。

[セカンダリー DNS サーバーアドレス]

セカンダリー DNS サーバーがあるときは、その IP アドレスを入力します。

[ホスト名]

DNS サーバーに登録するホスト名を半角英数字で入力します。

[ドメイン名]

本機が属するドメイン名を半角英数字で入力します（入力例：「example.com」）。

[DNS の動的更新をする]

DHCP 環境などで、ホスト名と IP アドレスの対応付けが変更されたときに自動更新するにはチェックマークを付けます。更新間隔を変更するときは、[DNS の動的更新間隔] に時間単位で入力します。

b [mDNS 設定]

[mDNS を使用する]

mDNS (multicast DNS) は DNS を使わずにホスト名を解決するプロトコルで、Bonjour などに採用されています。使用するときはチェックマークを付け、[mDNS 名] を入力します。

c [DHCP オプション設定]

[ホスト名を取得する]

DHCP サーバーからホスト名を取得する（オプション 12 を有効にする）ときはチェックマークを付けます。

[DNS の動的更新をする]

本機に代わって DHCP サーバーにホスト名の対応付けの情報を自動更新させる（オプション 81 を有効にする）ときはチェックマークを付けます。

[SMTP サーバーアドレスを取得する]

DHCP サーバーから SMTP サーバーアドレスを取得する（オプション 69 を有効にする）ときはチェックマークを付けます。

[POP サーバーアドレスを取得する]

DHCP サーバーから POP3 サーバーアドレスを取得する（オプション 70 を有効にする）ときはチェックマークを付けます。

3 [OK] をクリックする

■IPv6 の DNS を設定する

1 [IPv6 設定] の [編集] をクリックする

2 IPv6 の DNS を設定する

- [IPv6 を使用する] にチェックマークが付いていないときは設定できません。▶**IPv6 アドレスを設定する (P. 36)**



a [DNS 設定]

[プライマリー DNS サーバーアドレス]

DNS サーバーの IP アドレスを入力します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）は入力できません。

[セカンダリー DNS サーバーアドレス]

セカンダリー DNS サーバーがあるときは、その IP アドレスを入力します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）は入力できません。

[IPv4 と同じホスト名/ドメイン名を使用する]

IPv4 と同じ設定にするとときはチェックマークを付けます。

[ホスト名]

DNS サーバーに登録するホスト名を半角英数字で入力します。

[ドメイン名]

本機が属するドメイン名を半角英数字で入力します（入力例：「example.com」）。

[DNS の動的更新をする]

DHCP 環境などで、ホスト名と IP アドレスの対応付けが変更されたときに自動更新するにはチェックマークを付けます。DNS サーバーに登録したいアドレスの種類を指定するときは、必要に応じて [手動アドレスを登録する]、[ステートフルアドレスを登録する]、または [ステートレスアドレスを登録する] にチェックマークを付けます。更新間隔を変更するときは、[DNS の動的更新間隔] に時間単位で入力します。

b [mDNS 設定]

[mDNS を使用する]

mDNS (multicast DNS) は DNS を使わずにホスト名を解決するプロトコルで、Bonjour などに採用されています。使用するときはチェックマークを付けます。

[IPv4 と同じ mDNS 名を使用する]

IPv4 と同じ設定にするとときはチェックマークを付けます。別に設定するときは、チェックマークを外して [mDNS 名] を入力します。

3 [OK] をクリックする



操作パネルで設定するとき

- <メニュー>画面から DNS 設定を行うこともできます。
 - ▶< IPv4 設定>(P. 377)
 - ▶< IPv6 設定>(P. 379)

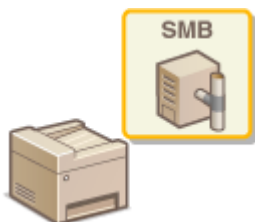


関連項目

- ▶IPv4 アドレスを設定する(P. 33)
- ▶IPv6 アドレスを設定する(P. 36)
- ▶ネットワークの設定を確認する(P. 39)

SMB の設定をする

6AAS-014



SMB は、ネットワーク内の複数デバイス間でファイルやプリンターを共有するためのプロトコルで、本機ではスキャンした文書を共有フォルダーに保存するときなどに使用します。お使いのネットワーク環境によっては、NetBIOS 名とワークグループ名の設定が必要です。

NetBIOS 名

NetBIOS を使った Windows ネットワークで、接続されたパソコンやファイルサービスなどの各種ネットワークサービスを識別するための名前が NetBIOS 名です。パソコンの場合は通常、コンピューター名が NetBIOS 名になります。

ワークグループ名

Windows ネットワークでファイル共有などの基本的な機能を使用するために、複数のパソコンをグループ分けするための名前がワークグループ名です。どのワークグループに所属するのかを設定します。



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、**▶ 本機の設定を変更する(P. 355)** を参照してください。

- 1** リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶ リモート UI を起動する(P. 346)**
- 2** ポータルページで、[設定/登録] をクリックする **▶ リモート UI の画面について(P. 347)**
- 3** [ネットワーク設定] ▶ [SMB 設定] の順に進む
- 4** [編集] をクリックする
- 5** 必要な情報を入力する



[NetBIOS 名]

本機の NetBIOS 名を半角英数字で入力します。

[ワークグループ名]

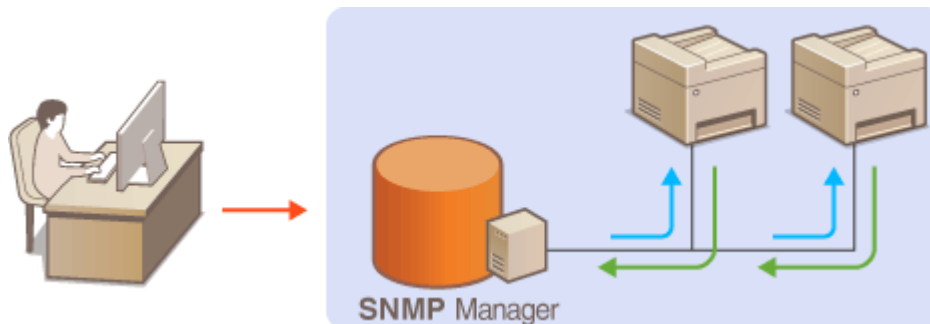
本機が所属するワークグループ名を半角英数字で入力します。

6 [OK] をクリックする

SNMP で監視／制御する

6AAS-015

Simple Network Management Protocol (SNMP) は、MIB と呼ばれる管理情報データベースをもとに、ネットワーク上の通信機器を監視・制御するためのプロトコルです。本機は SNMPv1 と、セキュリティ機能が強化された SNMPv3 に対応しており、印刷するときやリモート UI を使用するときなどにパソコンから本機の状態を確認できます。SNMPv1 と SNMPv3 はいずれか一方を使用することも、両方を併用することもできます。使用目的や環境に合わせてそれぞれの設定を行ってください。



SNMPv1

SNMPv1 はコミュニティ名と呼ばれる情報で通信範囲を決定しますが、コミュニティ名は平文でネットワークに流されるため、セキュリティ面では脆弱です。安全性を確保したい場合は SNMPv1 を無効にし、SNMPv3 を利用してください。

SNMPv3

SNMPv3 を使用すると、強固なセキュリティ機能を持つネットワーク機器管理を実現できます。設定はリモート UI から行います。あらかじめ TLS を有効にしておいてください（[🔴 TLS 用の鍵と証明書を設定する \(P. 319\)](#)）。



- 本機の SNMP は、Trap 通知には対応していません。
- SNMP のポート番号を変更するとき [🔴 ポート番号を変更する \(P. 316\)](#)
- SNMP 管理ソフトウェアが利用できる場合は、これをインストールしたパソコンから本機の設定や監視、制御ができます。詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、[🔴 本機の設定を変更する \(P. 355\)](#) を参照してください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [🔴 リモート UI を起動する \(P. 346\)](#)

2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする [🔴 リモート UI の画面について \(P. 347\)](#)

3 [ネットワーク設定] ▶ [SNMP 設定] の順に進む

4 [編集] をクリックする

5 SNMPv1 の設定をする

- SNMPv1 設定を変更しないときは、次の手順に進みます。



〔SNMPv1 を使用する〕

SNMPv1 を使用するときはチェックマークを付けます。このチェックマークが付いていないと SNMPv1 の他の項目は設定できません。

〔コミュニティ名 1 を使用する〕 / 〔コミュニティ名 2 を使用する〕

コミュニティ名を指定するときはチェックマークを付けます。指定しないときはチェックマークを外してください。

〔コミュニティ名〕

コミュニティ名を半角英数字で入力します。

〔MIB アクセス権限〕

それぞれのコミュニティについて、MIB のアクセス権限を〔読み/書込〕または〔読みのみ〕から選びます。

〔読み/書込〕	MIB のオブジェクトへの読み込みと書き込みの両方を許可します。
〔読みのみ〕	MIB のオブジェクトへの読み込みだけを許可します。

〔専用コミュニティを使用する〕

専用コミュニティはキヤノンのソフトウェアを使用する管理者用に用意されたコミュニティです。専用コミュニティを使用するときはチェックマークを付け、〔MIB アクセス権限〕を指定します。使用しないときはチェックマークを外してください。

6 SNMPv3 の設定をする

- SNMPv3 設定を変更しないときは、次の手順に進みます。

【SNMPv3 を使用する】

SNMPv3 を使用するときにはチェックマークを付けます。このチェックマークが付いていないと SNMPv3 の他の項目は設定できません。

【このユーザーを有効にする】

【ユーザー設定 1】 / 【ユーザー設定 2】 / 【ユーザー設定 3】 を有効にするときはチェックマークを付けます。無効にするときはチェックマークを外してください。

【ユーザー名】

ユーザー名を半角英数字で入力します。

【MIB アクセス権限】

MIB のアクセス権限を、[読込/書込] または [読込のみ] から選びます。

[読込/書込]	MIB のオブジェクトへの読み込みと書き込みの両方を許可します。
[読込のみ]	MIB のオブジェクトへの読み込みだけを許可します。

【セキュリティ設定】

認証と暗号化の有無の組み合わせを、[認証あり/暗号化あり]、[認証あり/暗号化なし] または [認証なし/暗号化なし] から選びます。

【認証アルゴリズム】

【セキュリティ設定】 で [認証あり/暗号化あり] または [認証あり/暗号化なし] を選んだ場合に、お使いの環境に応じた認証アルゴリズムを選択します。

【暗号化アルゴリズム】

【セキュリティ設定】 で [認証あり/暗号化あり] を選んだ場合に、お使いの環境に応じた暗号化アルゴリズムを選択します。

【パスワードを設定/変更する】

パスワードを設定または変更するときはチェックマークを付け、[認証パスワード] または [暗号化パスワード] と [確認入力] の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。使用するアルゴリズム（認証／暗号化）ごとに設定します。

【コンテキスト名 1】 / 【コンテキスト名 2】 / 【コンテキスト名 3】

3 件までのコンテキスト名を、半角英数字で入力します。

7 プリンター管理情報取得の設定をする

- SNMP を使ってネットワーク上のパソコンから、印刷プロトコルやポートなどのプリンター管理情報を定期的に取り得ます。



【ホストからプリンター管理情報を取得する】

SNMP を使って本機のプリンター管理情報を監視するときはチェックマークを付けます。監視しない場合はチェックマークを外してください。

8 [OK] をクリックする



SNMPv1 を使用しないとき

- プリンタードライバによる本機からの情報取得など、一部の機能が使用できなくなります。

操作パネルで設定するとき

- <メニュー>画面から SNMPv1 設定を行ったり、SNMPv3 設定を有効／無効に切り替えたりすることもできます。
▶ <SNMP 設定>(P. 382)

SNMPv1 と SNMPv3 を併用するとき

- SNMPv1 の MIB アクセス権限を「読込み」に設定することをおすすめします。MIB へのアクセス権限は SNMPv1 と SNMPv3 で別々に設定できます（SNMPv3 ではさらにユーザーごとにも設定できます）が、SNMPv1 で「読込/書込」（フルアクセス権限）を設定すると本機のほぼすべての操作ができるため、SNMPv3 の特徴である強固なセキュリティ機能を生かすことができません。



- ▶ TLS 用の鍵と証明書を設定する(P. 319)

SNTP の設定をする

6AAS-016

SNTP はネットワーク上のタイムサーバーを基準にして時刻を調整するためのプロトコルです。SNTP を使うと一定間隔でタイムサーバーを確認するので、常に正確な時刻を保つことができます。協定世界時（UTC）を基準に動作するので、時差（タイムゾーン）をあらかじめ設定しておいてください（[🔴日付／時刻を設定する\(P. 12\)](#)）。SNTP の設定はリモート UI を使っています。



- NTP サーバー（NTPv3）と SNTP サーバー（SNTPv3 および v4）の両方に対応しています。
- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、[🔴本機の設定を変更する\(P. 355\)](#) を参照してください。

- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [🔴リモート UI を起動する\(P. 346\)](#)
- 2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする [🔴リモート UI の画面について\(P. 347\)](#)
- 3 [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] の順に進む
- 4 [SNTP 設定] の [編集] をクリックする
- 5 [SNTP を使用する] にチェックマークを付け、必要な情報を入力する



[SNTP を使用する]

チェックマークを付けると SNTP を使用して時刻調整を行います。使用しないときはチェックマークを外してください。

[NTP サーバー名]

NTP または SNTP サーバーの IP アドレスを入力します。DNS サーバーを利用できるときは、IP アドレスの代わりにホスト名（または FQDN）を半角英数字で入力することもできます（入力例：「ntp.example.com」）。

[ポーリング間隔]

何時間おきに時刻を調整するかを入力します。

6 [OK] をクリックする



NTP/SNTP サーバーと通信できるか確認するには

- 登録したサーバーとの通信状況を確認するときは、[設定/登録] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [SNTP 設定] の [NTP サーバー確認] をクリックします。正しく接続されているときは下の画面のように表示されます（ただし、このときは通信状況を確認するだけで、時刻合わせは行いません）。

SNTP設定

編集...

SNTPの使用: ON

NTPサーバー名: NTP Server

ポーリング間隔: 24時間

NTPサーバー確認

NTPサーバー確認

ドライバーをインストールする

6AAS-017

各種ドライバー、関連ソフトウェアなどをパソコンにインストールします。

1 インストールする前に準備する

- CD-ROM/DVD-ROM が付属する場合は、パソコンに CD-ROM/DVD-ROM をセットしてください。
- ドライバーやソフトウェアをダウンロードする場合は、キヤノンホームページ (<https://global.canon/>) からお使いになるドライバーやソフトウェアをダウンロードしてください。



- ドライバーやソフトウェアの最新版は、キヤノンホームページに随時掲載されます。動作環境などをご確認のうえ、必要に応じてダウンロードしてください。
- お使いの機種や環境によっては、一部の機能をお使いいただけないことがあります。
- OS によっては一部対応していないドライバーもあります。最新の OS の対応状況については、キヤノンホームページでご確認ください。

2 インストールを実行する

- インストール方法について詳しくは、お使いになるドライバーやソフトウェアのマニュアルを参照してください。



- [ファイアウォール設定] で送受信を許可されていない IP アドレスの場合、ドライバーをインストールできません。詳しくは、**▶IP アドレスでファイアウォールを設定する(P. 311)** を参照してください。
- ドライバーをインストールしたパソコンの IP アドレスが [IP アドレスフィルター] で受信を許可されなくなった場合、そのパソコンから印刷またはファクス送信は行えません。

ファクスの設定をする

6AAS-018

Step 1 ～ 4 の順でファクス設定を行います。はじめに用途に合ったファクスの受信方法を確認し、そのあとは画面の指示に従って登録と設定をします。下のリンクをクリックして該当するページに飛び、詳細を確認してください。

Step 1**▶ファクスの用途を確認する(P. 72)****Step 2****▶ファクス番号とユーザー略称を登録する(P. 73)****Step 3****▶受信モードを設定する(P. 74)****Step 4****▶電話回線に接続する(P. 75)**

ファクスの用途を確認する

6AAS-019

ファクスの受信方法には次の4つがあります。ファクスの設定をする前に、用途に合った受信モードを確認してください。

用途	受信モード	
ファクスしか使わない／通話はしない 	<自動受信> ファクス受信専用ですので通話はできません。電話機やオプションのハンドセットは接続しません。	
おもに通話する／ファクスはほとんど使わない 	<手動受信> 電話機またはハンドセットを接続して使います。おもに通話するときの設定ですが、相手がファクスの場合でも手動で受信可能です。	
ファクスも電話も使う 	留守番電話機を使う	<留守 TEL 接続> 留守番電話機を接続します。不在のときにかかってきた電話は、留守番電話に録音します。また、ファクスの場合は自動的に受信します。
	一般の電話機またはハンドセットを使う	<FAX/TEL 切替> 電話機またはハンドセットを接続します。ファクスの場合は自動的に受信し、電話がかかってきたときは呼び出し音が鳴ります。



- 接続する電話機の種類によっては、発信や着信が正常にできないことがあります。

≫ 続いて、▶ **ファクス番号とユーザー略称を登録する(P. 73)** に進む



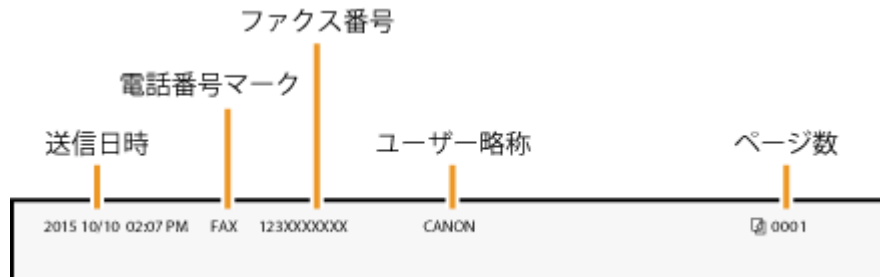
関連項目

▶ **ファクスを受信する(P. 212)**

ファクス番号とユーザー略称を登録する

6AAS-01A

発信元のファクス番号とユーザー略称を登録します。これらの情報は、相手がファクスを受信したときに、出力紙の上部に印刷されます。



1 ホーム画面で、＜メニュー＞を選ぶ ホーム画面(P. 113)

2 ＜ファクス設定＞ ＜ファクス設定ナビ＞の順に進む

3 ＜設定する＞を選ぶ

4 ＜次へ＞を選ぶ

5 ファクス番号を入力し、＜確定＞を選ぶ

6 ＜次へ＞を選ぶ

7 ユーザー略称（名前や会社名など）を入力し、＜確定＞を選ぶ

- 文字の入力方法については、 **文字を入力する(P. 126)** を参照してください。
- ⇒ ユーザー略称の登録が終わると、受信モードを設定する画面が表示されます。

≫ 続いて、 **受信モードを設定する(P. 74)** に進む



関連項目

ファクスを受信する(P. 212)

受信モードを設定する

6AAS-01C

あらかじめ **●ファクスの用途を確認する(P. 72)** で確認した受信モードを、ここで設定します。

1 <次へ>を選ぶ

2 受信モードを選ぶ

- 用途に応じて、<はい>または<いいえ>を選んで受信モードを選択します。

■<自動受信>にする場合

<いいえ>を選ぶ

■<留守 TEL 接続>にする場合

<はい> ▶ <はい>の順に進む

■<FAX/TEL 切替>にする場合

<はい> ▶ <いいえ> ▶ <はい>の順に進む

■<手動受信>にする場合

<はい> ▶ <いいえ> ▶ <いいえ>の順に進む

3 <確定>を選ぶ

▶▶ 受信モードの設定が終わると、電話回線の接続方法が表示されます。

▶▶ 続いて、**●電話回線に接続する(P. 75)** に進む



関連項目

●ファクスを受信する(P. 212)

電話回線に接続する

6AAS-01E

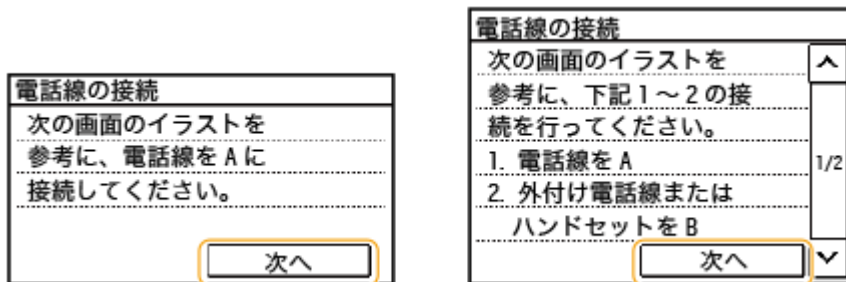
本機を電話回線に接続します。



- 本機は NTT のアナログ回線に準拠しており、一般の加入電話回線のみ接続できます。ビジネスホンなどを接続している専用回線に接続すると故障の原因となる場合があります。必ず回線を確認してから接続してください。また、光回線（ひかり電話）や ADSL に接続する場合は、光回線や IP 電話の事業者にお問い合わせください。

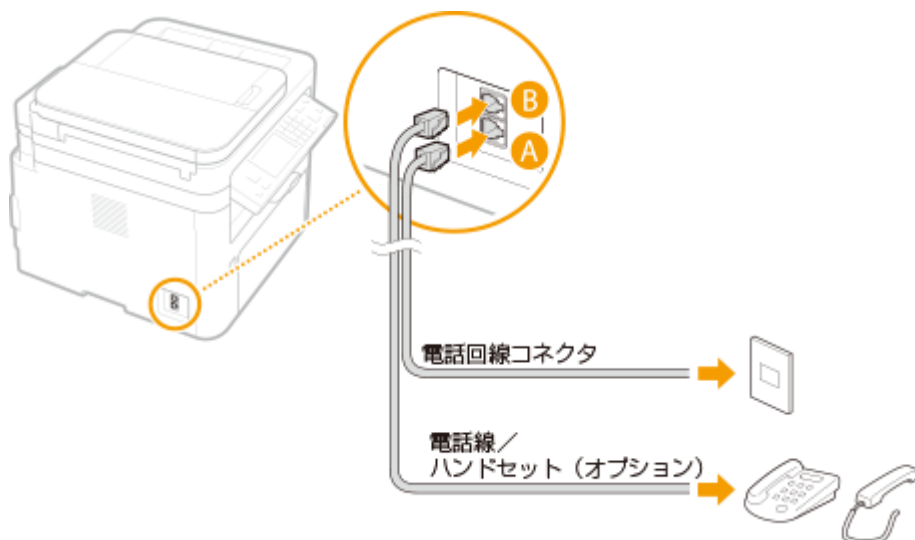
1 <次へ>を選ぶ

- 受信モードの設定が終わると（▶受信モードを設定する(P. 74)）、次の画面のどちらかが表示されます。



2 本機を電話回線に接続する

- 付属の電話コードを使って、電話回線端子（A）と壁側の電話回線コネクタを接続します。
- 電話機や留守番電話機、またはオプションのハンドセットを使いたい場合は、外付け電話機用端子（B）に接続します。



- ファクス機能付きの電話機を接続する場合は、電話機側のファクス自動受信設定を無効にしてください。

3 接続が終わったら、＜次へ＞を選ぶ

4 ＜はい＞を選ぶ

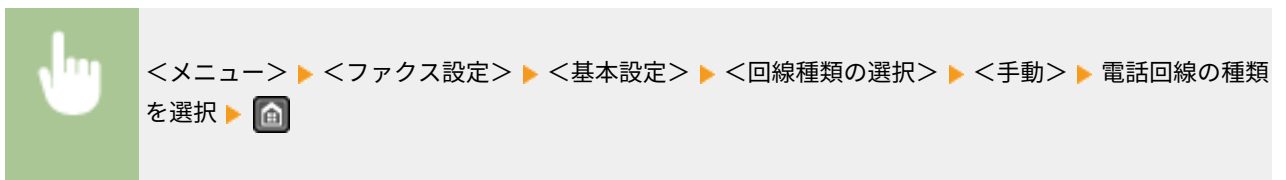
5 ＜OK＞を選ぶ

6 本機を再起動する

- 電源を切り、10 秒待って再び電源を入れます。
- 本機が再起動し、電話回線の種類が自動的に設定されます。

電話回線の種類が自動で設定されないとき

本機を構内交換機（PBX）に接続したり、ホームテレホンやビジネスホンが接続されている回線に接続したりすると、電話回線種類が自動的に設定されないことがあります。このときは、次のようにして設定してください。なお、電話回線の種類がわからないときは、ご利用の電話会社にお問い合わせください。



関連項目

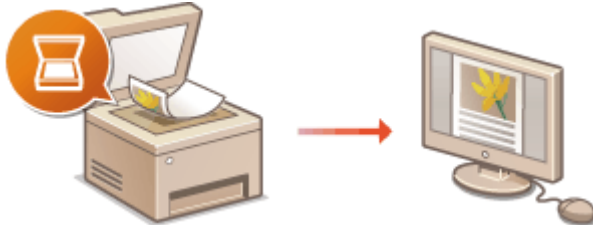
- ▶ ファクス送信の基本操作(P. 203)
- ▶ ファクスを受信する(P. 212)

スキヤンの設定をする

6AAS-01F

スキヤンした原稿をパソコンを介さず直接 E メールで送信したり、共有フォルダーに保存したりする場合、ネットワークの設定が必要です。設定には一部「SEND 設定ツール」という付属のアプリケーションを使用します。使用目的やネットワーク環境に応じて、必要な設定を行ってください。

パソコンへの保存



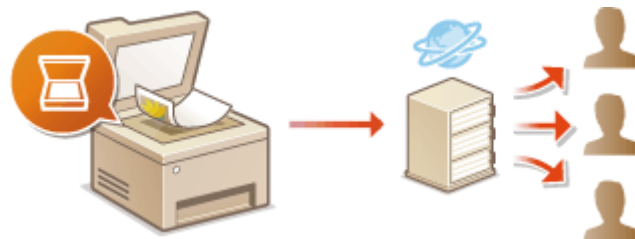
▶ スキャナーとして使うための準備をする(P. 78)

E メール送信



▶ E メール送信設定の流れ(P. 79)

共有フォルダーへの保存



▶ 共有フォルダーへの保存設定の流れ(P. 86)



関連項目

- ▶ サポート環境(P. 559)
- ▶ スキヤン機能(P. 556)

スキャナーとして使うための準備をする

6AAS-01H

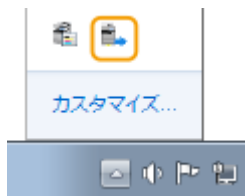
本機をスキャナーとして使うには、パソコンにソフトウェアをインストールするなどのいくつかの準備が必要です。詳しくは、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。また、Windows で本機とパソコンを無線 LAN または有線 LAN で接続する場合は、以下の手順で「MF Network Scanner Selector」に本機を登録する必要があります。なお、USB で接続している場合は登録不要です。



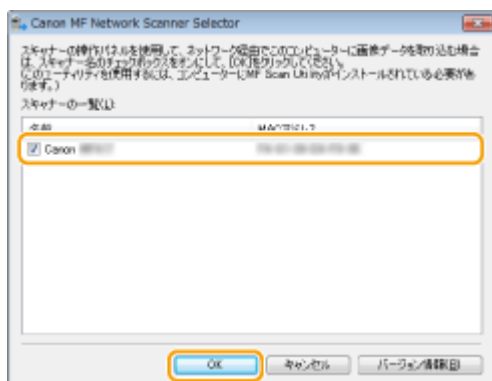
● **ご注意**

- IPv6 環境で本機とパソコンを接続してスキャン機能を使うことはできません。IPv4 環境または USB 接続でご使用ください。

1 タスクトレイに表示されている をクリックする



2 本機にチェックマークを付けて、[OK] をクリックする



E メール送信設定の流れ

6AAS-01J

設定の順序を確認し、必要に応じて詳細な手順を参照してください。

1



本機とパソコンが正しく接続されているか確認する

- ▶無線 LAN に接続する(P. 18)
- ▶有線 LAN に接続する(P. 17)



2



次の情報が手元にあるか確認する

- 本機の IP アドレス ▶ネットワークの設定を確認する(P. 39)
- 宛先として登録する E メールアドレス
- メールサーバーの設定情報 (SMTP サーバー名、ポート番号、認証の有無、認証に使うユーザー名やパスワードなど)



MEMO

- メールサーバーの設定については、プロバイダーやネットワーク管理者にお問い合わせください。



3



SEND 設定ツールの動作条件を満たしているか確認する (E メール送信)

- SEND 設定ツールの動作条件 ▶サポート環境(P. 559)



MEMO

- < HTTP を使用>や< リモート UI を使用>が< ON >に設定されていることも確認してください。
- ▶HTTP 通信を無効にする(P. 343)
- ▶リモート UI を無効にする(P. 344)



4



設定を行う

- Eメールの送信設定 ▶Eメール送信の設定をする(P. 80)
- Eメールの詳細設定 (認証や暗号化など) ▶Eメールの通信設定をする(P. 83)

E メール送信の設定をする

6AAS-01K

ここでは SEND 設定ツールを使った設定方法を説明します。SEND 設定ツールを使うと、アドレス帳への送信先の登録も同時に行うことができます。

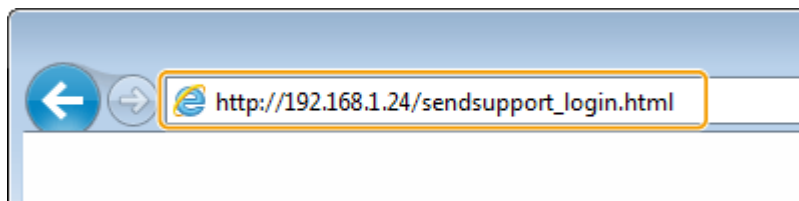


- SEND 設定ツールでは E メールを送信するための基本的な設定を行います。SEND 設定ツールの代わりにリモート UI を使って設定すると、送信前の POP 認証や暗号化通信などの詳細な設定をすることができます。▶ **E メール**の通信設定をする(P. 83)

1 SEND 設定ツールを起動する

■ウェブブラウザから起動する

ウェブブラウザのアドレス入力欄に「http://<本機の IP アドレス>/sendsupport_login.html」と入力し、キーボードの [ENTER] を押します。



■CD-ROM/DVD-ROM から起動する

- 1 付属の CD-ROM/DVD-ROM をセットする
- 2 [ソフトウェアの起動] をクリックする



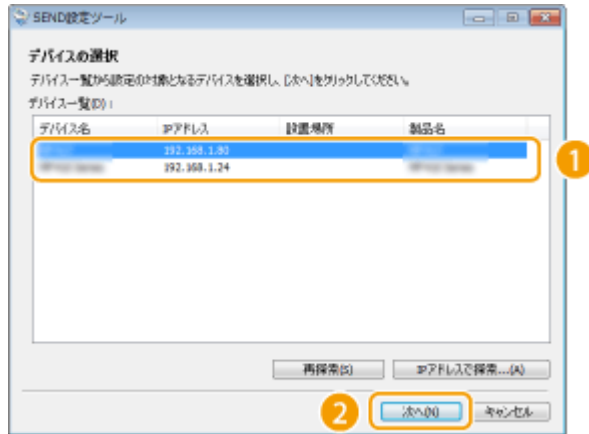
- [ソフトウェア/マニュアルセットアップ] 画面が表示されないとき ▶ **[ソフトウェア/マニュアルセットアップ] 画面の表示方法(P. 573)**
- [自動再生] が表示されたときは、[MInst.exe の実行] をクリックします。

- 3 [SEND 設定ツール] の [起動] をクリックする
- 4 [次へ] をクリックする
 - 「Send 設定ガイド」を表示したいときは、[設定について] をクリックします。



- Windows ファイアウォールを解除する画面が表示されたときは、[はい] をクリックします。

- 5 [デバイス一覧] から本機を選び、[次へ] をクリックする



[デバイス一覧] に本機が表示されないとき

- [再探索] をクリックします。それでも表示されないときは [IP アドレスで探索] をクリックし、本機の IP アドレスを入力してから [OK] をクリックします。

6 内容を確認し、[OK] をクリックする

2 [開始] をクリックする

- ログオン画面が表示されたら、暗証番号を入力して [ログオン] をクリックします。

3 [電子メールの送信設定を行う] をクリックする

- アドレス帳の暗証番号入力画面が表示されたら、暗証番号を入力して [OK] をクリックします。▶ **アドレス帳の使用を制限する(P. 336)**

4 必要な情報を入力する

a [登録先]

[ワンタッチダイヤルの番号]

SEND 設定ツールを使う場合は、Eメールの宛先はアドレス帳の<ワンタッチ>として登録します。まず、プルダウンメニューから空いている番号を選んでください。

[ワンタッチダイヤルの番号に付ける名称]

ワンタッチダイヤルに付ける名称を入力します。アドレス帳で一覧表示されるので、探しやすい名称を付けてください。

b [送信先の設定]

[送信先の電子メールアドレス]

送信先の E メールアドレスを入力します。スキャンした原稿はこのアドレスに送られます。

c [SMTP サーバーの設定]

[SMTP サーバー]

SMTP サーバー名を入力します。

[SMTP 認証の設定]

SMTP サーバーの認証設定に合わせて [あり] / [なし] を選びます。[あり] のときは、[ユーザー名] および [パスワード] を入力します。



E メール送信の認証方式について

- 第三者による不正なメール送信を防止するため、本機は「SMTP 認証」(SMTP AUTH) と「送信前の POP 認証」(POP before SMTP) に対応しています。必要な認証方式については、プロバイダーやネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 「送信前の POP 認証」はリモート UI を使わないと設定できません。 **▶Eメールの通信設定をする(P. 83)**

5 [次へ] をクリックする

6 設定内容を確認し、[登録] をクリックする

7 本機を再起動する

- 電源を切り、10 秒待って再び電源を入れます。



お使いの環境によってはさらに設定が必要な場合があります。詳しくは、プロバイダーやネットワーク管理者にお問い合わせください。

- TLS 暗号化通信の設定が必要なとき **▶Eメールの通信設定をする(P. 83)**
- ポート番号の変更が必要なとき **▶ポート番号を変更する(P. 316)**



関連項目

- ▶Eメール送信設定の流れ(P. 79)**
- ▶Eメールの設定をする(P. 270)**
- ▶宛先を登録する(P. 168)**

Eメールの通信設定をする

6AAS-01L

Eメールの送信前のPOP認証や通信の暗号化など、送信の詳細な設定を行うときはリモートUIを使います。必要な設定内容については、プロバイダーやネットワーク管理者にお問い合わせください。



- リモートUIから本機を設定するときの基本操作は、**本機の設定を変更する(P. 355)**を参照してください。

- 1 リモートUIを起動し、管理者モードでログインする **リモートUIを起動する(P. 346)**
- 2 ポータルページで、**[設定/登録]**をクリックする **リモートUIの画面について(P. 347)**
- 3 **[ネットワーク設定]** ▶ **[Eメール設定]**の順に進む
- 4 **[編集]**をクリックする
- 5 必要な情報を入力する

[SMTP サーバー]

Eメールを送信するためのSMTPサーバーの名称（またはIPアドレス）を半角英数字で入力します。

[E メールアドレス]

使用するEメールアドレスを半角英数字で入力します。

[POP サーバー]

送信前のPOP認証を使用したりするときは、POP3サーバーの名称（またはIPアドレス）を半角英数字で入力します。

[ユーザー名]

POP3サーバーを使用するときは、指定メールアカウントのユーザー名を半角英数字で入力します。

[パスワードを設定/変更する]

POP3 サーバーを使用する場合にパスワードを設定または変更するときは、チェックマークを付け、[パスワード] に半角英数字で入力します。

■送信前の POP 認証を設定する

送信前の POP 認証（POP before SMTP）とは、Eメールの送信前に POP3 サーバー（受信メールサーバー）によるユーザー確認を行うことで、第三者による不正な送信を防止する機能です。

[送信前の POP 認証する]

Eメールの送信前に POP3 サーバーを使って認証をするときはチェックマークを付けます。

[APOP 認証する]

SMTP サーバーや POP3 サーバーとの通信の暗号化を設定します。

■SMTP 認証を設定する

SMTP 認証（SMTP AUTH）を設定すると、Eメールの送信時にユーザー名とパスワードによるユーザー確認を行います。

[SMTP 認証(SMTP AUTH)する]

SMTP 認証を使用するときはチェックマークを付け、指定アカウントの [ユーザー名] を半角英数字で入力します。

[パスワードを設定/変更する]

パスワードを指定するときはチェックマークを付け、[パスワード] を半角英数字で入力します。

■暗号化通信を設定する

SMTP サーバーや POP3 サーバーとの通信の暗号化を設定します。



【SMTPでTLSを使用する】

SMTP サーバーとの通信を TLS で暗号化するときはチェックマークを付けます。必要に応じて「証明書を検証する」や「CN を検証項目に追加する」にもチェックマークを付けます。

【POPでTLSを使用する】

POP3 サーバーとの通信を TLS で暗号化するときはチェックマークを付けます。必要に応じて「証明書を検証する」や「CN を検証項目に追加する」にもチェックマークを付けます。

6 【OK】をクリックする



- お使いの環境によっては SMTP や POP3 のポート設定に変更が必要な場合があります（[▶ポート番号を変更する \(P. 316\)](#)）。詳しくは、プロバイダーやネットワーク管理者にお問い合わせください。



関連項目

- ▶E メール送信設定の流れ(P. 79)
- ▶E メール送信の設定をする(P. 80)
- ▶スキンの基本操作(P. 243)

共有フォルダーへの保存設定の流れ

6AAS-01R

設定の順序を確認し、必要に応じて詳細な手順を参照してください。

1



本機とパソコンが正しく接続されているか確認する

- ▶無線 LAN に接続する(P. 18)
- ▶有線 LAN に接続する(P. 17)



2



本機と共有フォルダーの情報が手元にあるか確認する

- 本機の IP アドレス ▶ネットワークの設定を確認する(P. 39)
- 共有フォルダーのあるパソコンのコンピューター名 ▶コンピューター名の確認方法(P. 575)
- 共有フォルダーへのパスやフォルダー名（アクセス制限が設定されているときは、設定したユーザー名とパスワードも必要）



MEMO

- 共有フォルダーを新規作成する方法については、「Send 設定ガイド」を参照してください。



3



SEND 設定ツールの動作条件を満たしているか確認する

- SEND 設定ツールの動作条件 ▶サポート環境(P. 559)



MEMO

- < HTTP を使用>や< リモート UI を使用>が< ON >に設定されていることも確認してください。
- ▶HTTP 通信を無効にする(P. 343)
- ▶リモート UI を無効にする(P. 344)



4



設定を行う ▶共有フォルダーへの保存設定をする(P. 87)

共有フォルダーへの保存設定をする

6AAS-01S

スキャンした文書を共有フォルダーに保存する機能は、Windows ネットワークで利用される SMB という技術を利用することから「SMB 送信」とも呼ばれます。SMB はネットワーク内の複数デバイス間でファイルやプリンターを共有するためのプロトコルです（[SMB の設定をする\(P. 62\)](#)）。スキャンした文書を、SMB によってネットワーク内の共有フォルダーに保存できるようにするには、あらかじめパソコンから共有フォルダーの場所を指定しておく必要があります。ここでは SEND 設定ツールを使った保存先の設定方法を説明します。

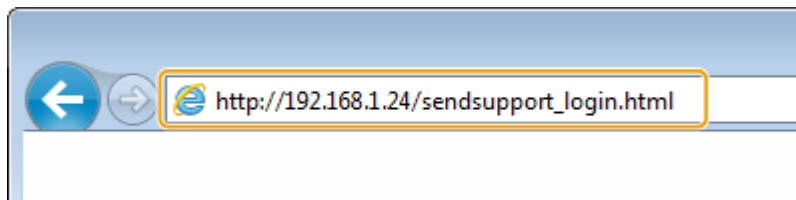


- SEND 設定ツールの代わりにリモート UI を使って、アドレス帳に共有フォルダーの保存先（宛先）を登録することもできます。[リモート UI から宛先を登録する\(P. 358\)](#)

1 SEND 設定ツールを起動する

■ウェブブラウザから起動する

ウェブブラウザのアドレス入力欄に「http://<本機の IP アドレス>/sendsupport_login.html」と入力し、キーボードの [ENTER] を押します。



■CD-ROM/DVD-ROM から起動する

- 1 付属の CD-ROM/DVD-ROM をセットする
- 2 [ソフトウェアの起動] をクリックする



- [ソフトウェア/マニュアル セットアップ] 画面が表示されないとき [ソフトウェア/マニュアル セットアップ](#) 画面の表示方法(P. 573)
- [自動再生] が表示されたときは、[MInst.exe の実行] をクリックします。

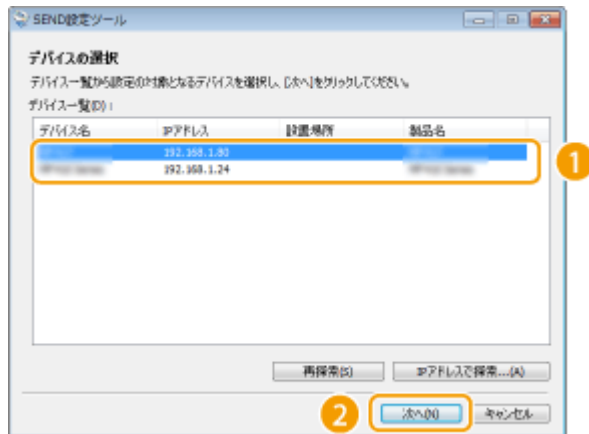
- 3 [SEND 設定ツール] の [起動] をクリックする
- 4 [次へ] をクリックする

- 「Send 設定ガイド」を表示したいときは、[設定について] をクリックします。



- Windows ファイアウォールを解除する画面が表示されたときは、[はい] をクリックします。

- 5 [デバイス一覧] から本機を選び、[次へ] をクリックする



【デバイス一覧】に本機が表示されないとき

【再探索】をクリックします。それでも表示されないときは【IPアドレスで探索】をクリックし、本機のIPアドレスを入力してから【OK】をクリックします。

6 内容を確認し、【OK】をクリックする

2 【開始】をクリックする

- ログオン画面が表示されたら、暗証番号を入力して【ログオン】をクリックします。

3 【共有フォルダーへの保存設定を行う】をクリックする

- アドレス帳の暗証番号入力画面が表示されたら、暗証番号を入力して【OK】をクリックします。▶**アドレス帳の使用を制限する(P. 336)**

4 必要な情報を入力する

a 【登録先】

【ワンタッチダイヤルの番号】

SEND 設定ツールを使う場合は、スキャンした文書の保存先をアドレス帳の＜ワンタッチ＞として登録します。まず、プルダウンメニューから空いている番号を選んでください。

【ワンタッチダイヤルの番号に付ける名称】

ワンタッチダイヤルに付ける名称を入力します。アドレス帳で一覧表示されるので、探しやすい名称を付けてください。

b 【保存先の設定】

【プロトコル】

スキャンした文書を共有フォルダーに送信する際に使用するプロトコルです。

【保存先のコンピューター名】

共有フォルダーのあるパソコンのコンピューター名または IP アドレスを入力します。

【保存先コンピューターの共有フォルダー名】

共有フォルダーの名称または共有フォルダーへのパスを入力します。たとえば、共有フォルダーが C:ドライブの [パブリック] フォルダー内に作成したサブフォルダー「share」（パス：「C:\users\public\share」）のときは、「users\public\share」と入力します。

c 【共有フォルダーの設定状態】

【共有フォルダーへのアクセス制限の設定】

使用する共有フォルダーのアクセス制限設定に合わせて [あり] / [なし] を選びます。[あり] のときは、[登録ユーザー名] および [アクセスするためのパスワード] を入力します。

5 【次へ】 をクリックする

6 設定内容を確認し、【登録】 をクリックする

7 本機を再起動する

- 電源を切り、10 秒待って再び電源を入れます。



関連項目

- 共有フォルダーへの保存設定の流れ(P. 86)
- スキャンの基本操作(P. 243)

基本操作

基本操作	92
各部の名称とはたらき	95
本体前面	96
本体背面	98
本体内部	100
フィーダー	101
手差し給紙口	102
給紙カセット	103
操作パネル	104
電源を入れる	109
電源を切る	110
操作パネルを使う	111
おもな画面	112
ホーム画面	113
＜状況確認＞画面	117
メッセージ表示	119
おもな操作方法	120
文字を入力する	126
原稿をセットする	131
用紙をセットする	135
給紙カセットにセットする	137
手差し給紙口にセットする	141
封筒・はがきをセットする	144
ロゴなどが印刷された用紙をセットする	149
用紙サイズと種類を設定する	151
給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する	152
手差し給紙口の用紙サイズと種類を設定する	154
定形外サイズの用紙を登録する	156
用紙サイズを絞り込んで表示する	158
ディスプレイをカスタマイズする	159
ホーム画面をカスタマイズする	160
機能の初期値を変更する	162
音を設定する	163
静音モードにする	164

スリープモードにする	166
宛先を登録する	168
アドレス帳に宛先を登録する	170
ワンタッチダイヤルに登録する	172
アドレス帳にグループを登録する	174
アドレス帳に登録した宛先を編集する	176

基本操作

6AAS-01U

操作パネルの使いかたや用紙のセット方法など、本機の各機能をお使いになるうえで共通する基本的なことからについて説明しています。

■各部の名称とはたらき

本体の外観と内部について、各部の名前とそのはたらきをご紹介します。また、操作パネルの各キーの使いかたや、ディスプレイに表示される画面についても説明しています。▶**各部の名称とはたらき(P. 95)**



■電源を入れる

電源の入れかたや切りかたについて説明します。▶**電源を入れる(P. 109)**



■操作パネルを使う

項目を選ぶときや設定値を調整するときなどの使いかたについて説明しています。また、文字や数字の入力方法についても説明します。▶**操作パネルを使う(P. 111)**



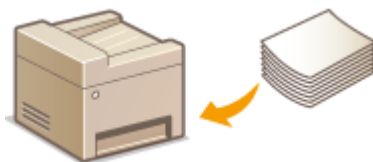
■原稿をセットする

原稿台ガラスやフィーダーに原稿をセットする方法について説明しています。▶**原稿をセットする(P. 131)**



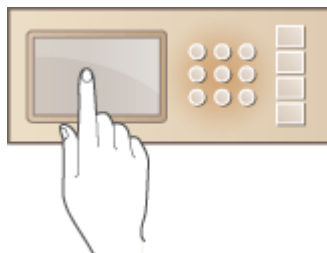
■用紙をセットする

給紙カセットや手差し給紙口に用紙をセットする方法について説明しています。▶[用紙をセットする\(P. 135\)](#)



■ディスプレイをカスタマイズする

ディスプレイに表示される画面をより使いやすくするために、ボタンを並べ替えたり、ショートカットボタンを作成したりする方法を説明します。▶[ディスプレイをカスタマイズする\(P. 159\)](#)



■機能の初期値を変更する

機能を呼び出したときに最初に表示される設定値を変更する方法について説明しています。▶[機能の初期値を変更する\(P. 162\)](#)



■音を設定する

ファクス送受信の完了音や操作エラー時の警告音など、各種音量の内容と設定方法について説明しています。▶[音を設定する\(P. 163\)](#)



■ 静音モードにする

本機の動作音を静かにする方法について説明しています。▶ [静音モードにする\(P. 164\)](#)



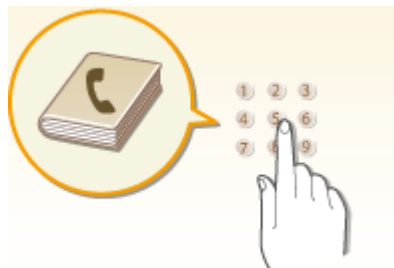
■ スリープモードにする

スリープモード（節電状態）にする方法について説明しています。▶ [スリープモードにする\(P. 166\)](#)



■ 宛先を登録する

ファクスやスキンの送信宛先を登録する方法について説明しています。▶ [宛先を登録する\(P. 168\)](#)



各部の名称とはたらき

6AAS-01W

基本操作に関わる各部について本体外観、前面、背面、内部とそれぞれの部位ごとに名称とはたらきをご紹介します。また、用紙のセットやトナーカートリッジ交換など、基本操作に関わる各部について個別に取り上げているほか、操作パネルのキーやディスプレイの表示についても説明しています。円滑に操作していただく一助としてご活用ください。

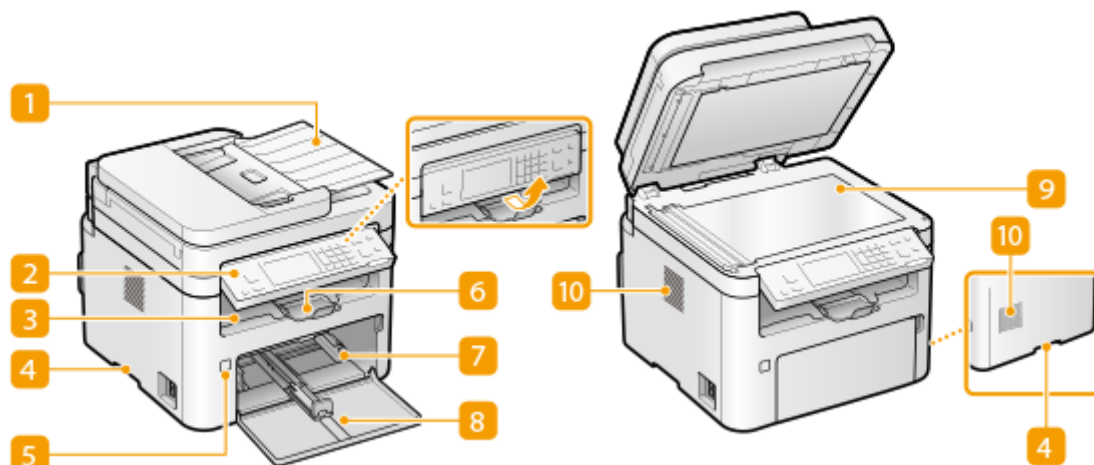


- ▶ 本体前面(P. 96)
- ▶ 本体背面(P. 98)
- ▶ 本体内部(P. 100)
- ▶ フィーダー(P. 101)
- ▶ 手差し給紙口(P. 102)
- ▶ 給紙カセット(P. 103)
- ▶ 操作パネル(P. 104)

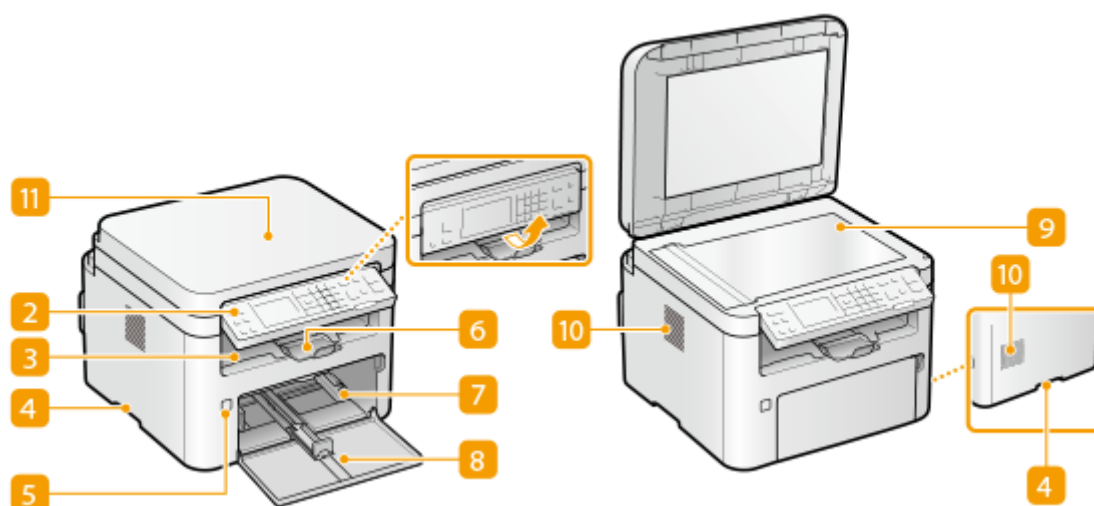
本体前面

6AAS-01X

MF269dw / MF266dn / MF265dw / MF264dw



MF262dw



1 フィーダー

ここに原稿をセットして操作すると、原稿は自動的に読み込まれます。2枚以上の原稿を連続して読み込むこともできます。▶フィーダー(P. 101)

2 操作パネル

ストップキー、各種ランプ、ディスプレイなどが配置されており、操作／設定はすべてこの操作パネルから行います。

▶操作パネル(P. 104)

▶おもな画面(P. 112)

3 排紙トレイ

印刷が終わると、用紙はここに排出されます。

4 運搬用取っ手

本機を移動するときには、ここを持ちます。▶**本機を移動する(P. 457)**

5 電源スイッチ

電源を入れたり、切ったりします。本機を再起動するには、電源を切り、10 秒待って再び電源を入れます。

6 排紙ストッパー

排紙トレイから用紙が落ちないようにする場合に開いて使います。

7 給紙カセット

よく使う用紙は、ここにセットします。▶**給紙カセットにセットする(P. 137)**

8 前カバー

給紙カセットまたは手差し給紙口に用紙をセットするときに開けます。

9 原稿台ガラス

書籍や厚紙／薄紙の原稿など、フィーダーにセットできない原稿をセットします。▶**原稿をセットする(P. 131)**

10 通気口

本体内部の換気と冷却を行います。通気口のそばに障害物を置くと換気の妨げになりますのでご注意ください。

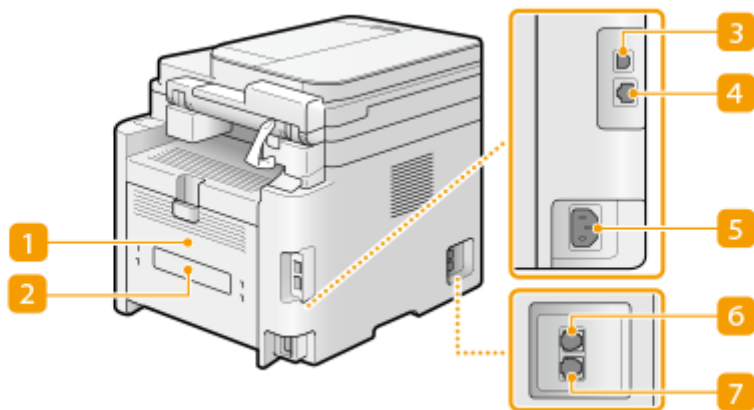
11 原稿台ガラスカバー

原稿台ガラスを保護します。

本体背面

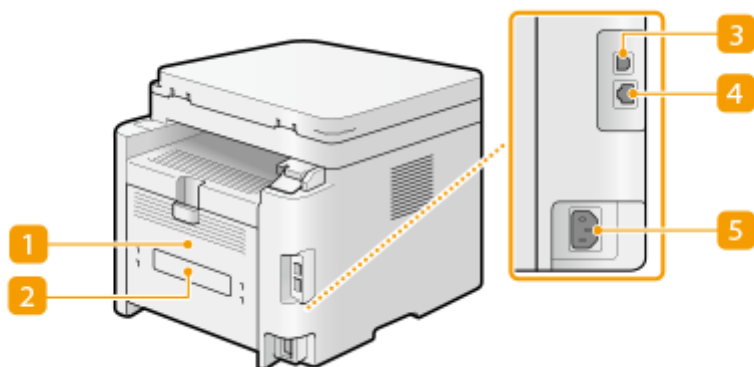
6AAS-01Y

MF269dw / MF266dn / MF265dw / MF264dw



*機種によってフィーダーの形状が一部異なります。

MF262dw



1 後ろカバー

つまった用紙を取り除くときに開けます。▶紙がつまったら(P. 523)

2 定格銘板ラベル

お問い合わせの際に必要なシリアルナンバーが記載されています。▶トラブルが解決しないときは(P. 532)

3 USB ポート

市販の USB ケーブルを使ってパソコンに接続します。

4 LAN ポート

市販の LAN ケーブルを使って有線 LAN ルーターなどに接続します。▶有線 LAN に接続する(P. 17)

5 電源ソケット

電源コードを接続します。

6 外付け電話機用端子（MF269dw / MF266dn / MF265dw のみ）

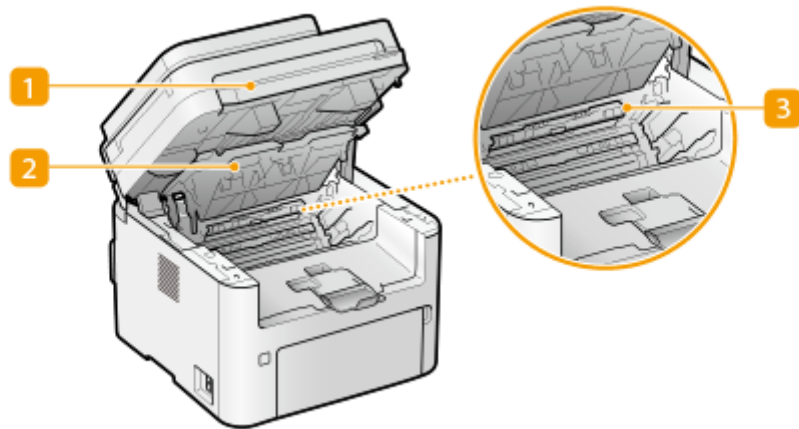
電話機や留守番電話機、またはオプションのハンドセットを接続します。▶電話回線に接続する(P. 75)

7 電話回線端子（MF269dw / MF266dn / MF265dw のみ）

付属の電話コードを使って電話回線に接続します。▶電話回線に接続する(P. 75)

本体内部

6AAS-020



1 操作パネル部

トナーカートリッジを交換したり、つまった用紙を取り除いたりするときに持ち上げます。

- ▶ トナーカートリッジを交換する(P. 448)
- ▶ ドラムカートリッジを交換する(P. 452)
- ▶ 本体内部に用紙がつまった(P. 528)

2 トナーカバー

トナーカートリッジを交換したり、つまった用紙を取り除いたりするときに開けます。

- ▶ トナーカートリッジを交換する(P. 448)
- ▶ ドラムカートリッジを交換する(P. 452)
- ▶ 本体内部に用紙がつまった(P. 528)

3 排紙ガイド

つまった用紙を取り除くときに開けます。▶ 本体内部に用紙がつまった(P. 528)

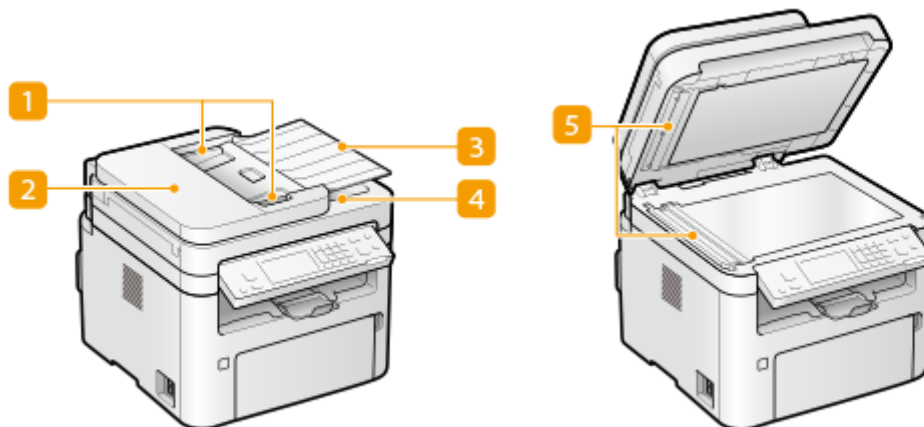


関連項目

- ▶ トナーカートリッジを交換する(P. 448)
- ▶ ドラムカートリッジを交換する(P. 452)

フィーダー

6AAS-021



1 原稿ガイド

原稿の幅に合わせ、このガイドを調節します。

2 フィーダーカバー

フィーダーにつまった用紙を取り除くときにこのカバーを開けます。▶フィーダーに原稿がつまった(P. 525)

3 原稿給紙トレイ

ここに原稿をセットして操作すると、原稿が自動的に読み込まれます。2枚以上の原稿を連続して読み込むこともできます。▶原稿をセットする(P. 131)

4 原稿排紙トレイ

読み込まれた原稿がここに排紙されます。

5 原稿読み取り部

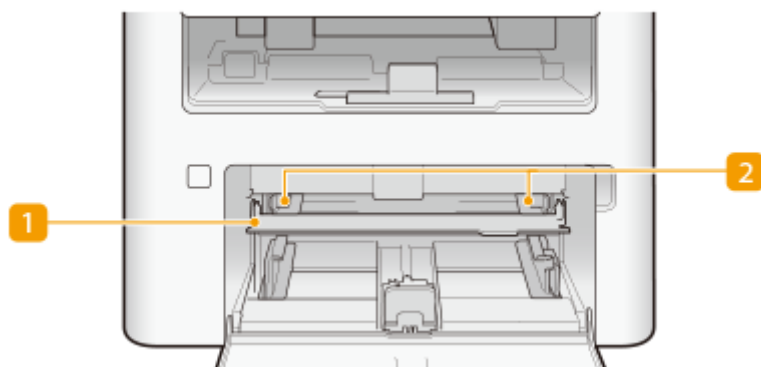
フィーダーにセットした原稿は、この部分で読み込まれます。



- 原稿排紙部には物を置かないでください。原稿損傷の原因となります。
- 快適な印刷結果を得るために、フィーダーや原稿台ガラスを定期的に清掃してください。▶日常のお手入れ(P. 437)

手差し給紙口

6AAS-022



1 手差し給紙口

用紙をセットするときに下げて使います。

2 用紙ガイド

セットした用紙がまっすぐ引き込まれるように、用紙の幅にぴったり合わせます。

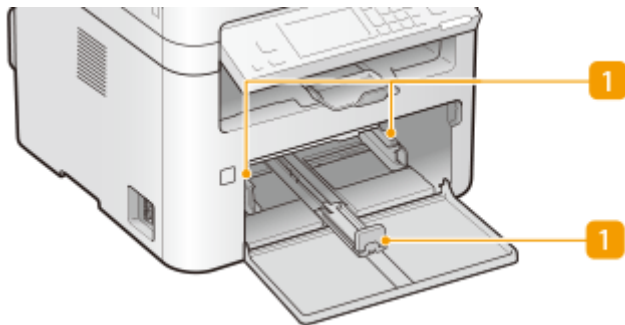


関連項目

▶手差し給紙口にセットする(P. 141)

給紙カセット

6AAS-023



1 用紙ガイド

セットした用紙がまっすぐ引き込まれるように、用紙の大きさにぴったり合わせます。



関連項目

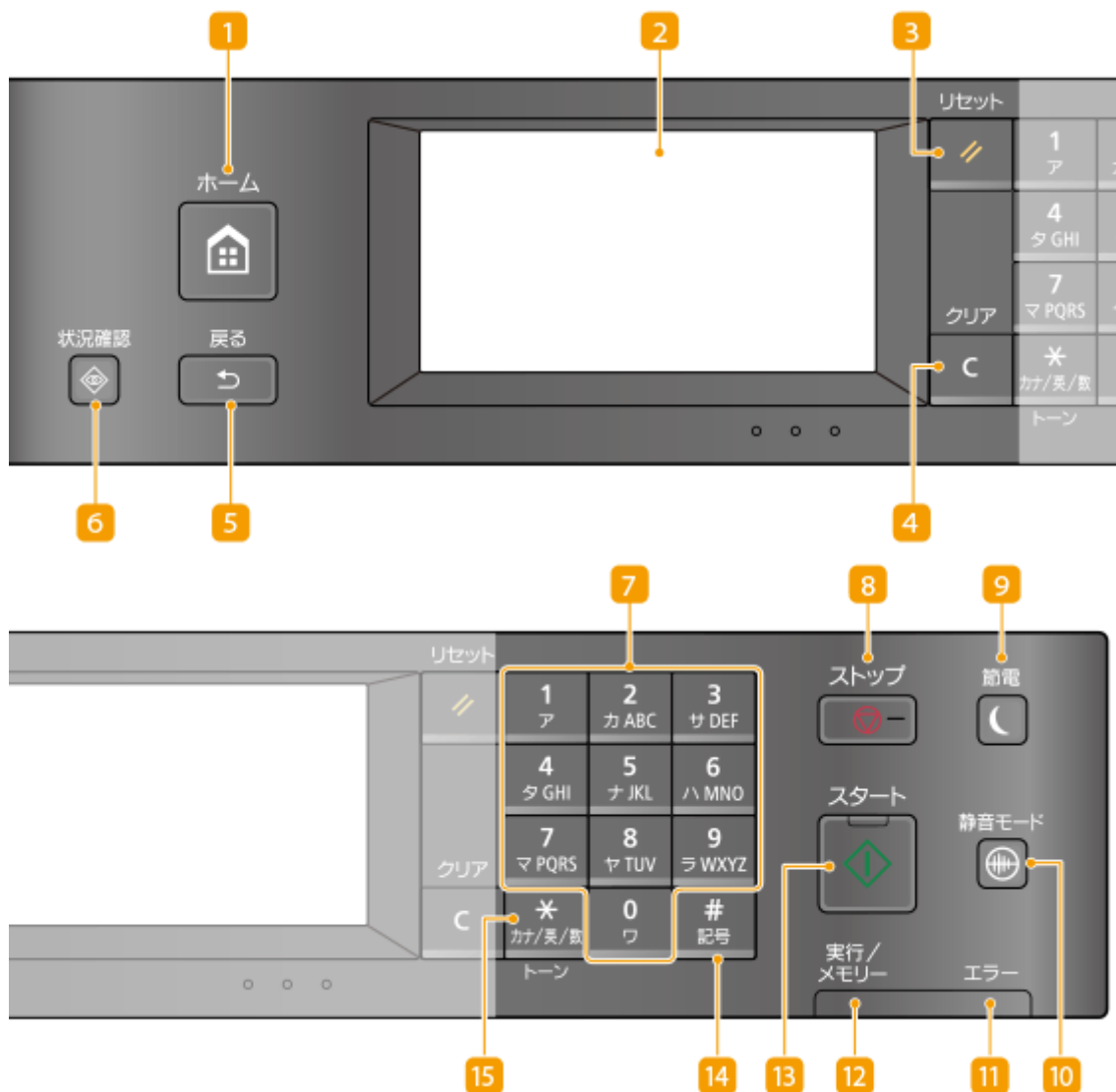
● 給紙カセットにセットする (P. 137)

操作パネル

6AAS-024

- ▶ モノクロ 6 行タッチパネル機の操作パネル(P. 104)
- ▶ モノクロ 5 行 UI 機の操作パネル(P. 106)

モノクロ 6 行タッチパネル機の操作パネル



1 [ホーム] キー

コピーやスキャンなどの各機能や設定メニューの入口となるホーム画面を表示するときに押します。

- ▶ ホーム画面(P. 113)
- ▶ ホーム画面をカスタマイズする(P. 160)

2 ディスプレー

本機の動作状況、エラー状況などが表示されます。また、タッチパネルになっているので、設定を行うときは画面に直接触れて操作します。

- ▶ おもな画面(P. 112)
- ▶ おもな操作方法(P. 120)

3 [リセット] キー

設定を取り消し、設定前の状態に戻します。

4 [クリア] キー

入力した文字や数字を取り消します。

5 [戻る] キー

現在表示されている画面から1つ前の画面に戻ります。たとえば、設定操作をしているときに押すと、設定を確定せずに1つ前の画面に戻ることができます。

6 [状況確認] キー

印刷状況、ファクス送受信状況、使用履歴、IP アドレスなどのネットワーク設定の情報などを確認できます。また、用紙サイズやトナーカートリッジの残量確認、エラー発生状況なども確認できます。▶<状況確認>画面(P. 117)

7 テンキー ([0] ～ [9])

数字や文字を入力します。▶文字を入力する(P. 126)

8 [ストップ] キー

印刷などの動作を中止します。

9 [節電] キー

スリープモード（節電状態）にします。スリープモード中はキーが緑色に点灯し、キーを再度押すとスリープモードが解除されます。▶スリープモードにする(P. 166)

10 [静音モード] キー

静音モードにします。静音モード中はキーが緑色に点灯し、キーを再度押すと静音モードが解除されます。▶静音モードにする(P. 164)

11 [エラー] ランプ

紙づまりなどのエラーが発生したときに点滅または点灯します。

12 [実行/メモリー] ランプ

通信中、印刷中など、何らかの動作を行っているときに点滅します。処理待ちの文書があるときには点灯します。

13 [スタート] キー

原稿を読み込んだり、コピーするときに押します。

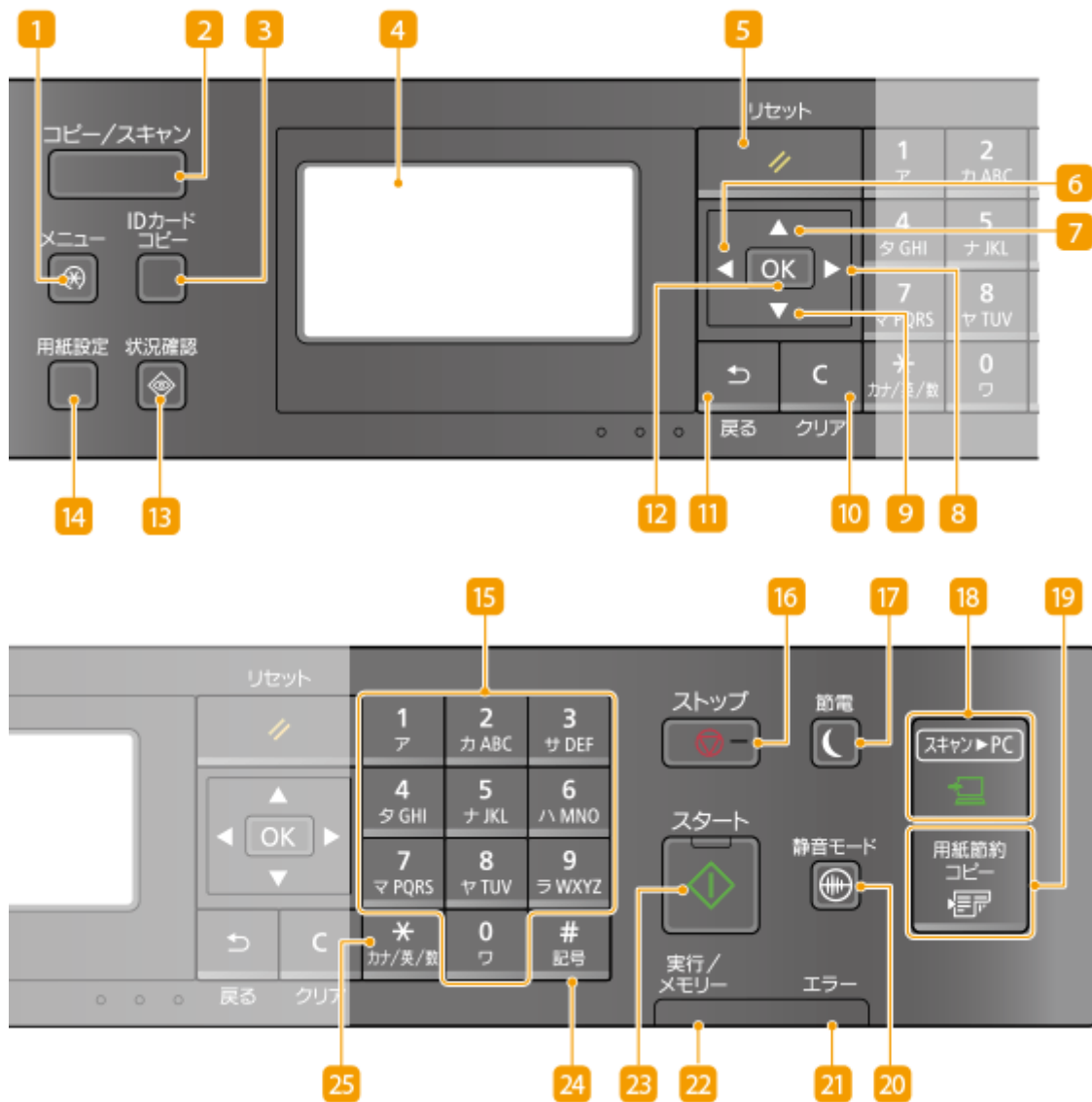
14 [#] キー

「@」や「/」のような記号を入力するときに押します。

15 [＊] キー

文字の入力モード（数字、カナ、アルファベット）を切り替えます。

モノクロ 5 行 UI 機の操作パネル



1 [メニュー] キー

ネットワークや環境の設定など、本機で行う設定の多くはこのキーを押してから始めます。▶**設定メニュー一覧** (P. 372)

2 [コピー/スキャン] キー

コピー機能とスキャン機能を切り替えます。

3 [ID カードコピー] キー

運転免許証や健康保険証など、ID カードの表裏を 1 枚の用紙に割り付けてコピーできます。▶**ID カードをコピーする** (P. 197)

4 ディスプレー

コピーやスキャンなどの動作状況、エラー状況などが表示されます。また、設定を行うときもディスプレイを見ながら操作を進めます。

▶おもな画面(P. 112)

▶おもな操作方法(P. 120)

5 [リセット] キー

設定を取り消し、設定前の状態に戻します。

6 [◀] キー

設定時に押すと、前の画面に戻ります。文字入力時に押すと、カーソルが左に移動します。

7 [▲] キー

設定時に押すと、1つ上の項目を選択します。設定値変更時に押すと、値が増加します。

8 [▶] キー

設定時に押すと、次の画面に進みます。文字入力時に押すと、カーソルが右に移動します。

9 [▼] キー

設定時に押すと、1つ下の項目を選択します。設定値変更時に押すと、値が減少します。

10 [クリア] キー

入力した文字や数字を取り消します。

11 [戻る] キー

現在表示されている画面から1つ前の画面に戻ります。たとえば、設定操作をしているときに押すと、設定を確定せずに1つ前の画面に戻ることができます。

12 [OK] キー

選択／設定した内容を確定します。

13 [状況確認] キー

印刷状況、使用履歴、IP アドレスなどのネットワーク設定の情報などを確認できます。また、用紙サイズやトナーカートリッジの残量確認、エラー発生状況なども確認できます。▶<状況確認>画面(P. 117)

14 [用紙設定] キー

印刷する用紙を選びます。給紙カセットや手差し給紙口にセットした用紙のサイズや種類を設定するときにも押します。▶用紙サイズと種類を設定する(P. 151)

15 テンキー ([0] ～ [9])

数字や文字を入力します。▶文字を入力する(P. 126)

16 [ストップ] キー

印刷などの動作を中止します。

17 [節電] キー

スリープモード（節電状態）にします。スリープモード中はキーが緑色に点灯し、キーを再度押すとスリープモードが解除されます。▶スリープモードにする(P. 166)

18 [スキャン→PC] キー

かんたんな操作で登録されたコンピューターに読み込んだデータを送信します。▶ショートカットキーを使ってスキャンする(P. 246)

19 [用紙節約コピー] キー

かんたんな操作で集約コピーと両面コピーを同時に行うことができ、用紙の節約効果が上がります。▶<用紙節約コピー>を使う(P. 195)

20 [静音モード] キー

静音モードにします。静音モード中はキーが緑色に点灯し、キーを再度押すと静音モードが解除されます。▶静音モードにする(P. 164)

21 [エラー] ランプ

紙づまりなどのエラーが発生したときに点滅または点灯します。

22 [実行/メモリー] ランプ

通信中、印刷中など、何らかの動作を行っているときに点滅します。処理待ちの文書があるときには点灯します。

23 [スタート] キー

原稿を読み込んだり、コピーするときに押します。

24 [#] キー

「@」や「/」のような記号を入力するときに押します。

25 [*] キー

文字の入力モード（数字、カナ、アルファベット）を切り替えます。



関連項目

▶おもな操作方法(P. 120)

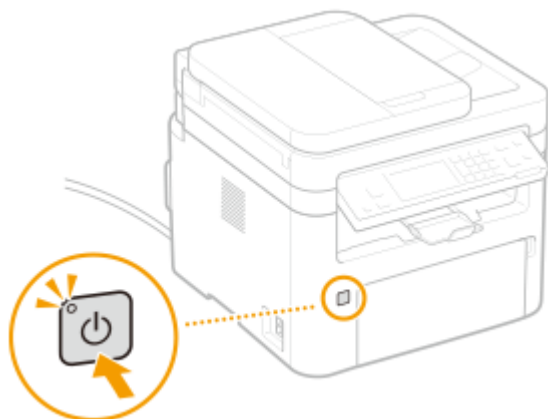
電源を入れる

6AAS-025

電源の入れかたについて説明します。

1 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認する

2 電源スイッチを押す



⇒ ディスプレーに起動画面が表示されます。▶操作パネル(P. 104)

MEMO

- お買い上げ後、初めて電源を入れたときは、白紙が排紙されることがありますが異常ではありません。
- モノクロ 6 行タッチパネル機では、電源を入れたあと、最初に表示される画面を選択できます。▶<起動/復帰後に表示する画面>(P. 387)



関連項目

▶電源を切る(P. 110)

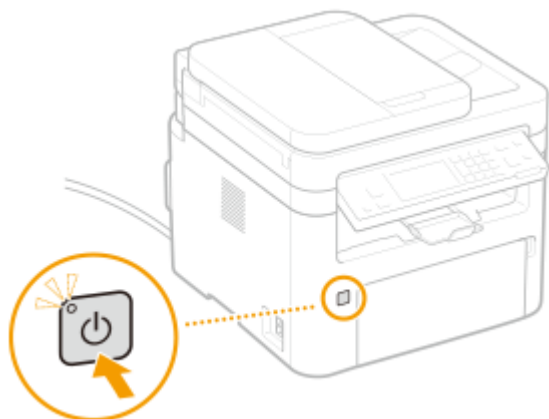
電源を切る

6AAS-026

電源の切りかたについて説明します。

1 電源スイッチを押す

- 電源ランプが消えていることを確認してください。



MEMO

- 電源が切れるまでに、しばらく時間がかかることがあります。ディスプレイが消灯するまで電源プラグを抜かないでください。
- 本機に再び電源を入れるときは、電源が切れたあと、10 秒以上待ってください。
- 電源を切ってもわずかに電力を消費しています。電力消費をゼロにするには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

操作パネルを使う

6AAS-027

操作パネルのディスプレイやキーを使って、本機の設定や各機能の操作をすることができます。ここでは、ディスプレイやキーの基本的な使いかたを説明しています。



- おもな画面(P. 112)
- おもな操作方法(P. 120)
- 文字を入力する(P. 126)



便利な機能

- ディスプレーの明暗を反転させたい ● <画面色反転>(P. 388)
- ディスプレーのコントラストを調整したい ● <画面コントラスト>(P. 388)



関連項目

- 操作パネル(P. 104)

おもな画面

6AAS-028

ディスプレイには、コピーやスキャンなど各機能の操作を始めるためのホーム画面や設定画面が表示されます。また、エラーメッセージや動作状況などの情報もディスプレイから確認できます。モノクロ 6 行タッチパネル機の操作はディスプレイに直接触れて行います。

- ▶ ホーム画面(P. 113)
- ▶ <状況確認>画面(P. 117)
- ▶ メッセージ表示(P. 119)



モノクロ 6 行タッチパネル機の場合

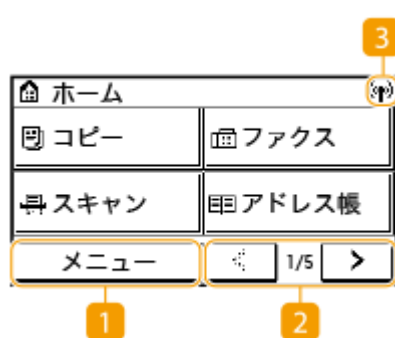
- よく使う機能を使いやすくするためにボタンを並べ替えたりしてホーム画面をカスタマイズすることができます。
 - ▶ ホーム画面をカスタマイズする(P. 160)

ホーム画面

- ▶ ホーム画面（モノクロ 6 行タッチパネル機）(P. 113)
- ▶ 基本画面（モノクロ 5 行 UI 機）(P. 115)

ホーム画面（モノクロ 6 行タッチパネル機）

電源を入れたときや、 を押したときは、ホーム画面が表示されます。この画面から各機能の設定や登録を行います。



1 <メニュー>

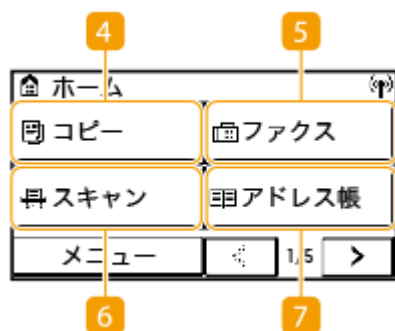
<タイマー設定>や<環境設定>など、本機で行う設定の多くはこのボタンから始めます。▶[設定メニュー一覧\(P. 372\)](#)

2 ページ切り替え

ホーム画面のページを切り替えるときに使います。

3 Wi-Fi アイコン

無線 LAN に接続しているときに表示されます。



4 <コピー>

コピーするときは、このボタンから始めます。▶[コピーする\(P. 178\)](#)

5 <ファクス>

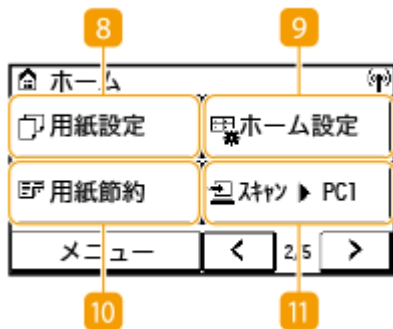
本機からファクス送信するときに使います。▶[ファクスする\(P. 201\)](#)

6 <スキャン>

原稿をスキャンして電子ファイルに変換します。スキャンしたファイルは PC に保存したり、E メールなどで送信したりすることができます。▶[スキャンする\(P. 241\)](#)

7 <アドレス帳>

ファクスや E メールなどの宛先を登録／編集するときに使います。登録した宛先を呼び出してから送信することもできます。▶[宛先を登録する\(P. 168\)](#)



8 <用紙設定>

給紙カセットや手差し給紙口にセットした用紙のサイズや種類を設定するときに使います。▶[用紙サイズと種類を設定する\(P. 151\)](#)

9 <ホーム設定>

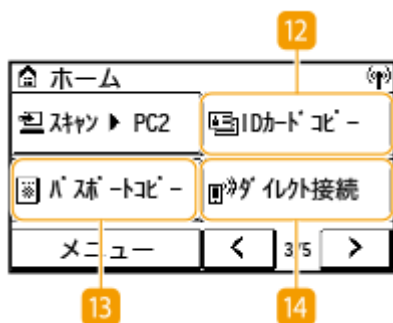
ホーム画面のボタンの表示順を変更することができます。▶[ホーム画面をカスタマイズする\(P. 160\)](#)

10 <用紙節約>

2 ページ（または 4 ページ）を 1 枚の用紙に収めて節約コピーできる設定がすでに登録されています。▶[<用紙節約コピー>を使う\(P. 195\)](#)

11 <スキャン→PC1> <スキャン→PC2>

あらかじめ、このボタンにスキャン時の設定を登録しておく、このボタンを選ぶだけで、かんたんにスキャンできます。▶[ショートカットキーを使ってスキャンする\(P. 246\)](#)



12 <IDカードコピー>

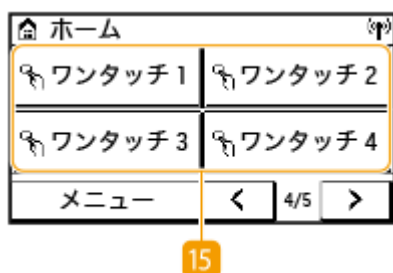
運転免許証や健康保険証など、カード類の表裏を 1 枚の用紙に割り付けてコピーできます。▶[ID カードをコピーする\(P. 197\)](#)

13 <パスポートコピー>

複数のパスポートを 1 枚の用紙に割り付けてコピーできます。▶[パスポートをコピーする\(P. 198\)](#)

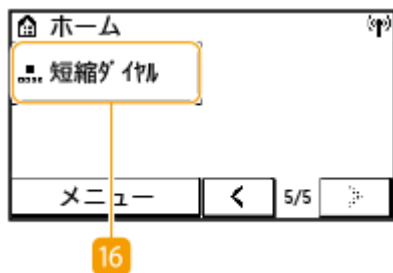
14 <ダイレクト接続>

モバイル機器と接続するときに使います。▶[モバイル機器と接続する\(P. 278\)](#)



15 <ワンタッチ 1>～<ワンタッチ 4>

ワンタッチダイヤルに宛先を登録しておく、宛先をかんたんに呼び出すことができます。▶[ワンタッチダイヤルに登録する\(P. 172\)](#)



16 <短縮ダイヤル>

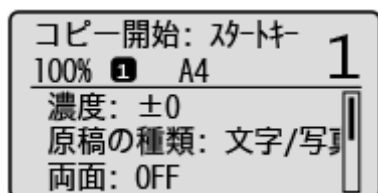
短縮番号に宛先を登録しておくと、3桁の番号を入力するだけで、かんたんに宛先を呼び出すことができます。▶**アドレス帳に宛先を登録する** (P. 170)

基本画面（モノクロ5行UI機）

メイン画面には、コピーやスキャンなど各機能の操作画面だけでなく、設定画面も表示されます。

コピーの基本画面／スキャンの基本画面

電源を入れたときや、（コピー/スキャン）キーを押すと、コピーまたはスキャンの基本画面が表示されます。

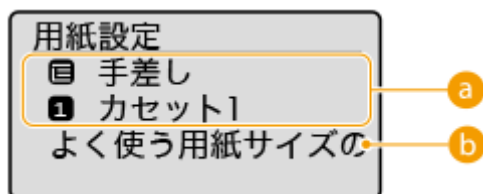


▶**コピーの基本操作**(P. 180)

▶**スキャンの基本操作**(P. 243)

<用紙設定>画面

コピーする用紙を選ぶときに （用紙設定）を押すと、<用紙設定>画面が表示されます。印刷したい用紙を選んでください。また、たとえば給紙カセットに今までと異なるサイズ of 用紙をセットしたときは、その用紙サイズも同時に設定しなければなりません、このときも （用紙設定）を押します。なお、用紙サイズは正確に設定しないと正しく動作しません。



a 給紙部ごとの用紙設定

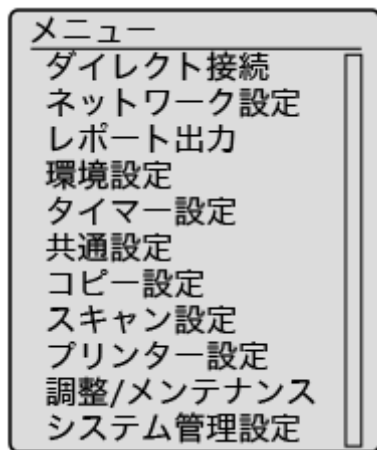
給紙部ごとに使用する用紙を設定します。▶**用紙サイズと種類を設定する**(P. 151)

b <よく使う用紙サイズを選択>

よく使う用紙サイズだけを表示するように設定できます。

<メニュー>画面

を押すと、<メニュー>画面が表示されます。<環境設定>や<タイマー設定>などの全般的な設定から、コピーやスキャンなど各機能に関する設定まで、本機で行う設定の多くはこのキーを押してから始めます。



▶ 設定メニュー一覧(P. 372)

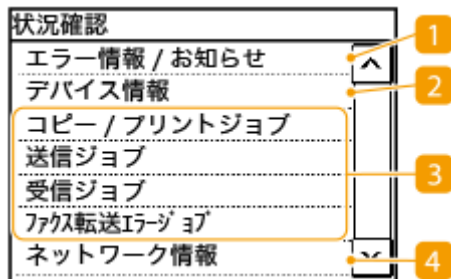


関連項目

▶ ホーム画面をカスタマイズする(P. 160)

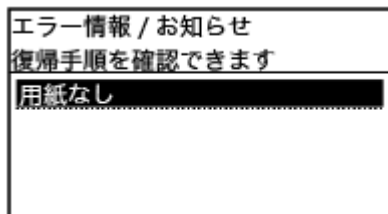
<状況確認>画面

を押すと、文書の状況だけでなく、本体の状況やネットワーク設定の情報も確認できる画面が表示されます。



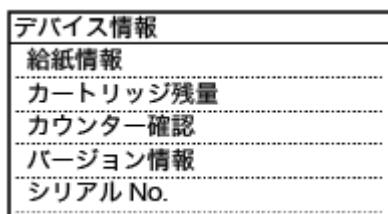
1 <エラー情報/お知らせ>

本機に何らかのエラーが発生しているときに、エラーの内容が表示されます。▶**メッセージごとの対処方法 (P. 503)**



2 <デバイス情報>

用紙サイズやトナーカートリッジの残量などの本機の状況を確認できます。



<給紙情報>

給紙部ごとに用紙のサイズを表示します。

<カートリッジ残量>

トナーカートリッジまたはドラムカートリッジの残量を表示します。トナーカートリッジまたはドラムカートリッジがなくなる前に他の内部の部品が寿命に達する場合があります。

<カウンター確認>

これまでの総印刷枚数を表示します。▶**レポートやリストを印刷する (P. 460)**

<バージョン情報>

ファームウェアのバージョン情報を表示します。

<シリアル No.>

シリアルナンバーを表示します。

3 コピー／印刷／送受信文書の状況や履歴

選んだ項目に応じて、現在の状況を表示します。＜送信ジョブ＞、＜受信ジョブ＞および＜ファクス転送エラージョブ＞の状況はモノクロ6行タッチパネル機でのみ確認できます。以下の画面は、＜コピー/プリントジョブ＞の表示例です。

コピー/プリントジョブ状況		
📄	コピー	10:00 コピー中
🖨	プリンター	10:03 一時停止中
📠	ファクス	10:05 一時停止中

4 ＜ネットワーク情報＞

IP アドレスなどのネットワークの設定内容や、無線 LAN の通信状況が良好であるかどうかなどを確認できます。▶
ネットワークの設定を確認する(P. 39)

ネットワーク情報	
IPv4	
IPv6	
ネットワーク接続方式	
ダイレクト接続情報	
IEEE 802.1X エラー情報	

メッセージ表示

6AAS-02C

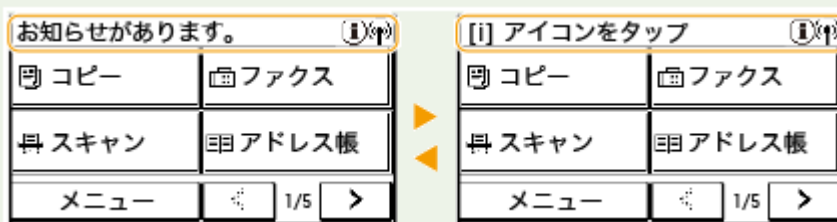
用紙がなくなったときや、トナーカートリッジが寿命に達したときなどに、画面にメッセージが表示されます。メッセージは、図のように交互に切り替わります。🔴メッセージごとの対処方法(P. 503)



MEMO

<お知らせがあります。>や<[i]アイコンをタップ>が表示されたとき（モノクロ 6 行タッチパネル機）

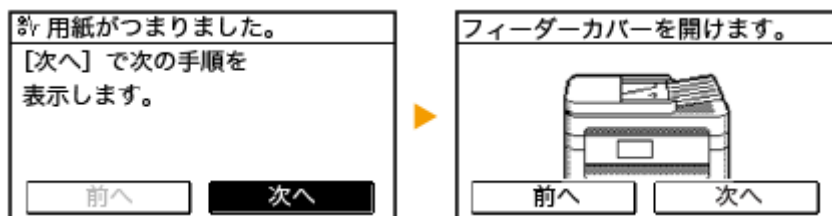
- ⓘ をタップすると、お知らせの内容が確認できます。



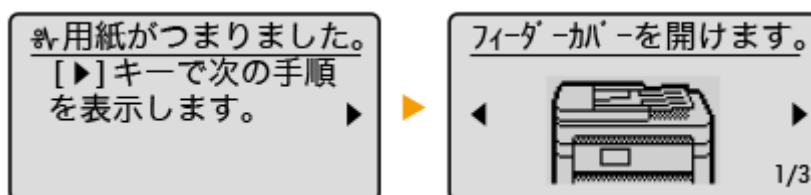
エラーが発生したとき

エラー発生時に対処方法が表示されることがあります。画面の指示に従って操作を進めてください。以下の画面は、紙づまりが発生したときの表示例です。

モノクロ 6 行タッチパネル機



モノクロ 5 行 UI 機



おもな操作方法

6AAS-02E

- モノクロ 6 行タッチパネル機のおもな操作方法(P. 120)
- モノクロ 5 行 UI 機のおもな操作方法(P. 123)

モノクロ 6 行タッチパネル機のおもな操作方法

ディスプレイはタッチパネルになっています。指先で画面に直接触れて操作ができます。



ご注意

以下の操作は行わない

- ディスプレーが誤動作したり、破損したりすることがあります。
 - 指で強く押す
 - 先のとがったもの（爪／ボールペン／鉛筆など）で押す
 - 濡れた手や汚れた手で操作する
 - ディスプレーの上に何かのせたまま操作する

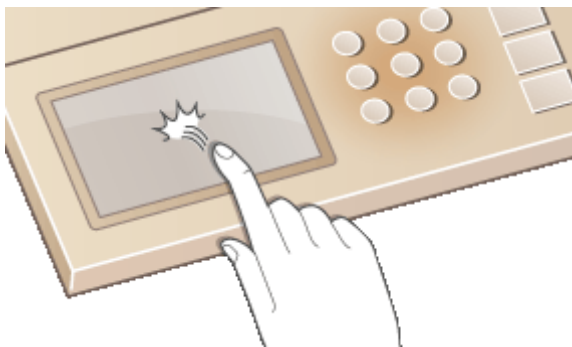


MEMO

- タッチパネルディスプレイに貼られているフィルムは、ご使用前にはがしてください。

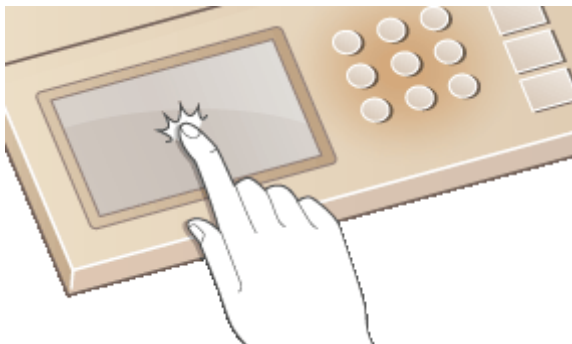
タップ

画面に指先で軽く触れてから、すぐに離す操作です。項目を選んだり、決定したりするときに使います。



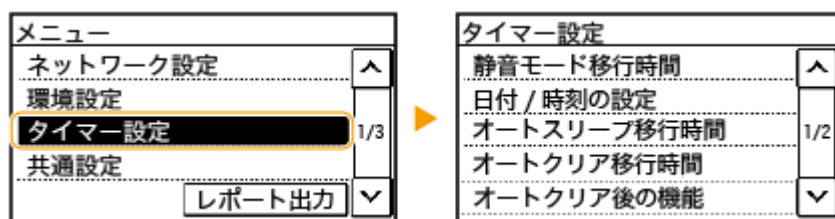
ロングタッチ

画面を指先で長く押す操作です。1 行で表示しきれない文（「…」で表示）があるとき、その行をロングタッチすると、文字が順に表示されます。また、コピーの倍率を連続して増減させるときに使います。



■項目を選ぶ

項目名やボタンをタップして選択してください。



MEMO

間違って選んだときは

- 指先をずらして離すと、選択がキャンセルされます。

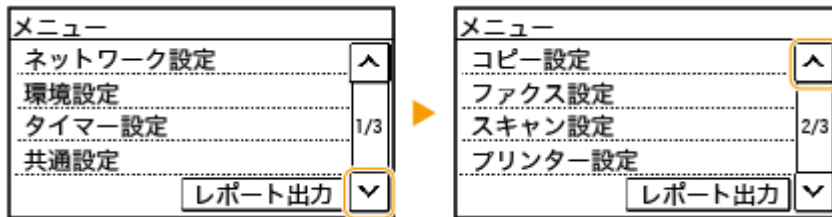


前の画面に戻るときは

-  を押すと前の画面に戻ります。

■画面をスクロールする

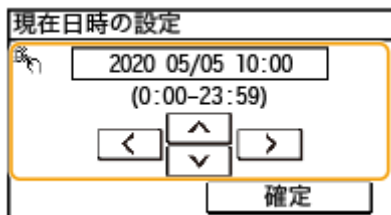
画面にスクロールバーが表示されている場合は、画面に表示しきれない情報がまだあることを示しています。この場合、 >または<  >をタップして画面をスクロールしてください。ページごとに切り替わり、スクロールバーの中にページ番号を表示します。



■数値や設定を変更する

数値を変更する

数値を入力するときは、<  > または <  > をタップします。画面左上に下図のようなアイコンが表示されているときは、テンキーで直接入力することもできます。

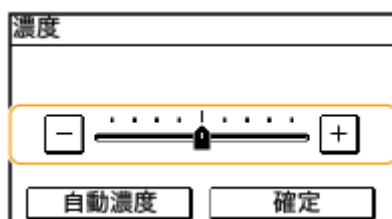


カーソルを移動するときは

- <  > または <  > をタップすると、カーソルを移動できます。

設定値を変更する

目盛りで調整する場合は < - > / < + > をタップします。



便利な機能

- 表示言語の切り替えなど、画面表示に関する各種設定を変更したい  <表示設定> (P. 387)
- 本機を一定時間操作しなかったときに自動的に表示される画面を変更したい  <オートクリア後の機能> (P. 393)
- 画面の明るさなど操作性に関する各種設定を変更したい  <表示設定> (P. 387)

モノクロ 5 行 UI 機のおもな操作方法

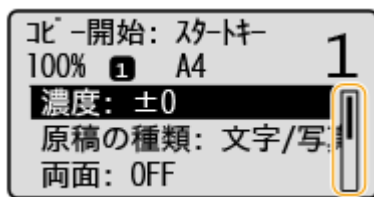
各種機能の設定や設定内容の確認には、以下のキーを操作します。



▲／▼を使う

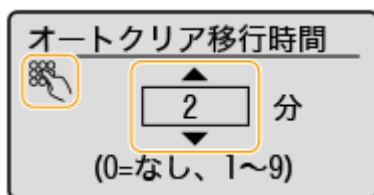
■画面をスクロールする

画面右端にスクロールバーが表示されている場合は、画面に表示しきれない情報がまだあることを示しています。この場合、▲／▼で画面をスクロールしてください。現在選択されている項目は反転して表示されます。



■数値を変更する

数値を入力するときは、▲または▼を使います。画面左上に下図のようなアイコンが表示されているときは、テンキーで直接入力することもできます。▶文字を入力する(P. 126)



入力欄の下に表示されている () 内の数値が入力範囲です。

◀／▶を使う

■次の画面に進む／前の画面に戻る

次の画面に進むときは▶を押します。前の画面に戻るときは◀を押します。



次の画面には **OK** を押して進むこともでき、前の画面には **戻る** を押して戻ることができます。

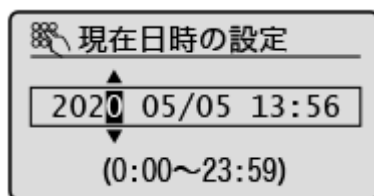
■設定値を変更する

スライダーの目盛りを調整する場合は ◀ / ▶ を使います。



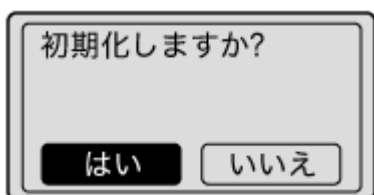
■カーソルを移動する

文字や値を入力する場合は ◀ / ▶ を使います。▶ **文字を入力する(P. 126)**



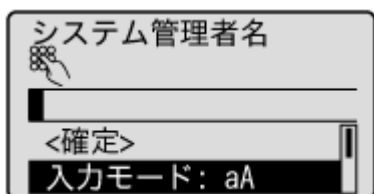
OKを使う

確定するときは **OK** を押します。



テンキーを使う

文字や値を入力するときはテンキーを使います。▶ **文字を入力する(P. 126)**



便利な機能

- スクロール速度の変更や表示言語の切り替えなど、画面表示に関する各種設定を変更したい ▶ **<表示設定>** (P. 387)

- 本機を一定時間操作しなかったときに自動的に表示される画面を変更したい ▶<オートクリア後の機能> (P. 393)
- 画面の明るさなど操作性に関する各種設定を変更したい ▶<表示設定> (P. 387)

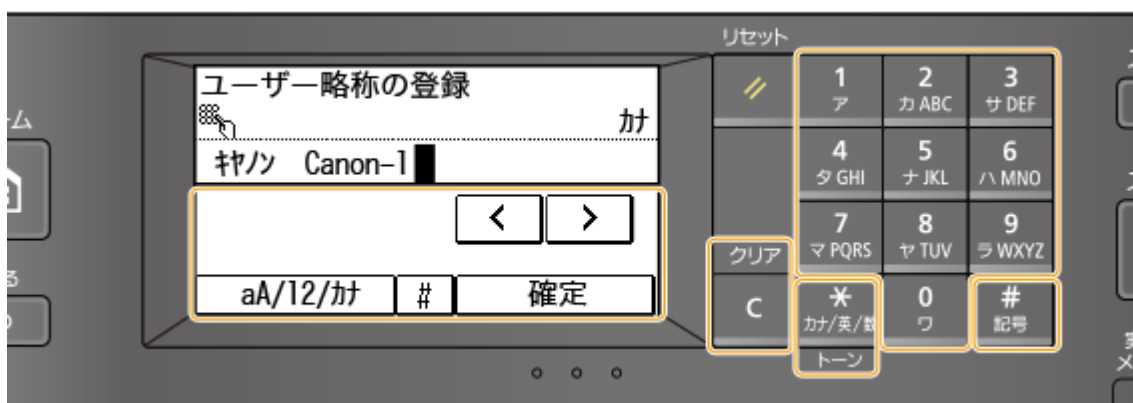
文字を入力する

6AAS-02F

- ▶ モノクロ 6 行タッチパネル機で文字を入力する(P. 126)
- ▶ モノクロ 5 行 UI 機で文字を入力する(P. 128)

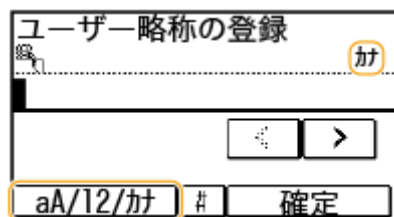
モノクロ 6 行タッチパネル機で文字を入力する

文字や数字を入力するときはディスプレイとテンキーを使います。なお、テンキーではカタカナしか入力できません。アドレス帳に宛先を登録するときなどに漢字やひらがなを使いたい場合はリモート UI から登録してください。▶ **リモート UI から宛先を登録する(P. 358)**



文字の種類を切り替える

< aA/12/か > をタップすると文字の種類が「か→aA（英字）→12（数字）」のように切り替わります。



 **MEMO**

-  を押しても切り替えることができます。

入力できる文字の種類

文字はテンキーとディスプレイで入力します。次の表は、入力できる文字です。

使用するキー	aA	12	か
	@ . - _ /	1	アイウエオアイウエオ

	ABCabc	2	カキケコ
	DEFdef	3	サンスセソ
	GHIghi	4	タチツテトッ
	JKLjkl	5	ナニヌネノ
	MNOmno	6	ハヒフヘホ
	PQRSpqrs	7	マミムメモ
	TUVtuv	8	ヤユヨヤユヨ
	WXYZwxyz	9	ラリルロ
	(入力不可)	0	ヲ
	(スペース) -.*!";,:^`_=/ '?\$@%&+~\~(){}<> (入力不可)		* (濁音) ° (半濁音) - (ハイフン)



- 入力モードが<aA>のときに  を押すか、<#>をタップすると、入力できる記号がディスプレイに表示されますので、記号をタップして入力します。入力モードが<か>のときは、濁音、半濁音、ハイフンを入力できます。

文字や数字の入力例

入力例：「ヤノ Canon-1」

- 1 <aA/12/カ> (または  を押す) を繰り返し押し、<カ>を選択する
- 2  を繰り返し押し、「カ」を入力する
- 3  を繰り返し押し、「ヤ」を入力する
- 4  を繰り返し押し、「ノ」を入力する
- 5  を繰り返し押し、「ン」を入力する

- 6 < > を押す
- 7 < aA/12/カ > (または  を押す) を繰り返し押し、< aA > を選択する
- 8  を繰り返し押し、「C」を入力する
- 9  を繰り返し押し、「a」を入力する
- 10  を繰り返し押し、「n」を入力する
- 11  を繰り返し押し、「o」を入力する
- 12  を繰り返し押し、「n」を入力する
- 13  を繰り返し押し、「-」を入力する
- 14 < aA/12/カ > (または  を押す) を繰り返し押し、< 12 > を選択する
- 15  を押す
- 16 < 確定 > を押す

文字を削除する

 を押すごとに 1 文字ずつ削除されます。長押しすると、入力した文字がすべて削除されます。

カーソルを移動する（スペースを入力する）

< < > または < > > をタップします。文字の最後にカーソルを合わせて < > > をタップすると、スペースが入力されます。

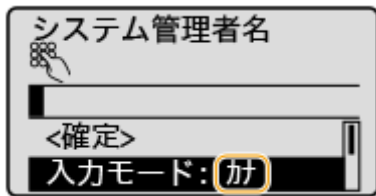
モノクロ 5 行 UI 機で文字を入力する

文字や数字を入力するときはテンキーを使います。なお、テンキーではカタカナと英数字しか入力できません。漢字やひらがなを使いたい場合はリモート UI から入力してください。



文字の種類を切り替える

 を押すと文字の種類が「カ→aA（英字）→12（数字）」のように切り替わります。



- <入力モード>を選択して **OK** を押しても文字の種類を切り替えることができます。

入力できる文字の種類

文字はテンキーと **#** で入力します。次の表は、入力できる文字です。

使用するキー	aA	12	カ
1 ア	@ . - _ /	1	アイウエオ
2 カ ABC	ABCabc	2	カキクコ
3 サ DEF	DEFdef	3	サンスセソ
4 タ GHI	GHIghi	4	タチツテト
5 ナ JKL	JKLjkl	5	ナニヌネノ
6 ハ MNO	MNOmno	6	ハヒフヘホ
7 マ PQRS	PQRSpqrs	7	マミムメモ
8 ヤ TUV	TUVtuv	8	ヤヨユョ
9 ラ WXYZ	WXYZwxyz	9	ラリルロ
0 ワ	(入力不可)	0	ワヲ
# 記号	(スペース) - . * ! " , ; : ^ ` _ = / ' ? \$ % & + \ ~ () [] { } < > (入力不可)		* (濁音) ° (半濁音) - (ハイフン)



- 入力モードが<aA>のときに **#** を押すか、<記号入力>を選択して **OK** を押すと、入力できる記号がディスプレイに表示されます。▲/▼/◀/▶ キーで入力したい記号を選び、**OK** を押して入力します。入力モードが<か>のときは、濁音、半濁音、ハイフンを入力できます。

文字を削除する

C を押すごとに 1 文字ずつ削除されます。長押しすると、入力した文字がすべて削除されます。

カーソルを移動する（スペースを入力する）

◀ または ▶ を押します。文字の最後にカーソルを合わせて ▶ を押すと、スペースが入力されます。

文字や数字の入力例

入力例：「ｷｾﾉ Canon-1」

- *** を繰り返し押し、入力モードを<か>にする
- 2** を繰り返し押し、「ｷ」を入力する
- 8** を繰り返し押し、「ｾ」を入力する
- 5** を繰り返し押し、「ﾉ」を入力する
- 0** を繰り返し押し、「ﾝ」を入力する
- ▶ を押す
- *** を繰り返し押し、入力モードを<aA>にする
- 2** を繰り返し押し、「C」を入力する
- 2** を繰り返し押し、「a」を入力する
- 6** を繰り返し押し、「n」を入力する
- 6** を繰り返し押し、「o」を入力する
- 6** を繰り返し押し、「n」を入力する
- 1** を繰り返し押し、「-」を入力する
- *** を繰り返し押し、入力モードを<12>にする
- 1** を押す
- <確定>を選び、**OK** を押す

原稿をセットする

6AAS-02H

原稿は原稿台ガラスまたはフィーダーにセットします。原稿台ガラスは、書籍のようにとじてあったり、厚みがあったりで、フィーダーにセットできない原稿をセットするときに使います。フィーダーは、2枚以上の原稿をまとめてセットして連続して読み込むことができます。セットできるサイズなどについては、**本体(P. 546)** および **フィーダー(P. 550)** を参照してください。



● 原稿台ガラスにセットする(P. 132)

● フィーダーにセットする(P. 133)



乾いた用紙を使用する

- 原稿にインク、修正液、のりなどが付いているときは、完全に乾かしてからセットしてください。

紙づまりを防ぐには

- 次のような原稿は使用しないでください。フィーダー内の紙づまりの原因となります。

- しわや折り目がある原稿
- カーボン紙
- カールした、または巻いた紙
- コート紙
- 破れた原稿
- 薄質半透明紙や薄紙
- ホチキスの針、またはクリップが付いた紙
- 熱転写プリンターで印刷された紙
- OHP フィルム



原稿をより精密に読み込むには

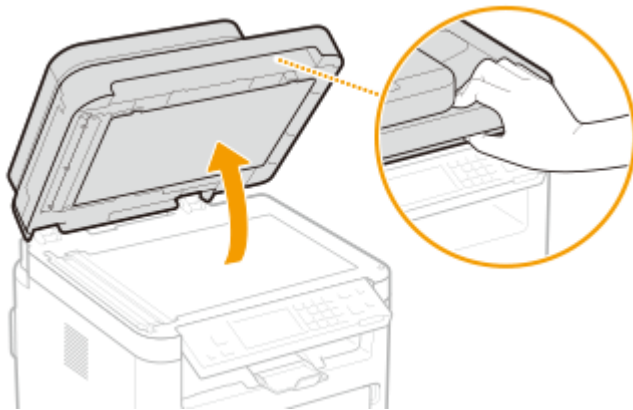
- フィーダーにセットした原稿は搬送されながら読み込まれますが、原稿台ガラスにセットした場合は静止した状態で読み込みが行われます。精度の高い読み込みが必要な場合は、原稿台ガラスを使うことをおすすめします。

トレーシングペーパーや OHP フィルムなどを読み込むには

- トレーシングペーパーや OHP フィルムなどの透過原稿を読み込む場合は、原稿台ガラスにセットしてください。

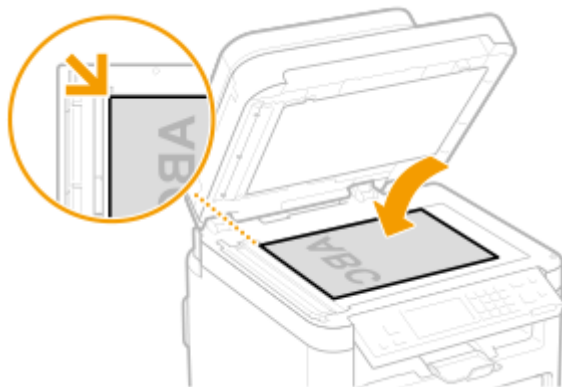
原稿台ガラスにセットする

1 フィーダーまたは原稿台ガラスカバーを開ける



2 読み込む面を下にして、原稿を原稿台ガラスの上に置く

- 原稿の角を原稿台ガラスの左上隅に合わせます。



- トレーシングペーパーや OHP フィルムなどの透過原稿を読み込む場合は、原稿の上に白紙を重ねて置いてください。

3 フィーダーまたは原稿台ガラスカバーをゆっくり閉じる

⇒ 原稿を読み込む準備ができました。

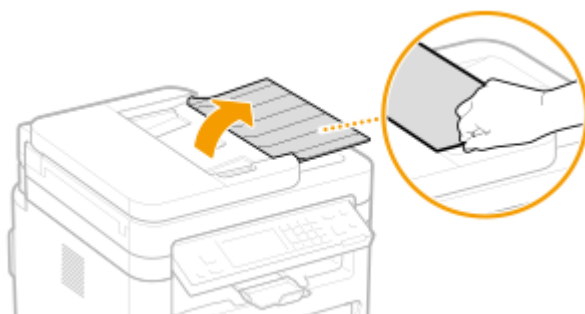


原稿を読み込み終わったら

- 原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

フィーダーにセットする

1 原稿給紙トレイを開ける



2 原稿ガイドを広げる

- 原稿ガイドの幅を原稿の幅より少し広めにセットします。



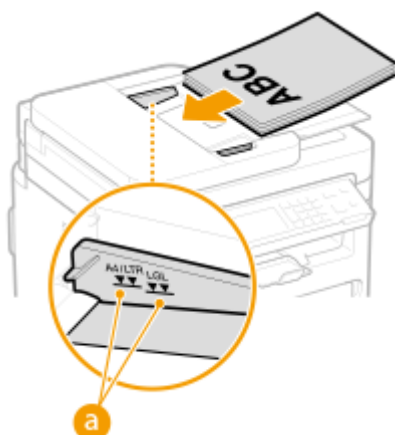
3 原稿をさばいて、端をそろえる

- 少量ずつよくさばき、平らな場所で軽く数回たたいて端をそろえます。



4 読み込む面を上にして、原稿をセットする

- 原稿は積載制限マーク（a）を超えないようにしてください。

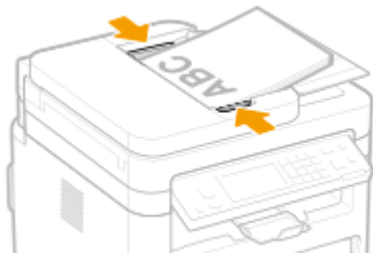




- 異なるサイズ of 原稿を混せてセットしないでください。
- 積載制限マークを超える原稿をセットした場合、読み込まれなかったり、紙づまりの原因となったりします。

5 原稿ガイドを原稿に合わせる

- 原稿ガイドを原稿の幅にぴったり合わせます。



⇒ 原稿を読み込む準備ができました。



原稿ガイドを原稿の幅にぴったり合わせる

- ガイドの合わせかたがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、原稿が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になったりします。

原稿を読み込んでいるとき

- 原稿を追加したり、抜いたりしないでください。

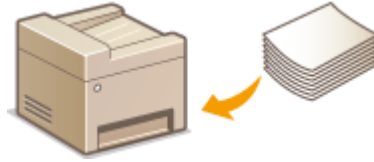
原稿を読み込み終わったら

- 紙づまりを防ぐために、フィーダーの下に排出された原稿を取り除いてください。

用紙をセットする

6AAS-02J

用紙は給紙カセットと手差し給紙口にセットできます。使用できる用紙のサイズと種類については、**用紙について(P. 552)**を参照してください。



用紙について

- 用紙についての注意事項(P. 135)
- 本機で印刷した用紙の保管について(P. 136)

用紙のセット方法

- 給紙カセットにセットする(P. 137)
- 手差し給紙口にセットする(P. 141)
- 封筒・はがきをセットする(P. 144)
- ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 149)

セットした用紙の設定

- 用紙サイズと種類を設定する(P. 151)

用紙についての注意事項



次の用紙は使用しない

- 紙づまりや印刷不良の原因になることがあります。
 - しわや折り目がある紙
 - カールした紙や巻いた紙
 - 破れた紙
 - 湿った紙
 - 非常に薄い紙
 - 薄いわら半紙
 - 熱転写プリンターで印刷された紙
 - 熱転写プリンターで印刷された紙のウラ面
 - 目の粗い紙
 - つるつるした紙
 - インクジェット専用の郵便はがき

用紙を使うときは

- 用紙は本機が設置されている環境に十分慣らしてからご使用ください。異なる温度／湿度に保管されていた用紙を使用すると、紙づまりや印字不良が起こる場合があります。

用紙の保管方法

- 用紙は開封後すぐにお使いになることをおすすめします。用紙が残った場合は、入っていた包装紙に再度包み、平らな場所に保管してください。
- 湿気や乾燥を防ぐため、使用するまでは包装したままにしておいてください。
- 用紙が丸まったり折れ目が付いたりするような置きかたをしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、多く積み重ねたりしないでください。
- 直射日光の当たる場所、湿度の高い場所、乾燥している場所、使用場所との温度差や湿度差が著しい場所には保管しないでください。



湿った用紙に印刷すると

- 排紙部周辺から湯気が出たり、排紙部に水滴が付いたりすることがあります。これは、トナーを定着するときの熱によって用紙に含まれる水分が蒸発しているためですので、異常ではありません（特に、室温が低い場合に発生しやすくなります）。

本機で印刷した用紙の保管について

本機で印刷した用紙の取り扱いや保管には、次のことに気を付けてください。

■印刷した用紙の保管方法

- 平らな場所に保管してください。
- クリアホルダなど PVC（ポリ塩化ビニル）素材のものと一緒に保管しないでください。トナーが溶けて用紙と PVC 素材が貼り付くことがあります。
- 折れたりしわになったりしないように保管してください。トナーがはがれることがあります。
- 長期間（2 年以上）保管するときはバインダーなどに入れて保管してください。
- 長期間保管すると、用紙の変色によりプリントが変色したように見えることがあります。
- 高温の場所には保管しないでください。

■のり付けするときの注意

- 不溶性の接着剤を必ず使用してください。
- 不要になった印刷物で試してから、接着剤を使用してください。
- のり付けした用紙を重ねるときは、完全に乾いていることを確認してください。



関連項目

- 定形外サイズの内紙を登録する(P. 156)

給紙カセットにセットする

6AAS-02K

普段よく使う用紙は、給紙カセットにセットしてください。給紙カセットにセットされていない用紙を使って印刷したいときは、手差し給紙口に用紙をセットします。●**手差し給紙口にセットする(P. 141)**



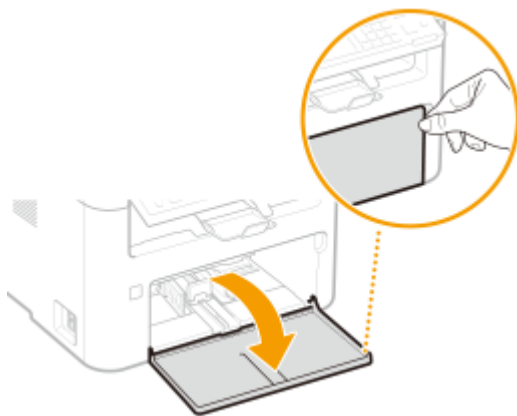
MEMO

A5 サイズの用紙をセットするとき

- 用紙をセットした向きに応じて、用紙サイズを設定してください。用紙を横置きでセットしたいときは、プリンタードライバー側で設定する必要があります。詳しくはプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

ヨコ置き**タテ置き**

1 前カバーを開ける



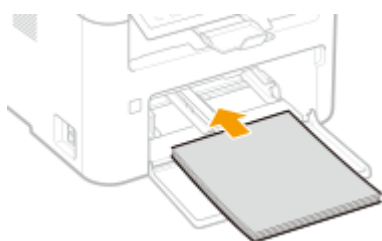
2 用紙ガイドを広げる

- 用紙ガイドを外側へ移動します。



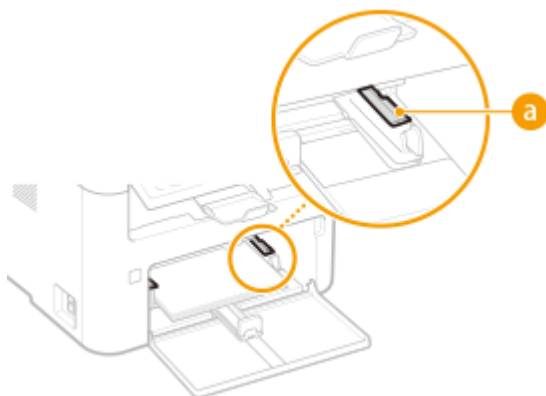
3 用紙を奥に突き当ててセットする

- 印刷する面を上にして用紙の短辺から差し込みます。ヨコ向きにセットすることはできません。
- 用紙をよくさばいて、平らな場所で用紙の端をそろえてからセットしてください。
- <用紙設定の確認表示>が< ON >に設定されている場合、用紙をセットすると、確認画面が表示されます。▶<用紙設定の確認表示>(P. 388)



積載制限ガイドを超えないようにセットする

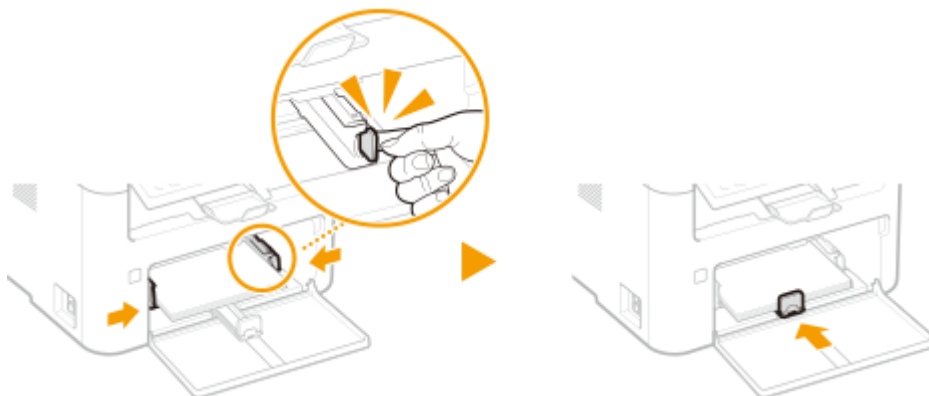
用紙は積載制限ガイド (a) を超えないようにセットしてください。給紙不良の原因になります。



封筒、はがきやロゴマーク付きの用紙をセットするときは、▶封筒・はがきをセットする(P. 144) または ▶ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 149) を参照してください。

4 用紙ガイドを用紙に合わせる

- 用紙ガイドを用紙にぴったり合わせます。



ご注意

用紙ガイドを用紙にぴったり合わせる

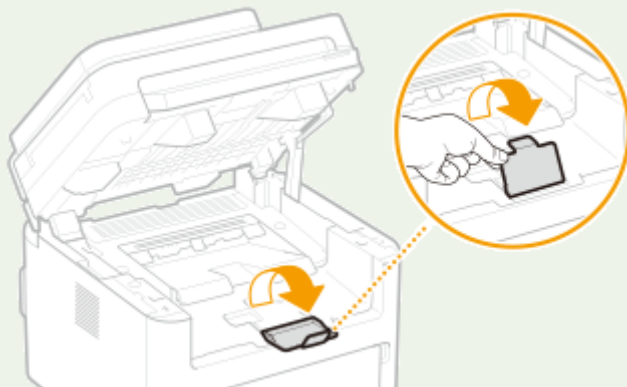
ガイドの合わせかたがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

5 前カバーを閉める



MEMO

- 印刷するときは、排出された用紙が排紙トレイからずれ落ちないように、排紙ストッパーを開いてください。



≫ 続いて、 給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する(P. 152) に進む



ご注意

用紙サイズや種類を変更したとき

- お買い上げ時、用紙サイズは＜ A4 ＞、用紙種類は＜ 普通紙 L ＞に設定されています。用紙サイズや種類を変更したときは、設定も必ず変更してください。変更せずにお使いになると正しく印刷されません。

印刷済み用紙のウラ面に印刷する（手動両面印刷）

- 一度印刷した用紙のウラ面に印刷することができます。用紙の端を伸ばしてカールを取り、印刷する面を下にして給紙カセット、または印刷する面を上にして手差し給紙口（手差し給紙口にセットする(P. 141)）にセットしてください。
 - 手差し給紙口を使う場合は、印刷のたびに1枚ずつセットしてください。
 - 本機で印刷した用紙のみ使用できます。
 - 一度印刷した面の上からさらに印刷することはできません。
 - A5 サイズの用紙にウラ面印刷した場合、正しく印刷できないことがあります。



関連項目

-  **用紙について(P. 552)**

手差し給紙口にセットする

6AAS-02L

給紙カセットにセットされていない用紙を使って印刷したいときは手差し給紙口にセットします。普段よく使う用紙は、給紙カセットにセットしてください。●給紙カセットにセットする(P. 137)

**ご注意**

一度にセットできる用紙は1枚だけ

- 印刷のたびに1枚ずつセットしてください。

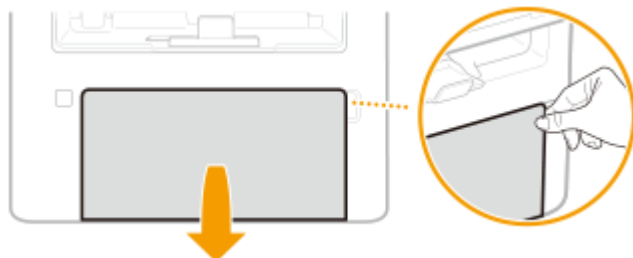
**MEMO**

A5 サイズの用紙をセットするとき

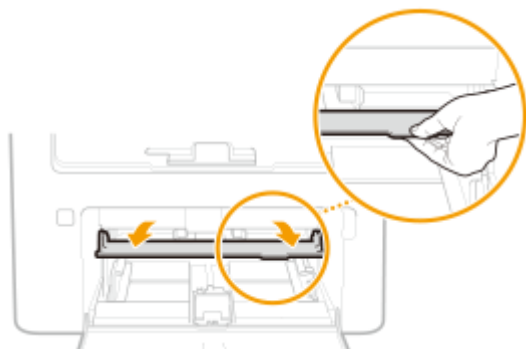
- 用紙をセットした向きに応じて、用紙サイズを設定してください。用紙を横置きでセットしたいときは、プリンタードライバー側で設定する必要があります。詳しくはプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

ヨコ置き**タテ置き**

1 前カバーを開ける

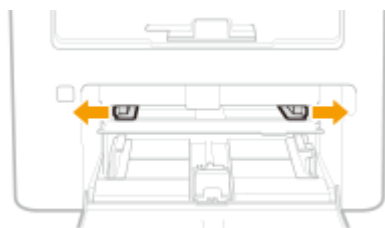


2 手差し給紙口を下げる



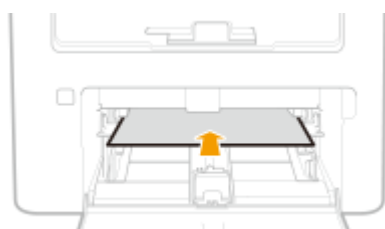
3 用紙ガイドを広げる

- 用紙ガイドを外側へ移動します。



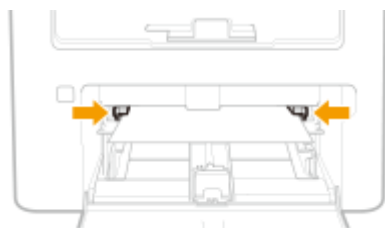
4 用紙が奥に当たるまでゆっくりと差し込む

- 印刷する面を上にして差し込みます。



- 封筒、はがきやロゴマーク付きの用紙をセットするときは、**封筒・はがきをセットする(P. 144)** または **ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 149)** を参照してください。

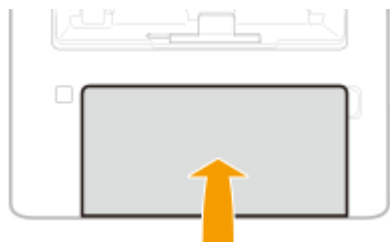
5 用紙ガイドを用紙に合わせる



用紙ガイドを用紙の幅にぴったり合わせる

- ガイドの合わせかたがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になったりします。

6 前カバーを閉める



≫ 続いて、**手差し給紙口**の用紙サイズと種類を設定する(P. 154) に進む

印刷済み用紙のウラ面に印刷する（手動両面印刷）

- 一度印刷した用紙のウラ面に印刷することができます。用紙の端を伸ばしてカールを取り、プリントする面を上にして給紙カセット（**給紙カセットにセットする(P. 137)**）または手差し給紙口にセットしてください。
 - 本機で印刷した用紙のみ使用できます。
 - 一度印刷した面の上からさらに印刷することはできません。
 - A5 サイズの用紙にウラ面印刷した場合、正しく印刷できないことがあります。



関連項目

用紙について(P. 552)

封筒・はがきをセットする

6AAS-02R

封筒やはがきをセットするときは、カールを取るなどの準備作業を確実に行う必要があります。また、セットする面や向きにも注意が必要です。

🔴封筒をセットする(P. 144)

🔴はがきをセットする(P. 146)



- ここでは、封筒をセットする前に行う準備と、封筒やはがきをセットする際の正しい向きについて説明しています。封筒やはがきを給紙カセットや手差し給紙口にセットするときの全体的な手順については、以下を参照してください。
 - 🔴給紙カセットにセットする(P. 137)
 - 🔴手差し給紙口にセットする(P. 141)

封筒をセットする

■封筒をセットする前に

セットする前に、以下の手順で封筒を整えてください。



- 手差し給紙口に一度にセットできる封筒は1枚だけです。ただし、以下の手順1～3の準備が必要です。

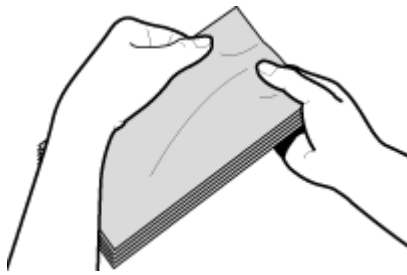
1 ふたを閉じる



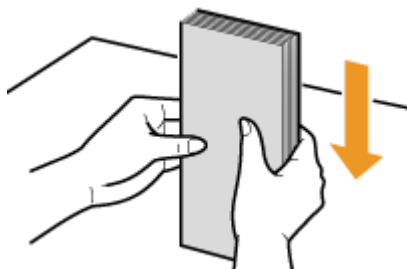
2 上から押して空気を抜き、四辺の折り目をしっかり付けたあと、平らにならす



3 四隅の固い部分をほぐすようにしてカールを取る



4 平らな場所でそろえる

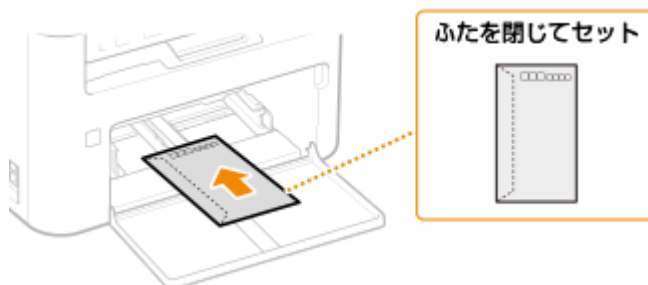


■給紙カセットにセットする

貼り合わせのない面（オモテ面）を上にして、封筒の長辺がカセットの長辺と平行になるようにタテ向きでセットします。

洋形長3号

封筒のふたが左側になるようにセットします。



長形3号

封筒のふたが手前側になるようにセットします。

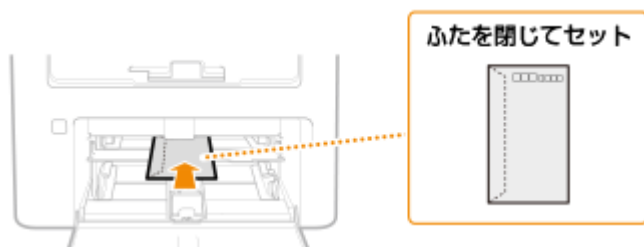


■手差し給紙口にセットする

貼り合わせのない面（オモテ面）を上にして、封筒の短辺から差し込みます。

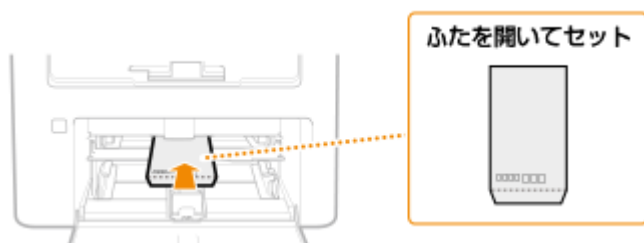
洋形長3号

封筒のふたを左にして差し込みます。



長形3号

封筒のふたを手前にして差し込みます。



はがきをセットする



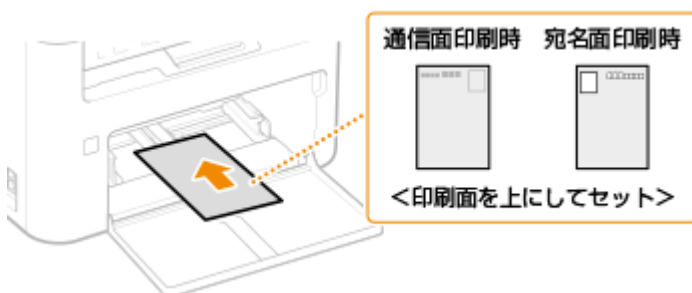
- はがきの自動両面印刷はできません。両面印刷するときは、まず片面を印刷してから反対面を印刷してください。
- はがきはカールを取ってからセットしてください。カールしたままでは、斜めに印刷されたり、画像がゆがんで印刷されたりすることがあります。

■給紙カセットにセットする

印刷する面を上にして、はがきの長辺がカセットの長辺と平行になるようにタテ向きでセットします。

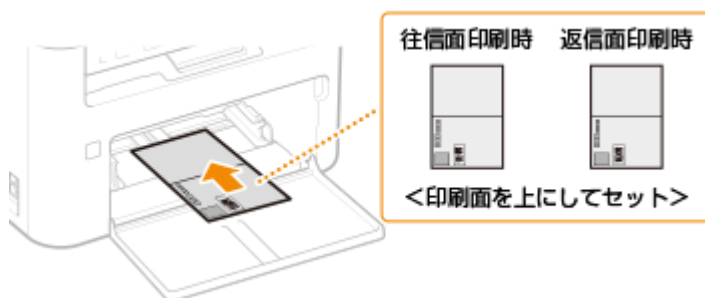
はがき

はがきの上端が奥側になるようにセットします。



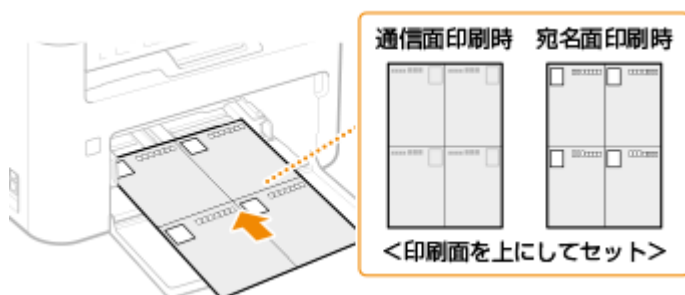
往復はがき

はがきを広げた状態で上端が左側になるようにセットします。



4面はがき

はがきの上端が奥側になるようにセットします。

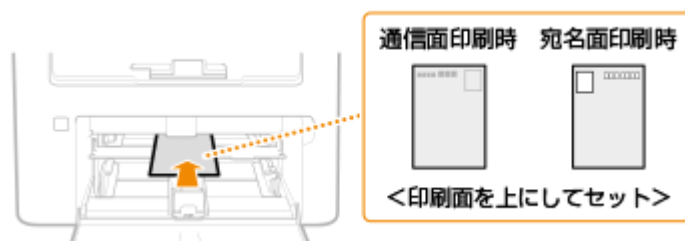


■手差し給紙口にセットする

印刷する面を上にして、はがきの短辺から差し込みます。

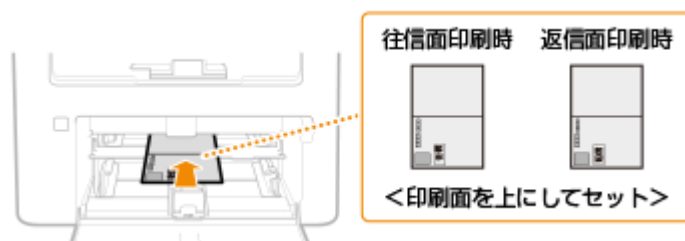
はがき

はがきの上端から差し込みます。



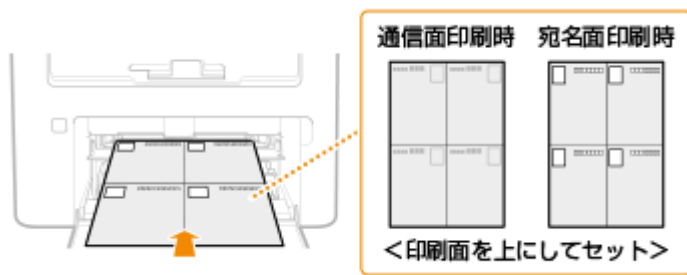
往復はがき

はがきを広げた状態で右端から差し込みます。



4面はがき

はがきの上端から差し込みます。



ロゴなどが印刷された用紙をセットする

ロゴマークなどが印刷されている用紙を使うときは、用紙の向きに注意する必要があります。ロゴマークなどがある面に正しい向きで文書を印刷するために、レイアウトや印刷のしかたに応じて用紙をセットしてください。



▶ロゴ入り用紙に片面印刷する(P. 149)

▶ロゴ入り用紙に両面印刷する(P. 150)



- ここでは、ロゴマークなどが印刷された用紙をセットするときの正しい向きについて説明しています。用紙を給紙カセットや手差し給紙口にセットするときの全体的な手順については、以下を参照してください。

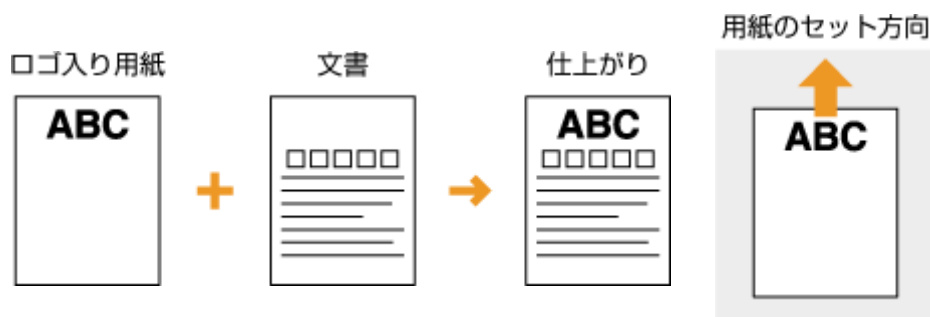
▶給紙カセットにセットする(P. 137)

▶手差し給紙口にセットする(P. 141)

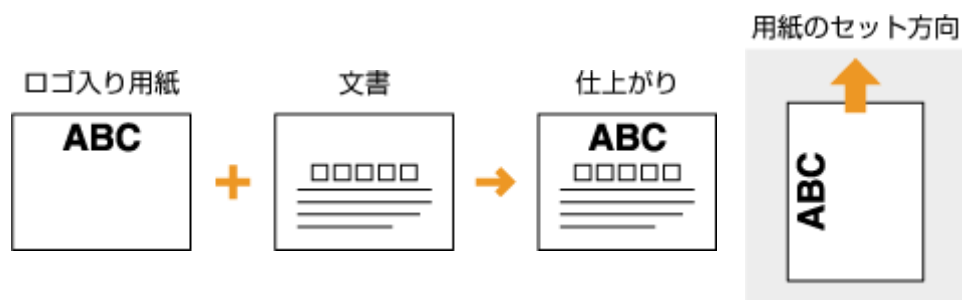
ロゴ入り用紙に片面印刷する

ロゴのある面（文書を印刷する面）を上向きにセットしてください。

タテ向きのロゴ入り用紙に印刷する



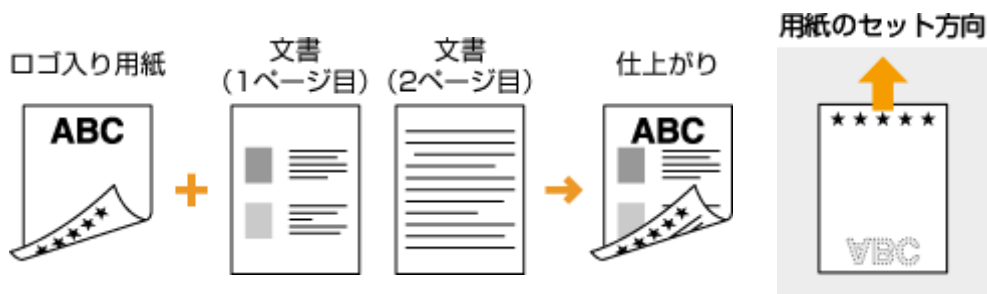
ヨコ向きのロゴ入り用紙に印刷する



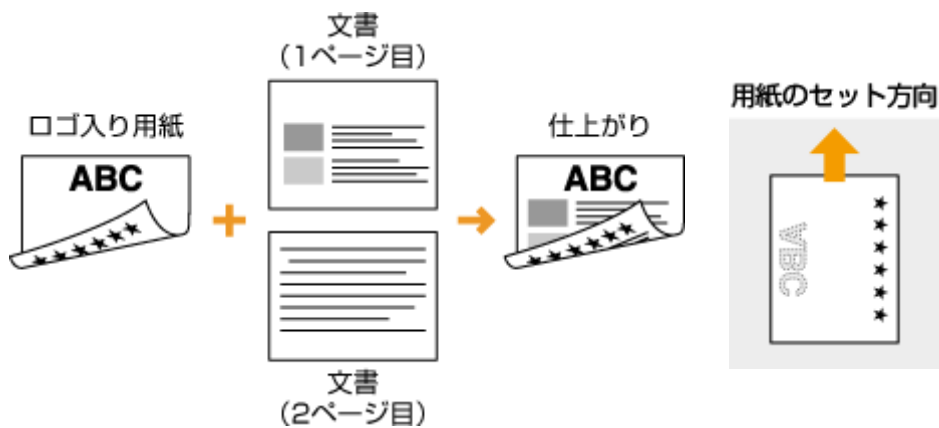
ロゴ入り用紙に両面印刷する

ロゴのある面（文書の1ページ目を印刷する面）を下向きにセットしてください。

タテ向きのロゴ入り用紙に印刷する



ヨコ向きのロゴ入り用紙に印刷する



MEMO

<給紙方法切替>設定について

- ロゴ入り用紙に片面印刷するときと両面印刷するときでは、用紙のセット面を変える必要がありますが、<給紙方法切替>を<プリント面優先>に設定すると、片面印刷時のセット面を両面印刷と同じ（ロゴのある面を下向き）にすることができます。片面印刷と両面印刷をひんぱんに使い分ける場合に設定しておく便利です。▶<給紙方法切替> (P. 395)

用紙サイズと種類を設定する

6AAS-02U

用紙サイズと種類が設定できないアプリケーションから印刷する場合は、本機で設定します。今までセットされていた用紙と異なる用紙をセットした場合も、忘れずに設定を変更してください。

- ▶ 給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する (P. 152)
- ▶ 手差し給紙口の用紙サイズと種類を設定する (P. 154)
- ▶ 定形外サイズの用紙を登録する (P. 156)
- ▶ 用紙サイズを絞り込んで表示する (P. 158)



- セットした用紙と設定が一致していないと、正しく印刷できないだけでなく、紙づまりや印刷不良の原因となります。

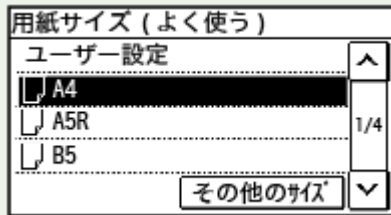
給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する

6AAS-02W

給紙カセットにセットした用紙に合わせて用紙サイズと種類を設定します。



- 給紙カセットに用紙をセットすると、以下の画面が表示されます。手順 3 から設定を行ってください。



1 <用紙設定>画面を表示する ●ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<用紙設定>を選ぶ

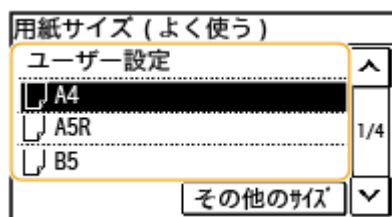
モノクロ 5 行 UI 機

 (用紙設定) を押す

2 <カセット 1>を選ぶ

3 用紙のサイズを選ぶ

- セットした用紙サイズが表示されていないときは、<その他のサイズ>を選びます。



4 用紙の種類を選ぶ





関連項目

- ▶ 給紙カセットにセットする(P. 137)
- ▶ 用紙サイズを絞り込んで表示する(P. 158)
- ▶ 用紙について(P. 552)

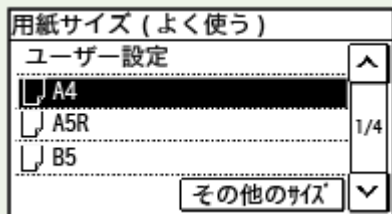
手差し給紙口の用紙サイズと種類を設定する

6AAS-02X

手差し給紙口にセットした用紙に合わせて用紙サイズと種類を設定します。



- 手差し給紙口に用紙をセットすると、以下の画面が表示されます。手順 3 から設定を行ってください。



1 <用紙設定>画面を表示する ●ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<用紙設定>を選ぶ

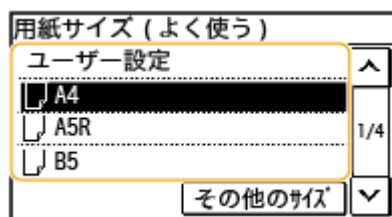
モノクロ 5 行 UI 機

 (用紙設定) を押す

2 <手差し>を選ぶ

3 用紙のサイズを選ぶ

- セットした用紙サイズが表示されていないときは、<その他のサイズ>を選びます。



4 用紙の種類を選ぶ





関連項目

- ▶手差し給紙口にセットする(P. 141)
- ▶用紙サイズを絞り込んで表示する(P. 158)
- ▶用紙について(P. 552)

定形外サイズの内紙を登録する

6AAS-02Y

定形サイズ以外の内紙で、よく使うサイズを登録できます。

1 <用紙設定>画面を表示する ◀ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<用紙設定>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

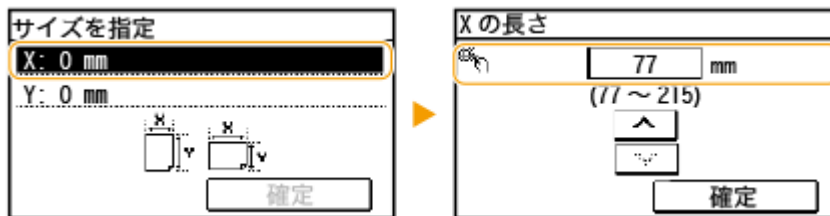
 (用紙設定) を押す

2 <手差し>または<カセット 1>を選んで、<ユーザー設定>に進む

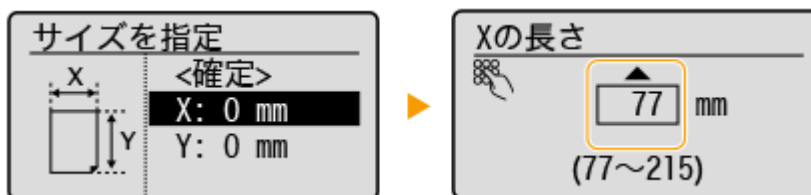
3 <X>辺と<Y>辺の長さを設定する

- <X> ▶ <X>辺の長さを<  > () / <  > () を使って入力 ▶ <確定> () ▶ <Y>
▶ <Y>辺の長さを入力 ▶ <確定> () の順に操作します。

モノクロ 6 行タッチパネル機



モノクロ 5 行 UI 機



4 <確定>を選ぶ

5 用紙の種類を選ぶ





関連項目

- ▶ 給紙カセットにセットする(P. 137)
- ▶ 手差し給紙口にセットする(P. 141)

用紙サイズを絞り込んで表示する

6AAS-030

よく使う用紙サイズだけを用紙サイズ設定の選択画面に表示させることができます。

1 <用紙設定>画面を表示する ◀ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<用紙設定>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

 (用紙設定) を押す

2 <よく使う用紙サイズを選択>を選ぶ

3 <手差し>または<カセット 1 >を選ぶ

4 表示させない用紙サイズのチェックマークを外す

- よく使う用紙サイズだけにチェックマークが付いている状態にします。



- チェックマークを外した用紙サイズは、用紙サイズ設定の選択画面で<その他のサイズ>を選ぶと表示されます。

5 <確定>を選ぶ



関連項目

- ▶給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する(P. 152)
- ▶手差し給紙口の用紙サイズと種類を設定する(P. 154)

ディスプレイをカスタマイズする

6AAS-031

ホーム画面をより使いやすくするためにカスタマイズすることができます。



ホーム画面のカスタマイズ

表示されているボタンを並べ替えることができます。▶ホーム画面をカスタマイズする(P. 160)

🏠 ホーム	
📄 用紙設定	🔧 ホーム設定 *
📄 用紙節約	📄 スキャン ▶ PC1
メニュー	< 2/5 >

ホーム画面をカスタマイズする

ホーム画面は、利用しやすいように表示順を変更してカスタマイズすることができます。

■ ボタンの表示順を変更する

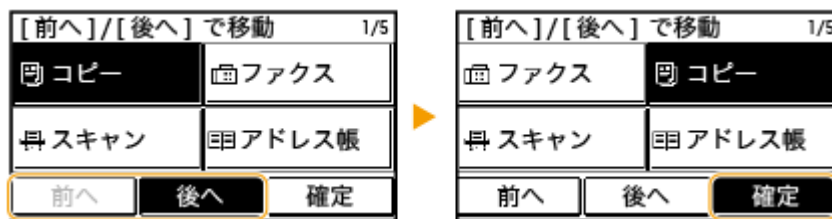
1 ホーム画面で、＜ホーム設定＞を選ぶ ●ホーム画面(P. 113)

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して＜確定＞を選びます。 ●システム管理暗証番号を設定する(P. 304)

2 ＜表示順番の設定＞を選ぶ

3 移動させたいボタンを選ぶ

4 ＜前へ＞または＜後へ＞を選んでボタン移動させ、＜確定＞を選ぶ



- タップした回数分だけボタンが移動されます。
- ロングタッチするとボタンを連続的に移動させることができます。

5 手順 3～4 を繰り返して移動させたいボタンをすべて移動する

6 ＜終了＞を選ぶ

■ 空白を挿入するには

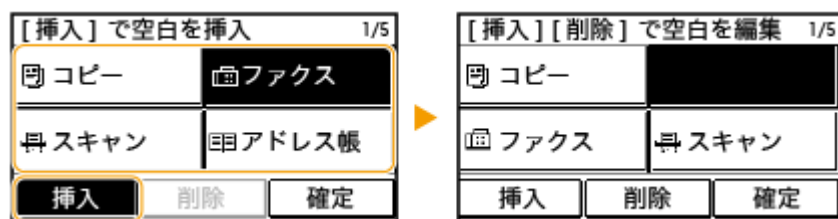
1 ホーム画面で、＜ホーム設定＞を選ぶ ●ホーム画面(P. 113)

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して＜確定＞を選びます。 ●システム管理暗証番号を設定する(P. 304)

2 ＜空白の挿入と削除＞を選ぶ

3 空白を挿入したい箇所のボタンを選んで、<挿入>を選ぶ

- 挿入した空白を削除するときは、空白を選択して<削除>をタップし、手順 5 へ進みます。



4 <確定>を選ぶ

5 <終了>を選ぶ



関連項目

▶おもな操作方法(P. 120)

機能の初期値を変更する

6AAS-033

電源を入れたときや、を押したときに表示される設定値を初期値といいます。この初期値を、ひんばんに使用する操作内容に合わせて変更しておけば、作業するたびに同じ設定をする手間が省けます。

■コピー

変更できる設定項目については、＜デフォルト設定の変更＞(P. 397) を参照してください。



＜メニュー＞() ▶ ＜コピー設定＞ ▶ ＜デフォルト設定の変更＞ ▶ 設定項目を選択 ▶ 選択した項目の初期値を変更 ▶ ＜確定＞

■ファクス

変更できる設定項目については、＜ファクス設定＞(P. 400) を参照してください。



＜メニュー＞ ▶ ＜ファクス設定＞ ▶ ＜送信機能設定＞ ▶ ＜デフォルト設定の変更＞ ▶ 設定項目を選択 ▶ 選択した項目の初期値を変更 ▶ ＜確定＞

■Eメール

変更できる設定項目については、＜Eメール設定＞(P. 411) を参照してください。



＜メニュー＞ ▶ ＜スキャン設定＞ ▶ ＜Eメール設定＞ ▶ ＜デフォルト設定の変更＞ ▶ 設定項目を選択 ▶ 選択した項目の初期値を変更 ▶ ＜確定＞

■共有フォルダー

変更できる設定項目については、＜ファイル設定＞(P. 412) を参照してください。



＜メニュー＞ ▶ ＜スキャン設定＞ ▶ ＜ファイル設定＞ ▶ ＜デフォルト設定の変更＞ ▶ 設定項目を選択 ▶ 選択した項目の初期値を変更 ▶ ＜確定＞



- 各設定画面で＜デフォルト設定の初期化＞を選ぶと、お買い上げ時の設定に戻すことができます。

音を設定する

6AAS-034

ファクス送受信の完了時、紙づまり時、操作エラー時など、本機はさまざまな状況に応じて確認音や警告音を発します。これらの音について、個別に設定できます。

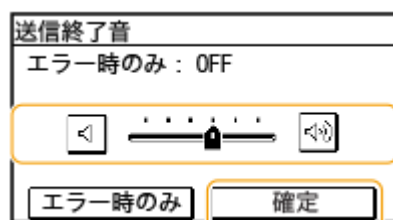
1 ホーム画面で、＜メニュー＞を選ぶ ホーム画面(P. 113)

2 ＜環境設定＞▶＜音量設定＞の順に進む

3 設定項目を選ぶ

設定項目	概要	操作
＜通信音＞	ファクス送信中に発する通信音	手順 4 へ
＜送信終了音＞	ファクス送信終了を知らせる音	
＜受信終了音＞	ファクス受信終了を知らせる音	
＜読取終了音＞	ファクス原稿読み取り終了を知らせる音	
＜入力音＞	操作パネルのキーやディスプレイのボタンを押したときに発する確認音	＜ON＞（鳴らす）／＜OFF＞（鳴らさない）を選ぶ
＜入力無効音＞	設定範囲外の数値を入力したときなど、無効なキー操作を行ったときに発する音	
＜警告音＞	紙づまりや誤操作など、本機のトラブルを知らせる音	
＜ジョブ終了音＞	コピーやスキャンなどで、本体内部の処理が終了したことを知らせる音	
＜節電移行音＞	節電に移行または節電からの復帰を知らせる音	
＜フィーダー原稿検知音＞	フィーダーに原稿をセットしたときに発する確認音	

4 音量を調整し、＜確定＞を選ぶ



- カーソルを左端に合わせると、音は鳴りません。



■エラー時のみに終了音を鳴らす

＜エラー時のみ＞で＜ON＞を選んでから＜確定＞を選びます。

静音モードにする

6AAS-035

静音モードは、本機の動作音を抑える機能です。たとえば、夜間に使用しているときに動作音が気になる場合、操作パネルのを押してください。これだけの操作で、かんたんに動作音を小さくできます。なお、時間を指定して自動的に静音モードに移行させることもできます。



MEMO

状態を確認するには

- 静音モードにすると、が緑色に点灯します。

静音モードを有効にした場合

- 各機能の動作が遅くなります。
- モノクロ6行タッチパネル機の場合は、＜入力音＞や＜ジョブ終了音＞などの音量は小さくなりません。音量の調節や音を消すには **音を設定する(P. 163)** を参照してください。

静音モードにならない場合

- 特殊印字モードを設定しているとき
- 特定の用紙サイズや用紙種類を設定しているとき

時間を指定して静音モードにする

静音モードへ自動的に移行したり、解除したりする時間が設定できます。たとえば、深夜だけ稼働音を抑えたいときなどに便利です。



1 <入タイマー>

静音モードに移行する時間を設定します。設定する場合は< ON >をタップしたあと、時刻を設定します。

2 <切タイマー>

静音モードを解除する時間を設定します。設定する場合は< ON >をタップしたあと、時刻を設定します。

静音モードを解除するとき



を押します。

スリープモードにする

6AAS-036

スリープモードは、本体内部の動作を一部休止して消費電力量を抑える機能です。たとえば、昼休みなどで本機をしばらく使わない場合、操作パネルの  を押してください。これだけの操作で、かんたんに節電できます。



MEMO

状態を確認するには

- スリープモード時は、 が緑色に点灯します。

スリープモードにならない場合

- 本機で何らかの操作をしている
- [実行/メモリー] ランプが点灯または点滅している
- フィーダーに原稿をセットしている
- 調整中やクリーニング中など、本機が動作中
- 結露除去を実行中のとき
- 紙づまりが発生している
- 外付け電話機、またはオプションのハンドセットの受話器が外れている
- ファクスの着信時に呼び出し音を鳴らさない設定にしている
- メニュー画面が表示されている
- エラーメッセージが表示されている（例外もあり、スリープモードになることもあります。）
- 無線 LAN またはダイレクト接続の接続待機中

オートスリープ移行時間を変更する

一定時間何の操作も行わないと自動的にスリープモードに移行する機能をオートスリープといいます。効果的な節電のためにお買い上げ時の設定（ <タイマー設定> (P. 391)）でお使いになることをおすすめしますが、移行時間を変更する場合は以下の手順で行ってください。



<メニュー> () ▶ <タイマー設定> ▶ <オートスリープ移行時間> ▶ オートスリープへの移行時間を設定 ▶ <確定> ()

スリープモードを解除するとき

 のほか、操作パネルのいずれかのキーを押すと解除されます。

MEMO

- モノクロ 6 行タッチパネル機の場合は、ディスプレイをタップしても解除されます。
- 外付け電話機やオプションのハンドセットを接続している場合は、受話器を外しても解除されます。

宛先を登録する

6AAS-037



ファクスやスキャンで使う宛先は、あらかじめアドレス帳に登録しておくとかんたんに呼び出せます（**📞アドレス帳に宛先を登録する(P. 170)**）。登録した宛先は、一覧から選んだり、頭文字から検索したりすることができます。また、宛先に付けられる3桁の番号（短縮番号）を入力してダイレクトに呼び出すことも可能です。さらに、以下のような機能を使えば、よりスピーディーに宛先指定することもできます。

■ワンタッチダイヤル

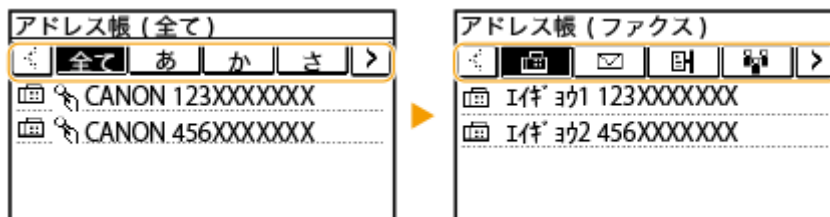
アドレス帳に多くの宛先を登録すると、目的の宛先を探し出しにくくなります。そこで、よく使う宛先はワンタッチダイヤルに登録しましょう。ホーム画面のワンタッチボタンから呼び出せるようになります。ワンタッチダイヤルは4件まで登録することができます。**📞ワンタッチダイヤルに登録する(P. 172)**

■グループダイヤル

すでに登録した宛先の中からいくつかを選んでグループとして登録することができます。1回の操作で複数の宛先に送信できるので便利です。なお、ワンタッチダイヤルとしてグループを登録することも可能です。**📞アドレス帳にグループを登録する(P. 174)**

■インデックス

登録した宛先は、頭文字やアドレスの種類によってインデックスに分類されます。インデックスを切り替えることで、宛先をすばやく検索できます。<  > または <  > をタップすると、表示を切り替えることができます。



< 全て >

アドレス帳に登録されているすべての宛先が表示されます。

< あ > ~ < YZ >

選択したインデックスに表示されている頭文字の宛先だけが表示されます。

< >

ファクス送信用の宛先だけが表示されます。

< >

Eメール送信用の宛先だけが表示されます。

< >

共有フォルダー用の宛先だけが表示されます。宛先の登録はパソコンから行います。

▶共有フォルダーへの保存設定をする(P. 87)

▶リモート UI から宛先を登録する(P. 358)



グループダイヤルの宛先だけが表示されます。



ワンタッチダイヤル用の宛先だけが表示されます。



MEMO

- スキャンで使用する共有フォルダーの宛先を登録するときや、宛先の名称を漢字やひらがなで登録したいときはパソコンから操作してください。
▶共有フォルダーへの保存設定をする(P. 87)
▶リモート UI から宛先を登録する(P. 358)
- アドレス帳はパソコンにファイルとして保存できます（ただし、保存したファイルをパソコン上で編集することはできません）。また、保存したファイルを本機に読み込ませることもできます。▶リモート UI からアドレス帳を保存する／読み込む(P. 362)
- アドレス帳の宛先一覧表を印刷できます。▶アドレス帳リスト（モノクロ 6 行タッチパネル機）(P. 462)

アドレス帳に宛先を登録する

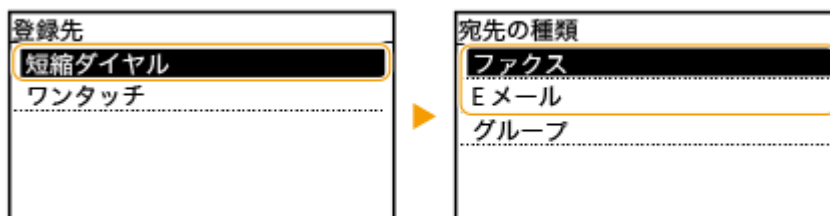
ここでは操作パネルから宛先を登録する方法を説明します。宛先の名称に漢字やひらがなを使いたい場合はリモート UI を使って登録してください。▶[リモート UI から宛先を登録する\(P. 358\)](#)

1 ホーム画面で、＜アドレス帳＞を選ぶ ▶ホーム画面(P. 113)

2 ＜新規登録＞を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、アドレス帳の暗証番号を入力して＜確定＞を選びます。▶[アドレス帳の使用を制限する\(P. 336\)](#)

3 ＜短縮ダイヤル＞▶登録するアドレスの種類を選ぶ



- 登録するアドレスに合わせて＜ファクス＞または＜Eメール＞を選びます。

4 ＜名称＞を選ぶ

- ＜名称＞の設定は任意ですが、設定しておくとう宛先を指定するときに頭文字で検索できるようになります。

5 名称を入力し、＜確定＞を選ぶ

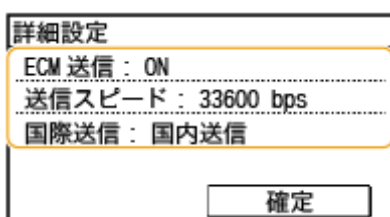
- 文字の入力方法については、▶[文字を入力する\(P. 126\)](#) を参照してください。

6 ＜ファクス番号＞または＜Eメールアドレス＞を選ぶ

7 宛先を入力し、＜確定＞を選ぶ

■詳細な設定をする（ファクス登録時のみ）

＜詳細設定＞を選ぶと、以下のような画面が表示されます。



< ECM 送信 >

< ON >にすると、送信中の画像にエラーが発生しても、乱れた画像をそのまま送信しないようエラーチェックと修正を行います。

<送信スピード>

電話回線の状態が悪いときなど、送信が始まるまでに時間がかかる場合に、通信開始速度を下げて調整します。

<国際送信>

海外のファクス番号を登録する場合に、通信状態に合わせて<国際送信(1)>～<国際送信(3)>を設定します。



- 詳細設定項目は、<メニュー> ▶ <ファクス設定>からも宛先に設定できますが、アドレス帳に登録されている宛先の詳細設定は、<アドレス帳>での設定が有効になります。

8 <確定>を選ぶ

- 宛先には自動的に3桁の番号（短縮番号）が設定されます。この番号は、あとで別の番号に変更することもできます。



- アドレス帳に登録した宛先をグループにまとめ、ひとつの宛先として登録することができます。詳しくは、**▶アドレス帳にグループを登録する(P. 174)**を参照してください。
- アドレス帳に登録した宛先の内容を変更したり削除したりするには、**▶アドレス帳に登録した宛先を編集する(P. 176)**を参照してください。

ワンタッチダイヤルに登録する

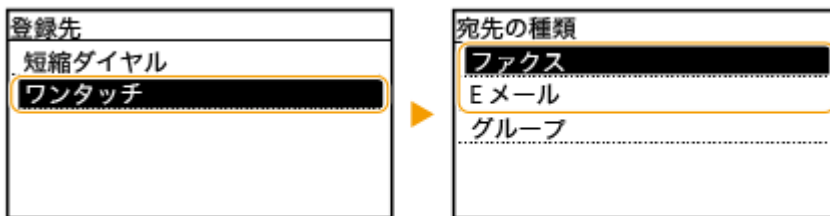
よく使う宛先はワンタッチダイヤルに登録すると便利です。登録すれば、ワンタッチボタンを選ぶだけで、宛先をかんたんに呼び出せるようになります。また登録したあとで宛先を編集したり、削除したりすることもできます。ここでは操作パネルから宛先を登録しますが、宛先の名称に漢字やひらがなを使いたい場合はリモート UI を使って登録してください（[リモート UI から宛先を登録する\(P. 358\)](#)）。ワンタッチダイヤルは 4 件まで登録することができます。

1 ホーム画面で、＜アドレス帳＞を選ぶ [ホーム画面\(P. 113\)](#)

2 ＜新規登録＞を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、アドレス帳の暗証番号を入力して＜確定＞を選びます。 [アドレス帳の使用を制限する\(P. 336\)](#)

3 ＜ワンタッチ＞ ▶ 登録するアドレスの種類を選ぶ



- 登録するアドレスに合わせて＜ファクス＞または＜Eメール＞を選びます。

4 登録する番号を選ぶ

- この番号は、あとで別の番号に変更することもできます。

5 ＜名称＞を選ぶ

- ＜名称＞の設定は任意ですが、設定しておくくと宛先を指定するときに頭文字で検索できるようになります。

6 名称を入力し、＜確定＞を選ぶ

- 文字の入力方法については、[文字を入力する\(P. 126\)](#) を参照してください。

7 ＜ファクス番号＞または＜Eメールアドレス＞を選ぶ

8 宛先を入力し、＜確定＞を選ぶ

■ 詳細な設定をする（ファクス登録時のみ）

＜詳細設定＞を選ぶと、以下のような画面が表示されます。

詳細設定
ECM 送信 : ON
送信スピード : 33600 bps
国際送信 : 国内送信
確定

< ECM 送信 >

< ON >にすると、送信中の画像にエラーが発生しても、乱れた画像をそのまま送信しないようエラーチェックと修正を行います。

< 送信スピード >

電話回線の状態が悪いときなど、送信が始まるまでに時間がかかる場合に、通信開始速度を下げて調整します。

< 国際送信 >

海外のファクス番号を登録する場合に、通信状態に合わせて<国際送信(1)>～<国際送信(3)>を設定します。



詳細設定項目は、<メニュー> ▶ <ファクス設定>からも宛先に設定できますが、アドレス帳に登録されている宛先の詳細設定は、<アドレス帳>での設定が有効になります。

9 < 確定 > を選ぶ

アドレス帳にグループを登録する

すでに登録した宛先の中からいくつかを選んでグループとして登録することができます。ここでは操作パネルからグループを登録する方法を説明します。グループの名称に漢字やひらがなを使いたい場合はリモート UI を使って登録してください。

▶ リモート UI から宛先を登録する(P. 358)



- 1つのグループには、アドレスの種類が同じ宛先のみ登録できます。
- 共有フォルダーの宛先をグループに登録することはできません。

1 ホーム画面で、＜アドレス帳＞を選ぶ ▶ ホーム画面(P. 113)

2 ＜新規登録＞を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、アドレス帳の暗証番号を入力して＜確定＞を選びます。 ▶ アドレス帳の使用を制限する(P. 336)

3 ＜短縮ダイヤル＞ ▶ ＜グループ＞の順に進む

- グループをワンタッチダイヤルとして登録することもできます。その場合は、＜ワンタッチ＞を選びます。

4 ＜名称＞を選ぶ

- ＜名称＞の設定は任意ですが、設定しておく宛先を指定するときに頭文字で検索できるようになります。

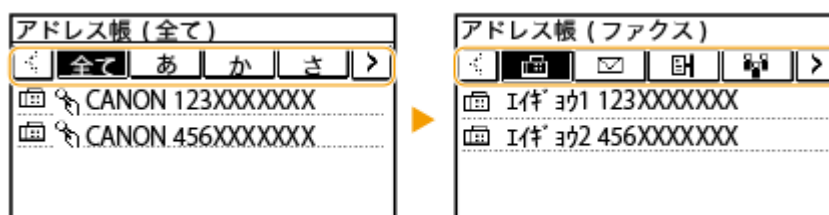
5 名称を入力し、＜確定＞を選ぶ

- 文字の入力方法については、▶ 文字を入力する(P. 126) を参照してください。

6 ＜宛先＞を選ぶ

7 ＜追加＞を選ぶ

8 登録したい宛先のあるインデックスを選ぶ ▶ インデックス(P. 168)



9 宛先を選ぶ

10 手順 7～9 を繰り返して登録する宛先をすべて選び、＜確定＞を選ぶ



宛先の内容を確認するには

- 確認したい宛先を選びます。

グループから宛先を外すには

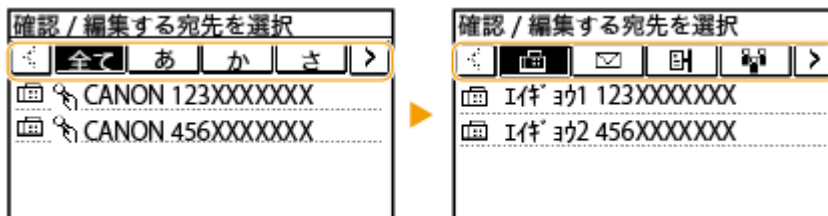
- グループから外したい宛先を選択し、＜解除＞▶＜はい＞の順に選びます。

11 ＜確定＞を選ぶ

アドレス帳に登録した宛先を編集する

いったん登録したファクス番号や名称を変更する、ファクス番号として登録した宛先をEメール用に種類変更する、短縮番号を変更する、グループの宛先を追加／解除する、というような設定内容の変更ができます。また、宛先やグループを削除することもできます。

- 1 ホーム画面で、＜アドレス帳＞を選ぶ ▶ホーム画面(P. 113)
- 2 ＜詳細/編集＞を選ぶ
- 3 変更したい宛先のあるインデックスを選ぶ ▶インデックス(P. 168)



- 4 宛先を選択し、＜編集＞を選ぶ

- 宛先を削除するには、＜削除＞▶＜はい＞の順に選びます。
- 暗証番号の入力画面が表示されたら、アドレス帳の暗証番号を入力して＜確定＞を選びます。▶アドレス帳の使用を制限する(P. 336)

- 5 必要に応じて項目を編集したあと、＜確定＞を選ぶ

コピーする

コピーする	178
コピーの基本操作	180
コピーを中止する	185
コピー状況や履歴を確認する	187
コピー品質を高める／調整する	188
原稿の種類に合わせてコピーする	189
鮮明にコピーする（シャープネス）	190
コピーの便利な機能	192
原稿を1ページにまとめる（ページ集約）	193
＜用紙節約コピー＞を使う	195
ソートで仕上げる	196
IDカードをコピーする	197
パスポートをコピーする	198

コピーする

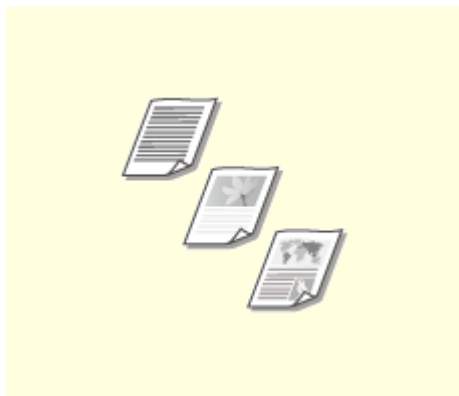
6AAS-03E

基本的なコピーの使いかたのほかに、両面コピーや ID カードコピーなど、さまざまな場面で役立つコピーの機能を紹介しています。

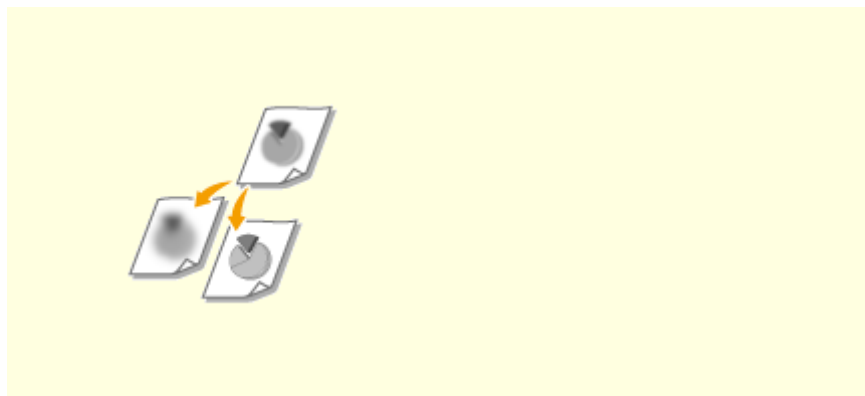
■基本操作をご紹介

- ▶コピーの基本操作(P. 180)
- ▶コピーを中止する(P. 185)
- ▶コピー状況や履歴を確認する(P. 187)

■品質を高める ▶コピー品質を高める／調整する(P. 188)



▶原稿の種類に合わせてコピーする
(P. 189)



▶鮮明にコピーする（シャープネス）
(P. 190)

■便利なコピー機能を使いこなす ▶コピーの便利な機能(P. 192)



▶原稿を 1 ページにまとめる（ページ集約）(P. 193)



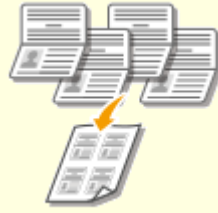
▶＜用紙節約コピー＞を使う(P. 195)



▶ソートで仕上げる(P. 196)



▶ ID カードをコピーする(P. 197)



▶ パスポートをコピーする(P. 198)

コピーの基本操作

6AAS-03F

原稿をコピーするときの基本的な操作手順を説明します。

1 原稿をセットする ▶ 原稿をセットする(P. 131)

2 <コピー>画面を表示する ▶ ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<コピー>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

 (コピー/スキャン) を押す

3 テンキーで必要なコピー枚数を入力する

- 間違って入力したときは  で消します。

4 必要に応じてコピー設定をする

- ▶ 濃度を調整する
- ▶ 両面コピーする
- ▶ 拡大／縮小する

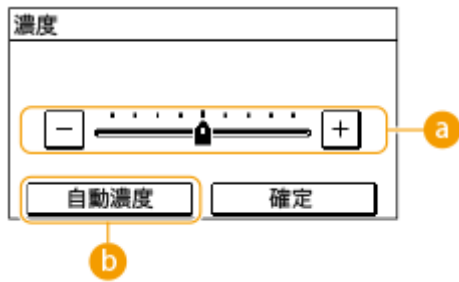
濃度を調整する



原稿の文字や画像が薄い（濃い）場合に、濃度を調整します。原稿に最適な濃度を自動的に設定することもできます。



<濃度> ▶ 濃度を調整 ▶ <両面> ()



a 手動濃度

手動で濃度を調整します。

b <自動濃度>

原稿に最適な濃度が自動的に設定されます。＜原稿の種類＞は自動的に＜文字＞に設定されます。▶**原稿の種類に合わせてコピーする(P. 189)**

両面コピーする



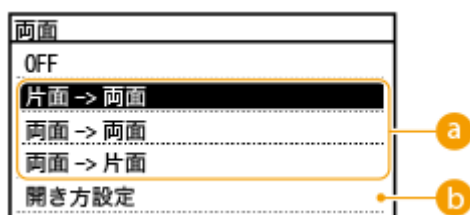
2枚の片面原稿を用紙のオモテとウラに両面コピーします。また、両面原稿をそのまま両面にコピーしたり、オモテとウラを別々に2枚にして片面コピーしたりすることもできます。



- 用紙のサイズや種類によっては、＜両面＞を使用できない場合があります。▶**用紙について(P. 552)**
- ＜用紙節約＞／＜用紙節約コピー＞、＜IDカードコピー＞または＜パスポートコピー＞と両面コピーをいっしょに使うことはできません。

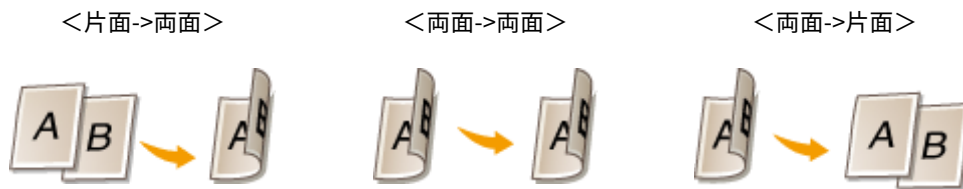


＜両面＞ ▶ 両面コピーの種類を選択



a 両面コピーの種類

図を参考に、両面コピーの種類を選びます。



b <開き方設定>

原稿の向きや開き方、仕上りの開き方を設定します。

拡大／縮小する



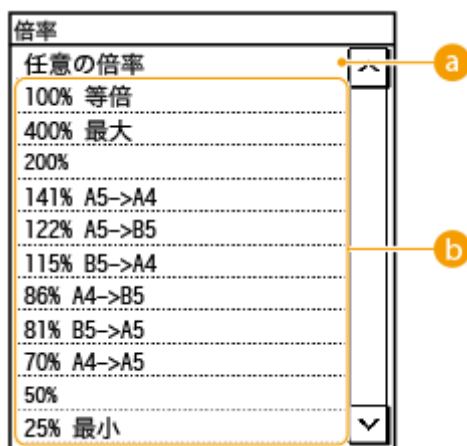
< 141% A5->A4 >などの定形サイズ変倍だけでなく、1 %刻みで任意の倍率を指定して拡大／縮小できます。



- 倍率を設定したあとに<ページ集約>を設定すると、<ページ集約>の縮小率が優先されます。



<倍率> ▶ 倍率項目を選択



a <任意の倍率>

倍率は25 % ～ 400 %まで1 %刻みで設定できます。

b 定形サイズ変倍

設定したい倍率を選びます。



- その他のコピー設定については、**コピー品質を高める／調整する(P. 188)** や **コピーの便利な機能(P. 192)** を参照してください。

5 を押す

⇒ コピーが開始されます。

- 中止したいときは、＜中止＞ ▶ ＜はい＞の順に選びます。 **コピーを中止する(P. 185)**

■手順 1 でフィーダーに原稿をセットした場合

原稿が自動で読み込まれます。

■手順 1 で原稿台ガラスに原稿をセットした場合

両面コピー、ページ集約コピー、ソートを設定している場合、次の原稿をセットする画面が表示されます。

1 原稿のサイズを選ぶ

- 両面コピーを設定している場合のみ表示されます。

2 原稿台ガラスに次の原稿をセットし、 を押す

- 原稿ごとに＜濃度＞および＜原稿の種類＞を設定しなおすこともできます。

次の原稿を読み込：スタート
枚数 x 部数： 1x 1
濃度： ±0
原稿の種類： 文字 / 写真 (高速コピ)
中止 コピー開始

- すべての原稿の読み込みが完了するまで、この操作を繰り返します。

3 ＜コピー開始＞を選ぶ



- 画面に＜用紙と設定サイズが不一致＞または＜メモリーがいっぱいのため読み込みを中止します。プリントしますか?＞と表示されたとき **メッセージごとの対処方法(P. 503)**



余白なく用紙いっぱいに文字や画像がある原稿をコピーしたとき

- コピー画像の周囲が欠けることがあります。欠け幅については、**本体(P. 546)** を参照してください。



便利な機能

- いつも同じ設定でコピーしたい  **機能の初期値を変更する(P. 162)**



関連項目

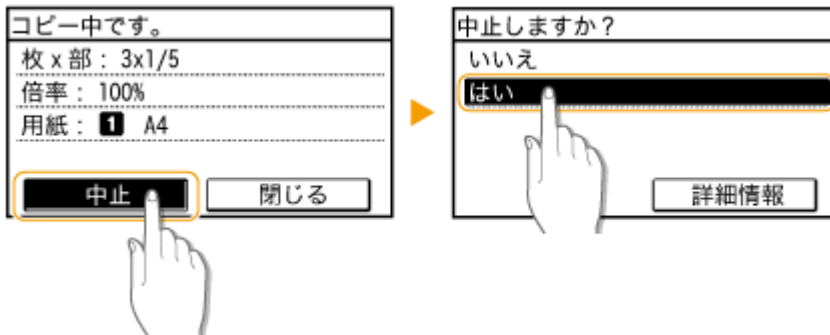
-  **コピー状況や履歴を確認する(P. 187)**

コピーを中止する

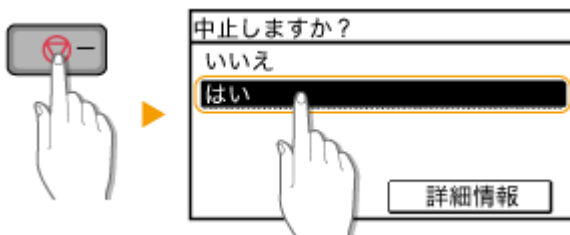
6AAS-03H

 を押した直後にコピーを中止するときは、画面から＜中止＞を選ぶか、操作パネルの  を押します。なお、コピー状況を確認してから中止することもできます。

■コピー中の画面で＜中止＞を選ぶ

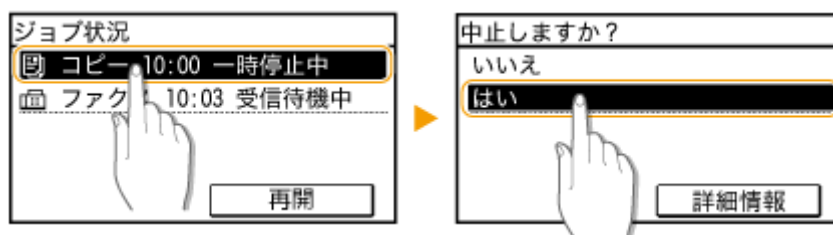


■ で中止する



を押すと、文書の一覧画面が表示される場合

すでに原稿の読み込みは終了し、順番待ちをしている状態です。中止したいコピー文書を選択して＜はい＞を選びます。



■コピー状況を確認してから中止する





関連項目

▶ **コピーの基本操作(P. 180)**

コピー状況や履歴を確認する

6AAS-03J

現在のコピー状況やコピーした文書の履歴を確認できます。



ご注意

- <ジョブ履歴表示の ON/OFF>が< OFF>に設定されていると、コピー履歴は確認できません。▶<ジョブ履歴表示の ON/OFF>(P. 429)



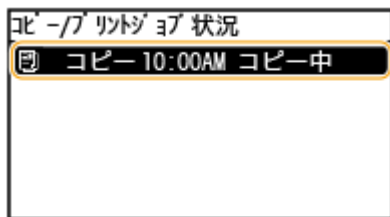
次のようなときに便利です

- 原稿を読み込んだあと、コピー文書がなかなか印刷されないので、順番待ちの状況を確認したい。
- コピーしたはずの文書が見当たらないので、エラーが起きていないか確認したい。

1  を押す

2 <コピー/プリントジョブ>を選ぶ

3 <ジョブ状況>を選び、状況を確認したい文書を選ぶ



⇒ 文書の詳細情報が表示されます。



関連項目

- ▶コピーの基本操作(P. 180)
- ▶コピーを中止する(P. 185)

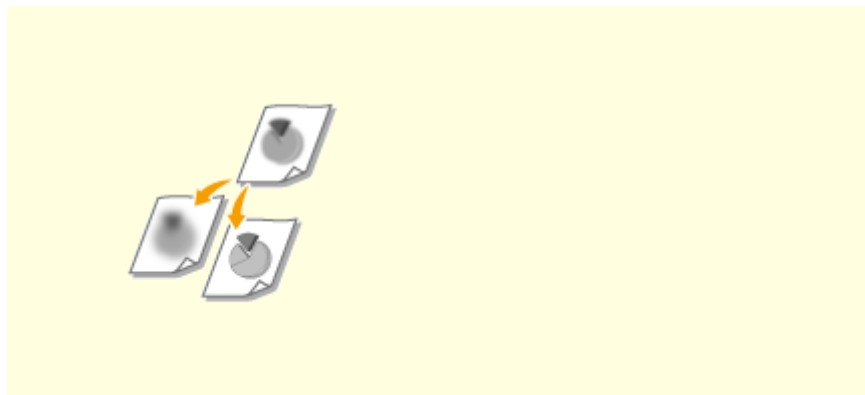
コピー品質を高める／調整する

6AAS-03K

原稿の種類を選んだり、きめ細やかな設定をすることでコピー品質を向上させることができます。



▶ 原稿の種類に合わせてコピーする
(P. 189)



▶ 鮮明にコピーする (シャープネス)
(P. 190)

原稿の種類に合わせてコピーする



文字だけしかない論文、図表が多用されている企画書、雑誌から切り抜かれた写真など、原稿の種類に合わせて、コピーの画質を選ぶことができます。

モノクロ 6 行タッチパネル機



＜コピー＞ ▶ ＜原稿の種類＞ ▶ 原稿の種類を選択

モノクロ 5 行 UI 機



（コピー/スキャン） ▶ ＜原稿の種類＞ ▶ 原稿の種類を選択

＜文字＞	文字だけの文書をコピーするときに使います。
＜文字/写真(高速コピー)＞	文字と写真が混在した原稿のコピーに適しています。画質よりも速度が優先されます。
＜文字/写真＞	文字と写真が混在した原稿のコピーに適しています。
＜写真＞	雑誌やパンフレットなどに掲載されている写真をコピーするときに使います。



- ＜文字/写真(高速コピー)＞、＜文字/写真＞、＜写真＞を選択した場合、＜濃度＞が＜自動濃度＞に設定されていると、手動濃度に変更されます。



関連項目

- ▶ コピーの基本操作(P. 180)

鮮明にコピーする（シャープネス）

6AAS-03R



原稿の画像のエッジ（周囲）をくっきりさせるように調整してコピーします。ぼやけた文字や線を鮮明にする場合はシャープネスを強くし、写真などの網点原稿をきれいにする場合は逆に弱くします。

モノクロ 6 行タッチパネル機



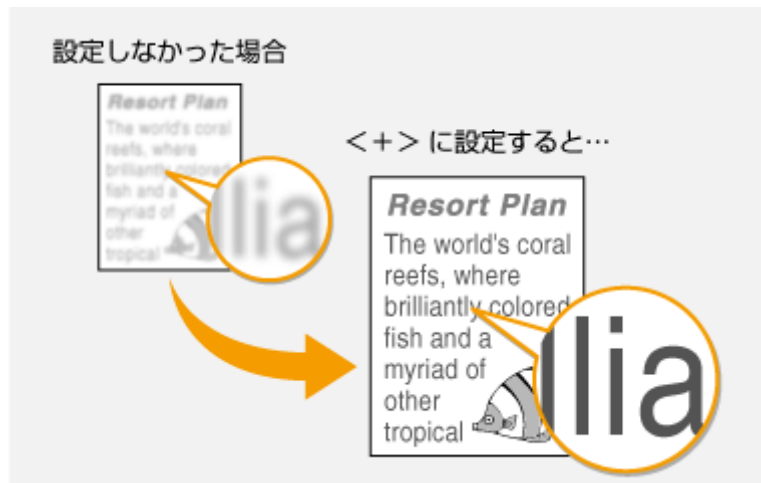
<コピー> ▶ <シャープネス> ▶ シャープネスを調整 ▶ <確定>

モノクロ 5 行 UI 機

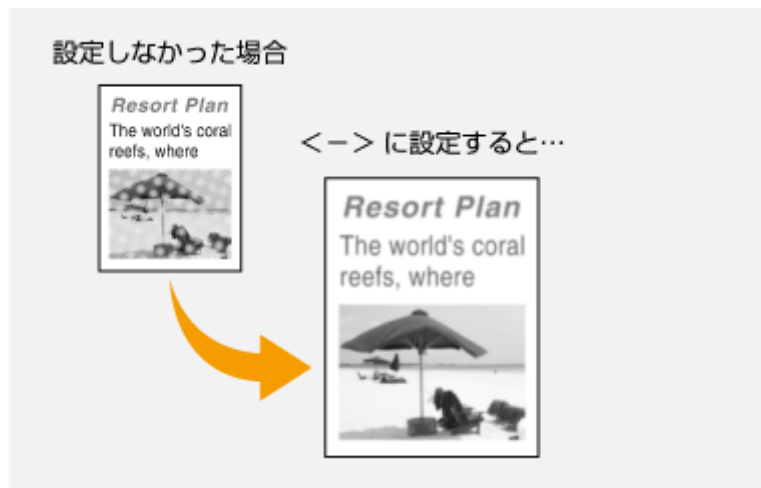


（コピー/スキャン）▶ <シャープネス> ▶ シャープネスを調整

調整例：鉛筆で書かれた文字や線を鮮明にさせたいとき



調整例：雑誌の写真を見やすくしたいとき



関連項目

▶ コピーの基本操作(P. 180)

コピーの便利な機能

6AAS-03S

数枚の原稿を 1 ページにまとめてコピーしたり、部数ごとに仕分けてコピーしたりすることができます。また、カード類の表面と裏面を 1 枚の用紙に並べてコピーする機能もあります。



▶ 原稿を 1 ページにまとめる（ページ集約）（P. 193）



▶ <用紙節約コピー>を使う（P. 195）



▶ ソートで仕上げる（P. 196）



▶ ID カードをコピーする（P. 197）



▶ パスポートをコピーする（P. 198）

原稿を 1 ページにまとめる（ページ集約）

6AAS-03U



複数の原稿を縮小した状態で 1 枚の用紙にコピーすることを集約コピーといいます。集約コピーには＜2 in 1＞と＜4 in 1＞があり、＜2 in 1＞は 2 枚の原稿を 1 枚の用紙に割り付け、＜4 in 1＞は 4 枚を 1 枚に割り付けます。

MEMO

- ページ集約は原稿を自動的に縮小してコピーします（このとき、縮小率が画面に数値表示されます）。を押す前であれば、自動表示された数値をさらに下げて、より縮小することもできます。このとき、数値を上げて拡大すると原稿の一部が欠落することがあります。
- ＜IDカードコピー＞、＜パスポートコピー＞または＜用紙節約＞（）と＜ページ集約＞をいっしょに使うことはできません。
- 複数枚の原稿を縮小して 1 ページにコピーすると、コピーされた画像の周囲に余白ができることがあります。



便利な機能

- ＜用紙節約＞（）を使えば、1 回の操作で両面コピーと集約コピーを同時に行えます。＜用紙節約コピー＞を使う(P. 195)

モノクロ 6 行タッチパネル機



＜コピー＞▶＜ページ集約＞▶＜2 in 1＞または＜4 in 1＞を選択▶＜読取サイズ＞で原稿のサイズを選択

モノクロ 5 行 UI 機



（コピー/スキャン）▶＜ページ集約＞▶＜2 in 1＞または＜4 in 1＞を選択▶＜読取サイズ＞で原稿のサイズを選択



a 集約するページ数

用紙の片面に集約するページ数を選びます。たとえば、＜4 in 1＞は「1枚の用紙に4ページの原稿を集約する」という意味です。

b ＜レイアウト設定＞

1枚の用紙に複数の原稿をどのように割り付けるのかを設定します。



関連項目

▶ **コピーの基本操作(P. 180)**

▶ **＜用紙節約コピー＞を使う(P. 195)**

<用紙節約コピー>を使う

6AAS-03W



<用紙節約> (**用紙節約コピー**) を使うと、1回の操作で集約コピーと両面コピーを同時に行うことができ、用紙の節約効果があがります。また、各機能を別々に設定する手間も省けて便利です。

MEMO

- <用紙節約> (**用紙節約コピー**) は原稿を自動的に縮小してコピーします（このとき、縮小率が画面に数値表示されます）。  を押す前であれば、自動表示された数値をさらに下げて、より縮小することもできます。このとき、数値を上げて拡大すると原稿の一部が欠落することがあります。
- 両面コピー、集約コピー、<IDカードコピー>または<パスポートコピー>と<用紙節約> (**用紙節約コピー**) をいっしょに使うことはできません。
- 複数枚の原稿を縮小して1ページにコピーすると、コピーされた画像の周囲に余白ができることがあります。



<用紙節約> (**用紙節約コピー**) ▶ 用紙節約コピーの種類を選択 ▶ <読取サイズ>で原稿のサイズを選択



関連項目

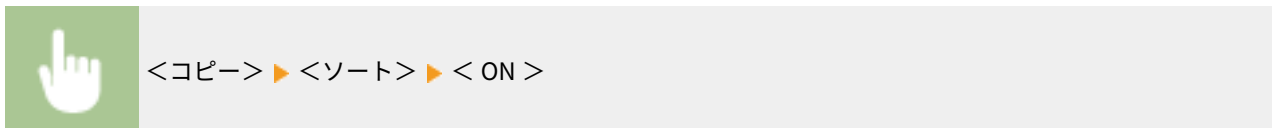
▶ コピーの基本操作(P. 180)

ソートで仕上げる



複数ページの原稿を複数部コピーするときに、＜ソート＞を＜ON＞に設定すると、原稿ごとのページ順で1部ずつ仕分けてコピーされます。会議の配付資料などを作成するときに便利です。

モノクロ 6 行タッチパネル機



モノクロ 5 行 UI 機



< OFF >

指定した部数だけページごとにコピーされ、仕分けはされません。たとえば、5 ページの原稿を 3 部コピーすると、「111」「222」「333」「444」「555」の順で排出されます。



< ON >

原稿のページ順に、1 部ずつ仕分けてコピーされます。たとえば、5 ページの原稿を 3 部コピーすると、「12345」「12345」「12345」の順で排出されます。



関連項目

●コピーの基本操作(P. 180)

ID カードをコピーする

6AAS-03Y



運転免許証や健康保険証など、カード類の表裏を 1 枚の用紙に割り付けて等倍コピーします。受付業務で身分証明を複写するときなどに便利です。

MEMO

- ＜用紙節約＞／＜用紙節約コピー＞、＜両面＞、＜ページ集約＞、＜倍率＞、もしくは＜パスポート＞／＜パスポートコピー＞と＜IDカード＞／＜ID カードコピー＞をいっしょに使うことはできません。

モノクロ 6 行タッチパネル機

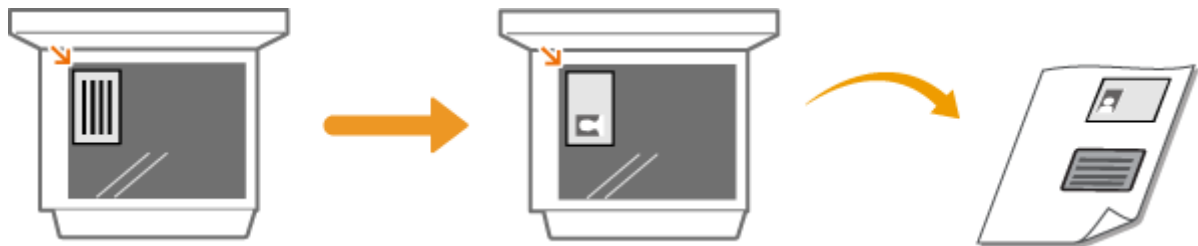


原稿台ガラスにカードを置く ▶ ＜IDカード＞ ▶  ▶ カードを裏返す ▶ 

モノクロ 5 行 UI 機



原稿台ガラスにカードを置く ▶  (ID カードコピー) ▶  ▶ カードを裏返す ▶ 



関連項目

▶ コピーの基本操作(P. 180)

パスポートをコピーする

6AAS-040



複数人のパスポートを1枚の用紙に割り付けてコピーします。受付業務でパスポートを複写するときなどに便利です。

MEMO

- パスポートコピーは原稿を自動的に縮小してコピーします（このとき、縮小率が画面に数値表示されます）。コピー開始前であれば、自動表示された数値をさらに下げて、より縮小することもできます。このとき、数値を上げて拡大すると原稿の一部が欠落することがあります。
- 読み取りサイズは 130 mm × 180 mm で固定です。
- レイアウトの順序は設定できません。
- <用紙節約>／<用紙節約コピー>、<ページ集約>、<倍率>、もしくは<IDカードコピー>／<IDカードコピー>と<パスポートコピー>／<パスポートコピー>をいっしょに使うことはできません。
- 両面コピーの設定は変更できません。

モノクロ 6 行タッチパネル機



原稿台ガラスにパスポートを置く ▶ <パスポートコピー> ▶ レイアウトを指定する ▶  ▶ 次のパスポートを置き、 ▶ すべての原稿の読み込みが完了するまで、操作を繰り返す ▶ <コピー開始>

モノクロ 5 行 UI 機



原稿台ガラスにパスポートを置く ▶ （コピー/スキャン）▶ <パスポートコピー> ▶ レイアウトを指定する ▶  ▶ 次のパスポートを置き、 ▶ すべての原稿の読み込みが完了するまで、操作を繰り返す ▶ <コピー開始>



 関連項目

▶ コピーの基本操作(P. 180)

ファクスする

ファクスする	201
ファクス送信の基本操作	203
ファクス送信を中止する	210
ファクスを受信する	212
送信時の便利な機能	216
過去の設定を呼び出して送信する（送信履歴）	217
通話してから送信する（手動送信）	219
いろいろな受信方法	221
受信した文書をいったん本機に保存する（メモリー受信）	222
受信した文書を自動転送する	224
送受信状況や履歴を確認する	226
パソコンからファクスを送信する（PC ファクス）	228
PC ファクスを送信する	229

ファクスする

6AAS-041

ファクスの設定方法や基本的な使いかた以外にも、パソコンの文書をそのまま送信できる PC ファクス、宛先をかんたんに指定できるアドレス帳、外出先でファクス受信したいときに便利な転送など、さまざまな用途に合わせた便利な機能を紹介しています。



- ファクス機能を使うためには、あらかじめ設定や登録などの準備を済ませておく必要があります。▶ **ファクスの設定をする(P. 71)**
- アドレス帳を使う場合は、事前にアドレス帳への登録を行ってください。▶ **宛先を登録する(P. 168)**

■ 基本操作をご紹介します

- ▶ **ファクス送信の基本操作(P. 203)**
- ▶ **ファクス送信を中止する(P. 210)**
- ▶ **ファクスを受信する(P. 212)**
- ▶ **送受信状況や履歴を確認する(P. 226)**

■ 送信時の便利機能を使う ▶ **送信時の便利な機能(P. 216)**

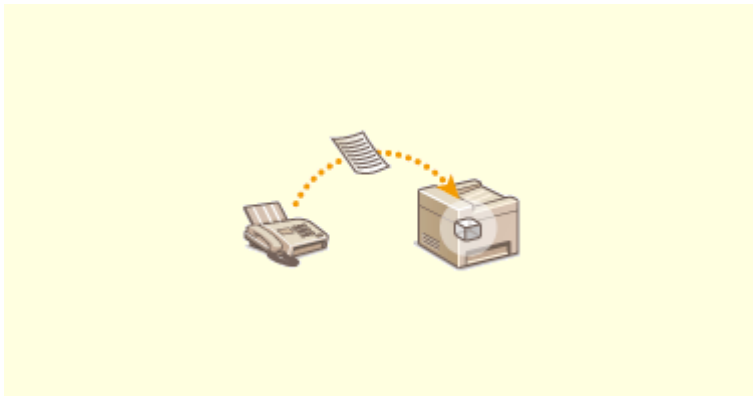


▶ **過去の設定を呼び出して送信する（送信履歴）(P. 217)**



▶ **通話してから送信する（手動送信）(P. 219)**

■用途に応じた受信方法 ▶いろいろな受信方法(P. 221)



▶受信した文書をいったん本機に保存する（メモリ受信）(P. 222)

■受信したすべての文書を転送する



▶受信した文書を自動転送する(P. 224)

■パソコンからダイレクトにファクス送信



▶パソコンからファクスを送信する（PCファクス）(P. 228)

ファクス送信の基本操作

6AAS-042

原稿をファクスするときの基本的な操作手順を説明します。



- ファクス機能を使うためには、あらかじめ設定や登録などの準備を済ませておく必要があります。▶ **ファクスの設定をする(P. 71)**

1 原稿をセットする ▶ 原稿をセットする(P. 131)

2 ホーム画面で、＜ファクス＞を選ぶ ▶ ホーム画面(P. 113)

3 を押す

- 前に使った人の宛先設定が残っていると誤送信の原因になりますので、設定内容をリセットしてから操作します。

4 宛先を指定する

- ▶ アドレス帳から指定する
- ▶ 短縮番号で指定する
- ▶ ワンタッチボタンで指定する
- ▶ 宛先を直接入力する

アドレス帳から指定する



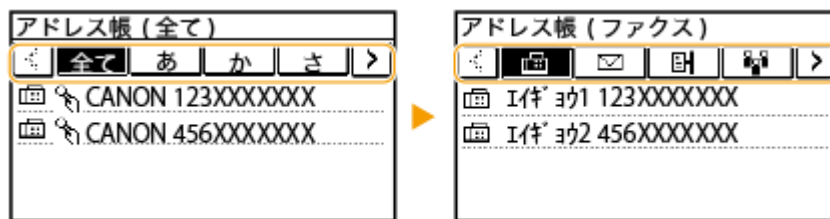
アドレス帳に登録した宛先を一覧表示から選んで指定します。宛先名称に登録した場合は、頭文字で検索することもできます。



- アドレス帳を使うためには、あらかじめ登録が必要です。▶ **宛先を登録する(P. 168)**

1 ＜宛先＞ ▶ ＜アドレス帳から指定＞を選ぶ

2 インデックスを選ぶ ●インデックス(P. 168)



3 宛先を選ぶ



便利な機能

- ホーム画面の＜アドレス帳＞から宛先を選ぶと、選んだ宛先が指定された状態でファクスの基本画面を表示することができます。

短縮番号で指定する



アドレス帳の宛先には3桁の番号（短縮番号）が設定されています。短縮番号を入力するだけで宛先を指定することができます。

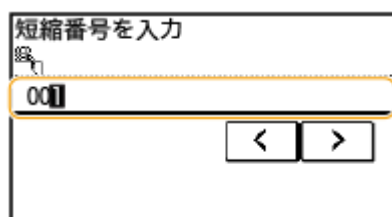


- 短縮番号を使うためには、あらかじめアドレス帳への登録が必要です。●宛先を登録する(P. 168)

1 ＜宛先＞▶＜短縮ダイヤルから指定＞を選ぶ

2 3桁の短縮番号を入力する

- 間違って入力したときは  で消します。



確認画面が表示された場合

- <ワンタッチ/短縮ダイヤル送信の確認>が<ON>に設定されていると、短縮番号に登録されている宛先と宛先名の確認画面が表示されます（登録されている宛先がグループダイヤルの場合は、グループ名と宛先の件数が表示されます）。宛先内容を確認し、問題なければ<OK>を選びます。他の宛先に指定しなおす場合は<キャンセル>を選んだあと、3桁の短縮番号を入力しなおします。▶**アドレス帳に登録した宛先を表示する(P. 338)**



便利な機能

- ホーム画面の<短縮ダイヤル>から短縮番号を選ぶと、選んだ宛先が指定された状態でファクスの基本画面を表示することができます。

ワンタッチボタンで指定する



ホーム画面からワンタッチボタンをタップして、宛先を指定します。



MEMO

- ワンタッチボタンを使うためには、あらかじめ登録が必要です。▶**ワンタッチダイヤルに登録する(P. 172)**

1 <宛先> ▶ <ワンタッチから指定>を選ぶ

2 宛先を選ぶ



MEMO

確認画面が表示された場合

- <ワンタッチ/短縮ダイヤル送信の確認>が<ON>に設定されていると、ワンタッチボタンに登録されている宛先と宛先名の確認画面が表示されます（登録されている宛先がグループダイヤルの場合は、グループ名と宛先の件数が表示されます）。宛先内容を確認し、問題なければ<OK>を選びます。他の宛先に指定しなおす場合は<キャンセル>を選んだあと、ワンタッチボタンを選びなおします。▶**アドレス帳に登録した宛先を表示する(P. 338)**



便利な機能

- ホーム画面の<ワンタッチ1>～<ワンタッチ4>のいずれかを選ぶと、選んだ宛先が指定された状態でファクスの基本画面を表示することができます。

宛先を直接入力する

アドレス帳に登録されていない宛先は、直接入力して指定します。

1 <宛先> ▶ <テンキーから指定>を選ぶ

2 ファクス番号を入力する

- 間違って入力したときは  で消します。



確認画面が表示された場合

- <ファクス番号入力時の確認入力>が< ON >に設定されていると、宛先確認のため入力画面が再度表示されます（ **送信前にファクス番号を確認する(P. 340)**）。もう一度、宛先を入力してください。

海外にファクスを送信するには

- 国際アクセス番号、国番号、ファクス番号の順に入力してください。海外の宛先にうまくつながらないときは、<ポーズ>を選んで番号と番号の間にポーズを入れてください。



宛先を追加する

- ファクスを一斉に複数の宛先へ送信（同報送信）するときは、宛先の指定を繰り返します。
- 過去に指定した宛先を呼び出すこともできます。 **過去の設定を呼び出して送信する（送信履歴）(P. 217)**

■宛先から外す

複数の宛先を指定した場合、送信をとりやめたい相手先を宛先から外すことができます。

1 <宛先> ▶ <確認/編集>を選ぶ

2 外したい宛先を選ぶ

- グループダイヤルを指定した場合は「XX 件」と表示されます。<宛先>を選ぶとグループ内に登録されている宛先を表示して確認できます。

3 <宛先から解除> ▶ <はい>を選ぶ

5 必要に応じて原稿の読み込み設定をする

-  画質を調整する
-  原稿の両面を読み込む

画質を調整する



原稿の内容に合わせて解像度を選ぶことができます。高い解像度を選ぶほどくっきりとした画像になりますが、その分送信時間が長くなることがあります。▶**解像度を選ぶ (P. 207)**



原稿の文字や画像が薄い(濃い)場合に、濃度を調整できます。▶**濃度を調整する(P. 207)**



原稿の画像のエッジ(周囲)をくっきりさせるように調整することができます。ぼやけた文字や線を鮮明にする場合はシャープネスを強くし、写真などの網点原稿をきれいにすることは逆に弱くします。▶**鮮明にする(シャープネス) (P. 207)**

■ 解像度を選ぶ



<解像度> ▶ 解像度を選択

■ 濃度を調整する



<濃度> ▶ 濃度を調整 ▶ <確定>

■ 鮮明にする(シャープネス)



<シャープネス> ▶ シャープネスを調整 ▶ <確定>

調整例：鉛筆で書かれた薄い文字をくっきりさせたいとき



調整例：雑誌の写真を見やすくしたいとき



原稿の両面を読み込む



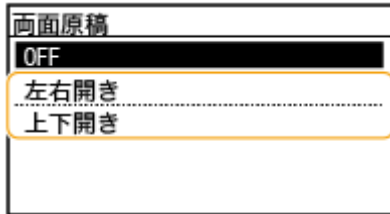
フィーダーにセットした原稿のオモテとウラを自動的に読み込みます。



- 原稿台ガラスにセットした原稿や手動送信時の原稿の両面を自動的に読み込むことはできません。



<両面原稿> ▶ <左右開き> または <上下開き> を選択



<左右開き>

原稿のオモテ面とウラ面の上下位置関係が同じ場合に選びます。

<上下開き>

原稿のオモテ面とウラ面の上下位置関係が逆の場合に選びます。

6 を押す

⇒ 原稿の読み込みが開始されます。

- 中止したいときは、<中止> ▶ <はい> の順に選びます。  **ファクス送信を中止する(P. 210)**

■手順 1 でフィーダーに原稿をセットした場合

読み込みが完了すると、ファクスが送信されます。

■手順 1 で原稿台ガラスに原稿をセットした場合

読み込みが完了したら、次の操作を行います。

1 原稿のサイズを選ぶ

- 原稿が 1 枚のときは手順 3 に進みます。

2 原稿台ガラスに次の原稿をセットし、 を押す

- すべての原稿の読み込みが完了するまで、この操作を繰り返します。

3 <送信開始>を選ぶ

⇒ ファクスが送信されます。



便利な機能

- いつも同じ設定で送信したい  **機能の初期値を変更する(P. 162)**
- 受話器が外れているときは警告音を鳴らしたい  **<オフフックアラーム>(P. 401)**



関連項目

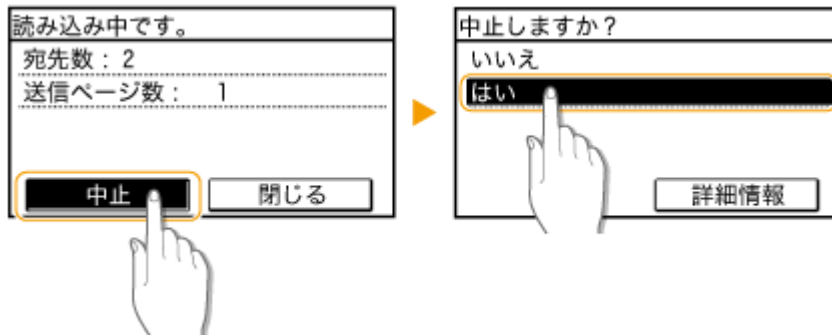
-  **ファクス送信を中止する(P. 210)**
-  **送信時の便利な機能(P. 216)**
-  **送受信状況や履歴を確認する(P. 226)**

ファクス送信を中止する

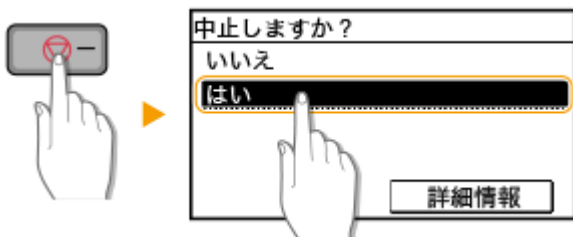
6AAS-043

 を押した直後に送信を中止するときは、ディスプレイから<中止>を選ぶか、操作パネルの  を押します。なお、送信状況を確認してから中止することもできます。

■ 送信中の画面で<中止>を選ぶ



■ で中止する

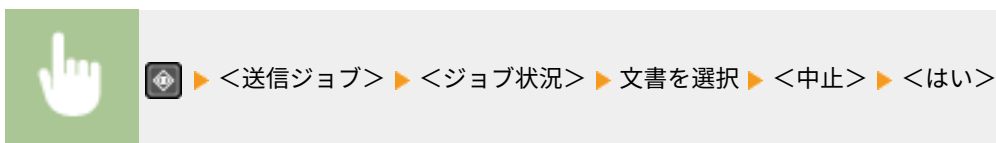


を押すと、文書の一覧画面が表示される場合

すでに原稿の読み込みは終了し、順番待ちで待機している状態です。中止したい文書を選択して<はい>を選びます。



■ 送信状況を確認してから中止する



- ▶ **ファクス送信の基本操作(P. 203)**
- ▶ **送受信状況や履歴を確認する(P. 226)**

ファクスを受信する

6AAS-044

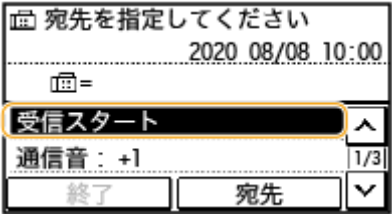
ファクスの受信方法とその設定操作について説明します。受信設定をする前にあらかじめファクス機能を使うための準備をしておく必要があります。▶**ファクスの設定をする(P. 71)**



- 受信したファクス文書は、A4 またはレターサイズ of 用紙に印刷してください。その他のサイズの用紙に印刷した場合、画像が欠けたり、分割して印刷されたりすることがあります。

■ファクスの受信方法

次の4つの受信方法があります。目的に合った方法を選び、▶**受信設定をする(P. 213)** で設定してください。

<自動受信> 	ファクス受信専用 自動的に受信します。相手から電話がかかってきても通話はできません。
<FAX/TEL 切替> 	相手がファクスのとき 自動的に受信します。 相手が電話のとき 呼び出し音が鳴ります。受話器を取って通話してください。  ● 一般電話機またはオプションのハンドセットを接続してください。
<手動受信> 	相手がファクスのとき 呼び出し音が鳴ります。受話器を取り、「ピー」という音を確認したら、 ▶ <ファクス> ▶ <受信スタート>の順に選びます。ファクスを受信できます。  相手が電話のとき 呼び出し音が鳴ります。受話器を取って通話します。  ● 一般電話機またはオプションのハンドセットを接続してください。

	呼び出し音が一定時間鳴ったあと、ファクスを自動受信するように設定しておくことができます。 ▶<自動受信切替>(P. 407)
<留守 TEL 接続> 	相手がファクスのとき 何回か呼び出し音が鳴って自動的に受信します。 相手が電話のとき 留守番電話の留守録音が起動し、相手の伝言が録音されます。留守録音の起動前に受話器を取れば通話できます。  MEMO - 留守番電話機を接続してください。 - 呼び出し音が1～2回鳴ったあとで留守録音が起動するように設定してください。 - 留守番メッセージを録音する際は、最初の4秒間程度を無音状態にするか、もしくは全体の長さを20秒以内にすることをおすすめします。



- 接続する電話機の種類によっては、発信や着信が正常にできないことがあります。
- ファクス機能付きの電話機を接続する場合は、電話機側のファクス自動受信設定を無効にしてください。
- 受話器を取り「ピー」という音が聞こえたら、相手はファクスです。電話機から所定のID番号を指定するとそのままファクスを受信できます。 **▶電話機のダイヤル操作でファクスを受信する（リモート受信）(P. 214)**

■受信設定をする

1 ホーム画面で、<ファクス>を選ぶ **▶ホーム画面(P. 113)**

2 <受信モード>を選ぶ

3 受信方法を選ぶ

■<FAX/TEL 切替>を選んだ場合

次の4つの設定項目を必要に応じて指定します。設定が完了したら<確定>を選びます。

FAX/TEL 切替
呼出開始時間：8
呼出時間：15
音声応答：OFF
呼出後の動作：受信
確定

<呼出開始時間>

着信後、相手がファクスか電話かの判定時間を指定します。

<呼出時間>

相手が電話の場合、何秒間呼び出し音が鳴るかを指定します。

<音声応答>

<ON>にすると相手に応答メッセージが流れます。状況に応じて以下のメッセージが流れます。

- 呼び出し中
「ただいま電話を呼び出しております。そのまましばらくお待ちください。ファクシミリの方は送信してください。」
- 受話器を取らなかったとき（<呼出後の動作>が<終了>の場合）
「呼び出しましたが近くにおりません。申し訳ございませんが後ほどおかけなおしてください。」
- 受話器を取らなかったとき（<呼出後の動作>が<受信>の場合）
「呼び出しましたが近くにおりません。ファクシミリをご利用の方は送信してください。」

<呼出後の動作>

呼び出し音が鳴っている間に受話器を取らなかったときの動作を設定します。<終了>にすると通信を切断し、<受信>にするとファクスを受信します。



便利な機能

- 受信した文書を用紙の両面に印刷したい <両面記録> (P. 408)
- 文書の下部に受信時刻などの情報を付けて印刷したい <受信情報記録> (P. 409)
- トナーカートリッジの残量が少なくなった場合でも印刷を継続したい <カートリッジ寿命間近時の印字継続> (P. 409)

■電話機のダイヤル操作でファクスを受信する（リモート受信）

受話器を取って相手がファクスだったときは、電話機から所定の ID 番号をダイヤルするとそのままファクスを受信できます。わざわざ本機のそばまで行って受信操作をする必要がありません。



MEMO

- 本機に直接接続していない電話機ではリモート受信できません。

1 呼び出し音が鳴ったら、電話機の受話器を取る

2 「ピー」音が聞こえたら電話機から ID 番号を入力する

- ID 番号の設定については、 <リモート受信> (P. 407) を参照してください。

3 受話器を置く



関連項目

🔴 送受信状況や履歴を確認する(P. 226)

🔴 いろいろな受信方法(P. 221)

送信時の便利な機能

6AAS-045

過去に指定した宛先に再び送信する方法や電話をかけたときに送信する方法を説明します。



▶ 過去の設定を呼び出して送信する（送信履歴） (P. 217)



▶ 通話してから送信する（手動送信） (P. 219)

過去の設定を呼び出して送信する（送信履歴）

6AAS-046



過去に指定した宛先をさかのぼって指定できます。そのときに使った濃度などのファクス設定も同時に呼び出されます。



- <履歴からの再送信を制限>が< ON >に設定されていると、この機能を使うことはできません。▶履歴からの送信を制限する(P. 338)
- 電源を切ったり<新規宛先の制限>を< ON >に設定したりすると過去に指定した宛先は消去されますので、この機能を使うことはできません。▶新規宛先の入力を制限する(P. 338)
- 手動送信時に指定した宛先は記憶されませんので、履歴には残りません。▶通話してから送信する（手動送信）(P. 219)



- この機能を使って宛先を指定すると、指定済みの宛先はすべて消去されます。

1 原稿をセットする ▶原稿をセットする(P. 131)

2 ホーム画面で、<ファクス>を選ぶ ▶ホーム画面(P. 113)

3 を押す

- 前に使った人の宛先設定が残っていると誤送信の原因になりますので、設定内容をリセットしてから操作します。

4 <宛先> ▶ <送信の履歴>を選ぶ

5 宛先を選ぶ

- 複数の宛先に送信した履歴の場合は 1 件目に指定された宛先だけが表示されますが、すべての宛先が指定されます。



⇒ 選んだ宛先とそのとき使ったファクス設定が指定されます。設定内容を変更して送信することもできます。

■宛先から外す

複数の宛先に送信した履歴の場合、送信をとりやめたい相手先を宛先から外すことができます。

- 1 <宛先> ▶ <確認/編集>を選ぶ
- 2 外したい宛先を選択する
 - グループダイヤルを選んだ場合は「XX 件」と表示されます。<宛先>を選ぶとグループ内に登録されている宛先を表示して確認できます。
- 3 <宛先から解除> ▶ <はい>を選ぶ

6 必要に応じて原稿の読み込み設定をする ▶ファクス送信の基本操作(P. 203)

7 を押す

⇒ 原稿の読み込みが開始されます。

- 中止したいときは、<中止> ▶ <はい> の順に選びます。▶ファクス送信を中止する(P. 210)

■手順 1 でフィーダーに原稿をセットした場合

読み込みが完了すると、ファクスが送信されます。

■手順 1 で原稿台ガラスに原稿をセットした場合

読み込みが完了したら、次の操作を行います。

- 1 原稿のサイズを選ぶ
 - 原稿が 1 枚のときは手順 3 に進みます。
- 2 原稿台ガラスに次の原稿をセットし、 を押す
 - すべての原稿の読み込みが完了するまで、この操作を繰り返します。
- 3 <送信開始>を選ぶ

⇒ ファクスが送信されます。



関連項目

▶ファクス送信の基本操作(P. 203)

通話してから送信する（手動送信）

6AAS-047



電話で通話をしたあと、続けてそのままファクス送信できます。相手が受信操作をすると、「ピー」という音が聞こえますので  を押してファクス送信します。



- あらかじめ本機に電話機またはオプションのハンドセットを接続しておく必要があります。

1 原稿をセットする 原稿をセットする(P. 131)

- 両面原稿の読み込みはできません。

2 ホーム画面で、＜ファクス＞を選ぶ ホーム画面(P. 113)

3 を押す

- 前に使った人の宛先設定が残っていると誤送信の原因になりますので、設定内容をリセットしてから操作します。

4 必要に応じて原稿の読み込み設定をする ファクス送信の基本操作(P. 203)

5 相手先に電話をかける

6 通話のあと、受信操作をしてもらう

- 「ピー」という音が聞こえたら手順 7 に進みます。

7 を押す

⇒ 原稿の読み込みが開始されます。

- 中止したいときは、＜中止＞  ＜はい＞の順に選びます。  ファクス送信を中止する(P. 210)

8 受話器を置く



関連項目

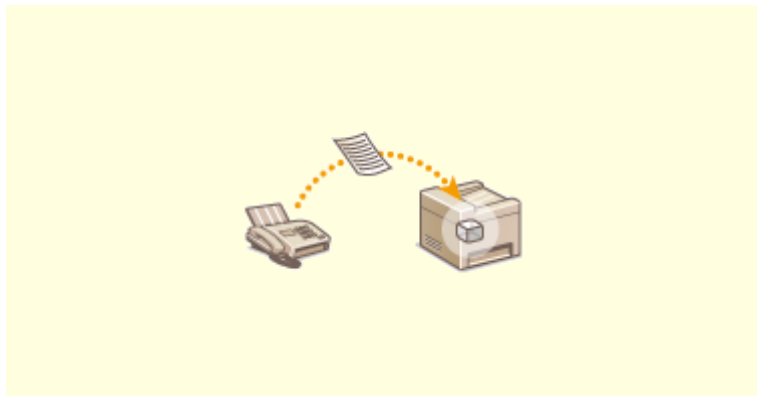
 ファクス送信の基本操作(P. 203)

- ▶ **ファクス送信を中止する(P. 210)**
- ▶ **送受信状況や履歴を確認する(P. 226)**

いろいろな受信方法

6AAS-048

受信した文書をすぐに印刷せずに本機にいったん保存しておくことができます。文書の内容を確認したうえで必要な文書だけを印刷すれば、用紙の無駄を削減できます。



▶ 受信した文書をいったん本機に保存する（メモリー受信）(P. 222)

受信した文書をいったん本機に保存する（メモリー受信）

6AAS-049

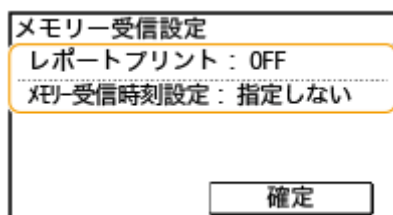


受信したファクス文書をすぐに印刷せず、いったん本機のメモリーに保存して好きなときに印刷できます。機密文書などを都合のよいときに印刷することで、関係者以外の目に触れないようにすることが可能です。

- ▶メモリーに保存する(P. 222)
- ▶メモリー内の文書を印刷する(P. 222)
- ▶メモリー内の文書を確認／転送／削除する(P. 223)

メモリーに保存する

受信文書をメモリーに保存するには＜メモリー受信設定＞を＜ON＞にします。指定した時間帯だけメモリー受信させることもできます。



<レポートプリント>

メモリー受信するたびに受信結果レポートを印刷するように設定できます。設定する場合は、＜ON＞を選びます。なお、この機能を使うためには＜受信結果レポート＞を＜ON＞に設定しておく必要があります。▶**受信結果レポート（モノクロ 6 行タッチパネル機）** (P. 462)

<メモリー受信時刻設定>

特定の時間帯だけメモリー受信する場合に時刻を設定します。時刻設定しないと、常時メモリー受信状態となります。

メモリー内の文書を印刷する

メモリー受信した文書を印刷するときは、＜メモリー受信設定＞を＜OFF＞にします。この操作をすると、メモリーに保存されていた文書がすべて印刷されます。



- 特定の文書だけを選んで印刷することはできません。
- メモリー受信機能の終了時刻を設定した場合は、指定した時刻になると自動的に印刷されます。



<メニュー> ▶ <ファクス設定> ▶ <受信機能設定> ▶ <メモリー受信設定> ▶ <OFF> ▶

メモリー内の文書を確認／転送／削除する

相手先のファクス番号や、ページ数など、メモリーに保存されている文書の概要を確認することができます。メモリー内の文書を選んで転送したり、不要な文書があれば削除したりすることもできます。

1 を押す

2 <受信ジョブ>を選ぶ

3 <ジョブ状況>を選び、確認したい文書を選ぶ

受信ジョブ状況	詳細情報
ファクス 10:40 プリント中	受付番号：5013 状況：プリント待機中 受付時刻：08/01 10:45 ジョブタイプ： ファクス 削除 転送 1/2 ^ v
ファクス 10:45 プリント待機中	

⇒ 文書の詳細情報が表示されます。

- 転送する場合は、<転送>を選んで宛先を指定します。
- 削除する場合は、<削除> ▶ <はい>の順に選びます。



便利な機能

- 受信文書のプレビューをリモート UI から確認することもできます。▶ [状況や履歴を確認する\(P. 349\)](#)



関連項目

- ▶ [ファクスを受信する\(P. 212\)](#)
- ▶ [送受信状況や履歴を確認する\(P. 226\)](#)

受信した文書を自動転送する

6AAS-04A

受信したすべての文書をあらかじめ指定した宛先に転送します。不在時でも外出先で情報をキャッチしたいという場合に便利です。

- 自動的に転送されるように設定する(P. 224)
- 転送文書を印刷する(P. 224)
- 転送に失敗した文書を印刷／再送信／削除する(P. 224)

自動的に転送されるように設定する

転送機能を有効にしている間、受信する文書はすべて自動的に転送されます。



転送文書を印刷する

転送する文書の内容を手元でも確認したい場合は、転送と同時に文書が印刷されるように設定しておきます。エラー終了した場合にかぎって文書を印刷するように設定することもできます。



転送に失敗した文書を印刷／再送信／削除する

エラー終了した転送文書をメモリーに残しておいてあとから必要に応じて印刷したり、再送信したりすることができます。削除することもできます。

■エラー終了した転送文書をメモリーに残す

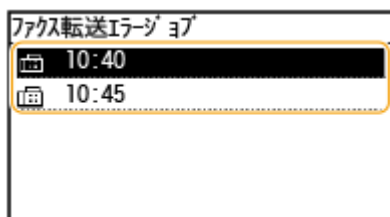


■メモリーに残したエラー文書を印刷／再送信／削除する

1 を押す

2 <ファクス転送エーゼージュ>を選ぶ

3 印刷／再送信／削除したい文書を選ぶ



⇒ 文書の詳細情報が表示されます。

- 印刷する場合は、<プリント/転送> ▶ <プリント> ▶ <はい>の順に選びます。
- 再送信する場合は、<プリント/転送> ▶ <転送>を選んで宛先を指定します。
転送先はファクス番号のみ指定できます。
- 削除する場合は、<削除> ▶ <はい>の順に選びます。



関連項目

- ファクスを受信する(P. 212)
- 送受信状況や履歴を確認する(P. 226)

送受信状況や履歴を確認する

6AAS-04C

ファクスの送受信状況や通信履歴を送受信別に確認できます。



- <ジョブ履歴表示の ON/OFF > が < OFF > に設定されていると、通信履歴は確認できません。▶<ジョブ履歴表示の ON/OFF > (P. 429)



- 手動送信時の宛先は表示されないため確認できません。

1 を押す

2 <送信ジョブ> または <受信ジョブ> を選ぶ

3 送受信状況または通信履歴を確認する

■送受信状況を確認する

1 <ジョブ状況> を選び、状況を確認したい文書を選ぶ

送信ジョブ状況	詳細情報
☎ ファクス 10:40 送信中	受付番号 : 0013
☎ ファクス 10:45 一時停止中	状況 : 一時停止中
	受付時刻 : 08/01 10:45
	ジョブタイプ : ☎ ファクス
	中止

⇒ 文書の詳細情報が表示されます。

- 文書の宛先が複数指定されている場合は宛先の件数が表示されます。複数指定の宛先を確認するときは <宛先> を選んでください。

■通信履歴を確認する

1 <ジョブ履歴> を選び、履歴の内容を確認したい文書を選択する

- 正しく送受信された文書には < OK > と表示されます。 < NG > と表示されている場合は、送受信を中止したか、エラーが発生したことを示しています。

送信ジョブ履歴	詳細情報
ファクス 10:40 OK ファクス 10:45 NG	受付番号 : 0013 結果 : NG 開始時刻 : 08/01 10:45 通信時間 : 29' 23 ジョブタイプ :  ファクス

⇒ 文書の詳細情報が表示されます。



< NG >のときに3桁の数字が表示されている場合

- 3桁の数字はエラーコードを表しています。▶ [エラーコードごとの対処方法\(P. 516\)](#)



関連項目

- ▶ [ファクス送信の基本操作\(P. 203\)](#)
- ▶ [ファクス送信を中止する\(P. 210\)](#)
- ▶ [ファクスを受信する\(P. 212\)](#)
- ▶ [レポートやリストを印刷する\(P. 460\)](#)

パソコンからファクスを送信する（PC ファクス）

6AAS-04E

パソコンのアプリケーションで作成した文書を、印刷するのと同じ要領でファクスすることができます。送信する文書をいったん印刷する必要がないため、用紙のムダを省くことができます。ただし、ファクスの基本設定（**🔴ファクスの設定をする（P. 71）**）と、パソコンへのファクスドライバーのインストールが必要です。ファクスドライバーのインストールについては、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。



🔴PC ファクスを送信する(P. 229)



- 各ページに掲載されているファクスドライバーの画面は、OS、ファクスドライバーのバージョンによってはお使いのものと異なる場合があります。



ファクスドライバーのヘルプについて

- ファクスドライバー画面の［ヘルプ］をクリックすると、ヘルプ画面が表示されます。よく使う設定の登録機能など、ユーザーズガイドに記載されていない機能の説明や設定方法については、ヘルプを参照してください。

PC ファクスを送信する

6AAS-04F



- 本体側で＜ファクスドライバーからの送信を許可＞が＜OFF＞に設定されていると、パソコンからファクスを送信できません。🔴 **パソコンからのファクス送信を制限する(P. 340)**

1 アプリケーションで文書を開いて、印刷画面を表示させる

- 印刷画面の表示方法はアプリケーションによって異なります。各アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

2 本機のファクスドライバーを選び、[印刷] をクリックする

3 宛先を指定する

■送信したい宛先が1件だけの場合

- 1 [宛先入力] タブをクリックする
- 2 通信モードやファクス番号（または URI）を設定する

ファクス送信設定

宛先選択 宛先入力

* 通信モード(MO): G3/G4

* ファクス番号/URI(O): ファクス番号

* ファクス番号(F): 887654321

ファクス番号の確認入力(F):

宛先名(N):

☐ フォードをスキップ

フコード:

パスコード:

■一度に複数の宛先に送信したい場合

- 1 [宛先選択] タブをクリックする
- 2 [宛先の追加] をクリックする
- 3 通信モードやファクス番号（または URI）を設定し、[OK] をクリックする

4 同時に送信したい宛先について、手順 2 と 3 を繰り返す

- 手順 3 で「次の宛先を追加」をクリックしても宛先を追加できます。

- 外線番号が必要な場合は「詳細設定」▶「G3/G4/IP ファクス番号に外線接続番号を付ける」にチェックマークを付け「外線接続番号」に番号を入力します。番号はファクス番号の先頭に付加されてダイヤルされます。
- アドレス帳を使って宛先をかんたんに指定することもできます。
- 「送信イメージを保存する」にチェックマークを付けると送信文書の画像を履歴として保存し、送信時の宛先やページ数などの詳細情報を確認できるようになります。詳細については、ファクスドライバー画面の「ヘルプ」をクリックして、ヘルプを参照してください。

MEMO

- 「ファクス番号の確認入力」または「URI の確認入力」が入力可能な状態のときは、これらの欄にも番号を入力してください。確認入力をするかどうかはファクスドライバー画面で設定を変更できます。詳細については、ファクスドライバー画面の「ヘルプ」をクリックして、ヘルプを参照してください。

4 「送信」をクリックして送信する

関連項目

- Windows ストアアプリから印刷やファクス送信をするときは(P. 579)

プリントする

プリントする	232
パソコンから印刷する	233
印刷を中止する	235
印刷状況や履歴を確認する	238

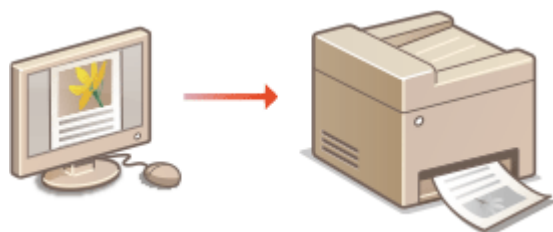
プリントする

6AAS-04H

プリンタードライバーを使って、パソコン上の文書を印刷することができます。

■ パソコンから印刷する

パソコンで作成した文書を、プリンタードライバーを使って印刷できます。



▶ パソコンから印刷する(P. 233)



便利な機能

モバイル機器から印刷する

- スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器を本機と連携させることで、手軽に写真やウェブページを印刷できます。また、Google Cloud Print™にも対応しています。

▶ モバイル機器と連携する(P. 277)

▶ Google Cloud Print を使う(P. 297)

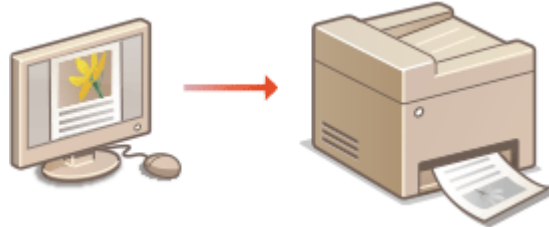
静かに印刷する

- 印刷時の稼働音が気になるときは、静音モードにすることで稼働音を抑えることができます。ただし、静音モードで印刷すると、印刷速度が遅くなります。

パソコンから印刷する

6AAS-04J

アプリケーションで作成した文書を、パソコンのプリンタードライバーを使って印刷します。プリンタードライバーには、拡大／縮小や両面印刷などの設定が用意されていますので、さまざまな形で印刷できます。これらの機能を使うには、パソコンにプリンタードライバーをインストールするなどのいくつかの準備が必要です。詳しくは、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。



- ▶ プリンタードライバーのヘルプについて(P. 233)
- ▶ 印刷の基本操作(P. 233)

プリンタードライバーのヘルプについて

プリンタードライバー画面の [ヘルプ] をクリックすると、ヘルプ画面が表示されます。ユーザーズガイドに記載されていない項目の詳しい説明については、ヘルプを参照してください。

印刷の基本操作

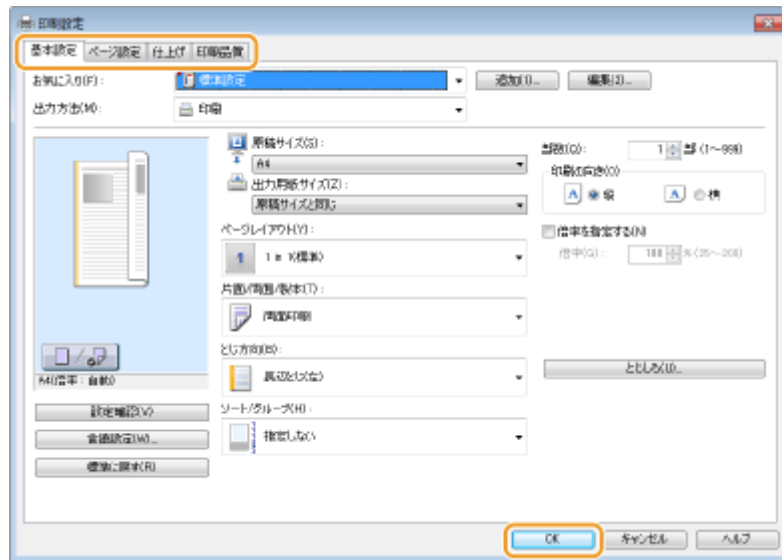
プリンタードライバーを使って、パソコン上の文書を本機で印刷する方法を説明します。



本体の用紙設定について

- 通常は各給紙部にセットした用紙サイズと種類を、あらかじめ操作パネルで設定しておく必要があります。

- 1** アプリケーションで文書を開いて、印刷画面を表示させる
- 2** 本機のプリンタードライバーを選び、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックする
- 3** 必要に応じて印刷設定をし、[OK] をクリックする
 - 設定内容に応じて、タブを切り替えてください。



4 [印刷] または [OK] をクリックする

印刷が開始されます。

- 中止したいときは、**印刷を中止する(P. 235)** を参照してください。



関連項目

- 印刷状況や履歴を確認する(P. 238)**

印刷を中止する

6AAS-04K

パソコンから印刷を中止する方法と、本機の操作パネルから中止する方法があります。

- ▶ パソコンから(P. 235)
- ▶ 操作パネルから(P. 236)

パソコンから

デスクトップのタスクトレイに表示されているプリンターアイコンから印刷を中止できます。

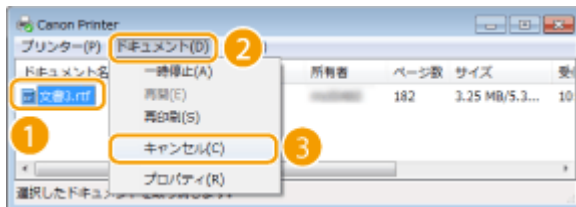
1 プリンターアイコンをダブルクリックする



プリンターアイコンが表示されていないとき

- プリンターフォルダーを開き（▶ [プリンターフォルダーの表示方法\(P. 571\)](#)）、本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして「印刷ジョブの表示」をクリックします（または、本機のアイコンをダブルクリックします）。

2 中止したい文書を選んで、[ドキュメント] ▶ [キャンセル] をクリックする



3 [はい] をクリックする

⇒ 選択した文書が中止されます。



- 中止操作をしても、数ページ印刷されることがあります。



便利な機能

リモート UI から中止する

- リモート UI の [ジョブ状況] ページから印刷を中止することができます。▶印刷文書の状況を確認する(P. 349)

アプリケーションから中止する

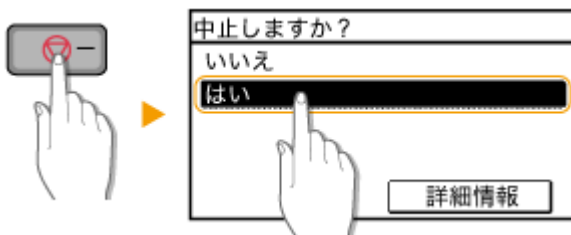
- アプリケーションによっては、印刷中に次のような画面が表示されます。[キャンセル] をクリックして印刷を中止することができます。



操作パネルから

 または  で中止します。

■ で中止する



 を押すと、文書の一覧画面が表示される場合

印刷を中止したい文書を選択して<はい>を選びます。



■ 印刷状況を確認してから中止する



- 中止操作をしても、数ページ印刷されることがあります。



関連項目

- ▶印刷の基本操作(P. 233)
- ▶印刷状況や履歴を確認する(P. 238)

印刷状況や履歴を確認する

6AAS-04L

現在の印刷状況や印刷した文書の履歴を確認できます。



ご注意

- <ジョブ履歴表示の ON/OFF > が < OFF > に設定されていると、印刷履歴は確認できません。▶<ジョブ履歴表示の ON/OFF > (P. 429)



次のようなときに便利です

- 文書がなかなか印刷されないので、順番待ちの状況を確認したい。
- 印刷したはずの文書が見当たらないので、エラーが起きていないか確認したい。

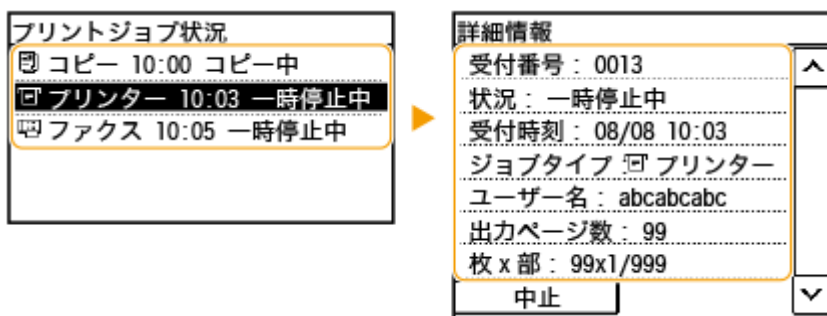
1 を押す

2 <コピー/プリントジョブ>を選ぶ

3 印刷状況または履歴を確認する

■印刷状況を確認する

- 1 <ジョブ状況>を選び、状況を確認したい文書を選ぶ



⇒ 文書の詳細情報が表示されます。

■印刷履歴を確認する

- 1 <プリントジョブ履歴>を選び、履歴の内容を確認したい文書を選ぶ
 - 正しく印刷された文書には < OK > と表示されます。 < NG > と表示されている場合は、印刷を中止したか、エラーが発生したことを示しています。

プリントジョブ履歴		
☐	コピー	10:00 OK
☐	プリンター	10:03 OK
☐	ファクス	10:05 NG

⇒ 文書の詳細情報が表示されます。

- 文書名やユーザー名は、使われている文字によっては正しく表示されない場合があります。



< NG >のときに3桁の数字が表示されている場合

- 3桁の数字はエラーコードを表しています。▶ [エラーコードごとの対処方法\(P. 516\)](#)



関連項目

- ▶ [印刷の基本操作\(P. 233\)](#)
- ▶ [印刷を中止する\(P. 235\)](#)

スキャンする

スキャンする	241
スキャンの基本操作	243
スキャンしてパソコンに保存する	244
ショートカットキーを使ってスキャンする	246
Eメール送信する／共有フォルダーにファイルを保存する	249
送信を中止する	257
スキャンの状況や履歴を確認する	259
きれいにスキャンする	261
画質を調整する	262
濃度を調整する	263
鮮明にスキャンする（シャープネス）	264
スキャンの便利な機能	266
ファイルサイズと画質のバランスを調節する（データサイズ）	267
過去の設定を呼び出して送信／保存する（送信履歴）	268
Eメールの設定をする	270
パソコンを使ってスキャンする（リモートスキャン）	272
アプリケーションから原稿を読み込む	273
ScanGear MF を使う	275

スキャンする

6AAS-04R

本体側の操作でスキャンする方法と、パソコン側の操作でスキャンする方法があります。いずれの場合も読み込んだ原稿はPDFなどの電子ファイルに変換されます。かさばる紙文書をファイルにして整理する場合などにお使いください。



- 本機をスキャナーとして使うには、あらかじめパソコンにソフトウェアをインストールするなどの準備が必要です。詳しくは、オンラインマニュアルサイトからドライバーやソフトウェアのマニュアルを参照してください。また、ネットワークで接続する場合は、インストールしたソフトウェアに本機を登録する必要があります。▶ **スキャナーとして使うための準備をする(P. 78)**
- 各ページに掲載されているスキャナードライバーやアプリケーションの画面は、OS、スキャナードライバー、アプリケーションのバージョンによってはお使いのものと異なる場合があります。

■ 基本操作をご紹介します

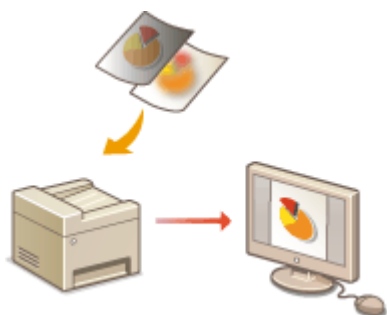
本機の操作パネルから操作して原稿を読み込み、パソコンに保存します。Eメールの添付ファイルとして送信したりすることもできます。



- ▶ **スキャンの基本操作(P. 243)**
- ▶ **送信を中止する(P. 257)**
- ▶ **スキャンの状況や履歴を確認する(P. 259)**

■ 品質を高める

「写真がぼやけてしまう」、「紙の色が濃すぎて文字が見えない」といった悩みを解決する方法を紹介します。



- ▶ **きれいにスキャンする(P. 261)**

■ 効率よく、確実に

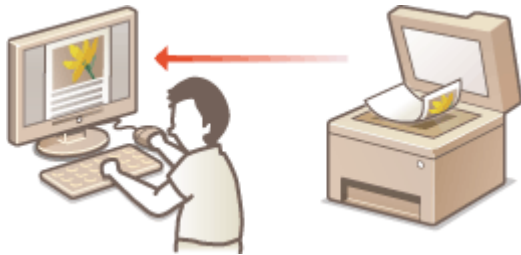
送信時の効率アップや便利な設定などを紹介します。



▶ スキャンの便利な機能(P. 266)

■ パソコンからスキャンする

パソコン側からの操作によって、本機にセットした原稿を読み込む方法です。読み込んだ原稿はパソコンに保存します。付属の MF Scan Utility を使う方法のほか、画像処理ソフトや文書作成ソフトなどのアプリケーションから読み込む方法があります。



▶ パソコンを使ってスキャンする (リモートスキャン)
(P. 272)



モバイル機器からスキャンする

- スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器を本機と連携させることで、本機にセットした原稿を手軽にスキャンできます。▶ モバイル機器と連携する(P. 277)

スキャンの基本操作

6AAS-04S

原稿をスキャンするときの基本的な操作手順を説明します。

■ スキャンする



▶ スキャンしてパソコンに保存する
(P. 244)



▶ ショートカットキーを使ってスキャンする(P. 246)



▶ E メール送信する／共有フォルダーにファイルを保存する(P. 249)

■ ジョブを操作する

- ▶ 送信を中止する(P. 257)
- ▶ スキャンの状況や履歴を確認する(P. 259)

スキャンしてパソコンに保存する

6AAS-04U

「原稿を読み込んでパソコンに保存する」という一連の作業を本機側だけで行うことができます。「読み込んだ原稿をどのパソコンに保存するか」、「カラーで読み込むか、白黒で読み込むか」、「読み込んだ原稿を PDF で保存するか、JPEG で保存するか」などを選びながらスキャンします。なお、ネットワーク接続されているパソコンを保存先にするときは、あらかじめパソコン側で本機を登録しておく必要があります（[▶スキャナーとして使うための準備をする\(P. 78\)](#)）。

1 原稿をセットする [▶原稿をセットする\(P. 131\)](#)

2 <スキャン>画面を表示する [▶ホーム画面\(P. 113\)](#)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<スキャン>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

（コピー/スキャン）を押す

3 < PC >を選ぶ

- 本機と USB 接続されているパソコンだけでお使いの場合は、手順 5 に進みます。

4 読み込んだ原稿を保存するパソコンを選ぶ

5 スキャンの種類を選ぶ

- 表示されるスキャンの種類の設定内容は、MF Scan Utility で確認や変更ができます。詳細については、MF Scan Utility の「操作説明」をクリックしてヘルプを参照してください。



- macOS をお使いの場合は、オンラインマニュアルサイトからドライバーやソフトウェアのマニュアルを参照してください。

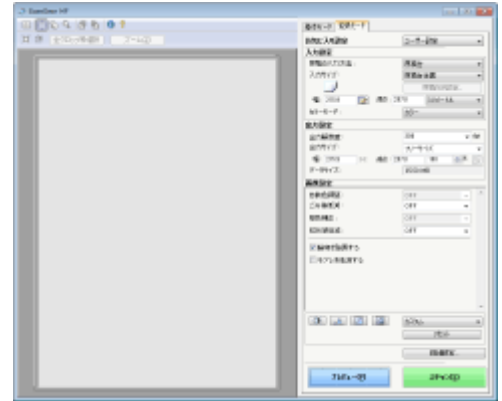
6 （OK）を押す

⇒ 原稿の読み込みが開始されます。

- 中止したいときは、<中止> ▶ <はい> の順に選びます。 [▶送信を中止する\(P. 257\)](#)



- ScanGear MF が表示されていると、スキャンできません。画面を閉じてからスキャンしてください。



■手順 1 でフィーダーに原稿をセットした場合

読み込みが完了すると、パソコンの画面に保存先のフォルダーが表示されます。

■手順 1 で原稿台ガラスに原稿をセットした場合

読み込みが完了したら、次の操作を行います（ファイル形式が PDF の場合のみ）。

1 原稿が複数枚あるときは次の原稿をセットし、 を押す

- すべての原稿の読み込みが完了するまで、この操作を繰り返します。
- 原稿が 1 枚のときは次の手順に進みます。

2 <読み込み終了>を選ぶ

⇒ パソコンの画面に保存先のフォルダーが表示されます。



保存先のフォルダーについて

- お買い上げ時の設定では、読み込んだデータは「マイドキュメント」フォルダーに保存されます。日付を名称とするサブフォルダーが作成され、データはその中に保存されます。
- MF Scan Utility から保存先を変更できます。詳細については、MF Scan Utility の「操作説明」をクリックしてヘルプを参照してください。



本体からのスキャンをもっとかんたんに

- 「カラーで読み込むか、白黒で読み込むか？」「読み込んだ原稿はどのパソコンに保存するのか？」が常に決まっているのであれば毎回そういった指定をするのは面倒です。あらかじめショートカットキーにこれらの操作を登録しておけば、ワンプッシュでスキャンできます。● **ショートカットキーを使ってスキャンする(P. 246)**

ショートカットキーを使ってスキャンする

6AAS-04W

原稿をセットしてショートカットキーを使うとすぐにスキャンが始まります。カラー読み込み／白黒読み込み、原稿の保存先、スキャンの種類をあらかじめボタンに登録した設定で原稿が読み込まれます。ここでは、設定を設定項目に登録する方法と、登録した設定項目を使って実際に読み込む方法を説明します。

- ▶ ショートカットキーに設定を登録する(P. 246)
- ▶ ショートカットキーを使う(P. 247)

ショートカットキーに設定を登録する

ショートカットキーに保存先のパソコンとスキャンの種類を登録します。

1 <メニュー>画面を表示する ▶ ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

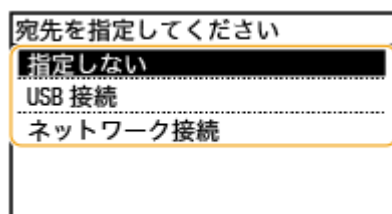
 を押す

2 <スキャン設定>を選ぶ

3 <ショートカットキー設定> ▶ <登録>の順に進む

4 設定を登録するショートカットキーを選ぶ

5 パソコンとの接続方法を選ぶ



<指定しない>

登録済みの設定を消去するときに選びます。

< USB 接続>

本機とパソコンが USB で接続されているときに選びます。

<ネットワーク接続>

本機とパソコンがネットワークで接続されているときに選びます。

6 読み込んだ原稿を保存するパソコンを選ぶ

- 手順 5 で＜USB 接続＞を選んだ場合は、手順 7 に進みます。

7 スキャンの種類を選ぶ

- 表示されるスキャンの種類の設定内容は、MF Scan Utility で確認や変更ができます。詳細については、MF Scan Utility の〔操作説明〕をクリックしてヘルプを参照してください。



- macOS をお使いの場合は、オンラインマニュアルサイトからドライバーやソフトウェアのマニュアルを参照してください。

■登録内容を確認する



＜メニュー＞ () ▶ ＜スキャン設定＞ ▶ ＜ショートカットキー設定＞ ▶ ＜宛先確認＞ ▶ ショートカットキーを選択

ショートカットキーを使う

1 原稿をセットする ●原稿をセットする(P. 131)

2 ショートカットキーを選ぶ

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、＜スキャン→PC1＞または＜スキャン→PC2＞を選ぶ ●ホーム画面(P. 113)

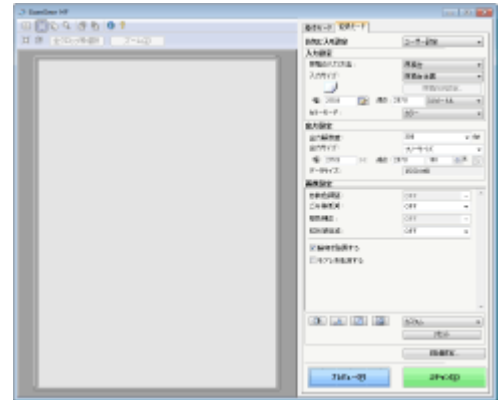
モノクロ 5 行 UI 機

 を押す

- ボタンに登録した設定を確認したいとき ●登録内容を確認する(P. 247)
- 原稿が読み込まれます。
- 中止したいときは、＜中止＞ ▶ ＜はい＞の順に選びます。 ●送信を中止する(P. 257)



ScanGear MF が表示されていると、スキャンできません。画面を閉じてからスキャンしてください。



■手順 1 でフィーダーに原稿をセットした場合

読み込みが完了すると、パソコンの画面に保存先のフォルダーが表示されます。

■手順 1 で原稿台ガラスに原稿をセットした場合

読み込みが完了したら、次の操作を行います（ファイル形式が PDF の場合のみ）。

1 原稿が複数枚あるときは次の原稿をセットして、 を押す

- すべての原稿の読み込みが完了するまで、この操作を繰り返します。
- 原稿が 1 枚のときは次の手順に進みます。

2 <読み込み終了>を選ぶ

⇒ パソコンの画面に保存先のフォルダーが表示されます。



保存先のフォルダーについて

- お買い上げ時の設定では、読み込んだデータは「マイドキュメント」フォルダーに保存されます。日付を名称とするサブフォルダーが作成され、データはその中に保存されます。
- MF Scan Utility から保存先を変更できます。詳細については、MF Scan Utility の「操作説明」をクリックして、ヘルプを参照してください。

E メール送信する／共有フォルダーにファイルを保存する

6AAS-04X

原稿を読み込んで、本機から直接 E メールに添付して送信したり、共有フォルダーに保存したりする方法を説明します。



- 直接 E メール送信するには、あらかじめメールサーバーの設定を指定するなどの準備が必要です。▶ **E メール送信設定の流れ(P. 79)**
- 共有フォルダーに保存するには、あらかじめ原稿の保存先を指定するなどの準備が必要です。▶ **共有フォルダーへの保存設定の流れ(P. 86)**

1 原稿をセットする ▶ 原稿をセットする(P. 131)

2 ホーム画面で、＜スキャン＞を選ぶ ▶ ホーム画面(P. 113)

3 ＜E メール＞または＜ファイル＞を選ぶ

4 宛先を指定する

- 手順 3 で＜ファイル＞を選ぶと、アドレス帳の画面が表示されます。短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤルによる宛先の指定ができます。
 - ▶ アドレス帳から指定する
 - ▶ 短縮番号で指定する
 - ▶ ワンタッチで指定する
 - ▶ 宛先を直接入力する（E メール送信）

アドレス帳から指定する



アドレス帳に登録した宛先を一覧表示から選んで指定します。宛先名称に登録した場合は、頭文字で検索することもできます。

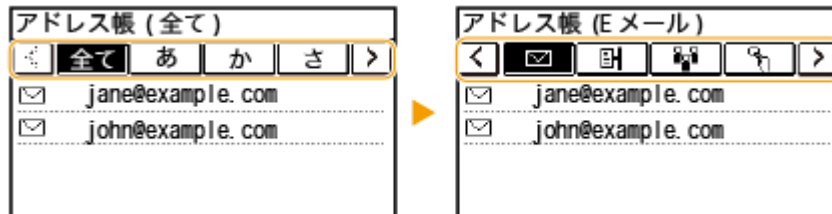


- アドレス帳を使うためには、あらかじめ登録が必要です。▶ **宛先を登録する(P. 168)**
- 共有フォルダーの宛先の登録は、パソコンから行います。
 - ▶ **共有フォルダーへの保存設定をする(P. 87)**
 - ▶ **リモート UI から宛先を登録する(P. 358)**

1 <宛先> ▶ <アドレス帳から指定>を選ぶ

- <種別>画面が表示された場合は、宛先の種類を< To >、< Cc >、< Bcc >の中から選択します。

2 インデックスを選ぶ ▶ インデックス(P. 168)



3 宛先を選ぶ



複数の宛先を選ぶ (E メール)

- 手順 1～3 を繰り返します。



便利な機能

- ホーム画面の<アドレス帳>から宛先を選ぶと、選んだ宛先が指定された状態で E メール送信／ファイル保存の設定を行うことができます。

短縮番号で指定する



アドレス帳の宛先には 3 桁の番号 (短縮番号) が設定されています。短縮番号を入力するだけで宛先を指定することができます。



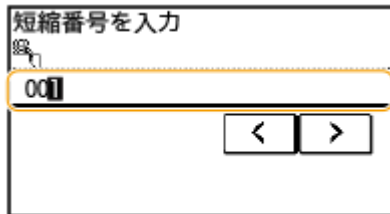
- 短縮番号を使うためには、あらかじめアドレス帳への登録が必要です。▶宛先を登録する(P. 168)
- 共有フォルダーの宛先の登録は、パソコンから行います。
 - ▶共有フォルダーへの保存設定をする(P. 87)
 - ▶リモート UI から宛先を登録する(P. 358)

1 <宛先> ▶ <短縮ダイヤルから指定>を選ぶ

- <種別>画面が表示された場合は、宛先の種類を< To >、< Cc >、< Bcc >の中から選択します。

2 3桁の短縮番号を入力する

- 間違って入力したときは  で消します。




確認画面が表示された場合

- ＜ワンタッチ/短縮ダイヤル送信の確認＞が＜ON＞に設定されていると、短縮番号に登録されている宛先と宛先名の確認画面が表示されます（登録されている宛先がグループダイヤルの場合は、グループ名と宛先の件数が表示されます）。宛先内容を確認し、問題なければ＜OK＞を選びます。他の宛先に指定しなす場合は＜キャンセル＞を選んだあと、3桁の短縮番号を入力しなおします。  **アドレス帳に登録した宛先を表示する(P. 338)**

複数の宛先を選ぶ（Eメール）

- 手順 1～2 を繰り返します。

ワンタッチで指定する



ワンタッチボタンに登録した宛先を一覧表示から選んで指定します。



- ワンタッチボタンを使うためには、あらかじめ登録が必要です。  **アドレス帳に宛先を登録する(P. 170)**

1 ＜宛先＞ ▶ ＜ワンタッチから指定＞を選ぶ

2 宛先を選ぶ



確認画面が表示された場合

- ＜ワンタッチ/短縮ダイヤル送信の確認＞が＜ON＞に設定されていると、ワンタッチボタンに登録されている宛先と宛先番号の確認画面が表示されます（登録されている宛先がグループダイヤルの場合は、グループ名と宛先の件数が表示されます）。宛先内容を確認し、問題なければ＜OK＞を選びます。問題がある場合は＜キャンセル＞を選んだあと、ワンタッチボタンを選びなおします。



便利な機能

- ホーム画面の＜ワンタッチ 1＞～＜ワンタッチ 4＞のいずれかを選ぶと、選んだ宛先が指定された状態で E メールやファイル保存の設定を行うことができます。

宛先を直接入力する（E メール送信）

アドレス帳に登録されていない宛先は、直接入力して指定します。

1 ＜宛先＞ ▶ ＜テンキーから指定＞を選ぶ

2 E メールアドレスを入力し、＜確定＞を選ぶ

- 文字の入力方法については、**文字を入力する(P. 126)** を参照してください。



送信履歴から宛先を指定する

- 過去に指定した宛先を呼び出すこともできます。**過去の設定を呼び出して送信／保存する(送信履歴)(P. 268)**

共有フォルダーに保存するとき

- 指定できる宛先は 1 件だけです。

5 E メール送信の場合は、必要に応じて 2 件目以降の宛先、Cc、Bcc の宛先を指定する

- ＜宛先＞を選び、宛先の指定方法を選択します。

The screenshot shows the email composition interface. On the left, the '宛先' (To) field is highlighted with a yellow box. On the right, the '宛先' selection menu is open, showing three options: 'アドレス帳から指定' (Select from address book), '短縮ダイヤルから指定' (Select from speed dial), and 'ワンタッチから指定' (Select from one-touch). Below these options are two buttons: '確認 / 編集' (Confirm / Edit) and '送信の履歴' (Send history).

- ＜Cc＞と＜Bcc＞の宛先は、＜アドレス帳から指定＞、＜短縮ダイヤルから指定＞または＜ワンタッチから指定＞からのみ指定できます。

■宛先から外す

複数の宛先を指定した場合、送信をとりやめたい相手先を宛先から外すことができます。

1 ＜宛先＞ ▶ ＜確認/編集＞を選ぶ

2 外したい宛先を選ぶ

- グループを選んだ場合は「XX 件」と表示されます。＜宛先＞を選ぶと、グループ内に登録されている宛先を表示して確認できます。

3 <宛先から解除> ▶ <はい>を選ぶ

6 必要に応じて原稿の読み込み設定をする

- ▶ 原稿の読み取りサイズを設定する
- ▶ カラーモードを選ぶ
- ▶ ファイル形式を選ぶ
- ▶ 原稿の向きを指定する
- ▶ 原稿の両面を読み込む

原稿の読み取りサイズを設定する



読み込む原稿のサイズを指定します。



<読取サイズ> ▶ 原稿のサイズを選択

カラーモードを選ぶ



原稿をカラーで読み込むか、白黒で読み込むかを設定します。



<カラーモード> ▶ カラーモードを選択

ファイル形式を選ぶ



読み込んだ原稿のファイル形式を PDF/JPEG/TIFF の中から選びます。PDF は、ファイルサイズが小さな高圧縮 PDF を選択できます。



<ファイル形式> ▶ ファイル形式を選択



- <ファイル形式>で JPEG を選び、原稿台ガラスから原稿を読み込もうとすると 1 枚しか読み込むことができません。一度に複数枚の原稿を読み込みたい場合はフィーダーを使ってください。原稿は 1 枚ずつ別々のファイルとして保存されます。TIFF や PDF を選んだ場合は、原稿台ガラス／フィーダーのどちらからでも複数枚の原稿を読み込むことができます。
- <PDF(高圧縮)>を選ぶと<PDF>よりも写真やイラストなどの画像がより圧縮され、データサイズが小さくなります。ただし、原稿の種類によっては画質が低くなったり、一度に読み込める原稿の枚数が少なくなったりすることがあります。

原稿の向きを指定する



原稿の向きが縦長、横長のどちらであるかを指定します。



<原稿の向き> ▶ 原稿の向きを選択

原稿の両面を読み込む



フィーダーにセットした原稿のオモテとウラを自動的に読み込みます。

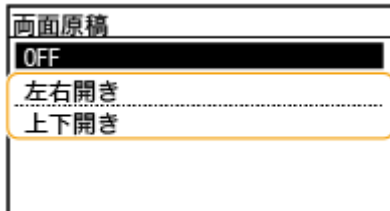


ご注意

- 原稿台ガラスにセットした原稿の両面を自動的に読み込むことはできません。



＜両面原稿＞ ▶ ＜左右開き＞または＜上下開き＞を選択



＜左右開き＞

原稿のオモテ面とウラ面の上下位置関係が同じ場合に選びます。

＜上下開き＞

原稿のオモテ面とウラ面の上下位置関係が逆の場合に選びます。



MEMO

- その他の読み込み設定については、**きれいにスキャンする (P. 261)** や **ファイルサイズと画質のバランスを調節する (データサイズ) (P. 267)** を参照してください。
- Eメール送信の場合は、件名、本文、返信先、重要度を設定することができます。 **Eメールの設定をする (P. 270)**

7 を押す

⇒ 原稿の読み込みが開始されます。

- 中止したいときは、＜中止＞ ▶ ＜はい＞の順に選びます。 **送信を中止する (P. 257)**

■手順 1 でフィーダーに原稿をセットした場合

読み込みが完了すると、送信／保存が実行されます。

■手順 1 で原稿台ガラスに原稿をセットした場合

読み込みが完了したら、次の操作を行います（ファイル形式が JPEG の場合を除く）。

1 原稿が複数枚あるときは次の原稿をセットし、 を押す

- すべての原稿の読み込みが完了するまで、この操作を繰り返します。
- 原稿が 1 枚のときは次の手順に進みます。

2 ＜送信開始＞を選ぶ

⇒ 送信／保存が実行されます。



送信原稿のファイル名

- 「通信管理番号（4桁）_送信日時_文書番号（3桁）.拡張子」の形式でファイル名が付けられます。

E メール送信時にエラーが発生した場合

送信エラー発生時には本機で設定した E メールアドレスに通知メールが届くことがあり、放置するとメールサーバーによってはメールボックスの容量が不足する恐れがあります。定期的にメールボックスをクリアすることをおすすめします。

■メールボックスをクリアするには



- メールボックスをクリアすると、サーバー上の受信トレイにあるメールがすべて削除されます。普段お使いの E メールアドレスと同じアドレスを指定しているような場合は、必要な未読メールが削除されないように注意してください。

- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶リモート UI を起動する(P. 346)**
 - 2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする **▶リモート UI の画面について(P. 347)**
 - 3 [送信設定] ▶ [E メール設定] の順に進む
 - 4 [メールボックスのクリア] にある [クリア] をクリックする
 - 5 メッセージを確認し、[OK] をクリックする
- ⇒ メールボックスからメールが削除されます。



便利な機能

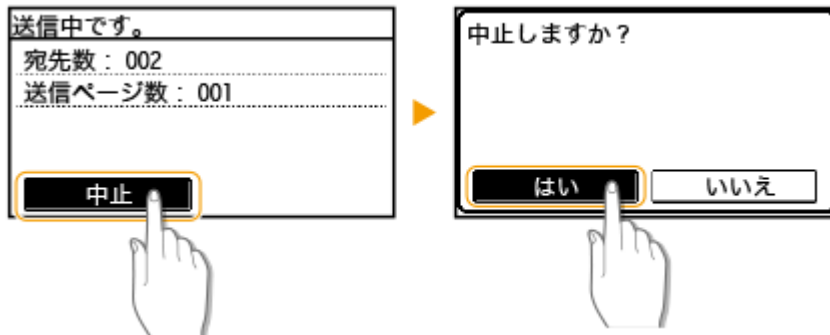
- いつも同じ設定でスキャンしたい **▶機能の初期値を変更する(P. 162)**

送信を中止する

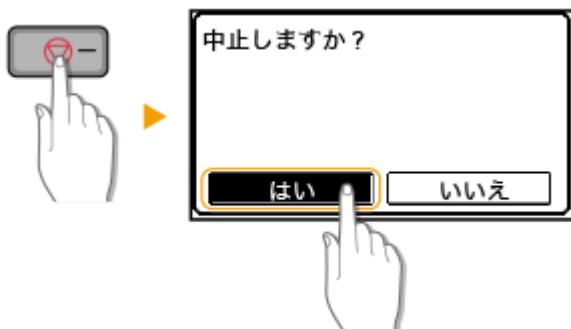
6AAS-04Y

 を押した直後に送信を中止するときは、画面から＜中止＞を選ぶか、操作パネルの  を押します。なお、送信状況を確認してから中止することもできます。

■ 送信中の画面で＜中止＞を選ぶ

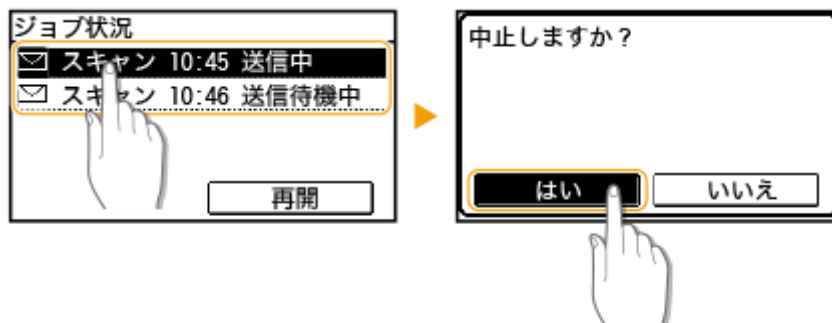


■ で中止する



を押すと、文書の一覧画面が表示される場合

すでに原稿の読み込みは終了し、順番待ちで待機している状態です。中止したい文書を選択して＜はい＞を選びます。



■送信状況を確認してから中止する



 ▶ <送信ジョブ> ▶ <ジョブ状況> ▶ 文書を選択 ▶ <中止> ▶ <はい>



関連項目

- ▶ スキャンの基本操作(P. 243)
- ▶ スキャンの状況や履歴を確認する(P. 259)

スキャンの状況や履歴を確認する

6AAS-050

読み込んだ原稿を本機から直接送信したときの送信状況や履歴を確認できます。



ご注意

- <ジョブ履歴表示の ON/OFF > が < OFF > に設定されていると、送信履歴は確認できません。▶<ジョブ履歴表示の ON/OFF > (P. 429)

1 を押す

2 <送信ジョブ> を選ぶ

3 送信状況または履歴を確認する

■送信状況を確認する

1 <ジョブ状況> を選び、状況を確認したい文書を選ぶ

送信ジョブ状況	
	ファクス 10:32 送信中
	Eメール 10:33 送信待機中

▶

詳細情報	
受付番号 : 0005	^
状況 : 送信待機中	
受付時刻 : 10/10 10:33	1/2
ジョブタイプ  Eメール	▼
中止	

⇒ 文書の詳細情報が表示されます。

- 文書の宛先が複数指定されている場合は宛先の件数が表示されます。複数指定の宛先を確認するときは<宛先>を選んでください。

■送信履歴を確認する

1 <ジョブ履歴> を選び、履歴の内容を確認したい文書を選ぶ

- 正しく送信された文書には< OK >と表示されます。< NG >と表示されている場合は、送信を中止したか、エラーが発生したことを示しています。

送信ジョブ履歴	
	Eメール 10:10 OK
	Eメール 10:30 OK

▶

詳細情報	
受付番号 : 0005	^
結果 : OK	
開始時刻 : 10/10 10:30	1/2
ジョブタイプ  Eメール	▼
宛先 : john@example.com	

⇒ 文書の詳細情報が表示されます。



MEMO

＜ NG ＞のときに3桁の数字が表示されている場合

- 3桁の数字はエラーコードを表しています。▶エラーコードごとの対処方法(P. 516)



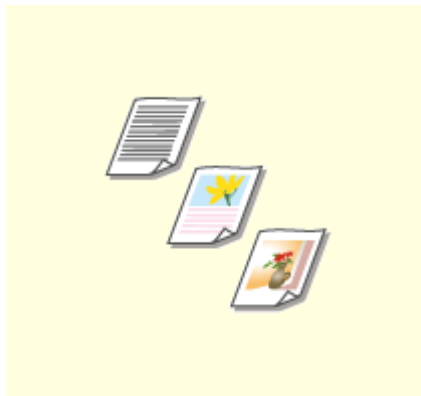
関連項目

- ▶スキャンの基本操作(P. 243)
- ▶送信を中止する(P. 257)
- ▶レポートやリストを印刷する(P. 460)

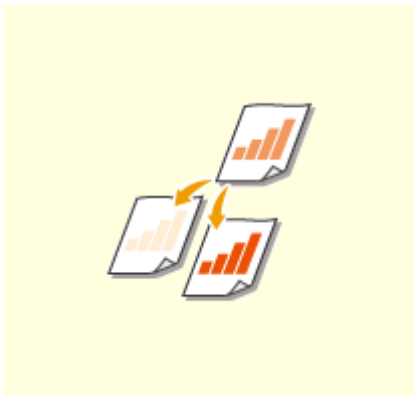
きれいにスキャンする

6AAS-051

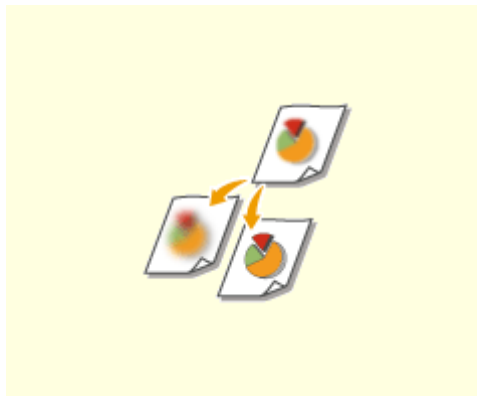
写真がたくさん掲載されているカタログ、鉛筆書きのレポートなどは、濃さや鮮やかさを調整してきれいな画質のファイルを作成することができます。



🔴画質を調整する(P. 262)



🔴濃度を調整する(P. 263)



🔴鮮明にスキャンする（シャープネス）
(P. 264)

画質を調整する

6AAS-052



文字だけしかない論文、図表が多用されている企画書、雑誌から切り抜かれた写真など、原稿の種類に合わせてスキャンの画質を選ぶことができます。



<スキャン> ▶ <Eメール>/<ファイル>で宛先を指定 ▶ <原稿の種類> ▶ 原稿の種類を選択



関連項目

▶ スキャンの基本操作(P. 243)

濃度を調整する

6AAS-053



原稿の文字や画像が薄い（濃い）場合に、濃度を調整できます。



<スキャン> ▶ <Eメール> / <ファイル>で宛先を指定 ▶ <濃度> ▶ 濃度を調整 ▶ <確定>



関連項目

- スキャンの基本操作(P. 243)
- 鮮明にスキャンする（シャープネス）(P. 264)

鮮明にスキャンする（シャープネス）

6AAS-054



原稿の画像のエッジ（周囲）をくっきりさせるように調整することができます。ぼやけた文字や線を鮮明にする場合はシャープネスを強くし、写真などの網点原稿をきれいにする場合は逆に弱くします。



＜スキャン＞ ▶ ＜Eメール＞／＜ファイル＞で宛先を指定 ▶ ＜シャープネス＞ ▶ シャープネスを調整 ▶ ＜確定＞

調整例：鉛筆で書かれた薄い文字をくっきりさせたいとき



調整例：雑誌の写真を見やすくしたいとき



関連項目

▶ スキャンの基本操作(P. 243)

●濃度を調整する(P. 263)

スキャンの便利な機能

6AAS-055

送信するデータサイズを小さくしたり、過去に指定した宛先に再び送信したりなど、便利な機能が搭載されています。



▶ ファイルサイズと画質のバランスを調節する（データサイズ）（P. 267）



▶ 過去の設定を呼び出して送信／保存する（送信履歴）（P. 268）



▶ Eメールの設定をする（P. 270）

ファイルサイズと画質のバランスを調節する（データサイズ）

6AAS-056



読み込んだ原稿を JPEG 形式に変換するときの圧縮率を指定することができます。＜小: サイズ優先＞を選ぶと通常よりも圧縮率が高くデータサイズは小さくなる反面、画質が低くなります。一方、＜大: 画質優先＞を選ぶと通常よりも圧縮率が低く高画質になる反面、データサイズが大きくなります。



＜スキャン＞ ▶ ＜E メール＞／＜ファイル＞で宛先を指定 ▶ ＜データサイズ＞ ▶ 設定を指定



関連項目

● スキャンの基本操作(P. 243)

過去の設定を呼び出して送信／保存する（送信履歴）

6AAS-057



過去に指定した宛先をさかのぼって指定できます。そのときに使った濃度などのスキャン設定も同時に呼び出されます。



ご注意

- <履歴からの再送信を制限>が< ON >に設定されていると、この機能を使うことはできません。▶履歴からの送信を制限する(P. 338)
- 電源を切ったり<新規宛先の制限>を< ON >に設定したりすると過去に指定した宛先は消去されますので、この機能を使うことはできません。▶新規宛先の入力を制限する(P. 338)



MEMO

- この機能を使って宛先を指定すると、指定済みの宛先はすべて消去されます。

1 原稿をセットする ▶原稿をセットする(P. 131)

2 ホーム画面で、<スキャン>を選ぶ ▶ホーム画面(P. 113)

3 <Eメール>または<ファイル>を選ぶ

4 <宛先> ▶<送信の履歴>を選ぶ

5 宛先を選ぶ

- 複数の宛先に送信した履歴の場合は1件目に指定された宛先だけが表示されますが、すべての宛先が指定されます。



⇒ 選んだ宛先とそのとき使ったスキャン設定が指定されます。設定内容を変更して送信することもできます。

■宛先から外す（Eメール）

複数の宛先に送信した履歴の場合、送信をとりやめたい相手先を宛先から外すことができます。

- 1 <宛先>を選ぶ ▶ <確認/編集>を選ぶ
- 2 外したい宛先を選ぶ
 - グループダイヤルを選んだ場合は「XX 件」と表示されます。<宛>を選ぶと、グループ内に登録されている宛先を表示して確認できます。
- 3 <宛先から解除> ▶ <はい>を選ぶ

6 を押す

⇒ 原稿の読み込みが開始されます。

- 中止したいときは、<中止> ▶ <はい>の順に選びます。  **送信を中止する(P. 257)**

■手順 1 でフィーダーに原稿をセットした場合

読み込みが完了すると、送信／保存が実行されます。

■手順 1 で原稿台ガラスに原稿をセットした場合

読み込みが完了したら、次の操作を行います（ファイル形式が JPEG の場合を除く）。

- 1 原稿が複数枚あるときは次の原稿をセットし、 を押す
 - すべての原稿の読み込みが完了するまで、この操作を繰り返します。
 - 原稿が 1 枚のときは次の手順に進みます。
- 2 <送信開始>を選ぶ

⇒ 送信／保存が実行されます。



関連項目

 **スキャンの基本操作(P. 243)**

Eメールの設定をする



読み込んだ原稿をEメールに添付して送信するときの、Eメールの件名、本文、返信先、重要度を設定することができます。

- 1 原稿をセットする ●原稿をセットする(P. 131)
- 2 ホーム画面で、＜スキャン＞を選ぶ ●ホーム画面(P. 113)
- 3 ＜Eメール＞を選ぶ
- 4 宛先を指定し、必要に応じて読み込み設定をする ●スキャンの基本操作(P. 243)
- 5 Eメールの件名、本文、返信先、重要度を設定する

送信開始: スタートキー	
宛先数: 001	
To: ① john@example.com	
データ形式: 標準	▲
件名/本文: あり	5/6
宛先	▼

■件名／本文を設定する

- 1 ＜件名/本文＞を選ぶ
- 2 ＜件名＞を選ぶ
- 3 件名を入力し、＜確定＞を選ぶ
 - 文字の入力方法については、●文字を入力する(P. 126) を参照してください。
- 4 ＜本文＞を選ぶ
- 5 本文を入力し、＜確定＞を選ぶ
- 6 ＜確定＞を選ぶ

■返信先を設定する

本機のメールアドレスと異なるアドレスをメールの返信先として相手に通知したい場合に設定します。返信先はアドレス帳に登録されている宛先の中から選んで指定します。アドレス帳に宛先を登録していない場合は、●宛先を登録する(P. 168) を参照してください。

- 1 ＜返信先＞を選ぶ

- 2 <アドレス帳から指定>を選ぶ
- 3 返信先にしたい宛先を選ぶ

■重要度を設定する

- 1 <重要度>を選ぶ
- 2 重要度のレベルを選ぶ

6 を押す

⇒ 原稿の読み込みが開始されます。

- 中止したいときは、<中止> ▶ <はい>の順に選びます。  **送信を中止する(P. 257)**

■手順 1 でフィーダーに原稿をセットした場合

読み込みが完了すると、E メールが送信されます。

■手順 1 で原稿台ガラスに原稿をセットした場合

読み込みが完了したら、次の操作を行います（ファイル形式を JPEG に設定した場合は除く）。

- 1 原稿が複数枚あるときは次の原稿をセットし、を押す
 - すべての原稿の読み込みが完了するまで、この操作を繰り返します。
 - 原稿が 1 枚のときは次の手順に進みます。
- 2 <送信開始>を選ぶ

⇒ E メールが送信されます。



便利な機能

- いつも同じ設定でスキャンしたい  **機能の初期値を変更する(P. 162)**
- Eメールの差出人名を指定したい  **<ユーザー略称の登録(Eメール)>(P. 414)**



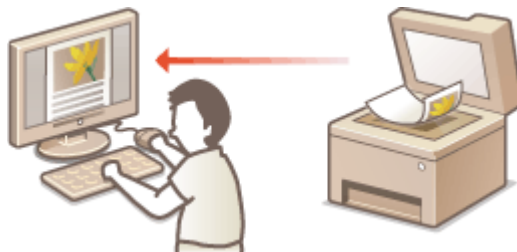
関連項目

-  **スキャンの状況や履歴を確認する(P. 259)**

パソコンを使ってスキャンする（リモートスキャン）

6AAS-059

パソコンからの操作でスキャンする場合は、MF Scan Utility を使ったスキャンと、画像処理ソフトや文書作成ソフトなどのアプリケーションから操作するスキャンがあります。本機付属の ScanGear MF を使用すると、詳細な読み込み設定を行うことができます（▶ScanGear MF を使う(P. 275)）。



- USB 接続で本機をお使いの場合は、スリープモードを解除してからスキャンしてください。▶スリープモードにする(P. 166)

MF Scan Utility でスキャンする



MF Scan Utility は、パソコンに文書や画像を取り込むための本機付属のアプリケーションです。読み込んだデータを指定したアプリケーションに転送して表示させたり、Eメールソフトのメッセージに添付したりすることもできます。詳細については、MF Scan Utility の「操作説明」をクリックして、ヘルプを参照してください。



- macOS をお使いの場合は、オンラインマニュアルサイトからドライバーやソフトウェアのマニュアルを参照してください。

アプリケーションでスキャンする



画像処理ソフトや文書作成ソフトなどを操作して、直接アプリケーションに画像を取り込みます。スキャンのために別のアプリケーションを立ち上げる必要はありません。▶アプリケーションから原稿を読み込む(P. 273)

アプリケーションから原稿を読み込む

6AAS-05A



画像処理ソフトや文書作成ソフトなどのアプリケーションから操作して原稿を読み込みます。読み込んだ原稿は直接アプリケーションに取り込まれますので、すぐに編集／加工ができます。なお、以下の操作手順はアプリケーションにより異なる場合があります。



- アプリケーションは TWAIN または WIA^{*}に対応している必要があります。詳細は、お使いのアプリケーションの取扱説明書を参照してください。

^{*}TWAIN はスキャナーなどの画像入力機器とパソコンを接続するための規格です。WIA は Windows に標準搭載されている機能です。

1 原稿をセットする ▶ 原稿をセットする (P. 131)



- アプリケーションによっては、2 枚目以降の原稿が読み込めなかったり、原稿を読み終わったあとにエラーメッセージが表示されたりすることがあります。この場合は、原稿を 1 枚ずつセットしてスキャンしてください。
- <リモートスキャン時の自動オフラインの ON/OFF> が < OFF > に設定されているときは、ホーム画面から <スキャン> ( (コピー/スキャン)) ▶ <リモートスキャナー> の順に選び、本機をオンライン状態にしておく必要があります。▶ <リモートスキャン時の自動オフラインの ON/OFF> (P. 429)

2 アプリケーションから、読み込みを開始するコマンドを選ぶ

- コマンドの選択方法はアプリケーションによって異なります。お使いのアプリケーションの取扱説明書を参照してください。

3 本機用のスキャナードライバーを選ぶ

- ScanGear MF または WIA を選びます。ScanGear MF を選ぶと、詳細な読み込み設定を行うことができます。

4 必要に応じて読み込みの設定をする

5 [スキャン] をクリックする

⇒ 原稿の読み込みが開始されます。

- 読み込みが完了すると、画像がアプリケーションに転送されます。



ScanGear MF の使いかた

- ScanGear MF 画面の  をクリックして、ヘルプを参照してください。



関連項目

- ▶ [ScanGear MF を使う \(P. 275\)](#)

ScanGear MF を使う

6AAS-05C



ScanGear MF は本機付属のスキナードライバーです。ScanGear MF を使用することで、スキャンするときに詳細な読み込み設定を行うことができます。パソコンからスキャンするときの方法によって起動のしかたが異なります。

MF Scan Utility から起動する

MF Scan Utility からスキャンするときに [ScanGear] をクリックすると、ScanGear MF が起動します。詳細については、MF Scan Utility の [操作説明] をクリックして、ヘルプを参照してください。



- macOS をお使いの場合は、オンラインマニュアルサイトからドライバーやソフトウェアのマニュアルを参照してください。

アプリケーションから起動する

画像処理ソフトや文書作成ソフトなどのアプリケーションから操作してスキャンする場合は、スキナードライバーを選ぶ際に ScanGear MF を選択してください。▶ **アプリケーションから原稿を読み込む(P. 273)**



便利な機能

ScanGear MF でできること

- プレビュー（試し読み）で画像を確認してからスキャン
- 必要な部分だけを選んでスキャン
- 詳細な画質調整

ScanGear MF の使いかた

- ScanGear MF 画面の  をクリックして、ヘルプを参照してください。



モバイル機器と連携する

モバイル機器と連携する	277
モバイル機器と接続する	278
無線 LAN ルーターを介して接続する (LAN 接続)	279
ダイレクト接続する (アクセスポイントモード)	280
アプリを使って本機を活用する	283
AirPrint を使う	284
AirPrint で印刷する	289
AirPrint でスキャンする	292
AirPrint でファクスする	294
AirPrint を使用できないときは	296
Google Cloud Print を使う	297
本機を遠隔管理する	299

モバイル機器と連携する

6AAS-05E

スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器と本機を連携させることで、アプリを使って印刷などが手軽に行えます。また、モバイル機器から本機を遠隔操作し、印刷状況を確認したり、本機の設定を変更したりすることもできます。



- ▶ モバイル機器と接続する(P. 278)
- ▶ ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）(P. 280)
- ▶ アプリを使って本機を活用する(P. 283)
- ▶ AirPrint を使う(P. 284)
- ▶ Google Cloud Print を使う(P. 297)
- ▶ 本機を遠隔管理する(P. 299)



- ご使用のモバイル機器によっては、正しく動作しないことがあります。

モバイル機器と接続する

6AAS-05F

モバイル機器と本機を接続する方法には、無線 LAN ルーターを介した方法と、本機とダイレクトに無線で通信する方法があります。通信環境やお使いの機器に合わせて接続方法を選んでください。

■無線 LAN ルーターを介して接続する

パソコンと本機を接続するのと同じように、無線 LAN ルーターを介して、モバイル機器と本機を接続します。▶**無線 LAN ルーターを介して接続する（LAN 接続）**（P. 279）



■ダイレクト接続する

無線 LAN ルーターを介さずに、モバイル機器と本機を無線で直接接続します。無線 LAN 環境がなくても、すぐに本機と無線で接続することができます。▶**ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）**（P. 280）



無線 LAN ルーターを介して接続する（LAN 接続）

6AAS-05H

本機が接続しているネットワークに無線 LAN ルーターがつながっていれば、パソコンと同様にモバイル機器と無線 LAN ルーターを介した通信が可能です。お使いの無線 LAN ルーターとモバイル機器の接続方法については、機器付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。本機は、有線 LAN または無線 LAN でルーターに接続してください。▶ **ネットワーク環境を設定する(P. 14)**



- お使いのモバイル機器が IPv6 に対応していない場合は、IPv4 アドレスを使用してください。▶ **IPv4 アドレスを設定する(P. 33)**

1 を押す

2 <ネットワーク情報>を選ぶ

3 本機の IP アドレスを表示する

■IPv4 の場合

- < IPv4 > ▶ < IP アドレス > の順に選びます。

■IPv6 の場合

- < IPv6 > ▶ < リンクローカルアドレス > ▶ < IP アドレス > の順に選びます。

4 画面に表示された IP アドレスにモバイル機器から接続する

ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）

6AAS-05J

無線 LAN ルーターのない環境でも、モバイル機器から無線で本機に直接接続できる「アクセスポイントモード」を使うことで、お手元のモバイル機器と本機を難しい設定なしに接続することができます。



- ▶ダイレクト接続（アクセスポイントモード）を準備する(P. 280)
- ▶ダイレクト接続する（モノクロ 6 行タッチパネル機）(P. 281)
- ▶ダイレクト接続する（モノクロ 5 行 UI 機）(P. 281)

ダイレクト接続（アクセスポイントモード）を準備する

次の順序でアクセスポイントモードを使った接続作業を行います（IPv4 環境のみ）。



モバイル機器の準備をする

- モバイル機器を Wi-Fi に接続できるように設定してください。



本機の接続準備をする

- <メニュー> () ▶ <ネットワーク設定> ▶ <ダイレクト接続設定> ▶ <ダイレクト接続を使用> を < ON > に設定してください。



MEMO

自動切断の時間を設定する

- ダイレクト接続時に自動的に切断する時間を設定できます。▶<ダイレクト接続の自動切断時間>(P. 376)

モバイル機器を複数台同時に接続したいときは

- 本機の SSID とネットワークキーを任意に設定してください。ネットワークキーは空欄のままでも設定できます。
▶<アクセスポイントモード設定>(P. 376)

ダイレクト接続用の IP アドレスを変更したいときは

- ダイレクト接続用の IP アドレスは自動的に設定されます。IP アドレスを任意に設定することも可能です。▶<ダイレクト接続時の IP アドレス設定>(P. 376)

ダイレクト接続する（モノクロ 6 行タッチパネル機）



- 本体とモバイル機器の接続完了までに時間がかかる場合があります。

1 ホーム画面で、＜ダイレクト接続＞を選ぶ ホーム画面(P. 113)

- メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作を進めてください。

2 画面に表示された SSID とネットワークキーの情報をを使用してモバイル機器から Wi-Fi 設定を行う

3 目的の操作を終えたら、＜停止＞ ＜はい＞の順に選ぶ

ダイレクト接続する（モノクロ 5 行 UI 機）



- 本体とモバイル機器の接続完了までに時間がかかる場合があります。

1 を押し、＜ダイレクト接続＞を選ぶ

- メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作を進めてください。

2 ＜SSID/ネットワークキーを表示＞を選ぶ

3 画面に表示された SSID とネットワークキーの情報をを使用してモバイル機器から Wi-Fi 設定を行う

4 目的の操作を終えたら、 を押して＜停止＞ ＜はい＞の順に選ぶ



便利な機能

- 接続されているモバイル機器を確認するには、ダイレクト接続中の画面で＜接続情報＞を選んでください。



- ダイレクト接続中、お使いのモバイル機器によってはインターネットに接続できないことがあります。
- SSID とネットワークキーを表示中に、モバイル機器から 5 分以内に無線接続を行わなかった場合、接続待機状態が終了します。
- ダイレクト接続で通信中、本機とモバイル機器とでデータの送受信がない状態が続くと、通信が終了する場合があります。
- ダイレクト接続中はスリープモードの節電効果が下がります。
- 本機が無線 LAN を使用している場合、ダイレクト接続時も無線 LAN ネットワークへの接続を維持している必要があります。本機が無線 LAN ネットワークに接続していないときや、接続処理中はダイレクト接続を開始できません。また、ダイレクト接続で通信中、本機の無線 LAN が切断されると、通信が終了する場合があります。
- 目的の操作が完了したら、必ず本機とモバイル機器の接続を終了してください。接続したままの状態にしておくと、スリープモードの節電効果が下がります。
- ダイレクト接続を利用する場合、モバイル機器側で IP アドレスを手動で設定しないでください。設定を行うと、ダイレクト接続利用後に通信が正しく行えなくなることがあります。

アプリを使って本機を活用する

6AAS-05K

本機と接続したモバイル機器からアプリを使って印刷などを行います。キヤノンの専用アプリをはじめ、さまざまなアプリに対応しています。お使いの機器や用途、利用シーンなどに応じて使い分けてください。

■Canon PRINT Business を使う

iOS/Android 対応モバイル機器から印刷などをするアプリです。印刷するときは、本機での操作は不要です。対応 OS や詳しい設定方法、操作手順に関してはアプリのヘルプや、キヤノンホームページ (<https://global.canon/gomp/>) をご覧ください。



- Canon PRINT Business は無料でダウンロードできますが、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。

■Canon Print Service で印刷する

Android の印刷サブシステムをサポートしているアプリのメニューから簡単に印刷できます。対応 OS や詳しい設定方法、操作手順に関しては、キヤノンホームページ (<https://global.canon/>) をご覧ください。

■Mopria®で印刷する

本機は Mopria®にも対応しています。Mopria®を使用すれば、メーカーや機種が異なっても共通の操作や設定で Android 対応モバイル機器から印刷することができます。たとえば、複数のメーカーの Mopria®対応プリンターをお使いの場合や、外出先に Mopria®対応プリンターがあった場合などに、メーカーや機種ごとの専用アプリをインストールすることなく印刷できます。対応機種や動作環境の詳細は、<http://www.mopria.org> をご覧ください。



■Google Cloud Print で印刷する

Google Cloud Print に対応しているアプリケーションやサービスを使って、パソコンやモバイル機器からプリンタードライバーを介さずに印刷できます。▶**Google Cloud Print を使う(P. 297)**

AirPrint を使う

6AAS-05L

AirPrint を使用するために必要な設定や、Apple 製機器での手順について説明しています。



AirPrint の設定

- ▶ AirPrint の設定をする (P. 284)
- ▶ AirPrint 専用ページを表示する (P. 287)

AirPrint でできること

- ▶ AirPrint で印刷する (P. 289)
- ▶ AirPrint でスキャンする (P. 292)
- ▶ AirPrint でファクスする (P. 294)

困ったときは

- ▶ AirPrint を使用できないときは (P. 296)

AirPrint の設定をする

本機を識別するための名称や設置場所を設定します。AirPrint を使用できないように設定することもできます。設定はリモート UI を使って行います。



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、▶ **本機の設定を変更する (P. 355)** を参照してください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ **リモート UI を起動する (P. 346)**

2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする ▶ **リモート UI の画面について (P. 347)**

- iPad や iPhone、iPod touch などのモバイル機器を使う場合、以降の「クリック」という指示は「タップ」と読み替えてください。

3 [ネットワーク設定] ▶ [AirPrint 設定] の順に進む

4 [編集] をクリックする

5 必要な情報を入力する

[AirPrint を使用する]

AirPrint を使用するときはチェックマークを付けます。AirPrint を使用できないようにする場合は、チェックマークを外してください。

[プリンター名]

本体の名称を入力します。すでに [mDNS 設定] ([DNS の設定をする\(P. 58\)](#)) で mDNS 名を登録している場合は、登録した名称が表示されます。

[設置場所]

本体の設置場所を入力します。すでに [デバイス情報] ([システム管理設定] (設定/登録) の [システム管理]) で設置場所を登録している場合は、登録した名称が表示されます。

[緯度]

本体が設置されている緯度を入力します。

[経度]

本体が設置されている経度を入力します。

6 [OK] をクリックする



AirPrint を使用すると、以下の設定値も **< ON >** になります。

- HTTP を使用
- IPP 印刷設定
- mDNS の使用 (IPv4 設定)
- mDNS の使用 (IPv6 設定)
- Network Link Scan を使用



- 一度設定した [プリンター名] を変更すると今まで印刷できていた Mac から印刷できなくなることがあります。これは IPv4 の [mDNS 名] ([DNS の設定をする\(P. 58\)](#)) も変更されるために起きる現象です。この場合は Mac に本機を追加しなおしてください。
- プリンター名を入力しておくと AirPrint 対応プリンターが複数台あるとき、識別しやすくなります。

■AirPrint で使える機能を変更する

AirPrint で使わない機能を無効にしたり、通信を暗号化したりするときは、操作パネルまたはリモート UI から設定を行います。

印刷およびファクスの設定を変更する

AirPrint で印刷またはファクス送信をするときは、IPP プロトコルを使用します。

機能の有効／無効を設定する

印刷およびファクス送信をするかどうかを設定できます。お買い上げ時は [ON] に設定されています。



リモート UI に管理者モードでログインする ([リモート UI を起動する\(P. 346\)](#)) ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPP 印刷設定] の [編集] ▶ [IPP 印刷を使用する] にチェックマークを付けるまたは外す ▶ [OK]

TLS の設定を変更する

印刷またはファクス送信をするときに、TLS で通信を暗号化するかどうかを設定できます。お買い上げ時は [ON] に設定されています。



リモート UI に管理者モードでログインする ([リモート UI を起動する\(P. 346\)](#)) ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPP 印刷設定] の [編集] ▶ [TLS を使用する] にチェックマークを付けるまたは外す ▶ [OK]

スキャンの設定を変更する

AirPrint でスキャンする機能の設定をします。

機能の有効／無効を設定する

AirPrint でのスキャン機能を有効／無効に切り替えることができます。お買い上げ時は < ON > に設定されています。



<メニュー> () ▶ <ネットワーク設定> ▶ <TCP / IP 設定> ▶ < Network Link Scan 設定>
▶ < Network Link Scan を使用>で< OFF >または< ON >を選択

TLS の設定を変更する

AirPrint でスキャンするときに、TLS で通信を暗号化するかどうかを設定できます。お買い上げ時は< ON >に設定されています。



<メニュー> () ▶ <ネットワーク設定> ▶ <TCP / IP 設定> ▶ < Network Link Scan 設定>
▶ < TLS を使用>で< OFF >または< ON >を選択

AirPrint 専用ページを表示する

AirPrint 専用ページから AirPrint の設定画面を表示したり、トナーカートリッジなどの消耗品の状態を確認したりすることができます。また、セキュリティー機能の設定も行うことができます。

1 [システム環境設定] ▶ [プリンタとスキャナ] でお使いの Mac に本機を追加する

- すでに追加している場合、この操作は不要です。

2 [プリンタとスキャナ] 内のプリンターの一覧から本機を選ぶ

3 [オプションとサプライ] をクリックする

4 [プリンタの Web ページを表示] をクリックする

5 リモート UI にログインする

- AirPrint の設定を変更するには、システム管理者としてログインする必要があります。

■AirPrint 専用ページについて

管理者権限でログインすると、次の AirPrint 専用ページが表示されます。



1 [AirPrint 設定]

本体の名称、設置場所など AirPrint 設定で入力した内容を確認できます。[編集] をクリックすると設定内容を変更することができます。

2 [その他の設定]

[プリントのセキュリティ設定]

TLS や認証を使った印刷のセキュリティーを設定します。

[スキャンのセキュリティ設定]

TLS を使ったスキャンのセキュリティーを設定します。

[TLS 設定]

TLS 設定で使用している鍵と証明書を変更できます。▶[TLS 用の鍵と証明書を設定する\(P. 319\)](#)

[鍵と証明書設定]

鍵と証明書の生成、インストール、証明書の発行要求などができます。▶[TLS 用の鍵と証明書を設定する\(P. 319\)](#)

3 [消耗品情報]

本体の消耗品の情報、デバイスのバージョンを確認できます。

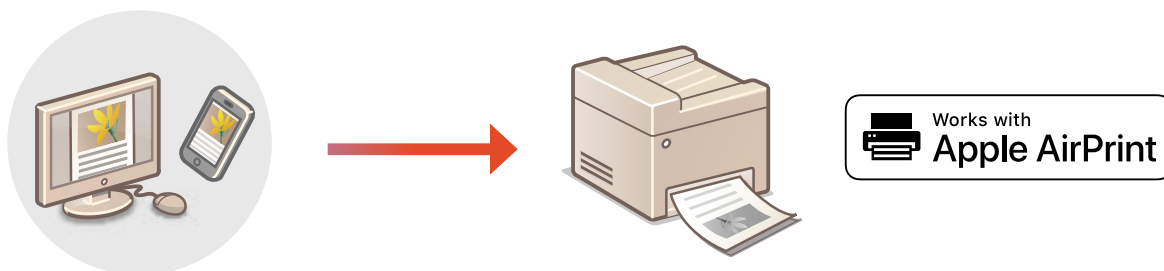
商標について

Apple、Bonjour、iPad、iPhone、iPod touch、Mac、macOS、OS X および Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。AirPrint および AirPrint ロゴは、Apple Inc.の商標です。

AirPrint で印刷する

6AAS-05R

iPad、iPhone、iPod touch、Mac からプリンタードライバーを使わずに印刷することができます。



▶ iPad、iPhone または iPod touch から印刷する(P. 289)

▶ Mac から印刷する(P. 290)

動作環境

AirPrint で印刷するには、次のいずれかの Apple 製機器が必要です。

- iPad（すべてのモデル）
- iPhone（3GS 以降）
- iPod touch（第 3 世代以降）
- Mac（Mac OS X 10.7 以降）*

*USB 接続でお使いの場合は OS X 10.9 以降

ネットワーク環境

次のいずれかの環境が必要です。

- Apple 製機器と本機が同一の LAN に接続されている。
- Apple 製機器と本機がダイレクト接続されている。
- Mac と本機が USB 接続されている。



ご注意

- 印刷をするためには「IPP 印刷を使用する」が「ON」になっている必要があります。▶ **AirPrint で使える機能を変更する(P. 286)**

iPad、iPhone または iPod touch から印刷する

1 本機の電源が入っていて、お使いの Apple 製機器と接続されていることを確認する

- 確認方法については、▶ **ネットワーク環境を設定する(P. 14)** を参照してください。
- ダイレクト接続については、▶ **ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）(P. 280)** を参照してください。

2 お使いの Apple 製機器のアプリケーションで、 をタップしてメニューオプションを表示する

3 [プリント] をタップする

4 [プリンタ] で本機を選ぶ

- ネットワーク内で接続されているプリンターが表示されます。ここでは本機を選びます。



- アプリケーションが AirPrint に対応していないと [プリンタ] で本機を選択する画面は表示されません。この場合は印刷できません。

5 必要に応じて印刷の設定をする



- 設定できる項目や使用できる用紙サイズは、お使いのアプリケーションにより異なります。

6 [プリント] をタップする

⇒ 印刷が開始されます。



印刷の進行状況を確認するには

- 印刷中に Apple 製機器のホームボタンを 2 回押す ▶ [プリント] をタップ

Mac から印刷する

1 本機の電源が入っていて、Mac と接続されていることを確認する

- 確認方法については、 ネットワーク環境を設定する(P. 14) を参照してください。

2 [システム環境設定] ▶ [プリンタとスキャナ] でお使いの Mac に本機を追加する

- すでに追加している場合、この操作は不要です。

3 アプリケーションで文書を開き、印刷ダイアログボックスを表示させる

- 印刷ダイアログボックスの表示方法はアプリケーションによって異なります。お使いのアプリケーションの取扱説明書やヘルプを参照してください。

4 印刷ダイアログボックスで本機を選ぶ

- Mac に接続されたプリンターが表示されます。ここでは本機を選びます。

5 必要に応じて印刷設定をする



- 設定できる項目や使用できる用紙サイズは、お使いのアプリケーションにより異なります。

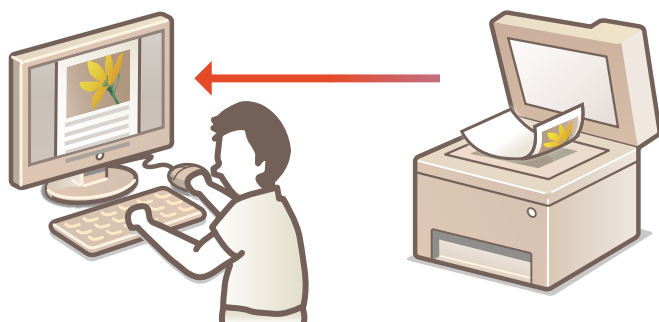
6 [プリント] をクリックする

⇒ 印刷が開始されます。

AirPrint でスキャンする

6AAS-05S

AirPrint を使えば、本機で読み込んだデータを直接 Mac に取り込むことができます。



動作環境

AirPrint でスキャンするには、OS X 10.9 以降がインストールされた Mac が必要です。また、TLS を使ってスキャンするには、OS X 10.11 以降がインストールされた Mac が必要です。

ネットワーク環境

次のいずれかの環境が必要です。

- Mac と本機が同一の LAN に接続されている。
- Mac と本機が USB 接続されている。



ご注意

- スキャンをするためには < Network Link Scan を使用 > が < ON > になっている必要があります。▶ **AirPrint で使える機能を変更する(P. 286)**
- スキャンをする際には本機がオンライン状態になっている必要があります。自動オンライン機能（▶ **< リモートスキャン時の自動オフラインの ON/OFF > (P. 429)**）が < OFF > に設定されているときは、スキャンの操作をする前に < スキャン >（（コピー/スキャン））▶ **< リモートスキャナー >** でオンライン状態にしておいてください。
- 印刷、コピー、ファクスなどの設定中や、何らかの動作を行っているときはスキャンできません。

Mac からスキャンする

1 本機の電源が入っていて、Mac と接続されていることを確認する

- 確認方法については、▶ **ネットワーク環境を設定する(P. 14)** を参照してください。

2 [システム環境設定] ▶ [プリンタとスキャナ] でお使いの Mac に本機を追加する

- すでに追加している場合、この操作は不要です。

3 [プリンタとスキャナ] 内のプリンターの一覧から本機を選ぶ

4 [スキャン] をクリックする

5 [スキャナを開く] をクリックする

⇒ [スキャナ] 画面が表示されます。

6 必要に応じて読み込み設定をする

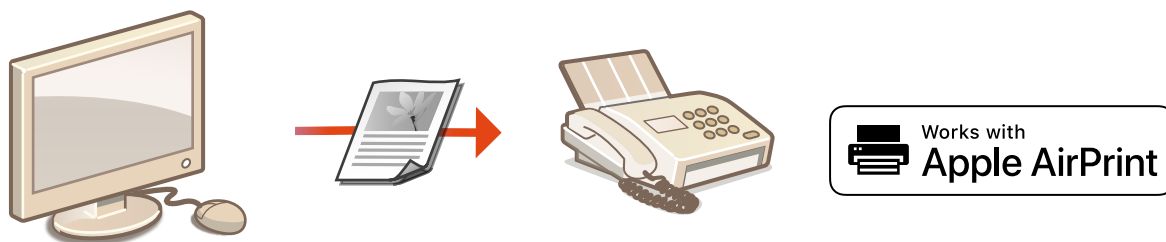
7 [スキャン] をクリックする

⇒ 原稿が読み込まれ、画像が表示されます。

AirPrint でファクスする

6AAS-05U

AirPrint を使えば、Mac から印刷するのと同じ要領でファクス送信することができます。



動作環境

AirPrint でファクス送信するには、OS X 10.9 以降がインストールされた Mac が必要です。

ネットワーク環境

次のいずれかの環境が必要です。

- Mac と本機が同一の LAN に接続されている。
- Mac と本機が USB 接続されている。



- ファクスをするためには [IPP 印刷を使用する] がチェックされている必要があります。▶**AirPrint で使える機能を変更する**(P. 286)

Mac からファクスする

1 本機の電源が入っていて、Mac と接続されていることを確認する

- 確認方法については、▶**ネットワーク環境を設定する**(P. 14) を参照してください。

2 [システム環境設定] ▶ [プリンタとスキャナ] でお使いの Mac に本機を追加する

- すでに追加している場合、この操作は不要です。

3 アプリケーションで文書を開き、印刷ダイアログボックスを表示させる

- 印刷ダイアログボックスの表示方法はアプリケーションによって異なります。お使いのアプリケーションの取扱説明書を参照してください。

4 印刷ダイアログボックスで本機を選ぶ

⇒ Mac に接続されたプリンターが表示されます。ここでは本機のファクスドライバーを選びます。

5 宛先を指定する

6 [ファクス] をクリックする

⇒ ファクス送信が開始されます。

AirPrint を使用できないときは

6AAS-05W

AirPrint を使用できないときは、こちらの対処方法をお試しく下さい。

- 本機の電源が入っていることを確認します。すでに電源が入っている場合はいったん電源を切り、10 秒待って再び電源を入れて、問題が解決するか確認してください。
- 本機のディスプレイにエラーメッセージが表示されていないことを確認します。
- Apple 製機器と本機が同一の LAN に接続されていることを確認します。なお、本機の電源を入れてから、通信の準備が完了するまで数分かかる場合があります。
- お使いの Apple 製機器で、Bonjour が有効に設定されていることを確認します。
- 印刷の場合は、本機に用紙がセットされていて、トナーカートリッジやドラムカートリッジの残量が十分あることを確認します。▶**AirPrint 専用ページを表示する(P. 287)**
- スキャンの場合は、本機の Network Link Scan 設定が＜ ON ＞になっていることを確認します。▶**AirPrint で使える機能を変更する(P. 286)**

Google Cloud Print を使う

6AAS-05X

Google Cloud Print とは、Google アカウントをもったユーザーが、インターネットに接続されたスマートフォン、タブレット、パソコンなどから Google Cloud Print に対応したアプリケーション経由で印刷できるサービスです。従来のパソコンからの印刷とは異なり、印刷のためのドライバーは不要です。



🔴 **本機の設定を確認する(P. 297)**

🔴 **Google Cloud Print に本機を登録する(P. 297)**



- 本機を登録するときや Google Cloud Print を使って印刷するときは、インターネットに接続できる環境が必要です。また、インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。
- 国と地域によっては、Google Cloud Print をお使いになれない場合があります。



- Google Cloud Print を使うには Google アカウントが必要です。Google アカウントをお持ちでない場合は、Google のウェブサイトで作成してください。

本機の設定を確認する

クラウドプリントの設定を行う前に、次のことを確認してください。

本機に IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスが設定され、ネットワーク上のパソコンと通信できる状態か確認してください。

🔴 **有線 LAN に接続する(P. 17)**

🔴 **無線 LAN に接続する(P. 18)**

- 本機の日時の設定が正しいか確認してください。🔴 **日付／時刻を設定する(P. 12)**

Google Cloud Print に本機を登録する

Google Cloud Print に本機を登録すると、どこからでも Google Cloud Print を使った印刷ができるようになります。



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、**▶ 本機の設定を変更する(P. 355)** を参照してください。

- 1** リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶ リモート UI を起動する(P. 346)**
- 2** ポータルページで、[設定/登録] をクリックする **▶ リモート UI の画面について(P. 347)**
- 3** [ネットワーク設定] ▶ [Google クラウド プリント設定] の順に進む
- 4** [基本設定] の [編集] をクリックする
- 5** [Google クラウド プリントを使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする
- 6** [登録状況] にある [登録] をクリックする



本機を登録しなおすとき

- 本機を登録しなおしたいときは、いったん本機の登録を解除してから再登録してください。

- 7** [登録用 URL] に表示されている URL のリンクをクリックする
- 8** 画面の指示に従って本機を登録する

⇒ Google Chrome™などの Google Cloud Print に対応したアプリケーションから印刷が可能となります。



- Google Cloud Print に対応した最新のアプリケーションについては、Google Cloud Print のホームページで確認してください。



操作パネルで設定するとき

- <メニュー>画面からクラウドプリント機能を有効／無効に切り替えることもできます。 **▶ < Google クラウド プリントの設定>(P. 431)**

モバイル機器や Google Chrome から登録する

- モバイル機器や Google Chrome から本機を登録することもできます。登録完了前に本機のディスプレイに登録確認画面が表示されますので、<はい>を選んで登録を完了してください。
- 登録方法については、お使いの機器の取扱説明書や Google Cloud Print のホームページを参照してください。

本機を遠隔管理する

6AAS-05Y

スマートフォンやタブレットのウェブブラウザからリモート UI を使うことができます。本体状況の確認や、各種設定をモバイル機器から行うことができます。お使いの機器やその環境によっては、リモート UI の画面がうまく表示されない場合があります。



モバイル機器からリモート UI を起動する

ウェブブラウザに本機の IP アドレスを入力し、リモート UI を起動します。操作の前に、あらかじめ本機に設定されている IP アドレスを確認しておいてください（[🔴 ネットワークの設定を確認する \(P. 39\)](#)）。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 モバイル機器のウェブブラウザを起動する

2 アドレス入力欄に「http://<本機の IP アドレス>/」と入力する

- IPv6 アドレスを使用している場合は、IP アドレスを [] で囲んで入力してください。

入力例： http://[fe80::2e9e:fcff:fe4e:dbce]/



- 「スマートフォン版」のリモート UI では、表示項目の一部を省略しています。すべての項目を確認したいときは、「PC 版」をご覧ください。



関連項目

- [🔴 パソコンから本機を管理する（リモート UI） \(P. 345\)](#)

本機を管理する

本機を管理する	301
アクセス権限を設定する	303
システム管理暗証番号を設定する	304
リモート UI の暗証番号を設定する	306
ネットワークセキュリティを設定する	308
ファイアウォールで通信制限する	310
IP アドレスでファイアウォールを設定する	311
MAC アドレスでファイアウォールを設定する	314
ポート番号を変更する	316
プロキシを設定する	317
TLS 用の鍵と証明書を設定する	319
ネットワーク通信用の鍵と証明書を生成する	321
鍵と証明書署名要求 (CSR) を生成する	324
ネットワーク通信用の鍵と証明書を登録する	327
IEEE 802.1X 認証の設定をする	329
機能を制限する	333
宛先操作／送信機能を制限する	335
アドレス帳の使用を制限する	336
指定できる宛先を制限する	338
ファクスの宛先操作／送信機能を制限する	340
USB の使用を制限する	342
HTTP 通信を無効にする	343
リモート UI を無効にする	344
パソコンから本機を管理する (リモート UI)	345
リモート UI を起動する	346
状況や履歴を確認する	349
本機の設定を変更する	355
リモート UI から宛先を登録する	358
リモート UI からアドレス帳を保存する／読み込む	362
付属のソフトウェアでアドレス帳データを読み込む／書き出す	364
ファームウェアをアップデートする	366
設定を初期化する	369

本機を管理する

6AAS-060

個人情報の漏えいや外部からの不正使用など、本機を取り巻くさまざまなリスクを軽減するために、効果的・継続的な対策が必要になります。本機を安全にご利用いただくために、アクセス権限やセキュリティなど、本機の重要な設定は管理者が統括して行ってください。

■基本的な管理体制を構築する



▶ アクセス権限を設定する (P. 303)



▶ ネットワークセキュリティを設定する (P. 308)

■不注意／誤操作／悪用などのリスクに対処する



▶ 機能を制限する (P. 333)

■効率よく管理する



▶ パソコンから本機を管理する（リモート UI） (P. 345)

■システム構成や設定を管理する



▶ **ファームウェアをアップデートする(P. 366)**



▶ **設定を初期化する(P. 369)**

アクセス権を設定する

6AAS-061

アクセス権を持つユーザーだけが本機を利用できるようにして、第三者の不正使用を防ぎます。アクセス権が設定されていると、設定変更やリモート UI にアクセスするときに、暗証番号の入力が必要になります。



アクセス権には管理者モードと一般ユーザーモードがあります。フルアクセス権を持つ管理者モードでのログインを制限するために「システム管理暗証番号」の設定を行うことができます。また、「リモート UI アクセス暗証番号」を設定することで、一般ユーザーモードおよび管理者モード（システム管理暗証番号未設定）でのリモート UI の使用も制限することができます。

システム管理暗証番号

フルアクセス権を持つ管理者専用の暗証番号です。この暗証番号を設定すると、＜ネットワーク設定＞や＜システム管理設定＞などといった設定項目にアクセスするにはシステム管理暗証番号によるログイン操作が必要になります。管理者と一般ユーザーとで権限レベルに差をつけたいときに設定します。▶[システム管理暗証番号を設定する \(P. 304\)](#)

リモート UI の暗証番号（リモート UI アクセス暗証番号）

リモート UI を使うための暗証番号です。暗証番号を知っているユーザーだけがリモート UI にアクセスできるようになります。▶[リモート UI の暗証番号を設定する \(P. 306\)](#)

システム管理暗証番号を設定する

管理者専用のシステム管理暗証番号を設定します。この暗証番号を正しく入力したときだけ<ネットワーク設定>や<システム管理設定>などを操作できるようになります。管理者だけが暗証番号を知っているような体制にしてください。

1 <メニュー>画面を表示する ▶ ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

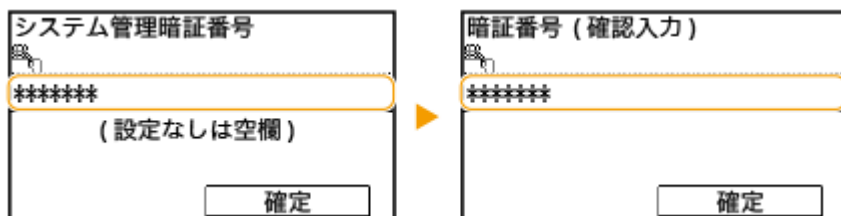
 を押す

2 <システム管理設定>を選ぶ

3 <システム管理者情報の設定> ▶ <システム管理暗証番号>の順に進む

4 システム管理暗証番号を設定する

- 7桁以内の数字を入力し、<確定>（）を押します。
- 確認のため、<暗証番号(確認入力)>が表示されますので、再度暗証番号を入力してください。




- 「00」や「0000000」など、0だけのIDや暗証番号は登録できません。
- 暗証番号の設定を解除したいときは、 で入力内容を消去し、空欄の状態で<確定>（）を押します。

■システム管理者名を設定する

- <システム管理者名>を選ぶ
- システム管理者名を入力し、<確定>を選ぶ
 - 文字の入力方法については、▶ **文字を入力する(P. 126)** を参照してください。



- 設定した暗証番号は忘れないようにしてください。暗証番号を忘れた場合は、お買い求めの販売店または弊社お客様相談センターにお問い合わせください（有償）。



リモート UI で設定するとき

- リモート UI に管理者モードでログインし、[設定/登録] ▶ [システム管理] ▶ [編集] の順にクリックして表示される画面で設定します。
- リモート UI から設定すると、操作パネルでの設定項目に加えてシステム管理者の連絡先やコメント、本機の設置場所などのさまざまな情報を入力できます。入力した情報は、リモート UI の [デバイス情報] ページで確認できます。▶ **管理者情報を確認する(P. 352)**

システム管理暗証番号を設定すると

- <システム管理設定>や<ネットワーク設定>などを操作しようとする
と、次の画面が表示されます。設定した暗証番号を入力してください。
- リモート UI の管理者モードでログインするときにも暗証番号の入力が必要になります。▶ **リモート UI を起動する(P. 346)**

システム管理暗証番号	
03	
確定	



関連項目

- ▶ **アクセス権限を設定する(P. 303)**

リモート UI の暗証番号を設定する

6AAS-063

リモート UI にアクセスするための暗証番号を設定できます。すべてのユーザーが共通の暗証番号を使用します。

1 <メニュー>画面を表示する ◀ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

 を押す

2 <システム管理設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。▶システム管理暗証番号を設定する(P. 304)

3 <リモート UI 設定> ▶ <リモート UI アクセス保護の設定>の順に進む

4 <ON>を選ぶ

5 リモート UI アクセス暗証番号を設定する

- 7 桁以内の数字を入力し、<確定>を選びます。
- 確認のため、<暗証番号(確認入力)>が表示されますので、再度暗証番号を入力してください。




- 「00」や「0000000」など、0 だけの ID や暗証番号は登録できません。



- 設定した暗証番号は忘れないようにしてください。暗証番号を忘れた場合は、上記の手順で新しい暗証番号を再設定してください。



MEMO

＜システム管理設定＞を初期化したとき

- リモート UI アクセス暗証番号も初期化されます。初期化したあとは、暗証番号を設定しなおしてください。▶＜メニューの初期化＞(P. 432)



関連項目

- ▶アクセス権限を設定する(P. 303)
- ▶システム管理暗証番号を設定する(P. 304)

ネットワークセキュリティを設定する

6AAS-064

悪意のある第三者による通信内容の盗聴や改ざん、なりすまし…。これらは正規ユーザーに想定外の損失をもたらす恐れがあります。大切なデータや情報を守るため、本機にはネットワークのセキュリティを高めるさまざまな対策が用意されています。

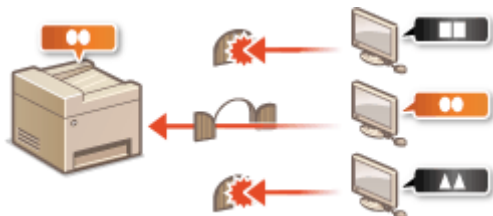
ファイアウォール設定

特定の IP アドレスや MAC アドレスを持つ機器との通信だけを許可することで、第三者の不正アクセス、ネットワークへの攻撃や侵入を遮断できます。▶**ファイアウォールで通信制限する(P. 310)**



ポート番号の変更

外部機器と情報をやりとりするプロトコルには、通常、種類ごとに決まったポート番号が割り当てられています。ポート番号は通信機器間で同じ設定にする必要があるため、任意の番号に変更することで外部からの不正侵入の防止に役立てることができます。▶**ポート番号を変更する(P. 316)**



プロキシ設定

外部ネットワークとの通信時にプロキシサーバーを経由して接続します。プロキシサーバーを使うとより安全にウェブサイトを閲覧することができるため、セキュリティの向上が期待できます。▶**プロキシを設定する(P. 317)**



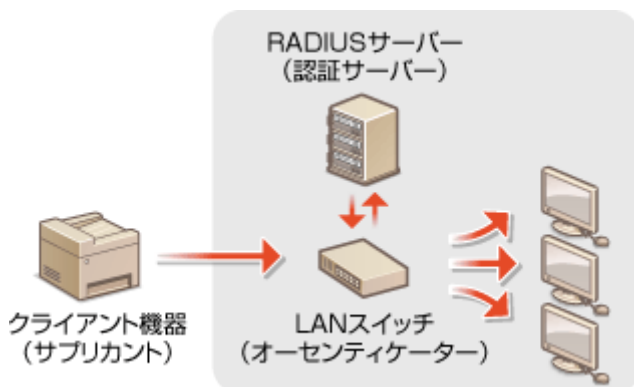
TLS 暗号化通信

ウェブブラウザや電子メールクライアントなどでデータを暗号化してネットワーク上で送受信する方法です。TLS 暗号化を使えば、リモート UI でパソコンから本機にアクセスするときも安全に通信できるようになります。▶**TLS 用の鍵と証明書を設定する(P. 319)**



IEEE 802.1X 認証

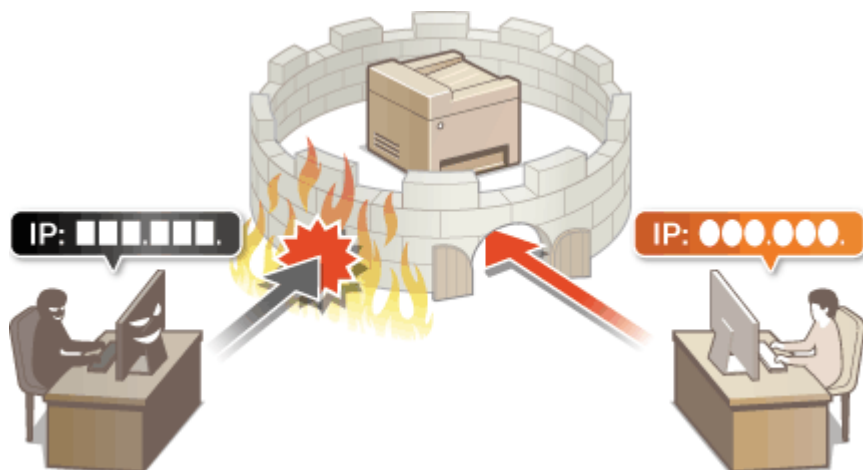
IEEE 802.1X を導入したネットワークに機器を接続して通信を始めようとすると、まずその機器が正しいユーザーであるかどうか確認されます。確認は RADIUS サーバーに問い合わせることで行われ、正しいユーザーであれば認証されます。認証が下りないかぎり LAN スイッチ（アクセスポイント）は機器からの通信要求を遮断します。このようなネットワークに本機はクライアントとして接続できます。▶IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 329)



ファイアウォールで通信制限する

6AAS-065

適切なセキュリティ対策を施さずにパソコンや通信機器をネットワークに接続すると、意図しない第三者から不正にアクセスされる恐れがあります。そこで、特定の IP アドレスや MAC アドレスを持つ機器だけに通信を許可するパケットフィルタリングを設定することで、そうしたリスクを低減させます。



- ▶ IP アドレスでファイアウォールを設定する(P. 311)
- ▶ MAC アドレスでファイアウォールを設定する(P. 314)

IP アドレスでファイアウォールを設定する

6AAS-066

指定した IP アドレスを持つ機器との通信だけを許可し、それ以外の機器との通信を拒否します。逆に、特定の IP アドレスを持つ機器との通信だけを拒否し、それ以外の通信は許可することもできます。なお、IP アドレスは範囲を指定して設定することも可能です。



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、[▶本機の設定を変更する\(P. 355\)](#) を参照してください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [▶リモート UI を起動する\(P. 346\)](#)

2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする [▶リモート UI の画面について\(P. 347\)](#)

3 [セキュリティ設定] ▶ [IP アドレスフィルター] の順に進む

4 設定したいフィルターの [編集] をクリックする

[IPv4 アドレス: 受信フィルター]

IPv4 アドレスを指定してパソコンから本機へのデータ受信を制限します。

[IPv6 アドレス: 受信フィルター]

IPv6 アドレスを指定してパソコンから本機へのデータ受信を制限します。

5 フィルターを設定する



a [拒否アドレス]

通信を拒否するアドレスの登録と、登録されているアドレスの確認と削除ができます。

b [許可アドレス]

通信を許可するアドレスの登録と、登録されているアドレスの確認と削除ができます。

1 [フィルターを使用する] にチェックマークを付ける

- チェックマークを付けると通信制限が有効になります。通信制限をしないときはチェックマークを外してください。

2 アドレスを設定する

- [登録するアドレス] に IP アドレス（またはその範囲）を入力し、[追加] をクリックします。

登録したアドレス	結果
[拒否アドレス]	[登録するアドレス] に入力した IP アドレスを持つ機器との通信（受信）を制限します。それ以外の IP アドレスを持つ機器とは通信可能です。
[許可アドレス]	[登録するアドレス] に入力した IP アドレスを持つ機器とだけ通信（受信）し、それ以外の IP アドレスを持つ機器との通信は制限します。
両方とも登録	[許可アドレス] に登録した IP アドレスを持つ機器とだけ通信（受信）し、それ以外の IP アドレスを持つ機器との通信は制限します。ただし、[拒否アドレス] と重複して登録している IP アドレスは、通信が制限されます。



入力内容をよくお確かめください

- IP アドレスを間違えて設定すると、リモート UI からアクセスできなくなることがあります。この場合は、操作パネルから＜IPv4 アドレスフィルター＞または＜IPv6 アドレスフィルター＞を＜OFF＞にしてください。

● <IPv4 アドレスフィルター>(P. 427)

● <IPv6 アドレスフィルター>(P. 427)

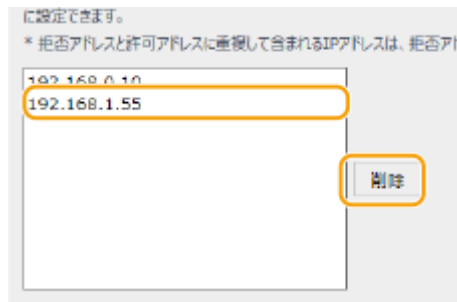


IP アドレスの入力形式

	入力方法	入力例
単一のアドレスを指定するとき	IPv4 の場合は、「.」（ピリオド）で数字を区切ります。	192.168.0.10
	IPv6 の場合は、「:」（コロン）で英数字を区切ります。	fe80::10
アドレスを範囲で指定するとき	「-」（ハイフン）でアドレスをつなぎます。	192.168.0.10-192.168.0.20
アドレスの範囲をプレフィックスで指定するとき（IPv6 のみ）	アドレス、「/」（スラッシュ）、プレフィックス長の順に入力します。	fe80::1234/64

設定した IP アドレスを削除するとき

- 削除する IP アドレスを選び、[削除] をクリックします。



3 [OK] をクリックする



操作パネルで設定するとき

- <メニュー>画面から IP アドレスによる通信制限を有効／無効に切り替えることもできます。
 - ▶< IPv4 アドレスフィルター>(P. 427)
 - ▶< IPv6 アドレスフィルター>(P. 427)



関連項目

- ▶MAC アドレスでファイアウォールを設定する(P. 314)

MAC アドレスでファイアウォールを設定する

6AAS-067

指定した MAC アドレスを持つ機器との通信だけを許可し、それ以外の機器との通信を拒否します。



ご注意

本機を無線 LAN に接続している場合、この機能は使えません。



MEMO

- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、**▶ 本機の設定を変更する(P. 355)** を参照してください。

- 1** リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶ リモート UI を起動する(P. 346)**
- 2** ポータルページで、[設定/登録] をクリックする **▶ リモート UI の画面について(P. 347)**
- 3** [セキュリティ設定] ▶ [MAC アドレスフィルター] の順に進む
- 4** [編集] をクリックする
- 5** フィルターを設定する

- 例外とする通信機器を MAC アドレスで指定します。



- 1** [フィルターを使用する] にチェックマークを付ける

- チェックマークを付けると通信制限が有効になります。通信制限をしないときはチェックマークを外してください。

2 例外アドレスを設定する

- [登録するアドレス] に MAC アドレスを入力し、[追加] をクリックします。
- アドレスは「-」（ハイフン）や「:」（コロン）で区切らずに入力してください。



● ご注意

入力内容をよくお確かめください

- MAC アドレスを間違えて設定すると、リモート UI からアクセスできなくなることがあります。この場合は、操作パネルから＜MAC アドレスフィルター＞を＜OFF＞にしてください。▶＜MAC アドレスフィルター＞(P. 428)



MEMO

設定した MAC アドレスを削除するとき

- 削除する MAC アドレスを選び、[削除] をクリックします。



3 [OK] をクリックする



MEMO

操作パネルで設定するとき

- ＜メニュー＞画面から MAC アドレスによる通信制限を有効／無効に切り替えることもできます。▶＜MAC アドレスフィルター＞(P. 428)



関連項目

- ▶ IP アドレスでファイアウォールを設定する(P. 311)

ポート番号を変更する

6AAS-068

ポートは外部機器と情報をやりとりするための出入口です。通常、おもなプロトコルには決まったポート番号を使用しますが、同じ番号が使われがちなので攻撃対象になりやすいという弱点があります。そのためネットワークで使用するポート番号を変更してセキュリティ向上を図るネットワーク管理者もいます。ポート番号はパソコンやサーバーなどの通信機器間で同じ設定にする必要があるため、変更があった場合はこれに合わせて本機側でも設定を変更します。



- プロキシサーバーのポート番号を変更するとき **▶ プロキシを設定する(P. 317)**

1 <メニュー>画面を表示する **▶ ホーム画面(P. 113)**

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

 を押す

2 <ネットワーク設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。 **▶ システム管理暗証番号を設定する(P. 304)**

3 <TCP/IP 設定> ▶ <ポート番号設定>の順に進む

4 ポート番号を変更するプロトコルを選ぶ



各プロトコルの詳細について

- <LPD> / <RAW> / <WSD マルチキャスト探索> **▶ 印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 43)**
- <HTTP> **▶ HTTP 通信を無効にする(P. 343)**
- <POP3> / <SMTP> **▶ Eメールの通信設定をする(P. 83)**
- <SNMP> **▶ SNMP で監視／制御する(P. 64)**

5 ポート番号を変更し、<確定> () を押す



関連項目

- ▶ 印刷ポートの設定をする(P. 46)**

プロキシを設定する

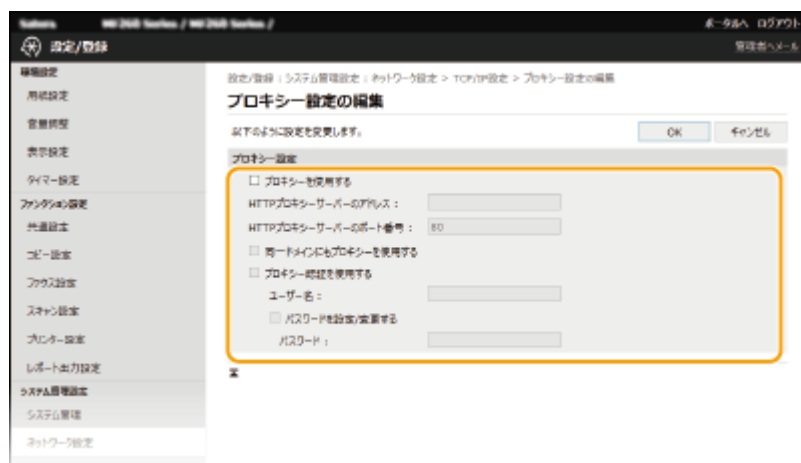
6AAS-069

プロキシ（HTTP プロキシサーバー）とは、おもにウェブサイトの閲覧などでネットワークの外にある機器との HTTP 通信を代行するパソコンやソフトウェアなどのことです。ネットワーク外部に直接通信するのではなく、プロキシサーバーを中継して外部に接続します。プロキシを設定することで、外部ネットワークとの通信管理がしやすくなるだけでなく、不正アクセスの遮断やウィルス対策の集約化など、セキュリティを強化できます。Google Cloud Print を利用するときは、プロキシを設定しておくでインターネットを介した印刷における安全性の向上が期待できます。プロキシサーバーのアドレスやポート番号、認証情報などはあらかじめ確認しておいてください。



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、**▶本機の設定を変更する(P. 355)** を参照してください。

- 1** リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶リモート UI を起動する(P. 346)**
- 2** ポータルページで、[設定/登録] をクリックする **▶リモート UI の画面について(P. 347)**
- 3** [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] の順に進む
- 4** [プロキシ設定] の [編集] をクリックする
- 5** [プロキシを使用する] にチェックマークを付け、必要な情報を入力する



[プロキシを使用する]

チェックマークを付けると、本機が HTTP 通信するときは指定したプロキシサーバーが使用されます。

[HTTP プロキシサーバーのアドレス]

使用するプロキシサーバーのアドレスを入力します。お使いの環境に応じて IP アドレスやホスト名などを設定してください。

[HTTP プロキシサーバーのポート番号]

使用するプロキシサーバーのポート番号を入力します。

【同一ドメインにもプロキシを使用する】

チェックマークを付けると、同じドメインにある機器と通信するときにも指定したプロキシサーバーが使用されます。

【プロキシ認証を使用する】

プロキシサーバーの認証機能を使用するときはチェックマークを付け、[ユーザー名] に認証するユーザー名を半角英数字で入力します。

【パスワードを設定/変更する】

プロキシ認証を使用する場合にパスワードを設定または変更するときはチェックマークを付け、[パスワード] に新しく設定するパスワードを半角英数字で入力します。

6 [OK] をクリックする



関連項目

▶ **Google Cloud Print を使う (P. 297)**

TLS 用の鍵と証明書を設定する

6AAS-06A

リモート UI によるパソコンのウェブブラウザとの通信を Transport Layer Security (TLS) を使って暗号化できます。TLS はネットワーク上で情報を暗号化して送受信するための仕組みです。リモート UI を使って IEEE 802.1X 認証 (TTLS/PEAP) や SNMPv3 の設定をするときは、TLS を有効にする必要があります。リモート UI で TLS 暗号化通信を行うには、使用する「鍵と証明書」(サーバー証明書) を指定してから TLS を有効にします。使用する鍵と証明書はあらかじめ用意しておいてください ([管理機能\(P. 558\)](#))。



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、 [本機の設定を変更する\(P. 355\)](#) を参照してください。

- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [リモート UI を起動する\(P. 346\)](#)
- 2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする [リモート UI の画面について\(P. 347\)](#)
- 3 [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] の順に進む
- 4 [TLS 設定] の [鍵と証明書] をクリックする
- 5 使用する鍵と証明書の右側にある [使用鍵登録] をクリックする



証明書の内容を確認するには

- [鍵の名前] のリンクか証明書のアイコンをクリックすると、証明書の詳細情報確認や検証ができます。

6 TLS を有効にする

- 1 [セキュリティ設定] ▶ [リモート UI 設定] をクリックする
- 2 [編集] をクリックする
- 3 [TLS を使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする



MEMO

操作パネルで設定するとき

- <メニュー>画面から TLS 暗号化通信を有効／無効に切り替えることもできます。▶< TLS を使用>(P. 427)

TLS を有効にしてリモート UI を起動したとき

- TLS 有効時にリモート UI を起動すると、セキュリティ証明書に関する警告メッセージが表示されることがあります。この場合はアドレス入力欄に入力した URL に間違いがないか確認してから、操作を続行してください。▶リモート UI を起動する(P. 346)

TLS で E メール送信を暗号化するには

- SMTP サーバーや POP3 サーバーが TLS に対応する場合、これらのサーバーとの通信に TLS を適用できます (▶Eメールの通信設定をする(P. 83))。SMTP サーバーや POP3 サーバーについては、プロバイダーやネットワーク管理者にお問い合わせください。



関連項目

- ▶SNMP で監視／制御する(P. 64)
- ▶ネットワーク通信用の鍵と証明書を生成する(P. 321)
- ▶鍵と証明書署名要求 (CSR) を生成する(P. 324)
- ▶ネットワーク通信用の鍵と証明書を登録する(P. 327)
- ▶IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 329)

ネットワーク通信用の鍵と証明書を生成する

6AAS-06C

Transport Layer Security (TLS) を使った暗号化通信に必要な鍵と証明書を生成できます。TLS は、リモート UI を使って本機にアクセスするときに使用できます。「ネットワーク通信用」に生成した鍵と証明書では自己署名証明書が使われます。



- 認証局の署名が付いたサーバー証明書を使いたいときは、証明書の代わりに CSR を鍵といっしょに生成することができます。▶ **鍵と証明書署名要求 (CSR) を生成する(P. 324)**
- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、▶ **本機の設定を変更する(P. 355)** を参照してください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ **リモート UI を起動する(P. 346)**

2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする ▶ **リモート UI の画面について(P. 347)**

3 [セキュリティー設定] ▶ [鍵と証明書設定] の順に進む

4 [鍵生成] をクリックする



登録されている鍵と証明書を削除するとき

- 削除したい鍵と証明書の右側にある [削除] ▶ [OK] をクリックします。
- 使用中の鍵と証明書には「TLS」や「IEEE 802.1X」などの使用目的が表示され、この状態では削除できません。目的の機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除してください。

5 [ネットワーク通信用] を選び、[OK] をクリックする

6 鍵と証明書の設定をする



a [鍵の設定]

[鍵の名前]

鍵に付ける名称を半角英数字で入力します。一覧表示されたときに探しやすい名称を付けてください。

[署名アルゴリズム]

プルダウンメニューから署名アルゴリズムを選びます。

[鍵のアルゴリズム]

鍵の生成アルゴリズムを [RSA] または [ECDSA] から選び、鍵長をプルダウンメニューから選びます。いずれの場合も鍵長の数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。



MEMO

- [署名アルゴリズム] で [SHA384] または [SHA512] を選んだときは、[鍵のアルゴリズム] で [RSA] を選んだ場合の鍵長を [512 bit] に設定することはできません。

b [証明書の設定]

[有効期限開始日(YYYY/MM/DD)]

証明書の有効期間の開始日を入力します。

[有効期限終了日(YYYY/MM/DD)]

証明書の有効期間の終了日を入力します。[有効期限開始日(YYYY/MM/DD)] より前に設定することはできません。

[国/地域名]

[国/地域名で選択] をクリックしてプルダウンメニューから国/地域名を選ぶか、[インターネット国コードで入力] をクリックして国コード（日本の場合は「JP」）を入力します。

[都道府県] / [市町村]

必要に応じて所在地を半角英数字で入力します。

[組織] / [組織単位]

必要に応じて組織名を半角英数字で入力します。

[共通名]

必要に応じて証明書の主体者の名称を半角英数字で入力します。「Common Name」や「CN」、「一般名」と呼ぶこともあります。

7 [OK] をクリックする

- 鍵と証明書の生成には時間がかかることがあります。
- 生成した鍵と証明書は本機に自動的に登録されます。



関連項目

- ▶ TLS 用の鍵と証明書を設定する(P. 319)
- ▶ ネットワーク通信用の鍵と証明書を登録する(P. 327)

鍵と証明書署名要求（CSR）を生成する

6AAS-06E

本機で自己生成した証明書は認証局の署名がないため、通信相手によっては通信エラーとなってしまうことがあります。認証局の署名が付いた証明書を発行してもらうためには、証明書署名要求（CSR：Certificate Signing Request）のデータが必要です。CSRは管理者がリモート UI から生成することができます。証明書が発行されたら、CSRを生成した鍵に証明書を登録してください。

▶ 鍵と CSR を生成する(P. 324)

▶ 鍵に証明書を登録する(P. 326)



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、▶ 本機の設定を変更する(P. 355) を参照してください。

鍵と CSR を生成する

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 346)

2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする ▶ リモート UI の画面について(P. 347)

3 [セキュリティ設定] ▶ [鍵と証明書設定] の順に進む

4 [鍵生成] をクリックする



登録されている鍵と証明書を削除するとき

- 削除したい鍵と証明書の右側にある [削除] ▶ [OK] をクリックします。
- 使用中の鍵と証明書には「TLS」や「IEEE 802.1X」などの使用目的が表示され、この状態では削除できません。目的の機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除してください。

5 [鍵と証明書署名要求(CSR)] を選び、[OK] をクリックする

6 鍵と CSR の設定をする

a [鍵の設定]

[鍵の名前]

鍵に付ける名称を半角英数字で入力します。一覧表示されたときに探しやすい名称を付けてください。

[署名アルゴリズム]

プルダウンメニューから署名アルゴリズムを選びます。

[鍵のアルゴリズム]

鍵の生成アルゴリズムを [RSA] または [ECDSA] から選び、鍵長をプルダウンメニューから選びます。いずれの場合も鍵長の数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。



- [署名アルゴリズム] で [SHA384] または [SHA512] を選んだときは、[鍵のアルゴリズム] で [RSA] を選んだ場合の鍵長を [512 bit] に設定することはできません。

b [証明書署名要求(CSR)の設定]

[国/地域名]

[国/地域名で選択] をクリックしてプルダウンメニューから国／地域名を選ぶか、[インターネット国コードで入力] をクリックして国コード（日本の場合は「JP」）を入力します。

[都道府県] ／ [市町村]

必要に応じて所在地を半角英数字で入力します。

[組織] ／ [組織単位]

必要に応じて組織名を半角英数字で入力します。

[共通名]

必要に応じて証明書の主体者の名称を半角英数字で入力します。「Common Name」や「CN」、「一般名」と呼ぶこともあります。

7 [OK] をクリックする

- 鍵と CSR の生成には時間がかかることがあります。

8 [ファイルに保存] をクリックする

- ファイルを保存するダイアログボックスが表示されるので、保存先を選んで [保存] をクリックします。
⇒ CSR のファイルがパソコンに保存されます。

9 保存したファイルを添付して認証局に申請する

鍵に証明書を登録する

CSR を生成した鍵は、CSR をもとに認証局から発行された証明書を登録するまで使うことができません。認証局から証明書が発行されたら、次の手順で登録します。

- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ● リモート UI を起動する (P. 346)
- 2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする ● リモート UI の画面について (P. 347)
- 3 [セキュリティ設定] ▶ [鍵と証明書設定] の順に進む
- 4 証明書を登録する [鍵の名前] または [証明書] をクリックする



5 [証明書の登録] をクリックする

6 [参照] をクリックし、証明要求した証明書のファイルを指定したあと、[登録] をクリックする



関連項目

- TLS 用の鍵と証明書を設定する (P. 319)
- ネットワーク通信用の鍵と証明書を生成する (P. 321)
- ネットワーク通信用の鍵と証明書を登録する (P. 327)

ネットワーク通信用の鍵と証明書を登録する

鍵と証明書や CA 証明書を発行機関から入手して使用することができます。入手した鍵と証明書ファイルおよび CA 証明書ファイルはリモート UI を使って本機にインストール／登録します。本機で使用する鍵と証明書および CA 証明書の条件をあらかじめ確認しておいてください（[管理機能\(P. 558\)](#)）。



MEMO

- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、[本機の設定を変更する\(P. 355\)](#) を参照してください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [リモート UI を起動する\(P. 346\)](#)

2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする [リモート UI の画面について\(P. 347\)](#)

3 [セキュリティ設定] ▶ [鍵と証明書設定] または [CA 証明書設定] の順に進む

- 鍵と証明書をインストールするときは [鍵と証明書設定] を、CA 証明書をインストールするときは [CA 証明書設定] をクリックします。

4 [鍵と証明書の登録] または [CA 証明書登録] をクリックする

MEMO

登録されている鍵と証明書や CA 証明書を削除するとき

- 削除したい鍵と証明書または CA 証明書の右側にある [削除] ▶ [OK] をクリックします。プリインストールされている CA 証明書は削除できません。
- 使用中の鍵と証明書には「TLS」や「IEEE 802.1X」などの使用目的が表示され、この状態では削除できません。目的の機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除してください。

プリインストールされている CA 証明書を無効にするとき

- 無効にしたい CA 証明書の右側にある [無効] をクリックします。再度有効にしたいときは、[有効] をクリックしてください。

5 [インストール] をクリックする

MEMO

鍵と証明書ファイルや CA 証明書ファイルを削除するには

- 削除したいファイルの右側にある [削除] ► [OK] をクリックします。

6 [参照] をクリックし、インストールするファイルを指定したあと、[インストール開始] をクリックする

► パソコンから本機に鍵と証明書ファイルまたは CA 証明書ファイルがインストールされます。

7 鍵と証明書または CA 証明書を登録する

■ 鍵と証明書を登録する

- 1 登録したい鍵と証明書ファイルの右側にある [登録] をクリックする
- 2 鍵の名前とパスワードを入力する



[鍵の名前]

本機に登録するときの鍵の名称を半角英数字で入力します。一覧表示されたときに探しやすい名称を付けてください。

[パスワード]

登録するファイルに設定されている秘密鍵のパスワードを半角英数字で入力します。

- 3 [OK] をクリックする

■ CA 証明書を登録する

登録したい CA 証明書ファイルの右側にある [登録] をクリックします。



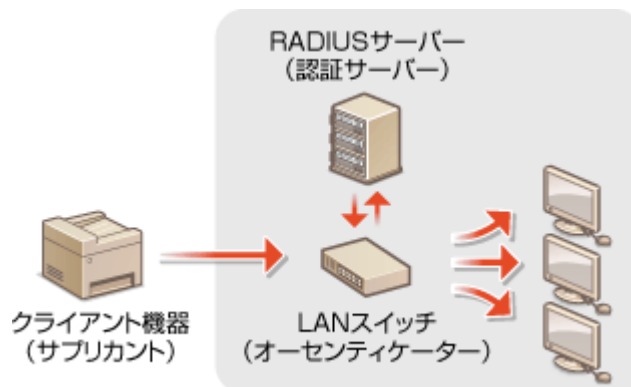
関連項目

- TLS 用の鍵と証明書を設定する (P. 319)
- ネットワーク通信用の鍵と証明書を生成する (P. 321)
- IEEE 802.1X 認証の設定をする (P. 329)

IEEE 802.1X 認証の設定をする

6AAS-06H

IEEE 802.1X 認証を導入したネットワークにクライアントとして本機を接続し、セキュリティを確保することができます。IEEE 802.1X ネットワークは、RADIUS サーバー（認証サーバー）、LAN スイッチ（オーセンティケーター）、クライアント機器（サブリカント）の 3 つの要素で構成されます。IEEE 802.1X ネットワーク上のクライアント機器が通信を始めようとする、まずその機器が正しいユーザーであるかどうか確認されます。確認は RADIUS サーバーに問い合わせることで行われ、正しいユーザーであれば認証されます。認証が下りないかぎり LAN スイッチは機器からの通信要求を遮断します。



IEEE 802.1X の認証方式

認証サーバーに設定してある認証方式を次の中から選び、あらかじめ必要な鍵と証明書や CA 証明書を用意しておいてください（[🔴 ネットワーク通信の鍵と証明書を登録する\(P. 327\)](#)）。

■ TLS

本機と認証サーバーがそれぞれの証明書を使って互いに認証を行います。本機の認証には認証局発行の鍵と証明書が必要です。一方、サーバーの認証にはプリインストールされた CA 証明書またはリモート UI からインストールした CA 証明書が使用されます。

■ TTLS

本機の認証にユーザー名とパスワードを使用し、サーバー認証には CA 証明書を使用する認証方式です。内部プロトコルとして MSCHAPv2 または PAP を選択できます。PEAP との併用も可能です。あらかじめリモート UI 通信に対して TLS を設定しておいてください（[🔴 TLS 用の鍵と証明書を設定する\(P. 319\)](#)）。

■ PEAP

必要な設定は併用できる TTLS とほぼ同じですが、内部プロトコルには MSCHAPv2 を使用します。あらかじめリモート UI 通信に対して TLS を設定しておいてください（[🔴 TLS 用の鍵と証明書を設定する\(P. 319\)](#)）。



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、[🔴 本機の設定を変更する\(P. 355\)](#) を参照してください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [🔴 リモート UI を起動する\(P. 346\)](#)

2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする [🔴 リモート UI の画面について\(P. 347\)](#)

3 [ネットワーク設定] ▶ [IEEE 802.1X 設定] の順に進む

4 [編集] をクリックする

5 [IEEE 802.1X を使用する] にチェックマークを付け、[ログイン名] を入力する



[IEEE 802.1X を使用する]

IEEE 802.1X 認証を使用するときはチェックマークを付けます。

[ログイン名]

ユーザーを識別するための名称（EAP Identity）を半角英数字で入力します。

6 使用する認証方式に応じて必要な設定をする



■ TLS を設定する

- 1 [TLS を使用する] にチェックマークを付け、[鍵と証明書] をクリックする
 - TLS を使用する場合は、TTLS や PEAP を併用することはできません。
- 2 使用する鍵と証明書の右側にある [使用鍵登録] をクリックする



証明書の内容を確認するには

- [鍵の名前] のリンクが証明書のアイコンをクリックすると、証明書の詳細情報確認や検証ができます。

■ TTLS/PEAP を設定する

- 1 [TTLS を使用する] または [PEAP を使用する] にチェックマークを付ける



TTLS を使用する場合の内部プロトコル

- MSCHAPv2 または PAP を選択できます。

- 2 [ユーザー名/パスワード変更] をクリックする

- IEEE 802.1X 認証のログイン名とは違うユーザー名を設定するときは、[ユーザー名にログイン名を使用する] のチェックマークを外します。IEEE 802.1X 認証のログイン名と同じユーザー名にするときは、チェックマークを付けた状態にしてください。

- 3 ユーザー名やパスワードを設定する

[ユーザー名]

ユーザー名を半角英数字で入力します。

[パスワードを変更する]

パスワードを設定または変更するときはチェックマークを付け、[パスワード] と [確認入力] の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。

- 4 [OK] をクリックする

7 [OK] をクリックする

8 本機を再起動する

- 電源を切り、10 秒待って再び電源を入れます。



操作パネルで設定するとき

- <メニュー>画面から IEEE 802.1X 認証を有効／無効に切り替えることもできます。▶< IEEE 802.1X 設定> (P. 384)



関連項目

- ▶TLS 用の鍵と証明書を設定する(P. 319)

機能を制限する

6AAS-06J

使用頻度が低い機能や悪用される恐れのある機能に対して使用条件を設定し、機能を制限することができます。また、機能自体を完全に使えなくすることもできます。

宛先操作／送信機能を制限する

アドレス帳に暗証番号を設定して一般ユーザーが変更できないようにしたり、ファクス送信時に指定できる宛先を限定したりすることができます。また、ファクスを一斉に複数の宛先へ送信（同報送信）できないようにすることも可能です。▶**宛先操作／送信機能を制限する(P. 335)**



USB の使用を制限する

USB 接続は手軽でかんたんに周辺機器と接続ができる反面、情報漏えいなどのセキュリティリスクをはらんでいます。パソコンとの USB 接続を制限することができます。▶**USB の使用を制限する(P. 342)**



HTTP 通信を無効にする

USB 接続で本機をお使いの場合などネットワークを介した操作を行わないときは、HTTP ポートからの不正な侵入を防ぐために HTTP 通信を無効にすることができます。▶**HTTP 通信を無効にする(P. 343)**



リモート UI を制限する

リモート UI を使用しない場合は、リモート UI を介した不正な遠隔操作を防ぐために機能を無効にすることができます。▶**リモート UI を無効にする(P. 344)**



宛先操作／送信機能を制限する

6AAS-06K

アドレス帳に暗証番号を設定して宛先を編集できないようにしたり、アドレス帳に登録してある宛先しか選べなくしたりして情報漏えいを防ぐことができます。また、ファクス番号を2回入力しないと発信できないように設定して誤送信対策することも可能です。



- アドレス帳の使用を制限する(P. 336)
- 指定できる宛先を制限する(P. 338)
- ファクスの宛先操作／送信機能を制限する(P. 340)

アドレス帳の使用を制限する



暗証番号を入力しないとアドレス帳に宛先を追加したり、宛先を編集したりできないようになります。暗証番号を知っているユーザーしかアドレス帳を編集できなくなりますので、知らない宛先に無断で文書を送信されるというような危険性を少なくすることができます。

1 ホーム画面で、＜メニュー＞を選ぶ ホーム画面(P. 113)

2 ＜システム管理設定＞を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。  システム管理暗証番号を設定する(P. 304)

3 ＜送信機能の制限＞ ＜アドレス帳の暗証番号＞の順に進む

4 暗証番号を設定する

- 数字を入力し、＜確定＞を選びます。
- 確認入力画面が表示されますので、再度暗証番号を入力してください。

アドレス帳の暗証番号 ***** (設定なしは空欄) 確定	暗証番号 (確認入力) ***** 確定
---	---

MEMO

- 「00」や「0000000」など、0だけのIDや暗証番号は登録できません。
- 暗証番号の設定を解除したいときは、 で入力内容を消去し、空欄の状態＜確定＞を押します。

MEMO

アドレス帳の暗証番号に加えて次の設定をすると、セキュリティをさらに高めることができます。

- 新規宛先追加を制限する  新規宛先の入力を制限する(P. 338)
- PCファックスを使用できなくする  パソコンからのファックス送信を制限する(P. 340)

関連項目

- ▶宛先を登録する(P. 168)
- ▶リモート UI から宛先を登録する(P. 358)
- ▶E メール送信の設定をする(P. 80)
- ▶共有フォルダーへの保存設定をする(P. 87)

指定できる宛先を制限する

6AAS-06R



指定できる宛先を、アドレス帳に登録されている宛先などに限定することで誤送信や情報漏えいを防止します。また、アドレス帳の短縮番号を指定する場合に、確認画面を表示して誤送信を防ぐように設定できます。

- ▶ 新規宛先の入力を制限する (P. 338)
- ▶ 履歴からの送信を制限する (P. 338)
- ▶ アドレス帳に登録した宛先を表示する (P. 338)

新規宛先の入力を制限する

ファクス文書やスキャン文書の送信時に指定できる宛先を「アドレス帳の宛先」、「ワンタッチボタンの宛先」、「以前使用した宛先」の3つに限定します。この機能が有効になっていると、テンキーを使った宛先入力や、アドレス帳への新規宛先追加、登録済み宛先の編集はできなくなります。



- 本設定は PC ファクス送信には無効です。▶ パソコンからのファクス送信を制限する (P. 340)

履歴からの送信を制限する

送信履歴から宛先指定することを禁止します。禁止すると「ファクス送信」、「スキャンして E メール送信」、「スキャンして共有フォルダーに保存」の各機能で、履歴から宛先を選択できなくなります。



アドレス帳に登録した宛先を表示する

ワンタッチボタンや短縮ダイヤルで宛先指定する場合、どの番号に誰が登録されているかを知っている必要があり、うろ覚えで指定すると誤送信の恐れがあります。これを防ぐため、送信先確定前に、ワンタッチボタンや短縮ダイヤルの内容を画面に表示することができます。



<メニュー> ▶ <システム管理設定> ▶ <送信機能の制限> ▶ <ワンタッチ/短縮ダイヤル送信の確認> ▶ <ON> ▶ 



関連項目

- ▶ Eメール送信する／共有フォルダーにファイルを保存する(P. 249)
- ▶ 過去の設定を呼び出して送信／保存する（送信履歴）(P. 268)
- ▶ アドレス帳の使用を制限する(P. 336)
- ▶ ファクスの宛先操作／送信機能を制限する(P. 340)

ファクスの宛先操作／送信機能を制限する

6AAS-06S

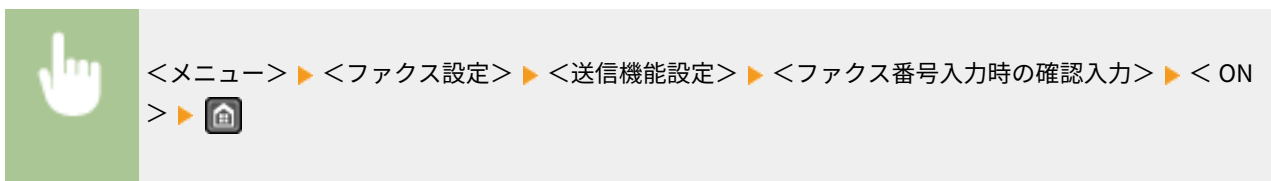
ファクスの送信機能をさまざまな方法で制限し、第三者への情報漏えいや誤送信を防ぎます。



- 送信前にファクス番号を確認する(P. 340)
- パソコンからのファクス送信を制限する(P. 340)
- 同報送信を制限する(P. 340)

送信前にファクス番号を確認する

宛先をテンキー入力してファクス送信する際、番号の再入力画面を表示して誤送信を防ぐように設定することができます。



パソコンからのファクス送信を制限する

パソコンからのファクス送信（PC ファクス）をできないようにします。



同報送信を制限する

ファクスを一斉に複数の宛先へ送信する機能（同報送信）を禁止します。



同報送信の制限
OFF
同報送信の確認
同報送信不可

< OFF >

同報送信ができます。

<同報送信の確認>

同報送信をする際に確認画面を表示します。

<同報送信不可>

同報送信ができません。



関連項目

- ▶ ファクス送信の基本操作(P. 203)
- ▶ 過去の設定を呼び出して送信する（送信履歴）(P. 217)
- ▶ パソコンからファクスを送信する（PC ファクス）(P. 228)
- ▶ アドレス帳の使用を制限する(P. 336)
- ▶ 指定できる宛先を制限する(P. 338)

USB の使用を制限する

6AAS-06U

USB 接続は、周辺機器とのデータ共有を手軽でかんたんなものにしますが、適切に管理されていない環境下では逆に情報漏えいの手段として悪用される恐れがあります。ここでは、本機の USB ポートを使った接続を制限する方法を紹介します。



▶ パソコンとの USB 接続を制限する (P. 342)

パソコンとの USB 接続を制限する

パソコン接続用の USB ポートを使えないようにします。パソコンとの USB 接続ができなくなります。



<メニュー> () ▶ <システム管理設定> ▶ <USB デバイスとして使用> ▶ <OFF> ▶ 本機を再起動

HTTP 通信を無効にする

6AAS-06W

HTTP はリモート UI から本機を操作するときなどに使われます。ネットワークを使用せず USB 接続で本機をお使いの場合や、HTTP 通信を使用しない場合は、その機能を無効にすることで、悪意のある第三者が未使用ポートから本機に侵入する危険性を減らすことができます。



ご注意

- HTTP 通信を無効にすると、リモート UI の操作や WSD 印刷、Google Cloud Print での印刷などのネットワークを介した操作ができなくなります。



<メニュー> () ▶ <ネットワーク設定> ▶ < TCP/IP 設定> ▶ < HTTP を使用> ▶ < OFF > ▶ < はい>



関連項目

- ▶印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 43)
- ▶Google Cloud Print を使う(P. 297)
- ▶ポート番号を変更する(P. 316)
- ▶パソコンから本機を管理する (リモート UI) (P. 345)

リモート UI を無効にする

6AAS-06X

リモート UI を使うとパソコンのウェブブラウザから本機の設定を行うことができ便利ですが、そのためには本機とパソコンがネットワーク上で接続されていなければなりません。ネットワークを使わずに USB 接続で本機をお使いの場合はリモート UI を無効にすることができます。また、リモート UI を使う必要がない場合も、機能を無効にすることでネットワークを介した不正な遠隔操作などのリスクを低減し、セキュリティ効果を高めることができます。



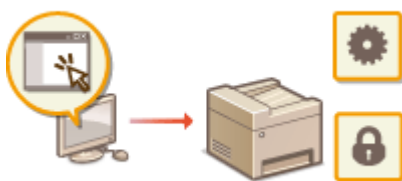
関連項目

- ▶ HTTP 通信を無効にする (P. 343)
- ▶ パソコンから本機を管理する (リモート UI) (P. 345)

パソコンから本機を管理する（リモート UI）

6AAS-06Y

パソコンのウェブブラウザを使って本機を遠隔操作し、待機中の文書を確認したり、本体状況を確認したりすることができます。本機の各種設定を行うことも可能です。ウェブブラウザに本機の IP アドレスを入力すると「リモート UI」が起動しますので、これを使って遠隔操作します。デスクに居ながらにして本機を操作できますので大変便利です。リモート UI の動作環境については、**▶サポート環境(P. 559)** を参照してください。



リモート UI でできること

- ▶状況や履歴を確認する(P. 349)
- ▶本機の設定を変更する(P. 355)
- ▶リモート UI から宛先を登録する(P. 358)
- ▶リモート UI からアドレス帳を保存する／読み込む(P. 362)

リモート UI の使いかた

- ▶リモート UI を起動する(P. 346)

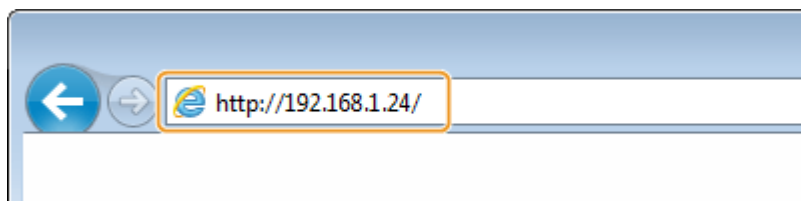
リモート UI を起動する

6AAS-070

遠隔操作は、ウェブブラウザに本機の IP アドレスを入力し、リモート UI を起動させて行います。操作の前に、あらかじめ本機に設定されている IP アドレスを確認しておいてください（[🔴 ネットワークの設定を確認する\(P. 39\)](#)）。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 ウェブブラウザを起動する

2 アドレス入力欄に「http://<本機の IP アドレス>/」と入力し、キーボードの [ENTER] を押す



- IPv6 アドレスを使用している場合は、IP アドレスを [] で囲み、次のような形式で入力してください：http://[fe80::2e9e:fcff:fe4e:dbce]/



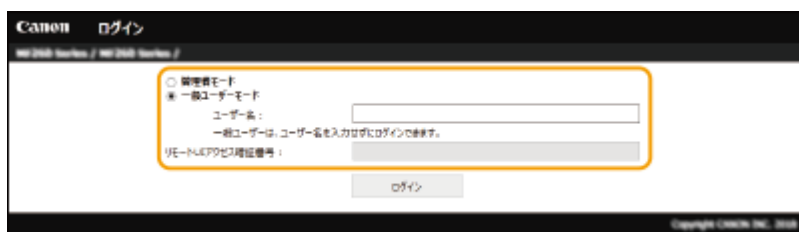
セキュリティに関するメッセージが表示されたときは

- リモート UI の通信が暗号化されている場合（[🔴 TLS 用の鍵と証明書を設定する\(P. 319\)](#)）に、エラーメッセージが表示されることがあります。証明書や TLS の設定に問題がないときは、ウェブサイトの閲覧を続行してください。

3 リモート UI にログインする

■システム管理暗証番号が設定されていない場合

[管理者モード] または [一般ユーザーモード] をクリックします。



[管理者モード]

リモート UI のすべての操作および設定ができます。

[一般ユーザーモード]

印刷文書の確認、本機状態の確認、各種設定内容の確認ができます。待機中の印刷文書の確認や、待機をやめて印刷を中止したいときは、[ユーザー名] に文書のユーザー名を入力してください（文書のユーザー名には、パソコンのログオンユーザー名などが、印刷時に自動的に設定されています）。

[リモート UI アクセス暗証番号]

[リモート UI アクセス暗証番号] を設定している場合は、暗証番号を入力してください。🔴 [リモート UI の暗証番号を設定する\(P. 306\)](#)

■システム管理暗証番号が設定されている場合

登録されている [システム管理暗証番号] を入力して、管理者モードでログインします（[▶システム管理暗証番号を設定する\(P. 304\)](#)）。



4 [ログイン] をクリックする

リモート UI のメイン画面（ポータルページ）が表示されます。[▶リモート UI の画面について\(P. 347\)](#)

リモート UI の画面について

リモート UI にログインすると、次のポータルページが表示されます。このページに表示される項目と、基本的な使いかたについて説明します。



1 [デバイス基本情報]

本機の現在の状況と、エラー情報が表示されます。エラーが発生している場合は、エラー情報ページへのリンクが表示されます。

2 [消耗品情報]

消耗品についての情報が表示されます。

3 [サポートリンク]

[システム管理] の [デバイス情報] に設定されている本機のサポート情報へのリンクが表示されます。

4 更新アイコン

表示中のページを最新の情報に更新します。

5 [ログアウト]

リモート UI をログアウトして、ログインページに戻ります。

6 [管理者へメール]

[システム管理] の [システム管理者情報] に設定されている管理者宛にメールを作成します。

7 [状況確認/中止]

[状況確認/中止] ページが開きます。待機文書について、状況の確認、履歴の確認、処理の中止ができます。

8 [設定/登録]

[設定/登録] ページが開きます。管理者モードでログインしているときは、設定内容を変更したり、設定データの保存／読み込みをしたりなどの操作ができます。▶**本機の設定を変更する(P. 355)**

9 [アドレス帳]

[アドレス帳] ページが開き、登録されている宛先が一覧表示されます。管理者モードでログインしているときは、アドレス帳の登録／編集ができます。▶**リモート UI から宛先を登録する(P. 358)**

状況や履歴を確認する

6AAS-071

- ▶印刷文書の状況を確認する(P. 349)
- ▶受信したファクスの状況を確認する(P. 350)
- ▶文書の履歴を確認する(P. 350)
- ▶エラー情報を確認する(P. 351)
- ▶消耗品を確認する(P. 351)
- ▶最大印刷速度を確認する(P. 351)
- ▶管理者情報を確認する(P. 352)
- ▶印刷ページ数を確認する(P. 352)
- ▶カートリッジの履歴を確認する(P. 353)
- ▶ECO 情報を確認する(P. 353)



- 文書のファイル名は途中までしか表示されないことがあります。また、印刷したアプリケーション名がファイル名に付加されることがあります。

印刷文書の状況を確認する

パソコンから印刷した文書の印刷状況（印刷中／印刷待機中）を確認できます。



リモート UI にログインする（▶**リモート UI を起動する(P. 346)**）▶ [状況確認/中止] ▶ [プリント] の [ジョブ状況]



- [中止] をクリックすると、印刷中／印刷待機中の文書を削除できます。



- 管理者モードでログインした場合、すべての印刷文書の状況が表示されます。
- 一般ユーザーモードで、[ユーザー名] を入力してログインした場合、そのユーザーが印刷した文書だけが表示されます。
- 一時停止中の文書で [受付番号] をクリックすると、文書の詳細情報が表示されます。ユーザー名や印刷枚数などの情報を確認できます。

受信したファクスの状況を確認する

ファクスの受信状況を確認できます。ファクス受信文書では「削除」をクリックして、受信した文書を削除することもできます。



リモート UI にログインする（[▶リモート UI を起動する\(P. 346\)](#)）▶ [状況確認/中止] ▶ [受信] の [ジョブ状況]



MEMO

- 下記の操作をするには、管理者モードでログインし、[ON にする] をクリックして [メモリー受信の使用] を [ON] に設定する必要があります。
- [受付番号] をクリックすると、印刷待機中の文書の詳細情報やプレビューが表示されます。

文書の履歴を確認する

印刷、ファクス/Eメール送信、ファクス受信の履歴が表示されます。



リモート UI にログインする（[▶リモート UI を起動する\(P. 346\)](#)）▶ [状況確認/中止] ▶ [ジョブ履歴]



エラー情報を確認する

エラーが発生しているとき、ポータルページ（メイン画面）の「エラー情報」に表示されているメッセージをクリックすると、このページが表示されます。▶リモート UI の画面について(P. 347)



リモート UI にログインする（▶リモート UI を起動する(P. 346)）▶ [状況確認/中止] ▶ [エラー情報]



消耗品を確認する

給紙部の用紙サイズや用紙種類、トナーカートリッジの型番などが表示されます。ポータルページ（メイン画面）で、「消耗品詳細」をクリックしてもこのページを表示できます（▶リモート UI の画面について(P. 347)）。



リモート UI にログインする（▶リモート UI を起動する(P. 346)）▶ [状況確認/中止] ▶ [消耗品確認]



最大印刷速度を確認する

最大印刷速度が表示されます。

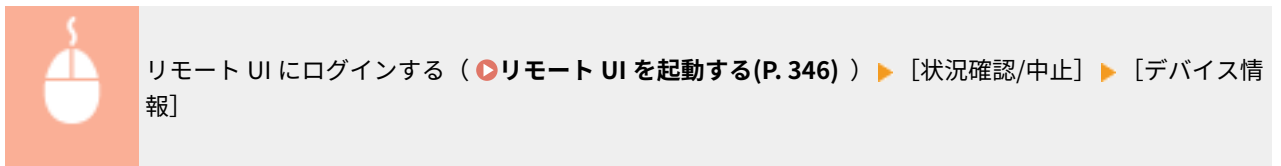


リモート UI にログインする（▶リモート UI を起動する(P. 346)）▶ [状況確認/中止] ▶ [デバイス装備]



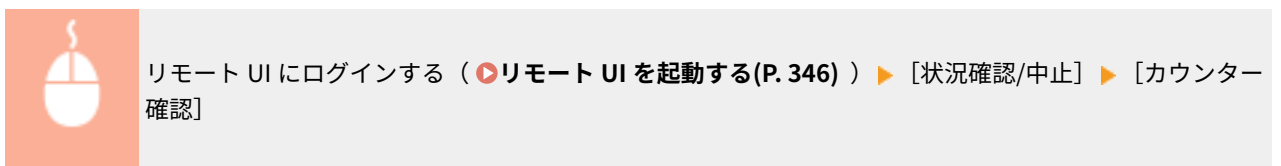
管理者情報を確認する

本体とシステム管理者についての情報が表示されます。ここに表示されている情報は、[設定/登録] ページの [システム管理] で設定したものです。



印刷ページ数を確認する

印刷、コピー、ファクス受信で、今までに印刷された文書の合計ページ数が表示されます。





カートリッジの履歴を確認する

トナーカートリッジやドラムカートリッジの利用実績を確認できます。トナーカートリッジまたはドラムカートリッジに表示を切り替えることができます。



リモート UI にログインする ([リモート UI を起動する\(P. 346\)](#)) ▶ [状況確認/中止] ▶ [カートリッジログ]



ECO 情報を確認する

1 ヶ月あたりの平均出力枚数や平均消費電力などの情報を確認できます。



リモート UI にログインする ([リモート UI を起動する\(P. 346\)](#)) ▶ [状況確認/中止] ▶ [ECO 情報]



▶リモート UI の画面について(P. 347)

本機の設定を変更する

6AAS-072

リモート UI を使って、パソコン側から本機のさまざまな設定を登録／変更できます。ほとんどの項目は本機の操作パネルで設定できますが、リモート UI でしか設定できない項目もあります。ここでは、リモート UI を使って本機の設定を変更する基本的な流れを説明します。



- 一部の項目は、管理者モードでログインした場合にのみ変更できます。
- 設定項目によっては、ここで説明している手順と異なる操作が必要な場合があります。

- 1 リモート UI を起動する ▶ リモート UI を起動する(P. 346)
- 2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする ▶ リモート UI の画面について(P. 347)
- 3 画面左側のメニューから設定したい項目をクリックする



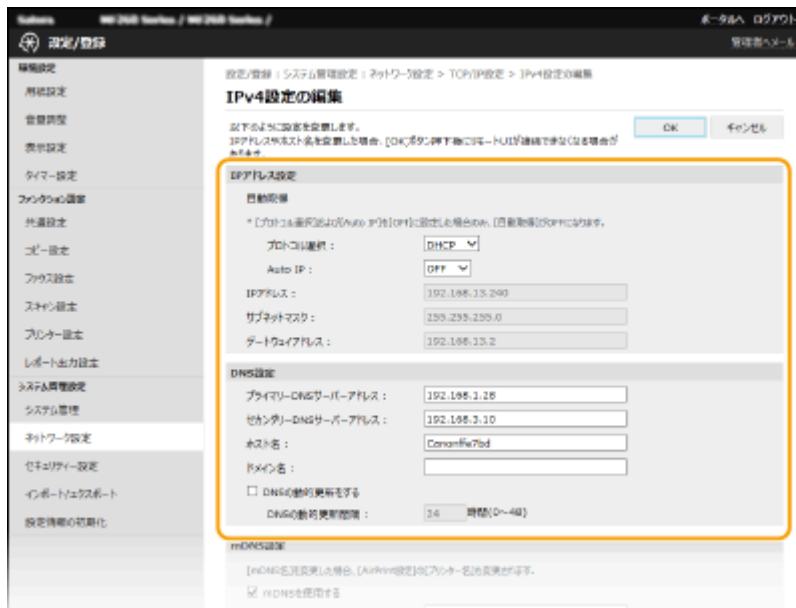
- 4 必要に応じてリンクをクリックし、目的のページを表示する



5 [編集] をクリックする



6 必要な項目を設定する



7 [OK] をクリックする



8 必要に応じて本機を再起動する

- 電源を切り、10 秒待って再び電源を入れます。



- 本機の再起動が必要かどうかは、編集画面内のメッセージを参考にしてください。



リモート UI から宛先を登録する

6AAS-073

パソコンを使って本機のアドレス帳に宛先を登録したり、登録済み宛先の内容を編集したりすることができます。共有フォルダーの宛先はここで設定します。



管理者モードでログインした場合にのみ、設定を変更できます。

1 リモート UI を起動する ▶リモート UI を起動する(P. 346)

2 ポータルページで、[アドレス帳] をクリックする ▶リモート UI の画面について(P. 347)



暗証番号の入力ページが表示された場合は

アドレス帳が暗証番号で保護されています。[暗証番号] を入力して、[OK] をクリックします。

3 [短縮ダイヤル] をクリックする

- [ワンタッチ] をクリックして、ワンタッチダイヤルを登録することもできます。▶ワンタッチダイヤル(P. 168)

4 「未登録」と表示されている項目の [番号]、[種類] または [名称] をクリックする



- 登録済みの [番号]、[種類] または [名称] をクリックすると、登録内容を編集できます。
- [削除] をクリックすると、登録済みの宛先を削除できます。

5 登録する宛先の種類を選び、[OK] をクリックする

- 共有フォルダーの宛先を登録する場合は [ファイル] を選びます。



6 宛先を設定する

■ファクスの宛先を登録する場合



【名称】

宛先の名称を入力します。

【ファクス番号】

宛先のファクス番号を入力します。

【ECM 送信する】

チェックマークを付けると、送信中の画像にエラーが発生した場合、乱れた画像をそのまま送信しないようエラーチェックと修正を行います。

【送信スピード】

電話回線の状態が悪いときなど、送信が始まるまでに時間がかかる場合に、通信開始速度を下げ調整します。

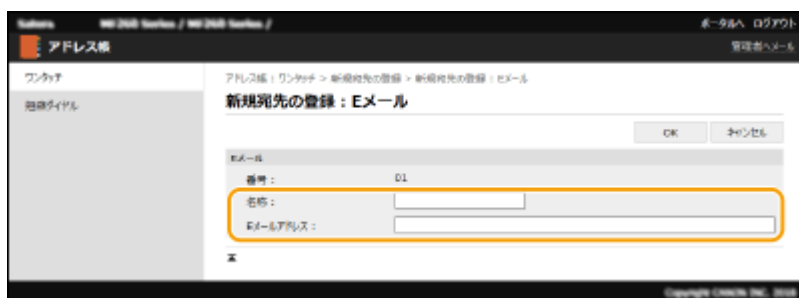
【国際送信】

海外のファクス番号を登録する場合、通信状態に合わせて〔国際送信(1)〕～〔国際送信(3)〕の順に設定します。



- [ECM 送信する] および [送信スピード] は、操作パネルの<ファクス設定>（▶<ファクス設定>（P. 400））からも設定できますが、アドレス帳に登録されている宛先は、アドレス帳での設定が有効になります。

■Eメールの宛先を登録する場合



[名称]

宛先の名称を入力します。

[E メールアドレス]

宛先の E メールアドレスを入力します。

■共有フォルダーの宛先を登録する場合

[名称]

宛先の名称を入力します。

[ホスト名]

パソコンのコンピューター名または IP アドレスを入力します。共有フォルダーへのパスを含めて指定することもできます（入力例：「\\swan\share」または「\\192.168.2.100\share」）。



DNS サーバーを使用しているとき

- コンピューター名や IP アドレスの代わりにホスト名（または FQDN）を入力することもできます（共有フォルダーの入力例：「\\swan.organization.company.com\share」）。

[フォルダーへのパス]

データを送信するフォルダーの場所を入力します。

区切り文字は「\」を使用して入力します。[ホスト名] で指定したパスに続く階層を指定します。

[ユーザー名]

共有フォルダーで設定しているユーザー名を入力します。

[パスワードを設定する]

共有フォルダーでパスワードを設定しているときは、チェックマークを付け、[パスワード] を入力します。



パソコンとリモート UI の表示言語を合わせる

- [ホスト名] や [フォルダーへのパス] が正しく表示されないことや、参照できないことがあります。

7 [OK] をクリックする



関連項目

- ▶ リモート UI の画面について (P. 347)
- ▶ リモート UI からアドレス帳を保存する／読み込む (P. 362)
- ▶ アドレス帳リスト（モノクロ 6 行タッチパネル機） (P. 462)

リモート UI からアドレス帳を保存する／読み込む

6AAS-074

アドレス帳の宛先を書き出して（エクスポート）、パソコンに保存できます。また、パソコンに保存したデータを読み込む（インポート）ことも可能です。本機からエクスポートしたデータは他の機種にもインポート可能ですので、アドレス帳の宛先を複数のマシンにかんたんにコピーすることができます*。なお、この機能を使うためには管理者モードでログインしている必要があります。

* 機種によっては、本機からエクスポートしたアドレス帳をインポートできない場合があります。

▶ アドレス帳データを書き出す(P. 362)

▶ アドレス帳データを読み込む(P. 363)



ご注意

インポートやエクスポートが完了するまでは電源を切らない

処理が完了するまで数分かかることがあります。処理中に電源を切ると、データが破損したり、本機が故障したりする恐れがあります。

インポート中やエクスポート中は本機の操作をしない

インポートやエクスポートをする前に、本機が印刷やコピーなどの処理中でないことを確認してください。

アドレス帳データを書き出す

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 346)

2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする ▶ リモート UI の画面について(P. 347)

3 [インポート/エクスポート] ▶ [エクスポート] をクリックする

- 暗証番号の入力ページが表示された場合は、[暗証番号] を入力して [OK] をクリックします。▶ アドレス帳の使用を制限する(P. 336)

4 [エクスポート開始] をクリックする

5 画面の指示に従って、アドレス帳を保存する場所を指定する

⇒ アドレス帳が保存されます。



ご注意

処理が終わるまでは操作しない

エクスポート中は画面は変わりません。処理が終了し、ページの下部に「＜ファイル名＞のダウンロードが完了しました」と表示されるまで、他の操作をしないでください。

アドレス帳データを読み込む



アドレス帳の読み込み操作を行うと、本機に現在登録されているアドレス帳が上書きされます。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 346)

2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする リモート UI の画面について(P. 347)

3 [インポート/エクスポート] ▶ [インポート] をクリックする

- 暗証番号の入力ページが表示された場合は、[暗証番号] を入力して [OK] をクリックします。 アドレス帳の使用を制限する(P. 336)

4 インポートするアドレス帳ファイルを選び、[インポート開始] をクリックする

- [参照] をクリックしてアドレス帳ファイルを選びます。

5 [OK] をクリックする

⇒ 選択したアドレス帳のデータが本機に読み込まれます。



関連項目

- リモート UI の画面について(P. 347)
- リモート UI から宛先を登録する(P. 358)
- アドレス帳に宛先を登録する(P. 170)
- アドレス帳リスト（モノクロ 6 行タッチパネル機）(P. 462)

付属のソフトウェアでアドレス帳データを読み込む／書き出す

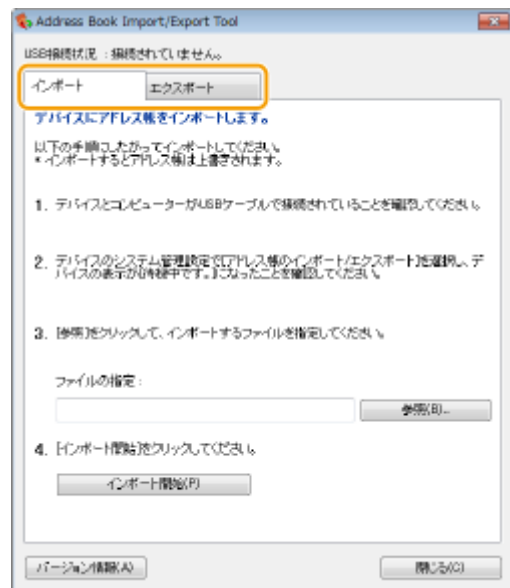
6AAS-075

付属の CD-ROM/DVD-ROM に収められている Address Book Import/Export Tool を使うと、本機に登録されているアドレス帳データをパソコンに書き出す（エクスポート）ことができます。書き出したデータは再読み込み（インポート）できますので、修理やメンテナンスの際に万一アドレス帳が消えてしまっても安心です。



- Address Book Import/Export Tool は本機とパソコンを USB ケーブルで接続して使用します。

- 1 ホーム画面で、＜メニュー＞を選ぶ** ▶ホーム画面(P. 113)
- 2 ＜システム管理設定＞を選ぶ**
 - 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。▶システム管理暗証番号を設定する(P. 304)
- 3 ＜アドレス帳のインポート/エクスポート＞を選ぶ**
- 4 付属の CD-ROM/DVD-ROM をパソコンにセットする**
 - CD-ROM/DVD-ROM のセットアップ画面が表示されたら [終了] をクリックします。
- 5 [スタート] ▶ [コンピューター] ▶ CD-ROM/DVD-ROM アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから [開く] をクリックする**
- 6 [AddressBookTool] フォルダーを開き、[AddressBookTool.exe] をダブルクリックする**
- 7 画面の指示に従って操作する**
 - アドレス帳データを読み込む場合は [インポート] タブをクリックします。
 - アドレス帳データを書き出す場合は [エクスポート] タブをクリックします。



ファームウェアをアップデートする

6AAS-076

ファームウェアの更新は、本機の設置状況に応じて更新方法を選択します。本機からインターネット経由でファームウェアを確認して更新する方法と、ダウンロードしたファームウェアをパソコンから更新する方法があります。無線 LAN 接続でインターネットに接続できない環境の場合は、有線 LAN または USB で接続しなおしてパソコンから更新を行ってください。

本機の設置状況	更新方法
無線 LAN 接続	🔴インターネット経由で更新する(P. 366)
有線 LAN 接続	🔴インターネット経由で更新する(P. 366) 🔴パソコンから更新する(P. 367)
USB 接続	🔴パソコンから更新する(P. 367)



- IPv6 環境ではファームウェア更新を行えません。USB で接続しなおしてパソコンから更新を行ってください。



ファームウェアのバージョンを確認するには

- 操作パネルからファームウェアのバージョンを確認できます。ファームウェアを更新したあとは、正しく更新されたことを確認してください。🔴ファームウェアのバージョンを確認する(P. 367)

インターネット経由で更新する

本機からキヤノンのサーバーにアクセスして最新のファームウェアに更新します。

1 <メニュー>画面を表示する 🔴ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

 を押す

2 <システム管理設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。🔴システム管理暗証番号を設定する(P. 304)

3 <ファームウェア更新>を選ぶ

4 <インターネット経由>を選ぶ

⇒ 最新のファームウェアが存在するかどうかを確認されます。



- <お使いのファームウェアは最新です。>が表示されたときは、ファームウェアを更新する必要はありません。

5 メッセージを確認し、<はい>を選ぶ

6 利用許諾画面が表示されるので、<同意する> (OK) を押す

7 <OK>を選ぶ

⇒ ファームウェアの更新が終わると、本機が自動的に再起動します。



- 再起動が完了するまで本機の電源は切らないでください。

パソコンから更新する

キャノンホームページから最新のファームウェアをダウンロードしたときは、ユーティリティソフトウェア「User Support Tool」を使用してパソコンからファームウェアを更新します。パソコンからのファームウェアの更新方法はファームウェアに同梱されている「User Support Tool 操作ガイド」を参照してください。

本機を更新待機状態にするには



<メニュー> (ⓘ) ▶ <システム管理設定> ▶ <ファームウェア更新> ▶ <PC 経由> ▶ <はい>

ファームウェアのバージョンを確認する

1 <メニュー>画面を表示する ●ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ

モノクロ 5 行 UI 機

ⓘ を押す

2 <システム管理設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。▶システム管理暗証番号を設定する(P. 304)

3 <ファームウェア更新>を選ぶ

4 <バージョン情報>を選ぶ

⇒ 現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

バージョン情報	
Main Controller:	▲
Ver. XX.XX	
Boot ROM:	1/2
Ver. XX.XX	
閉じる ▼	

設定を初期化する

6AAS-077



設定内容を初期化して、お買い上げ時の値に戻すことができます。

- ▶ ECO レポートカウンターを初期化する(P. 369)
- ▶ メニューを初期化する(P. 369)
- ▶ 鍵と証明書の設定を初期化する(P. 369)
- ▶ アドレス帳を初期化する(P. 370)
- ▶ すべてのデータ／設定を初期化する(P. 370)

ECO レポートカウンターを初期化する

ECO レポートカウンターを初期化してお買い上げ時の値に戻すことができます。



<メニュー> () ▶ <システム管理設定> ▶ < ECO レポートカウンターの初期化> ▶ <はい>

メニューを初期化する

各種設定項目（▶ **設定メニュー一覧(P. 372)**）の設定値を初期化して、お買い上げ時の値に戻すことができます。設定項目によっては初期化後に本機を再起動する必要があります。



<メニュー> () ▶ <システム管理設定> ▶ <メニューの初期化> ▶ 初期化する対象を選択 ▶ <はい> ▶ 必要に応じて本機を再起動



- <ネットワーク設定>だけをお買い上げ時の値に戻すことができます。
<メニュー> () ▶ <ネットワーク設定> ▶ <ネットワーク設定の初期化> ▶ <はい> ▶ 本機を再起動

鍵と証明書の設定を初期化する

鍵と証明書の設定と CA 証明書の設定を初期化して、お買い上げ時の値に戻すことができます。初期化すると、登録した鍵と証明書や CA 証明書（プリインストールされている鍵や CA 証明書は除く）が消去されます。



- 初期化すると、鍵と証明書が必要な機能（TLS 暗号化通信など）が使えなくなります。これらの機能を使うには、もう一度鍵と証明書を設定してから機能を有効にしてください。



管理者権限でリモート UI にログインする（[▶ リモート UI を起動する\(P. 346\)](#)）▶ [設定/登録] ▶ [設定情報の初期化] ▶ [鍵と証明書の初期化] ▶ [初期化] ▶ [OK]

アドレス帳を初期化する

アドレス帳の設定を初期化してお買い上げ時の値に戻すことができます。初期化すると登録されている宛先がすべて消去されます。



<メニュー> ▶ <システム管理設定> ▶ <アドレス帳の初期化> ▶ <はい>

すべてのデータ／設定を初期化する

履歴などを含めたデータや設定値をすべてお買い上げ時の状態に戻します。本機の交換や廃棄時に機密データが外部に流失するのを防ぐことができます。初期化が終了すると自動的に再起動します。



- 初期化の前に、処理中や待機中の文書がないか確認してください。初期化を行うとこれらの文書は削除されます。
- 初期化したあとに本機を使用するには、すべての設定を最初からやりなおす必要があります。



<メニュー> () ▶ <システム管理設定> ▶ <全データ/設定の初期化> ▶ <はい> ▶ <はい>



関連項目

- ▶ TLS 用の鍵と証明書を設定する(P. 319)
- ▶ 宛先を登録する(P. 168)
- ▶ リモート UI から宛先を登録する(P. 358)

設定メニュー一覧

設定メニュー一覧	372
<ダイレクト接続>	373
<ネットワーク設定>	374
<レポート出力>	385
<環境設定>	386
<タイマー設定>	391
<共通設定>	395
<コピー設定>	397
<ファクス設定>	400
<スキャン設定>	411
<プリンター設定>	417
<調整/メンテナンス>	419
<システム管理設定>	426

設定メニュー一覧

6AAS-078

お客様の利用状況や環境に合わせて本機をカスタマイズしたいときに設定メニューを使用します。設定を開始するには、メニュー画面を表示します（▶**ホーム画面(P. 113)**）。設定メニューの各項目で何が設定できるのかを説明しています。



MEMO

- ユーザーズガイドには、設定メニューをまとめた PDF も付属しています。併せて参考にしてください。▶**メニールートマップ(P. 580)**



便利な機能

- 現在の設定内容を印刷して確認することができます。▶**設定内容のリストを印刷する(P. 462)**

<ダイレクト接続>

6AAS-079

モノクロ 5 行 UI 機では、モバイル機器と本機でダイレクト接続を行います。▶**ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）（P. 280）**

ダイレクト接続の設定は▶**<ダイレクト接続設定>（P. 376）**で行うことができます。

<ネットワーク設定>

6AAS-07A

ネットワークに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

- ▶<有線/無線 LAN 選択>(P. 374)
- ▶<無線 LAN 設定>(P. 374)
- ▶<ダイレクト接続設定>(P. 376)
- ▶<PC でかんたん接続>(P. 377)
- ▶<TCP/IP 設定>(P. 377)
- ▶<SNMP 設定>(P. 382)
- ▶<専用ポート設定>(P. 383)
- ▶<起動時の接続待機時間>(P. 384)
- ▶<Ethernet ドライバー設定>(P. 384)
- ▶<IEEE 802.1X 設定>(P. 384)
- ▶<ネットワーク設定の初期化>(P. 384)



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

<有線/無線 LAN 選択> *

無線 LAN から有線 LAN に切り替えるときに設定します。逆に有線 LAN から無線 LAN に切り替えるときは、この設定は必要ありません（次の<無線 LAN 設定>で切り替えできます）。▶**有線 LAN か無線 LAN かを選択する(P. 16)**

<有線 LAN >
<無線 LAN >

<無線 LAN 設定> *

本機を無線 LAN に接続するための設定を行います。設定の確認や節電のための設定もできます。

<SSID 設定>

SSID やネットワークキーなどの情報を操作パネルから手動入力して無線 LAN 接続を設定します。

<アクセスポイント選択>

本機と接続可能な無線 LAN ルーターが自動的に探索されますので、一覧から選びます。WEP キーや PSK などのネットワークキーは手動で入力します。▶**無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 25)**

<手動入力>

無線 LAN 接続の設定をすべて手動入力で行います。セキュリティの設定などを詳しく指定したい場合や、他の方法で接続できない場合に選択します。▶**すべて入力して設定する(P. 28)**

●<セキュリティ設定>
 <なし>

< WEP >
 < オープンシステム >
 WEP キー 1 ~ 4
 < 共有キー >
 WEP キー 1 ~ 4
 < WPA/WPA2-PSK >
 < 自動 >
 < AES-CCMP >

< WPS プッシュボタン方式 >

WPS 対応無線 LAN ルーターのボタンを使って無線 LAN 接続を自動設定します。▶ **WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する (プッシュボタン方式) (P. 20)**

< WPS PIN コード方式 >

WPS 対応無線 LAN ルーターに PIN コードを入力して無線 LAN 接続を設定します。▶ **WPS PIN コード方式で設定する (P. 23)**

< AOSS >

AOSS 対応無線 LAN ルーターのボタンを使って無線 LAN 接続を自動設定します。▶ **WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する (プッシュボタン方式) (P. 20)**

< らくらく無線スタート >

らくらく無線スタート対応無線 LAN ルーターのボタンを使って無線 LAN 接続を自動設定します。▶ **WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する (プッシュボタン方式) (P. 20)**

< パワーセーブモード >

無線 LAN ルーターが発する信号に合わせて本機を節電状態にするかどうかを設定します。

< OFF >
 < ON >



< メニュー > () ▶ < ネットワーク設定 > ▶ < 無線 LAN 設定 > ▶ メッセージを確認 ▶ < OK > ▶ < パワーセーブモード > ▶ < OFF > または < ON > を選択

< 無線 LAN 情報 >

現在の無線 LAN についての設定を確認します。▶ **ネットワークの設定を確認する (P. 39)**

< MAC アドレス >
 < 無線 LAN 状態 >
 < 最新のエラー情報 >
 < チャンネル >
 < SSID 設定 >
 < セキュリティ設定 >
 < パワーセーブモード >

＜ダイレクト接続設定＞*

ダイレクト接続をするための設定をします。設定をするとアクセスポイントや無線 LAN ルーターのない環境でも、モバイル機器から無線で直接本機に接続できます。

＜ダイレクト接続を使用＞

ダイレクト接続を使用するかどうかを設定します。▶ **ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）** (P. 280)

＜ OFF ＞
＜ ON ＞

＜ダイレクト接続の自動切断時間＞

ダイレクト接続を開始してから自動的に切断する時間を設定します。

0（自動切断しない）
1～10～60（分）



＜メニュー＞（) ▶ ＜ネットワーク設定＞ ▶ ＜ダイレクト接続設定＞ ▶ ＜ダイレクト接続の自動切断時間＞ ▶ 時間を入力 ▶ ＜確定＞（)

＜アクセスポイントモード設定＞

任意の SSID／ネットワークキーを設定します。モバイル機器を複数台同時にダイレクト接続したいときは、SSID およびネットワークキーを両方とも任意に設定する必要があります。

- ＜任意の SSID を使用＞
＜ OFF ＞
＜ ON ＞
＜ SSID (1～20 文字) ＞
- ＜任意のネットワークキーを使用＞
＜ OFF ＞
＜ ON ＞
＜ ネットワークキー (10 文字) ＞



＜メニュー＞（) ▶ ＜ネットワーク設定＞ ▶ ＜ダイレクト接続設定＞ ▶ ＜アクセスポイントモード設定＞ ▶ ＜任意の SSID を使用＞または＜任意のネットワークキーを使用＞ ▶ ＜ ON ＞ ▶ SSID またはネットワークキーを設定 ▶ ＜確定＞

＜ダイレクト接続時の IP アドレス設定＞

ダイレクト接続用の IP アドレスを設定します。



＜メニュー＞（）▶＜ネットワーク設定＞▶＜ダイレクト接続設定＞▶＜ダイレクト接続時の IP アドレス設定＞▶ IP アドレスを入力▶＜確定＞（）



- ダイレクト接続で使用する IP アドレスと、本機の有線 LAN／無線 LAN の IP アドレスは同じ番号にしないでください。IP アドレスが同じ番号に設定されていると、ダイレクト接続が開始できません。

＜ PC でかんたん接続＞

PC でかんたん接続（ケーブルレスセットアップモード）を開始します。Canon Laser NW Device Setup Utility を使ってパソコンでネットワークの設定を行うことができます。



＜メニュー＞（）▶＜ネットワーク設定＞▶＜ PC でかんたん接続＞▶ 接続開始



- Canon Laser NW Device Setup Utility はキャノンホームページ（<https://global.canon/>）からダウンロードしてください。

＜ TCP/IP 設定＞

IP アドレスの設定など、本機を TCP/IP ネットワークで使用するための設定をします。

＜ IPv4 設定＞

IPv4 を使ったネットワークで本機を使用するための各種設定を行います。

＜ IP アドレス設定＞

TCP/IP ネットワークでパソコンやプリンターなどの通信機器を特定するための IP アドレスを設定します。▶**IPv4 アドレスを設定する(P. 33)**

- ＜自動取得＞
 - ＜プロトコル選択＞
 - ＜ OFF ＞
 - ＜ DHCP ＞
 - ＜ BOOTP ＞
 - ＜ RARP ＞

< Auto IP >

< OFF >

< **ON** >

• < 手動取得 >

< IP アドレス > : 0.0.0.0

< サブネットマスク > : 0.0.0.0

< ゲートウェイアドレス > : 0.0.0.0

• < 設定確認 >

< 自動取得 > *

< IP アドレス >

< サブネットマスク >

< ゲートウェイアドレス >

< PING コマンド >

本機とパソコンがネットワーク上で接続されているかどうかを確認します。  **接続テストをする(P. 34)**

< DNS 設定 >

ホスト名を IP アドレスに変換する Domain Name System (DNS) の設定をします。  **DNS の設定をする(P. 58)**

• < DNS サーバー設定 >

< プライマリー DNS サーバー > : 0.0.0.0

< セカンダリー DNS サーバー > : 0.0.0.0

• < DNS ホスト名/ドメイン名設定 >

< ホスト名 >

< ドメイン名 >

• < DNS の動的更新設定 >

< **OFF** >

< ON >

< DNS の動的更新間隔 >

0 ~ **24** ~ 48 (時間)

< mDNS 設定 >

DNS サーバーがない環境で DNS の機能を使うための設定をします。

• < OFF >

• < **ON** >

< mDNS 名 >

< DHCP オプション設定 >

DHCP が有効な場合に、DHCP オプション機能を使ってホスト名の取得や動的更新をするかどうかを設定します。

 **DNS の設定をする(P. 58)**

• < ホスト名の取得 >

< OFF >

< ON >

• < DNS の動的更新 >

< OFF >

< ON >

• < SMTP サーバーアドレスの取得 > *

< OFF >

< ON >

• < POP サーバーアドレスの取得 > *

< OFF >

< ON >

< IPv6 設定 >

IPv6 を導入したネットワークで本機を使用するための各種設定を行います。  **IPv6 アドレスを設定する(P. 36)**

< IPv6 を使用 >

本機で IPv6 を使用するかどうかを選びます。

• < OFF >

• < ON >

• < 設定確認 >

< リンクローカルアドレス >

< プレフィックス長 >

< ステートレスアドレス設定 >

ステートレスアドレスを使用するかどうかを設定します。

• < OFF >

• < ON >

• < 設定確認 >

< ステートレスアドレス >

< プレフィックス長 >

< DHCPv6 を使用 >

DHCPv6 から取得するステートフルアドレスを使用するかどうかを設定します。

• < OFF >

• < ON >

• < 設定確認 >

< ステートフルアドレス >

< プレフィックス長 >

< DNS 設定 >

ホスト名を IP アドレスに変換する Domain Name System (DNS) の設定をします。▶DNS の設定をする(P. 58)

- < DNS ホスト名/ドメイン名設定 >
 - < IPv4 と同ホスト/ドメイン使用 >
 - < OFF >
 - < ホスト名 >
 - < ドメイン名 >
 - < ON >
- < DNS の動的更新設定 >
 - < OFF >
 - < ON >
 - < 手動アドレスの登録 >
 - < OFF >
 - < ON >
 - < ステータスアドレスの登録 >
 - < OFF >
 - < ON >
 - < ステータスアドレスの登録 >
 - < OFF >
 - < ON >
 - < DNS の動的更新間隔 >
 0 ~ **24** ~ 48 (時間)

< mDNS 設定 >

DNS サーバーがない環境で DNS の機能を使うための設定をします。

- < OFF >
- < ON >
 - < IPv4 と同じ mDNS 名を使用 >
 - < OFF >
 - < mDNS 名 >
 - < ON >

< LPD 印刷の設定 >

ハードウェアや OS などのプラットフォームに依存しない印刷プロトコルである LPD を使用するかどうかを設定します。▶印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 43)

- < OFF >
- < ON >

< RAW 印刷の設定 >

Windows 独自の印刷データ形式である RAW を使用するかどうかを設定します。▶**印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 43)**

< OFF >
< ON >

< WSD の設定 >

WSD プロトコルを使ってプリンターの自動検索や情報取得をするかどうかを設定します。▶**印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 43)**

- < WSD 印刷の設定 >
 - < WSD 印刷を使用 >
 - < OFF >
 - < ON >
 - < WSD 参照を使用 >
 - < OFF >
 - < ON >
- < WSD スキャンの設定 >
 - < WSD スキャンを使用 >
 - < OFF >
 - < ON >
 - < PC スキャンを使用 >
 - < OFF >
 - < ON >
- < マルチキャスト探索を使用 >
 - < OFF >
 - < ON >

< HTTP を使用 >

HTTP を使用するかどうかを設定します。HTTP はリモート UI や WSD 印刷、Google Cloud Print での印刷などでパソコンやサーバーとの通信をするときに必要です。▶**HTTP 通信を無効にする(P. 343)**

< OFF >
< ON >

< ポート番号設定 >

お使いの環境に応じて、各種プロトコルのポート番号を変更します。▶**ポート番号を変更する(P. 316)**

- < LPD >
 - 1 ~ **515** ~ 65535
- < RAW >
 - 1 ~ **9100** ~ 65535
- < WSD マルチキャスト探索 >

1 ～ **3702** ～ 65535

- < HTTP >

1 ～ **80** ～ 65535

- < POP3 >*

1 ～ **110** ～ 65535

- < SMTP >*

1 ～ **25** ～ 65535

- < SNMP >

1 ～ **161** ～ 65535

< MTU サイズ >

本機が受信するパケットの最大サイズを設定します。▶送信パケットの最大サイズを変更する(P. 56)

< 1300 >

< 1400 >

< **1500** >

< SNMP 設定 >

SNMP 対応ソフトウェアで本機を監視／制御するための設定をします。▶SNMP で監視／制御する(P. 64)

< SNMPv1 設定 >

SNMPv1 を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、所属するコミュニティ名および管理情報ベース (MIB) へのアクセス権限を設定します。

- < OFF >

- < **ON** >

< コミュニティ名 1 設定 >

< OFF >

< **ON** >

< コミュニティ名 >

< MIB アクセス権限 >

< コミュニティ名 2 設定 >

< **OFF** >

< ON >

< コミュニティ名 >

< MIB アクセス権限 >

< 専用コミュニティ設定 >

< OFF >

< **ON** >



<メニュー> () ▶ <ネットワーク設定> ▶ <SNMP 設定> ▶ <SNMPv1 設定> ▶ <SNMPv1 設定> ▶ < OFF > または < ON > を選択 ▶ < ON > を選択したときは設定を行う

< SNMPv3 設定 >

SNMPv3 を使用するかどうかを設定します。SNMPv3 を使用するときには適用される詳細な設定はリモート UI から行う必要があります。

< OFF >

< ON >



<メニュー> () ▶ <ネットワーク設定> ▶ <SNMP 設定> ▶ <SNMPv3 設定> ▶ < OFF > または < ON > を選択

< ホストからプリンター管理情報を取得 >

SNMP 対応ソフトウェアがネットワークを介して本機のプリンター管理情報を監視できるようにするかどうかを設定します。

< OFF >

< ON >



<メニュー> () ▶ <ネットワーク設定> ▶ <SNMP 設定> ▶ <ホストからプリンター管理情報を取得> ▶ < OFF > または < ON > を選択

< 専用ポート設定 >

専用ポートを使用するかどうかを設定します。専用ポートは、ネットワーク接続時にパソコンからの印刷や、本機の設定／参照などをする際に使用します。

< OFF >

< ON >



<メニュー> () ▶ <ネットワーク設定> ▶ <専用ポート設定> ▶ < OFF > または < ON > を選択

＜起動時の接続待機時間＞

通信開始までの待ち時間を設定します。本機を接続したネットワーク環境に合わせて設定してください。🔴**ネットワーク接続時の待機時間を設定する(P. 57)**

0 ～ 300 (秒)

＜ Ethernet ドライバー設定＞

イーサネットの通信方式（半二重／全二重）や種類（10BASE-T/100BASE-TX）を設定したり、MAC アドレスを表示したりします。

＜自動検出＞

通信方式と種類を自動検出するかどうかを設定します。🔴**Ethernet の設定をする(P. 54)**

- < OFF >
 - < 通信方式 >
 - < 半二重 >
 - < 全二重 >
 - < Ethernet の種類 >
 - < 10BASE-T >
 - < 100BASE-TX >
- < ON >

＜ MAC アドレス＞

通信機器固有の番号である MAC アドレスを確認します。🔴**有線 LAN の MAC アドレスを確認する(P. 39)**

＜ IEEE 802.1X 設定＞

IEEE 802.1X 認証を使用するかどうかを設定します。🔴**IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 329)**

< OFF >
< ON >

＜ネットワーク設定の初期化＞

ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。🔴**＜メニューの初期化＞(P. 432)**

<レポート出力>

6AAS-07C

本機の設定項目の設定内容などをレポートやリストとして印刷して確認することができます。▶**レポートやリストを印刷する(P. 460)**

<環境設定>

6AAS-07E

ディスプレイの表示に関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

●<音量設定>(P. 386)

●<表示設定>(P. 387)



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

<音量設定> *

キーを押したときの確認音や紙づまりが起きたときのエラー音など、各種音量を調整します。●音を設定する(P. 163)

<通信音>

ファクス送信中に発する通信音を鳴らすかどうかを選びます。音量も調整できます。

5 段階

<送信終了音>

ファクス送信終了音を鳴らすかどうかを選びます。音量も調整できます。

- 6 段階
- <エラー時のみ>
 - < OFF >
 - < ON >

<受信終了音>

ファクス受信終了音を鳴らすかどうかを選びます。音量も調整できます。

- 6 段階
- <エラー時のみ>
 - < OFF >
 - < ON >

<読取終了音>

ファクス原稿読み取り終了音を鳴らすかどうかを選びます。音量も調整できます。

- 6 段階
- <エラー時のみ>

< OFF >

< ON >

<入力音>

操作パネルのキー入力音を鳴らすかどうかを選びます。

< OFF >

< ON >

<入力無効音>

設定範囲外の数値を入力したときなど、無効なキー操作を行ったときに発する音を鳴らすかどうかを選びます。

< OFF >

< ON >

<警告音>

紙づまりや誤操作など、トラブルを知らせる音を鳴らすかどうかを選びます。

< OFF >

< ON >

<ジョブ終了音>

コピーやスキャンなどの終了音を鳴らすかどうかを選びます。

< OFF >

< ON >

<節電移行音>

節電状態に移行したときや、節電状態から復帰したときに、通知音を鳴らすかどうかを選びます。

< OFF >

< ON >

<フィーダー原稿検知音>

フィーダーに原稿をセットしたときに音を鳴らすかどうかを選びます。

< OFF >

< ON >

<表示設定>

<起動/復帰後に表示する画面> *

電源を入れた直後やオートクリアからの復帰直後はホーム画面が表示されます（お買い上げ時の設定）。これを他の機能の画面に変更したいときに設定します。

<ホーム>

<コピー>

<ファクス>

<スキャン>



<メニュー> ▶ <環境設定> ▶ <表示設定> ▶ <起動/復帰後に表示する画面> ▶ 表示する画面を選択

<ホーム画面のボタン表示設定> *

ホーム画面のボタンの表示順を変更することができます。▶ [ホーム画面をカスタマイズする\(P. 160\)](#)

<画面コントラスト>

設置場所に応じて、ディスプレイのコントラスト（明暗の差）を調整します。

5 段階



<メニュー> () ▶ <環境設定> ▶ <表示設定> ▶ <画面コントラスト> ▶ コントラストを調整

▶ <確定> ()

<画面色反転>

< ON > に設定すると、画面の明暗が反転して表示されます。<画面コントラスト> で明るさを調整しても表示が見づらいたときに< ON > に設定してください。

< OFF >

< ON >



<メニュー> () ▶ <環境設定> ▶ <表示設定> ▶ <画面色反転> ▶ < OFF > または < ON > を選択

< mm/インチ入力の切替>

長さの単位を選びます。

< mm >

< インチ >



<メニュー> () ▶ <環境設定> ▶ <表示設定> ▶ < mm/インチ入力の切替> ▶ < mm > または < インチ > を選択

<用紙設定の確認表示>

給紙カセットまたは手差し給紙口に用紙をセットしたときに、用紙設定の確認を促すメッセージを表示するかどうかを設定します。

< OFF >
< ON >



<メニュー> () ▶ <環境設定> ▶ <表示設定> ▶ <用紙設定の確認表示> ▶ < ON > または < OFF > を選択

<原稿読み取り部の清掃表示> *

原稿読み取り部で汚れを検出したときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。

< OFF >
< ON >



<メニュー> () ▶ <環境設定> ▶ <表示設定> ▶ <原稿読み取り部の清掃表示> ▶ < OFF > または < ON > を選択

<メッセージ表示時間>

2 種類のメッセージが交互に表示されるとき、何秒ごとに切り替わるかを設定します。

1 ～ 2 ～ 5 (秒)



<メニュー> () ▶ <環境設定> ▶ <表示設定> ▶ <メッセージ表示時間> ▶ 表示時間を入力 ▶ < 確定 > ()

<スクロール文字速度>

画面のスクロール速度を 3 種類の中から選びます。

<遅い>
<標準>
<速い>



<メニュー> () ▶ <環境設定> ▶ <表示設定> ▶ <スクロール文字速度> ▶ 速度を選択

<入力画面のカーソル移動>

文字入力時のカーソル移動について設定します。＜自動＞に設定すると、文字入力後に自動で次の入力欄にカーソルが移動します。＜手動＞に設定した場合は、＜＞でカーソルを移動させてください。

＜自動＞

＜手動＞



＜メニュー＞（）▶＜環境設定＞▶＜表示設定＞▶＜入力画面のカーソル移動＞▶＜自動＞または＜手動＞を選択

<表示言語の切替>

操作パネルの画面やレポートに表示される言語を切り替えるときに設定します。

＜ Chinese (Simplified)＞
 ＜ Chinese (Traditional)＞
 ＜ English ＞
 ＜ French ＞
 ＜ German ＞
 ＜ Italian ＞
＜ Japanese ＞
 ＜ Korean ＞
 ＜ Spanish ＞



＜メニュー＞（）▶＜環境設定＞▶＜表示設定＞▶＜表示言語の切替＞▶言語を選択

<リモート UI 表示言語の切替>

リモート UI の表示言語を切り替えるときに設定します。

＜ Chinese (Simplified)＞
 ＜ Chinese (Traditional)＞
 ＜ English ＞
 ＜ French ＞
 ＜ German ＞
 ＜ Italian ＞
＜ Japanese ＞
 ＜ Korean ＞
 ＜ Spanish ＞



＜メニュー＞（）▶＜環境設定＞▶＜表示設定＞▶＜リモート UI 表示言語の切替＞▶言語を選択

<タイマー設定>

時間に関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

- <静音モード移行時間>(P. 391)
- <日付/時刻の設定>(P. 391)
- <オートスリープ移行時間>(P. 392)
- <オートクリア移行時間>(P. 392)
- <オートクリア後の機能>(P. 393)
- <自動オフライン移行時間>(P. 393)

<静音モード移行時間>

本機をより静かに使いたい場合、稼働音を抑えることができます（静音モード）。時刻を設定しておくとも自動的に静音モードに切り替わります。常に静音モードにしておくこともできます。●**静音モードにする(P. 164)**

- <入タイマー>
 < OFF >
 < ON >
 静音モード開始時刻設定
- <切タイマー>
 < OFF >
 < ON >
 静音モード終了時刻設定

<日付/時刻の設定>

年月日の表示順や現在時刻の表示形式など、日付と時刻に関する項目を設定します。

<日付の形式>

年月日の表示順序を設定します。

<年 月/日>
 <月/日/年>
 <日/月 年>



<メニュー> () ▶ <タイマー設定> ▶ <日付/時刻の設定> ▶ <日付の形式> ▶ 形式を選択

<時刻の形式>

時刻の表示形式を設定します。

< 12 時間表示(AM/PM)>
 < 24 時間表示>



<メニュー> () ▶ <タイマー設定> ▶ <日付/時刻の設定> ▶ <時刻の形式> ▶ 形式を選択

<現在日時の設定>

現在の日付と時刻を設定します。▶ **日付／時刻を設定する(P. 12)**



- ここでの設定を行う前に、まず次の<タイムゾーン>を設定してください。<タイムゾーン>をあとで設定すると、ここでの設定は自動的に変更されてしまいます。

<タイムゾーン>

タイムゾーンを設定します。初期値は、初めて本機に電源を入れたときの設定によって異なります。タイムゾーンを変更すると、それに合わせて<現在日時の設定>で設定した値も自動的に変更されます。▶ **日付／時刻を設定する(P. 12)**

<(UTC-12:00) 国際日付変更線 西側>～<(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京>～<(UTC+14:00) クリスマス島>



UTC

- UTC とは世界各地の基準となる協定世界時のことで、日本は UTC との間に + 9 時間の時差があります。インターネットを介した通信では、正しく設定することが前提となっています。

<オートスリープ移行時間>

キー操作もなく、ファクスの送受信などもない状態が一定時間続くと、自動的に節電状態（オートスリープ）になります。オートスリープになるまでの時間を指定します。なお、メニュー画面が表示されているときは、オートスリープになりません。お買い上げ時の設定でお使いになることをおすすめします。▶ **スリープモードにする(P. 166)**

1 ～ 30 (分)

<オートクリア移行時間>

一定時間キー操作をしないと、その時点の設定は初期値に戻ります（オートクリア）。オートクリアされるまでの時間を指定します。なお、以下の場合にはオートクリアされません。

- メニュー画面が表示されているとき
- 文書の出力など、何らかの動きが進行中のとき
- 画面にエラーメッセージが表示され、エラーランプが点滅しているとき（ただし、エラーでも続行可能な機能の場合にはオートクリアされます。）

0（オートクリアしない）
1～2～9（分）



<メニュー> () ▶ <タイマー設定> ▶ <オートクリア移行時間> ▶ 時間を指定 ▶ <確定> ()

<オートクリア後の機能>

オートクリア直後に表示される画面について設定します。モノクロ6行タッチパネル機では、<復帰する>に設定すると、<起動/復帰後に表示する画面>で設定した機能の画面が表示されます（ <起動/復帰後に表示する画面> (P. 387) ）。モノクロ5行UI機では、<復帰する>に設定すると、コピーの基本画面が表示されます。<復帰しない>に設定すると、オートクリア直前に使用していた機能の画面が表示されます。

<復帰する>
<復帰しない>



<メニュー> () ▶ <タイマー設定> ▶ <オートクリア後の機能> ▶ <復帰する>または<復帰しない>を選択

<自動オフライン移行時間>

以下の画面が表示されているときに（オンラインでスキャン待機中）一定時間キー操作がないと、スキャン待機状態が解除されて自動的にオフラインとなります。オフラインになるまでの時間を設定できます。オフラインにならないように設定することもできます。

リモートスキャナー
待機中です。
(オンライン)
保存先の機器から
スキャンを実行して
ください。

0（オフラインに移行しない）
1～5～60（分）



<共通設定>

6AAS-07H

給紙方法に関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

<給紙方法切替>

ロゴマーク付きの用紙に印刷するときに設定します。通常、ロゴマーク付きの用紙を印刷するときは、片面印刷と両面印刷でセットする用紙のオモテ／ウラを変更しなければなりません。＜プリント面優先＞に設定すれば、片面印刷時のセット面を両面印刷と同じ（ロゴのある面をウラ）にセットするだけで済みます。詳細については、**▶ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 149)** を参照してください。

- <手差し>
 - ＜速度優先＞
 - ＜プリント面優先＞
- <カセット 1>
 - ＜速度優先＞
 - ＜プリント面優先＞



<メニュー> () ▶ <共通設定> ▶ <給紙方法切替> ▶ 給紙部を選択 ▶ <速度優先> または <プリント面優先> を選択



a 給紙部の選択

設定変更の対象となる給紙部を選びます。

b <速度優先>

ロゴマークなどが印刷されている用紙を使うときは、片面印刷と両面印刷でセットする用紙の面を変更する必要があります。



オモテ・ウラ面を考慮する必要のない用紙に印刷する場合は、＜速度優先＞に設定しておくことをおすすめします。

c <プリント面優先>

片面印刷と両面印刷でセットする用紙の面を変更する必要がありません。



- 両面印刷できないサイズや種類の用紙（**●用紙について(P. 552)**）をセットしている給紙部に対して＜プリント面優先＞を設定しても無効となり、＜速度優先＞の動作となります。この場合、用紙は＜速度優先＞の向きでセットしてください（**●ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 149)**）。
- ＜プリント面優先＞に設定すると、片面印刷の速度が遅くなります。

<コピー設定>

6AAS-07J

コピーに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

- ▶<デフォルト設定の変更>(P. 397)
- ▶<濃度補正>(P. 398)
- ▶<デフォルト設定の初期化>(P. 399)



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

<デフォルト設定の変更>

コピーに関する設定の初期値を変更できます。ここで行った設定がコピー機能の基本設定値となります。▶**機能の初期値を変更する(P. 162)**

- <部数>
1 ~ 999
- <濃度>
9 段階
 <自動濃度>
- <原稿の種類>
 <文字>
 <文字/写真(高速コピー)>
 <文字/写真>
 <写真>
- <両面>
 < OFF >
 <片面->両面>
 <両面->両面>*
 <両面->片面>*
 <開き方設定>
- <倍率>
 <任意の倍率>
 < 100% 等倍>
 < 400% 最大>

< 200% >

< 141% A5->A4 >

< 122% A5->B5 >

< 115% B5->A4 >

< 86% A4->B5 >

< 81% B5->A5 >

< 70% A4->A5 >

< 50% >

< 25% 最小 >

• < ページ集約 >

< **OFF** >

< 2 in 1 >

< 4 in 1 >

< ID カードコピー >

< レイアウト設定 >

• < パスポートコピー >

< **OFF** >

< 2 in 1 (両面) >

< 4 in 1 (両面) >

< 2 in 1 >

< 4 in 1 >

• < ソート >

< **OFF** >

< ON >

• < シャープネス >

7 段階

< 濃度補正 >

コピー濃度の初期値を設定します。一時的にコピー濃度を変更することもできます。▶ **コピーの基本操作(P. 180)**

9 段階



< メニュー > () ▶ < コピー設定 > ▶ < 濃度補正 > ▶ 濃度を調整 ▶ < 確定 > ()

<デフォルト設定の初期化>

コピーに関する設定の初期値をお買い上げ時の状態に戻します。



<メニュー> () ▶ <コピー設定> ▶ <デフォルト設定の初期化> ▶ <はい>

<ファクス設定>

6AAS-07K

ファクスに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

- ▶<基本設定>(P. 400)
- ▶<送信機能設定>(P. 402)
- ▶<受信機能設定>(P. 406)
- ▶<受信プリント設定>(P. 408)
- ▶<転送設定>(P. 410)
- ▶<ファクス設定ナビ>(P. 410)



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

<基本設定>

ファクスを使うための基本的な設定値を変更、登録できます。

<ユーザー電話番号の登録>

本機のファクス番号を登録します。▶**ファクス番号とユーザー略称を登録する(P. 73)**

<回線種類の選択>

お使いになる電話回線の種類を設定します。▶**電話回線に接続する(P. 75)**

●<自動>

●<手動>

<ダイヤル 20 PPS >

<ダイヤル 10 PPS >

<ブッシュ>

<公衆回線接続>

ファクスの受信モードが<FAX/TEL 切替>のとき、外付け電話機から呼び出し音が鳴らなかったり、電話がかけられないことがあります。この場合は、<アダプター接続 1 >または<アダプター接続 2 >に設定してください。

<直接接続>

<アダプター接続 1 >

<アダプター接続 2 >



<メニュー> ▶ <ファクス設定> ▶ <基本設定> ▶ <公衆回線接続> ▶ 接続方法を選択

<オフフックアラーム>

電話機の手話器またはオプションの手話器が外れたままになっているときに警告音を鳴らすかどうかを設定します。警告音の音量も調整できます。

6 段階



<メニュー> ▶ <ファクス設定> ▶ <基本設定> ▶ <オフフックアラーム> ▶ 警告音の音量を調整
▶ <確定>

<通信管理設定>

電話回線の状態が悪いときなど、送信または受信が始まるまでに時間がかかる場合に、通信開始速度を「33600 bps」から順に下げて調整します。

• <送信スタートスピード>

< 33600 bps >

< 14400 bps >

< 9600 bps >

< 7200 bps >

< 4800 bps >

< 2400 bps >

• <受信スタートスピード>

< 33600 bps >

< 14400 bps >

< 9600 bps >

< 7200 bps >

< 4800 bps >

< 2400 bps >



<メニュー> ▶ <ファクス設定> ▶ <基本設定> ▶ <通信管理設定> ▶ <送信スタートスピード> または <受信スタートスピード> を選択 ▶ 通信開始速度を選択

<VoIP 通信エラーの低減設定>

エラーが発生しやすい相手や回線で、より確実にファクスを送受信したい場合に通信エラーを低減させることができます。

< OFF >

< ON >



<メニュー> ▶ <ファクス設定> ▶ <基本設定> ▶ <VoIP 通信エラーの低減設定> ▶ <OFF> または <ON> を選択



MEMO

- この機能を<ON>に設定すると、通信スピードが遅くなります。

<送信機能設定>

ファクス送信時の設定を変更、登録できます。

<デフォルト設定の変更>

ファクス送信に関する設定の初期値を変更できます。ここで行った設定が原稿を読み込むときの基本設定値となります。▶機能の初期値を変更する(P. 162)

- <解像度>
 - < 200 x 100 dpi (ノーマル)>
 - < 200 x 200 dpi (ファイン)>
 - < 200 x 200 dpi (フォト)>
 - < 200 x 400 dpi (スーパーファイン)>
- <濃度>
 - 9 段階
- <両面原稿> *
 - < OFF >
 - <左右開き>
 - <上下開き>
- <シャープネス>
 - 7 段階

<ユーザー略称の登録>

会社名や個人名を登録します。▶ファクス番号とユーザー略称を登録する(P. 73)

登録した名称は発信元情報として送信先に通知されます。▶<発信元記録>(P. 404)



<メニュー> ▶ <ファクス設定> ▶ <送信機能設定> ▶ <ユーザー略称の登録> ▶ 会社名や個人名の登録 ▶ <確定>

< ECM 送信 >

ECM とは Error Correction Mode（エラー訂正モード）の略で、送信中の画像にエラーが発生しても、乱れた画像をそのまま送信しないようエラーチェックと修正を行います。受信時のエラーを軽減したい場合は **▶ < ECM 受信 >** (P. 406) を参照してください。

< OFF >
< ON >



- 送信側と受信側でエラーチェックを行いながら通信するため、本機だけでなく相手機側でも ECM 機能が有効になっている必要があります。
- ECM 送信時でも、電話回線の状態によってはエラーが発生することがあります。
- エラーチェックと修正を行いながら通信するため、通常よりも通信時間がかかることがあります。



<メニュー> ▶ <ファクス設定> ▶ <送信機能設定> ▶ <ECM 送信> ▶ <OFF> または <ON> を選択

< ポーズ時間セット >

たとえば、「0 → ポーズ → 電話番号」の順番で登録されている番号に電話をかけると、0 がダイヤルされてから数秒経過したのち電話番号がダイヤルされます。海外にファクスを送信する場合は「国際アクセス番号 → 国番号 → エリア番号 → ファクス番号」という順番で宛先を指定しますが、ポーズを入れずそのままダイヤルすると番号が正しく認識されないことがあります。この場合は、国際アクセス番号やファクス番号のあとにポーズを入れます。ポーズを入れてもなお正しく認識されないときはポーズの時間を変更してください。ポーズの入力方法については、**▶ ファクス送信の基本操作 (P. 203)** の手順 4 を参照してください。

1 ～ 2 ～ 15（秒）



<メニュー> ▶ <ファクス設定> ▶ <送信機能設定> ▶ <ポーズ時間セット> ▶ ポーズ時間を設定
▶ <確定>

< 自動リダイヤル >

相手が話し中などで文書を送信できなかった場合、数分後に再度ダイヤルし（リダイヤル）、送信を試みる機能です。リダイヤルする回数やリダイヤルするまでの時間間隔を設定できます。

- < OFF >
- < ON >
 - <リダイヤル回数>
 - 1 ～ 2 ～ 15（回）
 - <リダイヤル間隔>

2 ～ 99 (分)

<送信エラー時リダイヤル>

< OFF >

< ON >



<メニュー> ▶ <ファクス設定> ▶ <送信機能設定> ▶ <自動リダイヤル> ▶ < ON > ▶ 各設定項目を指定 ▶ <確定>

自動リダイヤル	
リダイヤル回数 :	2
リダイヤル間隔 :	2
送信エラー時リダイヤル :	ON
確定	

<リダイヤル回数>

リダイヤルする回数を設定します。数値を入力して、<確定>を選びます。

<リダイヤル間隔>

リダイヤルするまでの時間の間隔を設定します。数値を入力して、<確定>を選びます。

<送信エラー時リダイヤル>

< ON >に設定すると、送信エラーが発生したときにリダイヤルされます。

<発信元記録>

本機のファクス番号や名称などの情報（発信元情報）を、文書の上部に付けて送信できます。これらの情報を見れば、誰から送信されてきたかがわかります。

• <つけない>

• <つける>

<印字位置>

<画像の内側>

<画像の外側>

<電話番号マーク>

< FAX >

< TEL >

発信元記録	
印字位置 :	画像の外側
電話番号マーク :	FAX
確定	

<印字位置>

発信元情報を付ける位置を指定します。送信する文書の画像の内側に付ける場合は＜画像の内側＞、外側に付ける場合は＜画像の外側＞を選びます。

＜電話番号マーク＞

本機に登録したファクス番号（**▶ファクス番号とユーザー略称を登録する(P. 73)**）の前に「FAX」または「TEL」のマークを付けることができます。相手先に通知される番号が電話番号であることを知らせたい場合は、＜TEL＞を選びます。

＜送信前のダイヤルトーン確認＞

ファクスを送信するときに発信音を確認してからダイヤルするかどうかを設定します。

＜OFF＞
＜ON＞



＜メニュー＞▶＜ファクス設定＞▶＜送信機能設定＞▶＜送信前のダイヤルトーン確認＞▶＜OFF＞
または＜ON＞を選択

＜ファクスドライバーからの送信を許可＞

パソコンからファクス送信（PC ファクス送信）できるようにするかどうかを設定します。**▶パソコンからのファクス送信を制限する(P. 340)**

＜OFF＞
＜ON＞

＜ファクス番号入力時の確認入力＞

ファクスの宛先をテンキーで入力する際に、確認のため再入力を促すかどうかを設定します。**▶送信前にファクス番号を確認する(P. 340)**

＜OFF＞
＜ON＞

＜同報送信の制限＞

複数の宛先へファクス送信する機能（同報送信）を制限するかどうかを設定します。**▶同報送信を制限する(P. 340)**

＜OFF＞
＜同報送信の確認＞
＜同報送信不可＞

＜デフォルト設定の初期化＞

ファクス送信に関する設定の初期値をお買い上げ時の状態に戻します。



＜メニュー＞▶＜ファクス設定＞▶＜送信機能設定＞▶＜デフォルト設定の初期化＞▶＜はい＞

<受信機能設定>

ファクス受信時の設定を変更、登録できます。

< ECM 受信 >

ECM とは Error Correction Mode（エラー訂正モード）の略で、受信中の画像にエラーが発生しても、乱れた画像をそのまま受信しないようエラーチェックと修正を行います。送信時のエラーを軽減したい場合は  < ECM 送信 > (P. 403) を参照してください。

< OFF >
< ON >



- 送信側と受信側でエラーチェックを行いながら通信するため、本機だけでなく相手機側でも ECM 機能が有効になっている必要があります。
- ECM 受信時でも、電話回線の状態によってはエラーが発生することがあります。
- エラーチェックと修正を行いながら通信するため、通常よりも通信時間がかかることがあります。



<メニュー> ▶ <ファクス設定> ▶ <受信機能設定> ▶ < ECM 受信 > ▶ < OFF > または < ON > を選択

<着信呼出>

ファクスの受信モードが<自動受信>または<FAX/TEL 切替>のときに使える機能で、ファクスの着信時に呼び出し音を鳴らして通知させることができます。呼び出し音の回数は変更できます。また、呼び出し音を鳴らさないようにすることもできます。

- < OFF >
- < ON >
1 ~ 2 ~ 99 (回)



- < ON > に設定したときは、本機に電話機またはオプションのハンドセットを接続しておく必要があります。
- < OFF > に設定すると、スリープモードにはなりません。



＜メニュー＞▶＜ファクス設定＞▶＜受信機能設定＞▶＜着信呼出＞▶＜ON＞▶呼び出し音の回数を指定▶＜確定＞

＜リモート受信＞

本機に接続した電話機からの操作だけで、ファクスを受信できます（リモート受信）。呼び出し音が鳴って受話器を取り、相手がファクスだったら、ファクス受信用の ID 番号をダイヤルするだけで受信できます。わざわざ本機まで足を運ぶことなく、離れた場所から受信操作できます。リモート受信の使いかたについては、**電話機のダイヤル操作でファクスを受信する（リモート受信）（P. 214）**を参照してください。

- ＜OFF＞
- ＜ON＞
00 ～ 25 ～ 99



＜メニュー＞▶＜ファクス設定＞▶＜受信機能設定＞▶＜リモート受信＞▶＜ON＞▶ファクス受信用の ID 番号を指定▶＜確定＞

＜自動受信切替＞

ファクスの受信モードが＜手動受信＞のとき着信があると呼び出し音が鳴りますが、そのあと一定時間経過すると自動受信に切り替わるように設定することができます。呼び出し音に気付かず受話器を取らなかった場合でも、相手がファクスであれば逃さず受信できます。

- ＜OFF＞
- ＜ON＞
1 ～ 15 ～ 99（秒）



＜メニュー＞▶＜ファクス設定＞▶＜受信機能設定＞▶＜自動受信切替＞▶＜ON＞▶呼び出し時間を指定▶＜確定＞

＜メモリー受信設定＞

受信したファクス文書をすぐに印刷しないでメモリーにいったん保存するかどうかを設定します。保存された文書は、設定を＜OFF＞にすればいつでも好きなときに印刷できます。**受信した文書をいったん本機に保存する（メモリー受信）（P. 222）**

- ＜OFF＞
- ＜ON＞
＜レポートプリント＞
＜OFF＞

< ON >

<メモリ受信時刻設定>

<指定しない>

<指定する>

<メモリー受信開始時刻>

<メモリー受信終了時刻>



<メニュー> ▶ <ファクス設定> ▶ <受信機能設定> ▶ <メモリー受信設定> ▶ < ON > ▶ 各設定項目を指定 ▶ <確定>

<受信プリント設定>

受信した文書の印刷方法を指定できます。

<両面記録>

受信した文書を用紙の両面に印刷できます。

< OFF >

< ON >



<メニュー> ▶ <ファクス設定> ▶ <受信プリント設定> ▶ <両面記録> ▶ < ON >

<画像縮小>

受信した文書の画像を、セットしてある用紙のサイズに合わせて自動的に縮小したり、あらかじめ指定した倍率で縮小したりすることができます。

• < OFF >

• < ON >

<縮小率>

<自動>

< 97%>

< 95%>

< 90%>

< 75%>

<縮小方向>

<縦横>

<縦のみ>



<メニュー> ▶ <ファクス設定> ▶ <受信プリント設定> ▶ <画像縮小> ▶ <ON> ▶ 各設定項目を指定 ▶ <確定>

画像縮小

縮小率：自動

縮小方向：縦のみ

確定

<縮小率>

<自動>を選ぶとセットされている用紙サイズから縮小率を自動的に計算して画像を縮小します。<97%>、<95%>、<90%>、<75%>を選ぶと受信する文書の画像はすべて指定した倍率で縮小されます。

<縮小方向>

<縦横>を選ぶと画像を縦と横の両方向に縮小します。<縦のみ>を選ぶと画像を縦方向にだけ縮小します。

<受信情報記録>

受信日時やページ番号などの情報を、受信した文書の下部に付けて印刷できます。

<つけない>

<つける>



<メニュー> ▶ <ファクス設定> ▶ <受信プリント設定> ▶ <受信情報記録> ▶ <つける>

<カートリッジ寿命間近時の印字継続>

トナーカートリッジ残量が少ない状態でファクスを受信した場合、受信文書は印刷されずにメモリーに保存されますが、この機能を有効にすると、残量が少なくなってもとりあえず印刷を継続することができます。

<しない>

<する>



この機能を有効にすると印字が薄くなったりかすれたりすることがあります。受信した文書はメモリーに保存されませんので、万一判読不能の場合は、相手に再度送信してもらう必要があります。



<メニュー> ▶ <ファクス設定> ▶ <受信プリント設定> ▶ <カートリッジ寿命間近時の印字継続> ▶ <する>

<転送設定> *

ファクスの転送時に使用する機能を設定します。

<転送設定の ON/OFF>

受信したすべてのファクス文書をあらかじめ指定した宛先に転送するかどうかを設定します。転送先は E メールアドレスおよびパソコンの共有フォルダーが指定できます。▶**受信した文書を自動転送する(P. 224)**

< OFF >
< ON >

<画像をプリント>

転送文書を印刷するかどうかを設定します。エラー時のみ印刷することもできます。▶**転送文書を印刷する(P. 224)**

< OFF >
< ON >
<エラー時のみ>

<画像をメモリーに保存>

エラー終了した転送文書をメモリーに残すかどうかを設定します。あとから必要に応じて再送信したり、印刷したりできます。▶**転送に失敗した文書を印刷／再送信／削除する(P. 224)**

<保存しない>
<エラー時のみ>

<ファクス設定ナビ>

電話番号登録や電話回線種類の設定などの各種設定を画面の指示に従って進めることができます。▶**ファクスの設定をする(P. 71)**

<スキャン設定>

6AAS-07L

スキャンに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

- ▶<Eメール設定>(P. 411)
- ▶<ファイル設定>(P. 412)
- ▶<ユーザー略称の登録(Eメール)>(P. 414)
- ▶<出力ファイルの画像設定>(P. 414)
- ▶<ショートカットキー設定>(P. 414)



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

<Eメール設定> *

Eメール送信時のデフォルト設定を変更できます。

<デフォルト設定の変更>

Eメール送信に関する設定の初期値を変更できます。ここで行った設定が原稿を読み込むときの基本設定値となります。▶機能の初期値を変更する(P. 162)

- <読取サイズ>
 - < **A4** >
 - < A5R >
 - < B5 >
- <カラーモード>
 - < **カラー** >
 - < 白黒 >
- <ファイル形式>
 - < **PDF** >
 - < PDF(高圧縮) >
 - < JPEG >
 - < TIFF >
- <濃度>
 - 9 段階
- <原稿の向き>
 - < **縦長原稿** >
 - < 横長原稿 >

- <原稿の種類>
 - <文字>
 - <文字/写真>
 - <写真>
- <両面原稿> *
 - < OFF >
 - <左右開き>
 - <上下開き>
- <シャープネス>
 - 7 段階
- <データーサイズ>
 - <小: サイズ優先>
 - <標準>
 - <大: 画質優先>
- <件名/本文>
 - <件名>
 - <本文>
- <返信先>
 - <なし>
 - <アドレス帳から指定>
- <重要度>
 - <低い>
 - <普通>
 - <高い>

<デフォルト設定の初期化>

E メール送信に関する設定の初期値をお買い上げ時の状態に戻します。



<メニュー> ▶ <スキャン設定> ▶ <E メール設定> ▶ <デフォルト設定の初期化> ▶ <はい>

<ファイル設定> *

共有フォルダー保存時の設定を変更、登録できます。

<デフォルト設定の変更>

共有フォルダーに保存する際の設定の初期値を変更できます。ここで行った設定が原稿を読み込むときの基本設定値となります。▶**機能の初期値を変更する(P. 162)**

- <読取サイズ>
 - < **A4** >
 - < A5 >
 - < B5 >
- <カラーモード>
 - < **カラー** >
 - < 白黒 >
- <ファイル形式>
 - < **PDF** >
 - < PDF(高圧縮) >
 - < JPEG >
 - < TIFF >
- <濃度>
 - 9 段階
- <原稿の向き>
 - < **縦長原稿** >
 - < 横長原稿 >
- <原稿の種類>
 - < 文字 >
 - < **文字/写真** >
 - < 写真 >
- <両面原稿> *
 - < **OFF** >
 - < 左右開き >
 - < 上下開き >
- <シャープネス>
 - 7 段階
- <データーサイズ>
 - < 小: サイズ優先 >
 - < **標準** >
 - < 大: 画質優先 >

<デフォルト設定の初期化>

共有フォルダーに保存する際の設定の初期値をお買い上げ時の状態に戻します。



<メニュー> ▶ <スキャン設定> ▶ <ファイル設定> ▶ <デフォルト設定の初期化> ▶ <はい>

<ユーザー略称の登録(Eメール)> *

Eメールの差出人名を登録します。登録した差出人名は本機のEメールアドレスとともに送信先に通知されます。差出人名を登録しないと、Eメールアドレスだけが通知されます。



<メニュー> ▶ <スキャン設定> ▶ <ユーザー略称の登録(Eメール)> ▶ 差出人名を入力 ▶ <確定>

<出力ファイルの画像設定> *

スキャンした原稿をデータに変換するときのガンマ値を設定できます。

<YCbCr 送信のガンマ値>

読み込んだ原稿は、指定したファイル形式のデータに変換されますが、このとき適用するガンマ値を指定することができます。ファイルの閲覧時に使うディスプレイと同じガンマ値を指定すると、原稿に忠実な明るさでファイルを表示できます。

< γ1.0 >
< γ1.4 >
< **γ1.8** >
< γ2.2 >



<メニュー> ▶ <スキャン設定> ▶ <出力ファイルの画像設定> ▶ <YCbCr 送信のガンマ値> ▶ ガンマ値を選択

<ショートカットキー設定>

<スキャン→PC1>/<スキャン→PC2>ボタンまたは  キーに、保存先のパソコン、カラーモード（カラー／白黒）、PDFやJPEGなどのファイル形式を登録します。登録を済ませると、ボタンを押すだけで原稿を読み込んで指定したパソコンに保存される、ワンタッチのスキャンができるようになります。なお、<宛先確認>では、登録した内容を確認することができます。

● **ショートカットキーを使ってスキャンする(P. 246)**

モノクロ 6 行タッチパネル機

- <登録>
 - <スキャン→PC1 >
 - <指定しない>
 - < USB 接続>
 - <カラースキャン>
 - <白黒スキャン>
 - <カスタム 1 >
 - <カスタム 2 >
 - <ネットワーク接続>
 - <カラースキャン>
 - <白黒スキャン>
 - <カスタム 1 >
 - <カスタム 2 >
 - <スキャン→PC2 >
 - <指定しない>
 - < USB 接続>
 - <カラースキャン>
 - <白黒スキャン>
 - <カスタム 1 >
 - <カスタム 2 >
 - <ネットワーク接続>
 - <カラースキャン>
 - <白黒スキャン>
 - <カスタム 1 >
 - <カスタム 2 >
- <宛先確認>
 - <スキャン→PC1 >
 - <スキャン→PC2 >

モノクロ 5 行 UI 機

- <登録>
 - <スキャン→PC >
 - <指定しない>
 - < USB 接続>
 - <カラースキャン>
 - <白黒スキャン>
 - <カスタム 1 >
 - <カスタム 2 >
 - <ネットワーク接続>

<カラーキャン>

<白黒キャン>

<カスタム 1 >

<カスタム 2 >

• <宛先確認>

<キャン→PC >

<プリンター設定>

6AAS-07R

プリンターに関する設定項目について説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

- ▶<用紙サイズ不一致時の動作> (P. 417)
- ▶<モバイルプリントの画質設定> (P. 417)
- ▶<印字調整> (P. 418)



設定の優先順位

- 同じ設定項目であれば、プリンタードライバーの設定が、操作パネルの設定よりも優先されます。操作パネルの設定は、UNIX などのプリンタードライバーが使えない OS から印刷するときなどに有効となります。



<用紙サイズ不一致時の動作>

給紙カセットにセットされている用紙サイズと異なるサイズを選択したとき、警告メッセージを表示するかどうかを設定します。警告メッセージを表示せずに強制印刷することも可能です。

<強制出力する>
<エラーを表示する>



<メニュー> (🔍) ▶ <プリンター設定> ▶ <用紙サイズ不一致時の動作> ▶ <強制出力する> または <エラーを表示する> を選択



- <エラーを表示する> に設定しても、1～2 枚出力されることがあります。

<モバイルプリントの画質設定>

モバイル機器から印刷するときの画像処理方法を選択します。

• <中間調>
<階調>

<誤差拡散>

• <画質モード>

<速度優先>

<画質優先>



<メニュー> () ▶ <プリンター設定> ▶ <モバイルプリントの画質設定> ▶ <中間調> または <画質モード> を選択 ▶ 項目を選択 ▶ <確定>



MEMO

- <画質モード> が <速度優先> に設定されている場合、<誤差拡散> に設定することはできません。

<印字調整>

印刷の品質に関する設定を変更できます。

<トナー節約>

モバイル機器から印刷するときにトナーを節約して印刷します。大量に印刷するときなど、レイアウトなどの仕上がりを事前に確認してから印刷したいときに設定します。

<しない>

<する>



<メニュー> () ▶ <プリンター設定> ▶ <印字調整> ▶ <トナー節約> ▶ <しない> または <する> を選択

<調整/メンテナンス>

6AAS-07S

調整とメンテナンスに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

- ▶<カートリッジ準備お知らせの表示タイミング>(P. 419)
- ▶<トナー節約>(P. 419)
- ▶<特殊処理>(P. 420)
- ▶<定着器のクリーニング>(P. 424)
- ▶<本体内部結露除去モード>(P. 425)



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

<カートリッジ準備お知らせの表示タイミング>

トナーカートリッジまたはドラムカートリッジの残量が少なくなったときにメッセージを表示する任意のタイミングを設定します。

<トナーカートリッジ>
<ドラムカートリッジ>



<メニュー>() ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <カートリッジ準備お知らせの表示タイミング> ▶ <トナーカートリッジ>または<ドラムカートリッジ>を選択 ▶ カートリッジ残量を入力 ▶ <確定> ()

<トナー節約>

コピー時やファクス時に、トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。

- <コピー>
 < OFF >
 < ON >
- <ファクス>*
 < OFF >
 < ON >



<メニュー> () ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <トナー節約> ▶ <コピー>または<ファクス>を選択 ▶ <ON>



<ON>に設定したとき

- トナーの消費量は節約できますが、印刷結果が薄くなり、細い線や濃度の薄い印刷が不鮮明になることがあります。

<特殊処理>

さまざまな種類の用紙に印刷するとき、以下の設定を行うことでお困りの症状を改善できる場合があります。

<特殊印字モード U>

印刷したときに、文字やパターンの周辺にトナーが飛び散ったような跡が見受けられることがあります。その場合は、この項目を<ON>に設定すると改善されることがあります。

<OFF>
<ON>



<メニュー> () ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <特殊印字モード U> ▶ <ON>



- <ON>に設定すると、紙の種類（特に薄紙）や使用環境（特に高湿度環境）によっては、印刷品質が低下することがあります。
- <ON>に設定すると、<特殊印字モード Q>、<特殊印字モード R>、<特殊印字モード T>は自動的に<OFF>になります。

<特殊印字モード D>

印刷した用紙が黒ずんだり、画像がかすれたりしたときに設定します。

<OFF>
<ON>



<メニュー> () ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <特殊印字モード D> ▶ <ON>

<特殊印字モード A>

印刷したときに用紙にすじ状の汚れが付着する場合に、設定を変更すると改善されることがあります。<モード 1>よりも<モード 2>の方が印刷品質を向上させることができます。

< OFF >
<モード 1>
<モード 2>



<特殊印字モード Z>

コピーやファクスで印刷した用紙にすじ状の汚れが付着する場合に、設定を変更すると改善されることがあります。<モード 1>よりも<モード 2>の方が印刷品質を向上させることができます。

モノクロ 6 行タッチパネル機

- <コピー>
 < OFF >
 <モード 1>
 <モード 2>
- <ファクス>
 < OFF >
 <モード 1>
 <モード 2>

モノクロ 5 行 UI 機

< OFF >
<モード 1>
<モード 2>

モノクロ 6 行タッチパネル機



モノクロ 5 行 UI 機



<特殊印字モード G>

紙粉の多い用紙を使用すると、画像がかすれたり、すじが入ったりすることがあります。その場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

< OFF >
< ON >



<メニュー> () ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <特殊印字モード G> ▶ < ON >

<特殊印字モード Q>

表面が粗い用紙を使用すると、画像がかすれることがあります。その場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

< OFF >
< ON >



<メニュー> () ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <特殊印字モード Q> ▶ < ON >



- < ON >に設定すると、画質が変わることがあります。
- < ON >に設定すると、<特殊印字モード U>、<特殊印字モード R>、<特殊印字モード T>は自動的に< OFF >になります。

<特殊印字モード R>

すでに印刷された用紙のウラ面に印刷すると薄くなる場合があります。その場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

< OFF >
< ON >



<メニュー> () ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <特殊印字モード R> ▶ < ON >



- < ON >に設定すると、オモテ面を印刷してから一定時間が経過したときや湿度環境によっては、画質が変わったり、紙づまりが発生したりする場合があります。
- < ON >に設定すると、<特殊印字モード U>、<特殊印字モード Q>、<特殊印字モード T>は自動的に< OFF >になります。

<特殊印字モード T>

湿度が高い環境で使用しているときに印字ムラが出る場合があります。その場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

< OFF >
< ON >



<メニュー> () ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <特殊印字モード T> ▶ < ON >



- < ON >に設定すると、低湿度環境で使用しているときに画像や文字がにじむことがあります。
- < ON >に設定すると、<特殊印字モード U>、<特殊印字モード Q>、<特殊印字モード R>は自動的に< OFF >になります。

<特殊印字モード L>

用紙に紙粉や粉塵が多く含まれていると、印刷時に汚れが付くことがあります。その場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

< OFF >
< ON >



<メニュー> () ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <特殊印字モード L> ▶ < ON >

<線幅選択>

印刷したバーコードが読み取れない場合は、この項目の設定を変更すると改善されることがあります。

<自動>
<細い>
<やや細い>
<やや太い>
<太い>



<メニュー> () ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <線幅選択> ▶ 線幅を選択

<はがき下地補正>

印刷したはがきが全体的に黒ずむような場合に設定します。はがきが指定されたときのみ有効です。

< OFF >
<モード 1 >
<モード 2 >



<メニュー> () ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <はがき下地補正> ▶ モードを選択



- 改善効果は<モード 1 >よりも<モード 2 >の方が強くなります。
- <モード 1 >や<モード 2 >に設定すると、線が細くなったり、印刷しない部分に残像が現れたりすることがあります。また、印刷濃度が薄くなることがあります。

<はがき定着改善モード>

印刷されたはがきのトナーがはがれることがあります。その場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

< OFF >
< ON >



<メニュー> () ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <はがき定着改善モード> ▶ < ON >



- < ON >に設定すると、用紙がカールすることがあります。

<定着器のクリーニング>

トナーカートリッジまたはドラムカートリッジを交換したあとや印刷された用紙に黒いすじが現れる場合などに定着器をクリーニングします。▶ **定着器を清掃する(P. 444)**

＜本体内部結露除去モード＞*

環境の変化によって結露が発生した場合に、結露を除去し、その間のファクスやプリントの動作を制限します。

- ＜OFF＞
- ＜ON＞
 - ＜ファクスのメモリー受信を使用＞
 - ＜ファクスのメモリー受信を使用+プリントジョブを禁止＞



＜メニュー＞▶＜調整/メンテナンス＞▶＜本体内部結露除去モード＞▶＜ON＞▶＜OK＞▶＜ファクスのメモリー受信を使用＞または＜ファクスのメモリー受信を使用+プリントジョブを禁止＞を選択▶＜はい＞



- 結露除去を実行中は、ぼやけた画像が印刷されたり、印刷濃度が低下する可能性があります。
- 結露除去を実行中は、スリープモードにはなりません。

<システム管理設定>

システム管理設定に関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

- ▶<ネットワーク設定>(P. 426)
- ▶<システム管理者情報の設定>(P. 426)
- ▶<デバイス情報の設定>(P. 427)
- ▶<セキュリティ設定>(P. 427)
- ▶<リモート UI 設定>(P. 428)
- ▶<リモートスキャン時の自動ログインの ON/OFF >(P. 429)
- ▶<送信機能の制限>(P. 429)
- ▶<ジョブ履歴表示の ON/OFF >(P. 429)
- ▶< USB デバイスとして使用>(P. 430)
- ▶<使用状況調査プログラムの ON/OFF >(P. 430)
- ▶<リモートUI/ツールへの消耗品情報表示>(P. 430)
- ▶< Google クラウド プリントの設定>(P. 431)
- ▶<アドレス帳のインポート/エクスポート>(P. 431)
- ▶<ページ記述言語選択(プラグ&プレイ)> (P. 431)
- ▶<ファームウェア更新>(P. 432)
- ▶<アドレス帳の初期化>(P. 432)
- ▶< ECO レポートカウンターの初期化>(P. 432)
- ▶<メニューの初期化>(P. 432)
- ▶<全データ/設定の初期化>(P. 433)



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

<ネットワーク設定>

- ▶<ネットワーク設定>(P. 374) を参照してください。

<システム管理者情報の設定>

<ネットワーク設定>や<システム管理設定>へアクセスするためには暗証番号の入力が必要となるように設定できます。暗証番号は<システム管理暗証番号>で設定します。管理者の名前も登録できます。▶**システム管理暗証番号を設定する (P. 304)**

<システム管理暗証番号>

管理者専用のシステム管理暗証番号を数字で入力します。

<システム管理者名>

管理者の名前を入力します。

<デバイス情報の設定>

本機を識別するための名前や設置場所をそれぞれ入力します。たとえば、デバイス名には「ケリガ 13°ウ」、設置場所には「1トウ 2カニガリ」というように入力します。

<デバイス名>
<設置場所>



<メニュー> () ▶ <システム管理設定> ▶ <デバイス情報の設定> ▶ <デバイス名>または<設置場所>を選択 ▶ デバイス名または設置場所を入力 (**文字を入力する(P. 126)**) ▶ <確定>

<セキュリティー設定>

IP アドレスまたは MAC アドレスによるパケットフィルタリングを使用するかどうかを設定します。

< TLS を使用>

TLS による暗号化通信を使用するかしないかを設定します。 **TLS 用の鍵と証明書を設定する(P. 319)**

< OFF >
< ON >

< IPv4 アドレスフィルタ>

指定した IPv4 アドレスを持つ通信機器とのネットワークを介した受信を許可または拒否します。 **IP アドレスでファイアウォールを設定する(P. 311)**

• <受信フィルタ>
 < OFF >
 < ON >



<メニュー> () ▶ <システム管理設定> ▶ <セキュリティー設定> ▶ <IPv4 アドレスフィルタ> ▶ <受信フィルタ> ▶ < OFF >または< ON >を選択

< IPv6 アドレスフィルタ>

指定した IPv6 アドレスを持つ通信機器とのネットワークを介した受信を許可または拒否します。 **IP アドレスでファイアウォールを設定する(P. 311)**

• <受信フィルタ>
 < OFF >
 < ON >



<メニュー> () ▶ <システム管理設定> ▶ <セキュリティー設定> ▶ <IPv6 アドレスフィルター> ▶ <受信フィルター> ▶ < OFF > または < ON > を選択

< MAC アドレスフィルター >

指定した MAC アドレスを持つ通信機器とのネットワークを介した受信を許可または拒否します。  **MAC アドレスでファイアウォールを設定する(P. 314)**

- <受信フィルター>
- < OFF >
- < ON >



<メニュー> () ▶ <システム管理設定> ▶ <セキュリティー設定> ▶ < MAC アドレスフィルター> ▶ <受信フィルター> ▶ < OFF > または < ON > を選択

<リモート UI 設定>

リモート UI を使うための設定をします。リモート UI を使うとウェブブラウザから本機の設定ができます。

<リモート UI を使用>

リモート UI を使うかどうかを設定します。  **リモート UI を無効にする(P. 344)**

- < OFF >
- < ON >



<メニュー> () ▶ <システム管理設定> ▶ <リモート UI 設定> ▶ <リモート UI を使用> ▶ < OFF > または < ON > を選択

<リモート UI アクセス保護の設定>

リモート UI へアクセスするためには暗証番号の入力が必要となるように設定できます。暗証番号を 7 桁以内の数字で設定します。すべてのユーザーが共通の暗証番号を使用します。  **リモート UI の暗証番号を設定する(P. 306)**

- < OFF >
- < ON >
- <リモートUIアクセス暗証番号>

<リモートスキャン時の自動オンラインの ON/OFF >

リモートスキャンを行う際に、操作パネルから操作しなくてもオンライン状態にする機能を使用するかしないかを設定します。

< OFF >
< ON >



<メニュー> () ▶ <システム管理設定> ▶ <リモートスキャン時の自動オンラインの ON/OFF > ▶ < OFF > または < ON > を選択

<送信機能の制限> *

宛先操作や送信機能をさまざまな方法で制限します。

<アドレス帳の暗証番号>

アドレス帳に暗証番号を設定し、暗証番号を入力しないと新規宛先の追加や登録済み宛先の編集ができないようにします。▶ [アドレス帳の使用を制限する\(P. 336\)](#)

<新規宛先の制限>

ファクスや E メール送信時に指定できる相手先を、アドレス帳に登録してある宛先に限定するかどうかを設定します。▶ [指定できる宛先を制限する\(P. 338\)](#)

< OFF >
< ON >

<履歴からの再送信を制限>

送信履歴から宛先を指定できないようにするかどうかを設定します。▶ [履歴からの送信を制限する\(P. 338\)](#)

< OFF >
< ON >

<ワンタッチ/短縮ダイヤル送信の確認>

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルで宛先を指定するときに、指定した宛先の確認画面を表示するかどうかを設定します。▶ [アドレス帳に登録した宛先を表示する\(P. 338\)](#)

< OFF >
< ON >

<ジョブ履歴表示の ON/OFF >

ファクス送受信、コピー、印刷、およびスキャンの履歴をディスプレイや通信管理レポートに表示するかどうかを設定します。

< OFF >

< ON >



<メニュー> () ▶ <システム管理設定> ▶ <システム管理設定> ▶ <ジョブ履歴表示の ON/OFF> ▶ < OFF > または < ON > を選択

< USB デバイスとして使用 >

パソコンと本機を接続する USB ポートを使用するかどうかを設定します。  **パソコンとの USB 接続を制限する(P. 342)**

< OFF >
< ON >

< 使用状況調査プログラムの ON/OFF >

使用状況調査プログラムを使用するかどうかを設定します。

< OFF >
< ON >

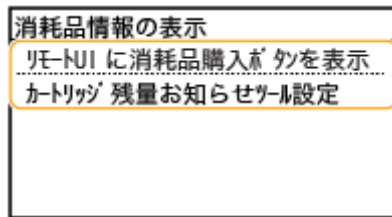


<メニュー> () ▶ <システム管理設定> ▶ <使用状況調査プログラムの ON/OFF> ▶ < OFF > または < ON > を選択

< リモートUI/ツールへの消耗品情報表示 >

リモート UI やカートリッジ残量お知らせツールに、トナーカートリッジなどの購入サイトへアクセスするためのボタンを表示するかどうかを設定します。また、カートリッジ残量お知らせツールを使うかどうかを設定します。

- <リモートUI に消耗品購入ボタンを表示>
 - < OFF >
 - < ON >
- <カートリッジ 残量お知らせツール設定>
 - < OFF >
 - < ON >
 - <購入ボタンを表示>
 - < OFF >
 - < ON >



<リモートUIに消耗品購入ボタンを表示>

リモートUIに消耗品購入サイトへアクセスするためのボタンを表示させない場合は、< OFF >を選びます。

<カートリッジ残量お知らせツール設定>

カートリッジ残量お知らせツールを使用しない場合は、< OFF >を選びます。カートリッジ残量お知らせツールに消耗品購入サイトへアクセスするためのボタンを表示させないときは、< ON > ▶ < OFF >の順に選びます。

< Google クラウド プリントの設定 >

クラウドプリントを使用するかどうかを設定します。▶ **Google Cloud Print に本機を登録する(P. 297)**

- < Google クラウド プリントの ON/OFF >
 - < OFF >
 - < ON >
- < Google クラウド プリントの登録状況 >

< アドレス帳のインポート/エクスポート > *

パソコンからアドレス帳をインポートしたり、本機からアドレス帳をエクスポートできます。▶ **付属のソフトウェアでアドレス帳データを読み込む／書き出す(P. 364)**

< ページ記述言語選択(プラグ&プレイ) >

プラグ&プレイで本機にパソコンを接続したときに、本機がどのページ記述言語を使用する機器として検出されるかを設定します。

< ネットワーク >

ネットワーク上で本機を探索したときに本機がどのページ記述言語を使用する機器として検出されるかを選択します。

- < FAX > *
- < CARPS2 >

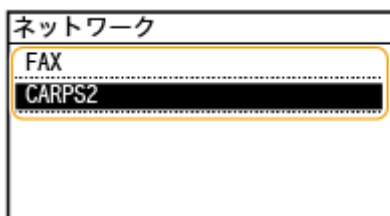
< USB >

本機とパソコンを USB で接続したときに、本機がどのページ記述言語を使用する機器として検出されるかを選択します。

< CARPS2 >



<メニュー> () ▶ <システム管理設定> ▶ <ページ記述言語選択(プラグ&プレイ)> ▶ <ネットワーク>または< USB >を選択 ▶ ページ記述言語を選択 ▶ 本機を再起動



< FAX > *

本機をファクス機として検出／接続します。

< CARPS2 >

本機を CARPS2 プリンターとして検出／接続します。

<ファームウェア更新>

ファームウェアを更新する際に、お使いの環境に合わせて選んでください。 **ファームウェアをアップデートする(P. 366)**

< PC 経由>
< インターネット経由>
< バージョン情報>

<アドレス帳の初期化> *

アドレス帳の設定を消去し、お買い上げ時の状態に戻します。 **アドレス帳を初期化する(P. 370)**

< ECO レポートカウンターの初期化>

ECO レポートカウンターの設定を消去し、お買い上げ時の状態に戻します。 **ECO レポートカウンターを初期化する(P. 369)**

<メニューの初期化>

メニューの設定値をお買い上げ時の値に戻します（初期化）。全設定値を一度に初期化したり、設定項目別に初期化したりできます。 **メニューを初期化する(P. 369)**

<環境設定>
<タイマー設定>
<共通設定>
<コピー設定>
<ファクス設定> *
<スキャン設定>
<プリンター設定>

＜調整/メンテナンス＞
＜システム管理設定＞
＜上記すべて＞

＜全データ/設定の初期化＞

履歴などを含めたデータや設定値をすべてお買い上げ時の状態に戻します。  **すべてのデータ／設定を初期化する(P. 370)**

メンテナンス

メンテナンス	435
日常のお手入れ	437
本体外部を清掃する	438
原稿台ガラスを清掃する	439
フィーダーを清掃する	440
定着器を清掃する	444
本体内部を清掃する	445
トナーカートリッジを交換する	448
ドラムカートリッジを交換する	452
消耗品の残量を確認する	456
本機を移動する	457
印刷ページ数を確認する	459
レポートやリストを印刷する	460
無償保証や保守サービスについて	465
無償保証について	466
キャノンサービスパック（CSP）	467
キャノン・ケア・ギャランティ（CCG）	469
消耗品	471

メンテナンス

6AAS-07W

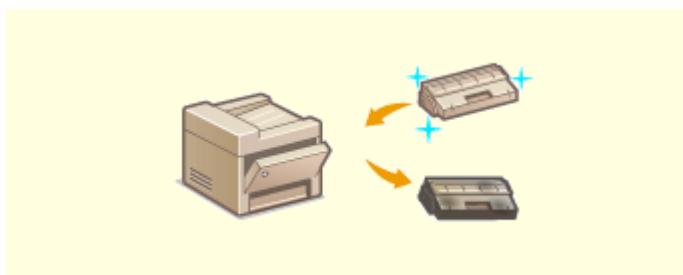
本体のお手入れや印刷品質の調整など、本機の保守・管理について説明しています。また、キヤノンの保守サービス、無償保証についてもご紹介しています。

■ 基本のお手入れ



▶ 日常のお手入れ(P. 437)

■ 消耗品を交換する



▶ トナーカートリッジを交換する(P. 448)

▶ ドラムカートリッジを交換する(P. 452)

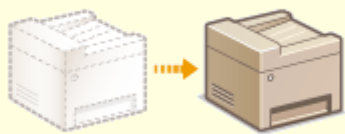


▶ 消耗品の残量を確認する(P. 456)



▶ 消耗品(P. 471)

■本機を調整・管理する



▶本機を移動する(P. 457)



▶印刷ページ数を確認する(P. 459)



▶レポートやリストを印刷する(P. 460)

その他

▶無償保証や保守サービスについて(P. 465)

日常のお手入れ

6AAS-07X

印刷品質の低下を防ぎ、快適で安全にお使いいただくために、本機を定期的に清掃してください。

お手入れする場所



a 本体外部と通気口

▶ 本体外部を清掃する(P. 438)

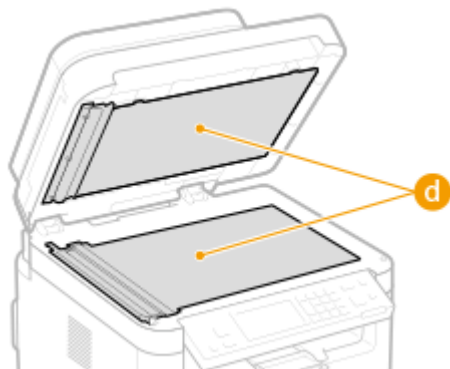
b フィーダー

▶ フィーダーを清掃する(P. 440)

c 本体内部と定着器

▶ 定着器を清掃する(P. 444)

▶ 本体内部を清掃する(P. 445)



d 原稿台ガラスとフィーダーまたは原稿台ガラスカバーの裏面

▶ 原稿台ガラスを清掃する(P. 439)

本体外部を清掃する

6AAS-07Y

本体の表面を定期的に拭いて、きれいな状態を保ってください。また、通気口のホコリはこまめに拭き取ってください。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

- 電源を切ると、待機中の印刷データは消去されます。メモリーに受信した文書、待機中の送信文書、送受信後に自動的に印刷されるレポートなどは消えずに保持されます。

2 本体表面と通気口を拭く

- 水または薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固く絞って拭きます。
- 通気口の場所は、**●本体前面(P. 96)** を参照してください。



3 水分が完全に乾くまで待つ

4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

原稿台ガラスを清掃する

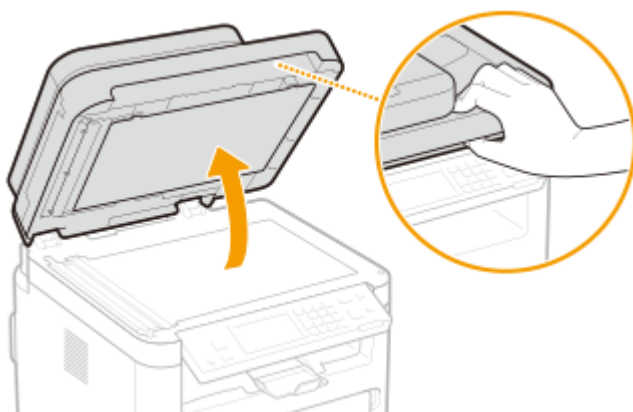
6AAS-080

原稿台ガラスやフィーダーまたは原稿台ガラスカバーの裏面にゴミや汚れがあると、原稿や印刷された用紙に汚れが付くことがあります。定期的に清掃してください。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

- 電源を切ると、待機中の印刷データは消去されます。メモリーに受信した文書、待機中の送信文書、送受信後に自動的に印刷されるレポートなどは消えずに保持されます。

2 フィーダーまたは原稿台ガラスカバーを開ける



3 原稿台ガラスとフィーダーまたは原稿台ガラスカバーの裏面を拭く

- 水を含ませて固く絞った布で拭き、そのあと乾いた柔らかい布で拭きます。



4 水分が完全に乾くまで待つ

5 フィーダーまたは原稿台ガラスカバーをゆっくり閉じる

6 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

フィーダーを清掃する

6AAS-081

フィーダー内部のローラーやフィーダー原稿読み取り部に鉛筆の粉やホコリなどが付いていると、原稿や印刷された用紙に汚れが付くことがあります。このような場合や、ひんぱんに原稿がつまる場合は、フィーダーを清掃してください。



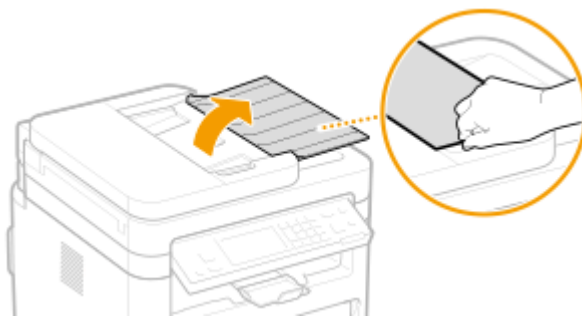
原稿読み取り部の清掃表示

- 原稿読み取り部の汚れを検出したときにメッセージを表示させるには、＜メニュー＞ () ▶ ＜環境設定＞ ▶ ＜表示設定＞ ▶ ＜原稿読み取り部の清掃表示＞ を＜ON＞にする必要があります。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

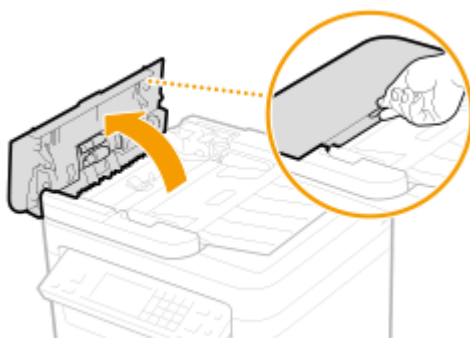
- 電源を切ると、待機中の印刷データは消去されます。メモリーに受信した文書、待機中の送信文書、送受信後に自動的に印刷されるレポートなどは消えずに保持されます。

2 原稿給紙トレイを開ける

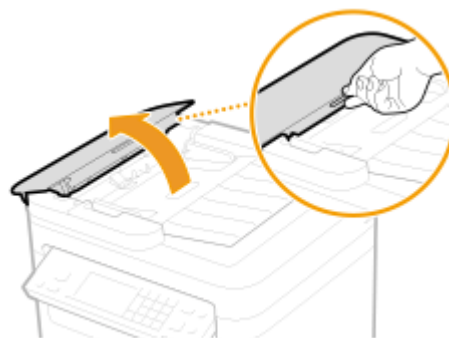


3 フィーダーカバーを開ける

MF269dw



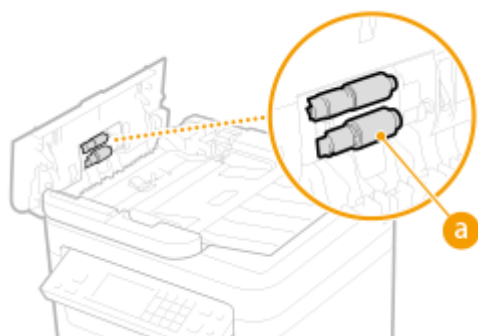
MF266dn / MF265dw / MF264dw



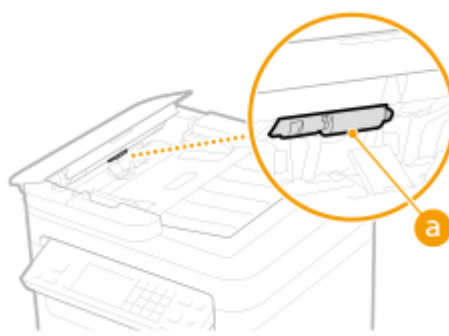
4 フィーダー内部のローラー (a) を拭く

- 水を含ませて固く絞った布で拭き、そのあと乾いた柔らかい布で拭きます。

MF269dw



MF266dn / MF265dw / MF264dw



● **ご注意**

- ローラー周辺の汚れがひどい場合は清掃してください。清掃の際は布に水を含ませ、固く絞って拭き、そのあと、乾いた柔らかい布で拭きます。

MF269dw

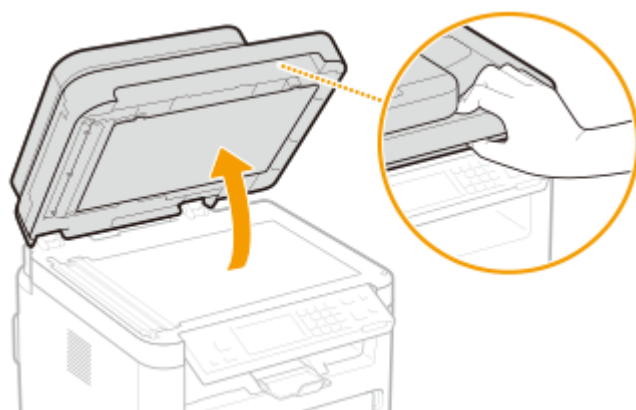


MF266dn / MF265dw / MF264dw



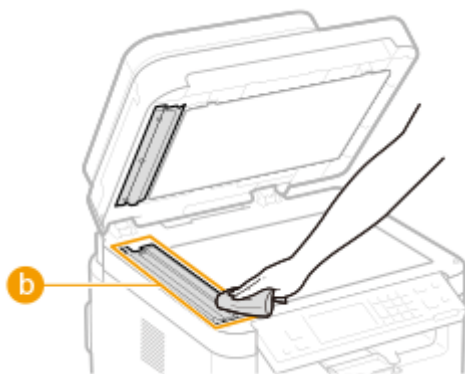
5 フィーダーカバーおよび原稿給紙トレイを閉じる

6 フィーダーを開ける



7 原稿読み取り部を拭く

- 水を含ませて固く絞った布で拭き、そのあと乾いた柔らかい布で拭きます。



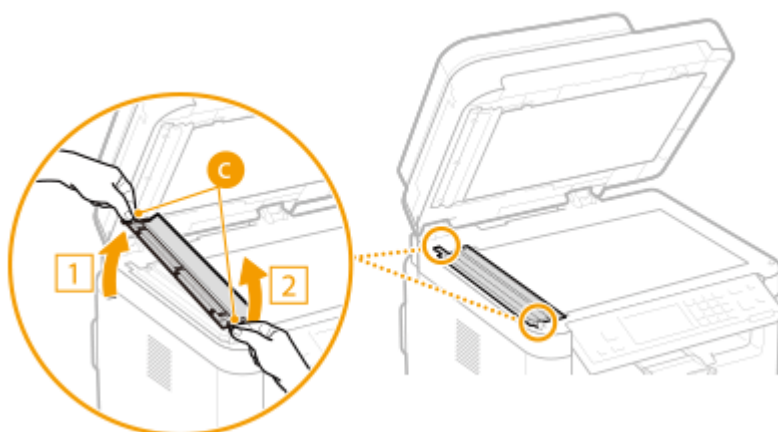
ご注意

- 透明のプラスチック部品（b）を拭くときは、プラスチックを折り曲げないように注意してください。

■症状が改善されないときは

透明のプラスチック部品（b）を取り外して拭きます。

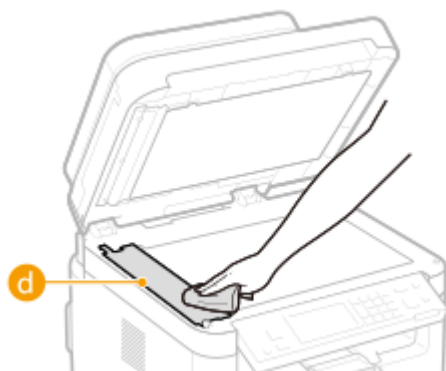
- つまみ（c）を持って、奥側からゆっくり取り外す



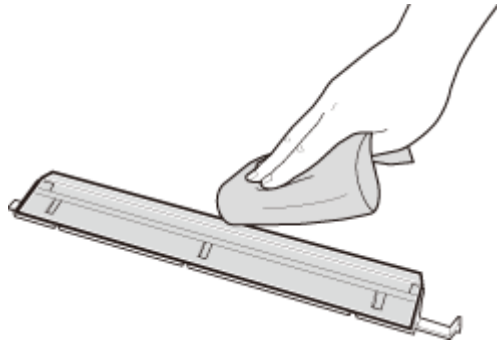
ご注意

- 壊れやすいため、取り外す際にプラスチック部品（b）を折り曲げたりしないように注意してください。

- 原稿読み取り部（d）を拭く



- 透明のプラスチック部品の裏側を拭く



4 水分が完全に乾くまで待つ

5 透明のプラスチック部品を取り付ける

- 向きを確認し、つまみを持って手前側からゆっくり取り付けます。

8 水分が完全に乾くまで待つ

9 フィーダーカバーをゆっくり閉じる

10 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

定着器を清掃する

6AAS-082

定着器が汚れていると、印刷された用紙に黒いすじが現れることがあります。このような場合、以下の手順で定着器をクリーニングしてください。待機中の印刷データがある場合、クリーニングはできませんのでご注意ください。なお、クリーニングには A4 またはレターサイズの普通紙が必要です。あらかじめ手差し給紙口にセットしておいてください。▶**用紙をセットする(P. 135)**



- クリーニングを行うときは、あらかじめ、トナーカートリッジとドラムカートリッジの残量があることを確認してください。▶**消耗品の残量を確認する(P. 456)**

1 <メニュー>画面を表示する ▶ホーム画面(P. 113)

モノクロ 6 行タッチパネル機

ホーム画面で、<メニュー>を選びます。

モノクロ 5 行 UI 機



を押します。

2 <調整/メンテナンス>を選ぶ

3 <定着器のクリーニング>を選ぶ

4 画面に表示されている用紙がセットされていることを確認し、<開始>を選ぶ

▶▶ クリーニングが開始されます。

本体内部を清掃する

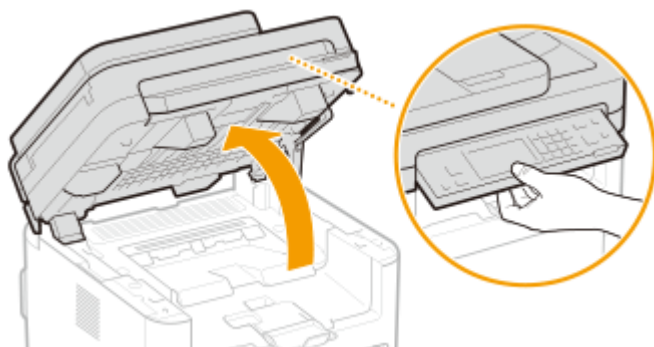
6AAS-083

本体内部を定期的に清掃し、トナーの粉や紙ぼこりがたまらないようにしてください。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

- 電源を切ると、待機中の印刷データは消去されます。メモリーに受信した文書、待機中の送信文書、送受信後に自動的に印刷されるレポートなどは消えずに保持されます。

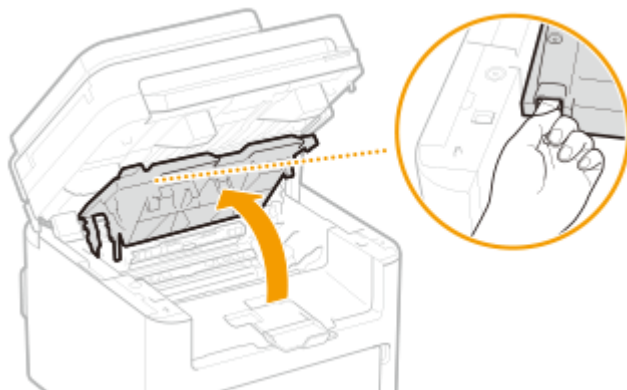
2 操作パネル部を持ち上げる



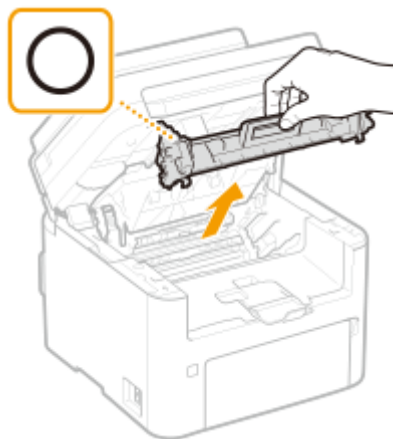
操作パネル部が持ち上げられないとき

- フィーダーや原稿台ガラスカバーが完全に閉まっているか確認してください。また、原稿台ガラスに本などの厚手の原稿がセットされている場合は、原稿を取り出してください。無理に持ち上げると、故障の原因となる場合があります。

3 トナーカバーを開ける

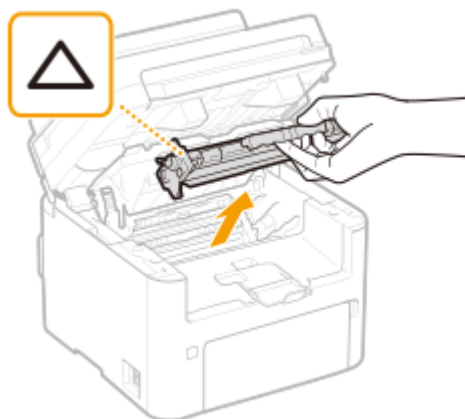


4 トナーカートリッジを取り出す



- トナーカートリッジを振ったり、傾けたりしないでください。また、トナーカートリッジに何かを当てるなどの衝撃を与えないでください。トナーカートリッジに残ったトナーが漏れることがあります。トナーカートリッジをスロットと同じ角度でゆっくり取り出してください。

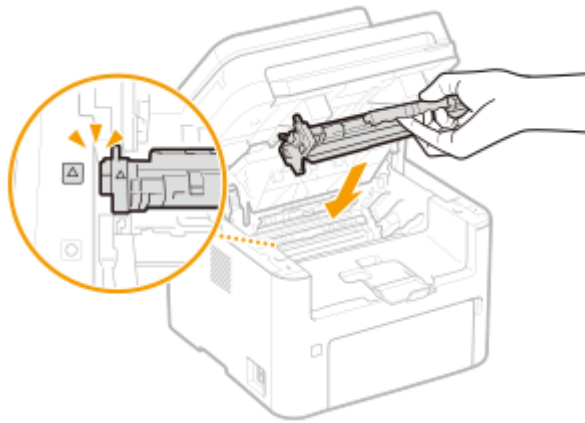
5 ドラムカートリッジを取り出す



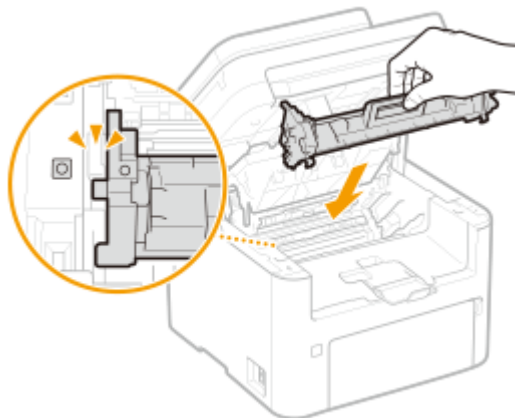
- ドラムカートリッジを振ったり、傾けたりしないでください。また、ドラムカートリッジに何かを当てるなどの衝撃を与えないでください。ドラムカートリッジに残ったトナーが漏れることがあります。ドラムカートリッジをスロットと同じ角度でゆっくり取り出してください。

6 清潔で柔らかい糸くずの出ない乾いた布で、内部からトナーの粉や紙ぼこりを拭き取る

7 ドラムカートリッジを取り付ける



8 トナーカートリッジを取り付ける



9 トナーカバーを閉じる

10 操作パネル部をおろす

11 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの残量が少なくなるとディスプレイにメッセージが表示されます。そのままご使用になりますと印刷品質が低下することがありますのでご注意ください。なお、トナーカートリッジの残量をディスプレイで確認することもできます（[●消耗品の残量を確認する\(P. 456\)](#)）。

- メッセージが表示されたときは(P. 448)
- トナーカートリッジの交換手順(P. 449)

メッセージが表示されたときは

トナーカートリッジの残量によってメッセージの内容が異なります。メッセージに従って、新しいトナーカートリッジの用意（[●消耗品\(P. 471\)](#)）や交換（[●トナーカートリッジの交換手順\(P. 449\)](#)）を行ってください。

<トナーカートリッジの準備をおすすめします。>

トナーカートリッジの交換時期が近づいています。新しいトナーカートリッジを用意してください。大量に印刷するときは、交換することをおすすめします。

トナーカートリッジの準備をおすすめします。	
濃度：±0	▲
原稿の種類：文字	1/2
両面：OFF	
倍率：100% 等倍	▼



メッセージが表示されているとき

- コピー時や印刷時は、そのまま印刷を続けることができます。

メッセージが表示されるタイミングを設定する

- トナーカートリッジが残り何%になったらメッセージを表示させるかを任意に設定することもできます。
[●<カートリッジ 準備お知らせの表示タイミング>\(P. 419\)](#)

<トナーカートリッジ 寿命 トナーカートリッジ の交換を推奨。> / <トナーカートリッジ 寿命 トナーカートリッジ 交換を推奨>

トナーカートリッジが寿命に達しました。基本的には交換することをおすすめしますが、強制的に印刷を継続することも可能です。ただし、この場合、印刷品質は保証しかねます。

トナーカートリッジ 寿命 トナーカートリッジ の交換を推奨。	
濃度：±0	▲
原稿の種類：文字	1/2
両面：OFF	
倍率：100% 等倍	▼

<状況確認>

▶ <エラー情報/お知らせ> ▶ <トナーカートリッジ寿命>を選んでトナーカートリッジの交換手順を表示する



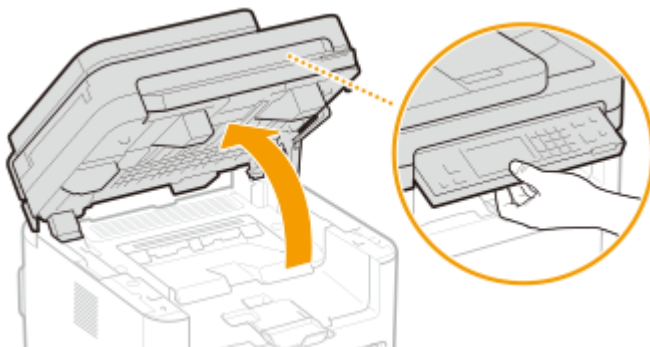
消耗品を交換する

-  を長押しします。<消耗品ステータスレポート>を選び、消耗品ステータスレポートを印刷してカートリッジ名称を確認します。▶ **レポートやリストを印刷する(P. 460)**

トナーカートリッジの交換手順

トナーカートリッジの交換の際は、画面にも簡易的な交換手順が表示されます。以下の手順とあわせてご確認ください。

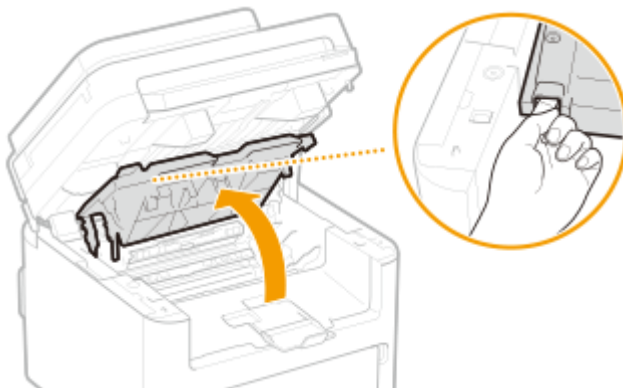
1 操作パネル部を持ち上げる



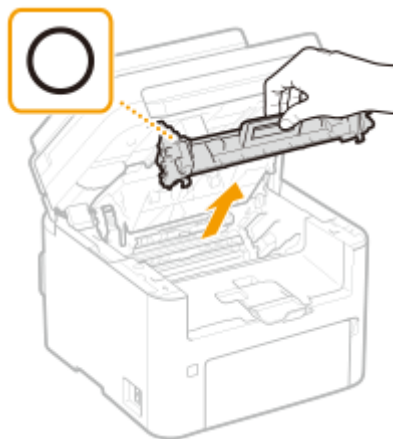
操作パネル部が持ち上げられないとき

- フィーダーまたは原稿台ガラスカバーが完全に閉まっているか確認してください。また、原稿台ガラスに本などの厚手の原稿がセットされている場合は、原稿を取り出してください。無理に持ち上げると、故障の原因となることがあります。

2 トナーカバーを開ける



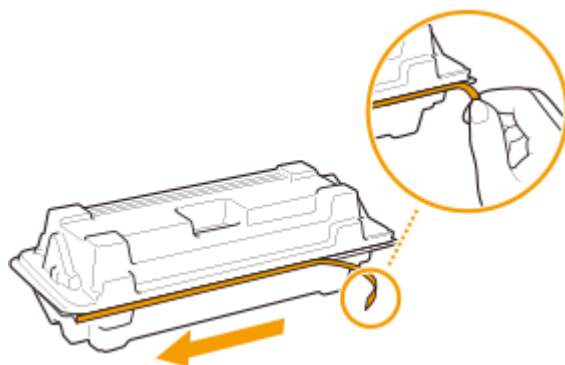
3 トナーカートリッジを取り出す



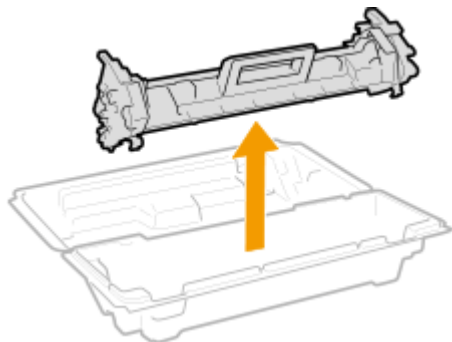
- トナーカートリッジを振ったり、傾けたりしないでください。また、トナーカートリッジに何かを当てるなどの衝撃を与えないでください。トナーカートリッジに残ったトナーが漏れることがあります。トナーカートリッジをスロットと同じ角度でゆっくり取り出してください。

4 新しいトナーカートリッジを梱包材から取り出す

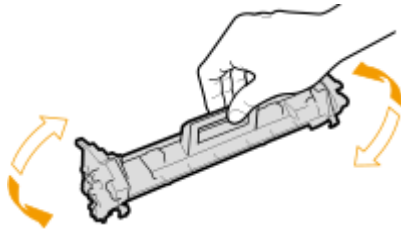
- 1 平らな場所で梱包材のタブをひく



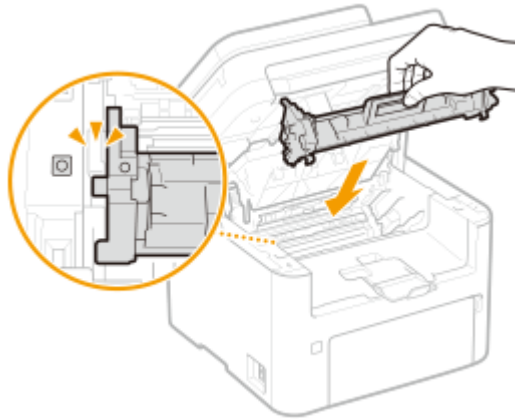
- 2 トナーカートリッジを取り出す



- 5 トナーカートリッジを5～6回振って内部のトナーを均一にならしたあと、平らな場所に置く



6 トナーカートリッジを交換する



7 トナーカバーを閉じる

8 操作パネル部をおろす



関連項目

●消耗品(P. 471)

ドラムカートリッジを交換する

ドラムカートリッジの残量が少なくなるとディスプレイにメッセージが表示されます。そのままご使用になりますと印刷品質が低下することがありますのでご注意ください。なお、ドラムカートリッジの残量をディスプレイで確認することもできます（[●消耗品の残量を確認する\(P. 456\)](#)）。

- メッセージが表示されたときは(P. 452)
- ドラムカートリッジの交換手順(P. 453)

メッセージが表示されたときは

ドラムカートリッジの残量によってメッセージの内容が異なります。メッセージに従って、新しいドラムカートリッジの用意（[●消耗品\(P. 471\)](#)）や交換（[●ドラムカートリッジの交換手順\(P. 453\)](#)）を行ってください。

<ドラムカートリッジの準備をおすすめします。>

ドラムカートリッジの交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジを用意してください。大量に印刷するときは、交換することをおすすめします。

ドラムカートリッジの準備をおすすめします。	
濃度：±0	▲
原稿の種類：文字	1/2
両面：OFF	
倍率：100% 等倍	▼



メッセージが表示されているとき

- コピー時や印刷時は、そのまま印刷を続けることができます。

メッセージが表示されるタイミングを設定する

- ドラムカートリッジが残り何%になったらメッセージを表示させるかを任意に設定することもできます。
[●<カートリッジ 準備お知らせの表示タイミング>\(P. 419\)](#)

<ドラムカートリッジ 寿命ドラムカートリッジの交換を推奨。> / <ドラムカートリッジ 寿命ドラムカートリッジ 交換を推奨>

ドラムカートリッジが寿命に達しました。基本的には交換することをおすすめしますが、強制的に印刷を継続することも可能です。ただし、この場合、印刷品質は保証しかねます。

ドラムカートリッジ 寿命 ドラムカートリッジの交換を推奨。	
濃度：±0	▲
原稿の種類：文字	1/2
両面：OFF	
倍率：100% 等倍	▼

<状況確認>

▶ <エラー情報/お知らせ> ▶ <ドラムカートリッジ寿命>を選んでドラムカートリッジの交換手順を表示する



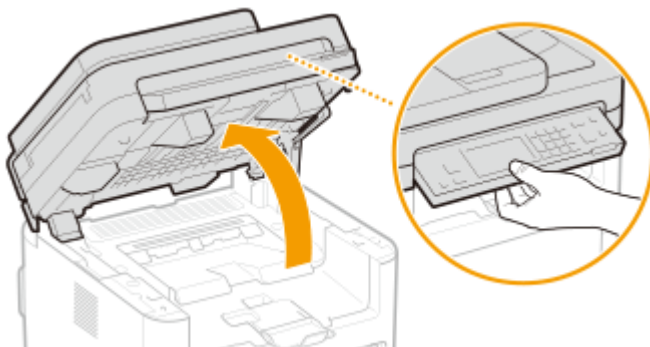
消耗品を交換する

-  を長押しします。<消耗品ステータスレポート>を選び、消耗品ステータスレポートを印刷してカートリッジ名称を確認します。▶ **レポートやリストを印刷する(P. 460)**

ドラムカートリッジの交換手順

ドラムカートリッジの交換の際は、画面にも簡易的な交換手順が表示されます。以下の手順とあわせてご確認ください。

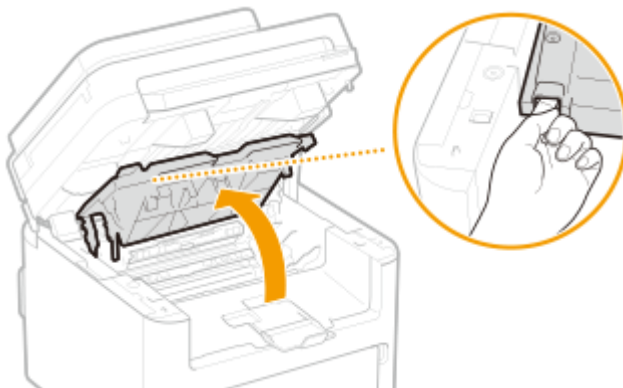
1 操作パネル部を持ち上げる



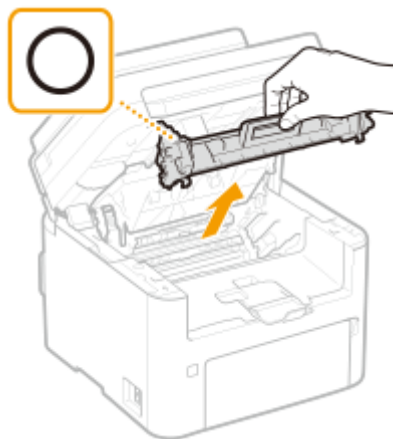
操作パネル部が持ち上げられないとき

- フィーダーまたは原稿台ガラスカバーが完全に閉まっているか確認してください。また、原稿台ガラスに本などの厚手の原稿がセットされている場合は、原稿を取り出してください。無理に持ち上げると、故障の原因となることがあります。

2 トナーカバーを開ける

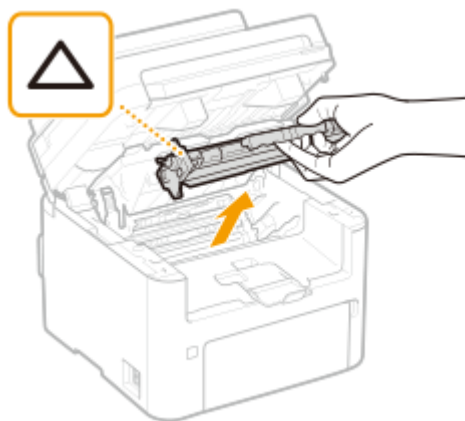


3 トナーカートリッジを取り出す



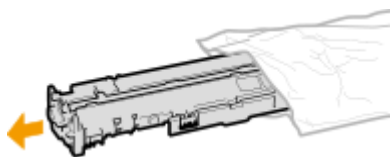
トナーカートリッジを振ったり、傾けたりしないでください。また、トナーカートリッジに何かを当てるなどの衝撃を与えないでください。トナーカートリッジに残ったトナーが漏れることがあります。トナーカートリッジをスロットと同じ角度でゆっくり取り出してください。

4 ドラムカートリッジを取り出す

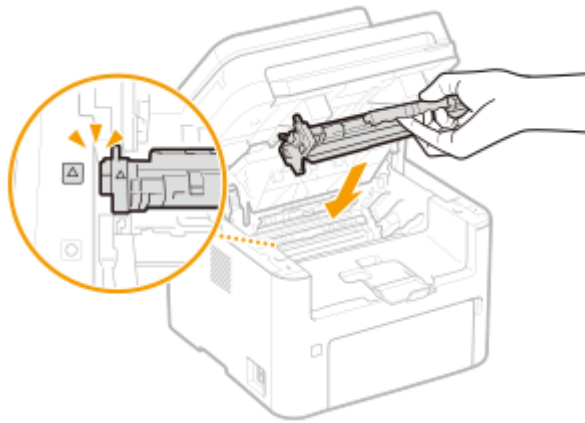


ドラムカートリッジを振ったり、傾けたりしないでください。また、ドラムカートリッジに何かを当てるなどの衝撃を与えないでください。ドラムカートリッジに残ったトナーが漏れることがあります。ドラムカートリッジをスロットと同じ角度でゆっくり取り出してください。

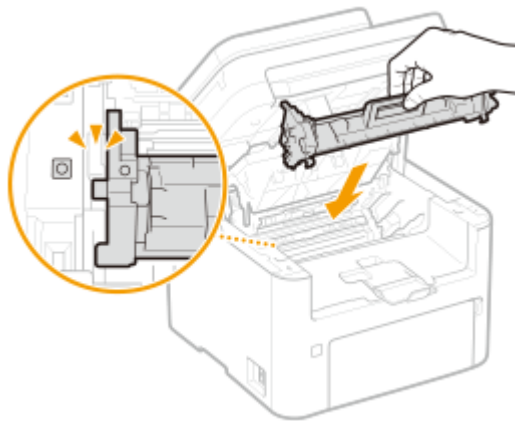
5 新しいドラムカートリッジを梱包材から取り出す



6 ドラムカートリッジを交換する



7 トナーカートリッジを取り付ける



8 トナーカバーを閉じる

9 操作パネル部をおろす



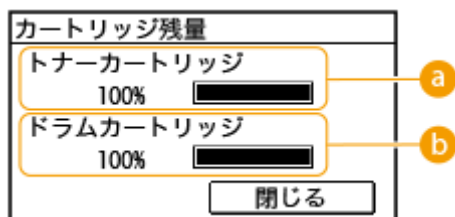
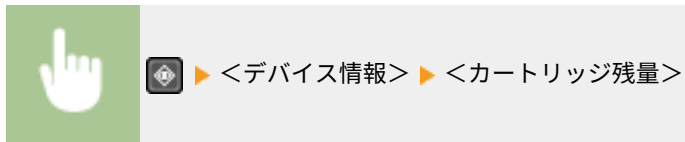
関連項目

●消耗品(P. 471)

消耗品の残量を確認する

6AAS-086

トナーカートリッジなどの残量は以下の手順で確認できます。特に、大量に印刷する前には、新しいトナーカートリッジやドラムカートリッジを用意しておく必要がないか確認してください。



a トナーカートリッジ残量表示

トナーカートリッジの残量を表示します。

b ドラムカートリッジ残量表示

ドラムカートリッジの残量を表示します。



- 表示されるトナーカートリッジまたはドラムカートリッジの残量の数値は目安であり、実際と異なる場合があります。
- トナーカートリッジまたはドラムカートリッジがなくなる前に他の内部の部品が寿命に達する場合があります。

LINKS

- ▶ トナーカートリッジを交換する(P. 448)
- ▶ ドラムカートリッジを交換する(P. 452)
- ▶ 消耗品(P. 471)

本機を移動する

6AAS-087

本機は重量物です。けがなどの事故を未然に防ぐためにも、移動するときは必ず次の手順に従ってください。

1 本機とパソコンの電源を切る

- 電源を切ると、待機中の印刷データは消去されます。メモリーに受信した文書、待機中の送信文書、送受信後に自動的に印刷されるレポートなどは消えずに保持されます。

2 接続されているケーブルやコードをイラストの番号順に抜く

- USB ケーブル (4) ~ 電話コード (7) の有無は接続環境によって異なります。
- オプションのハンドセットを取り付けている場合は、ハンドセットを置き台から取り外してください。

1 電源プラグ

2 アース線

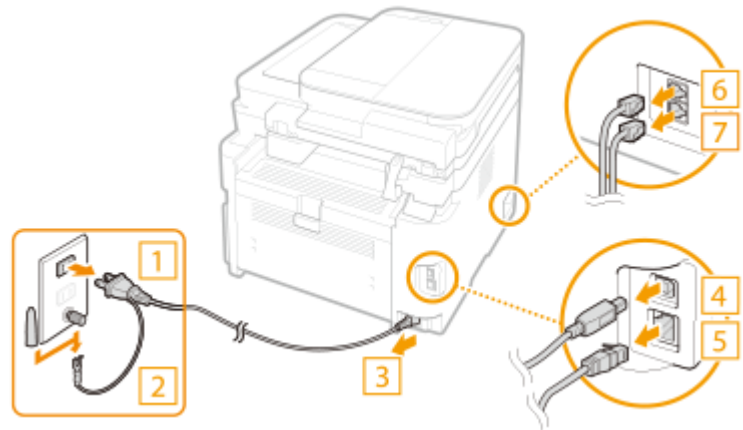
3 電源コード

4 USB ケーブル

5 LAN ケーブル

6 外付け電話機またはオプションのハンドセット

7 電話コード



3 長距離を移動する場合はトナーカートリッジとドラムカートリッジを取り出す

- ▶ トナーカートリッジの交換手順(P. 449)
- ▶ ドラムカートリッジの交換手順(P. 453)

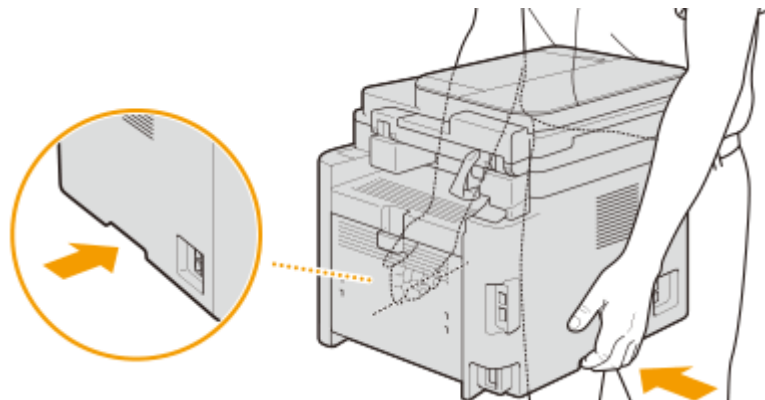
4 前カバーを開けて用紙を取り出す

- 用紙ガイドが引き出されている場合は、給紙カセットに収まるように戻します。



5 前カバーや排紙ストッパーなどをすべて閉じ、移動場所に運ぶ

- 本機の重さを確認してから、無理のないように持ち運んでください。▶ 本体(P. 546)
- 運搬用取っ手をつかんで本体を持ち上げます。



6 移動場所にゆっくりおろす

- 移動後の設置手順については、「かんたん設置ガイド」を参照してください。▶ **マニュアルの種類と内容(P. 563)**

印刷ページ数を確認する

6AAS-088

これまでに行った印刷の総ページ数を確認できます。コピーや印刷だけでなく、受信したファクス、レポート、リストについても印刷枚数にカウントされます。



カウンター確認
000017
閉じる

レポートやリストを印刷する

6AAS-089

本機の設定項目の設定内容などをレポートやリストとして印刷して確認することができます。

- 通信結果のレポートを設定する(P. 460)
- 設定内容のリストを印刷する(P. 462)
- 本機の使用状況のレポートを印刷する(P. 462)

通信結果のレポートを設定する

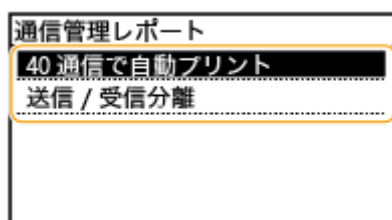
Eメールの送信結果、ファクスの送受信の結果、および共有フォルダーへの保存結果のレポートを印刷することができます。レポートは自動的に印刷されるものや、エラーが起きたときのみ印刷されるものがあります。



- 印刷されたリストの項目「通信結果」に「NG」がある場合は、並んで表示されている「#」で始まる3桁の番号よりエラーの内容を調べることができます。●エラーコードごとの対処方法(P. 516)
- Eメール送信時は、指定した宛先への通信結果ではなく、メールサーバーへの通信結果が印刷されます。

通信管理レポート（モノクロ6行タッチパネル機）

ファクスやEメールなどの送信／受信の全結果をレポートで確認できます。レポートは40通信が終了した時点で自動的に印刷されます。また、随時、手動で印刷することもできます。



< 40 通信で自動プリント >

40通信が終了した時点で通信管理レポートを自動的に印刷する場合は< ON >を選びます。通信管理レポートを印刷しない場合は< OFF >を選びます。

< 送信/受信分離 >

送信結果と受信結果を分けて印刷することができます。分けて印刷する場合は< ON >、1つにまとめて印刷する場合は< OFF >を選びます。

■手動で印刷する



＜メニュー＞▶＜レポート出力＞▶＜リストプリント＞▶＜通信管理レポート＞▶画面に表示されている用紙がセットされていることを確認し、＜OK＞を選択▶＜はい＞

ファクス送信結果レポート（モノクロ 6 行タッチパネル機）

ファクス送信したときの通信結果をレポートで確認できます。レポートは 1 回の通信が終了するごとに自動的に印刷されますが、送信エラーが発生したときだけ印刷されるようにも設定できます。



＜メニュー＞▶＜レポート出力＞▶＜仕様設定＞▶＜ファクス送信結果レポート＞▶＜ON＞または＜エラー時のみ＞を選択▶＜OFF＞または＜ON＞を選択

送信原稿の表示
OFF
ON

＜送信原稿の表示＞

＜ON＞に設定すると、送信結果レポートに送信文書の一部を表示することができます。



- 本レポートには、コンピューターのファクスドライバーから発行したファクスの送信ジョブは含まれません。

E メール／ファイル送信結果レポート（モノクロ 6 行タッチパネル機）

E メールを送信したときや、共有フォルダーへ文書を保存したときの通信結果をレポートで確認できます。レポートは 1 回の通信が終了するごとに自動的に印刷されますが、送信エラーが発生したときだけ印刷されるようにも設定できます。



＜メニュー＞▶＜レポート出力＞▶＜仕様設定＞▶＜E メール/ファイル送信結果レポート＞▶＜ON＞または＜エラー時のみ＞を選択



通信結果について

- E メール送信時や共有フォルダー保存時にエラーになった場合は、送信結果レポートにはエラーコードが表示されません。エラーコードを確認するには通信管理レポートを印刷してください。▶通信管理レポート（モノクロ 6 行タッチパネル機）(P. 460)

受信結果レポート（モノクロ 6 行タッチパネル機）

ファクスを受信したときの通信結果をレポートで確認できます。レポートは 1 回の通信が終了するごとに自動的に印刷されますが、受信エラーが発生したときだけ印刷されるようにも設定できます。



＜メニュー＞ ▶ ＜レポート出力＞ ▶ ＜仕様設定＞ ▶ ＜受信結果レポート＞ ▶ ＜ON＞または＜エラー時のみ＞を選択

設定内容のリストを印刷する

本機に登録した情報や設定内容をリストにして印刷することができます。

アドレス帳リスト（モノクロ 6 行タッチパネル機）

アドレス帳に登録されている宛先の内容をリストで確認できます。登録内容は短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、グループダイヤルごとに確認できます。



＜メニュー＞ ▶ ＜レポート出力＞ ▶ ＜リストプリント＞ ▶ ＜アドレス帳リスト＞ ▶ 印刷する対象を選択 ▶ 画面に表示されている用紙がセットされていることを確認し、＜OK＞を選択 ▶ ＜はい＞

ユーザーデータリスト

本機の設定項目（**設定メニュー一覧(P. 372)**）とその内容をリストで確認できます。リストにはファームウェアのバージョンや登録されている用紙のサイズと種類などが印刷されます。

モノクロ 6 行タッチパネル機



＜メニュー＞ ▶ ＜レポート出力＞ ▶ ＜リストプリント＞ ▶ ＜ユーザーデータリスト＞ ▶ 画面に表示されている用紙がセットされていることを確認し、＜OK＞を選択 ▶ ＜はい＞

モノクロ 5 行 UI 機



 ▶ ＜レポート出力＞ ▶ ＜ユーザーデータリスト＞ ▶ 画面に表示されている用紙がセットされていることを確認し、＜OK＞を選択 ▶ ＜はい＞

本機の使用状況のレポートを印刷する

本機の状態や消耗品の利用実績のレポートを印刷することができます。

ECO レポート

月々の印刷枚数と電力消費量をレポートで確認できます。使用状況から用紙の節約や節電をするためのアドバイスが印刷されます。

モノクロ 6 行タッチパネル機



<メニュー> ▶ <レポート出力> ▶ <リストプリント> ▶ < ECO レポート> ▶ 画面に表示されている用紙がセットされていることを確認し、< OK >を選択 ▶ <はい>

モノクロ 5 行 UI 機



 ▶ <レポート出力> ▶ < ECO レポート> ▶ 画面に表示されている用紙がセットされていることを確認し、< OK >を選択 ▶ <はい>



MEMO

- 消費電力量は、本機の使用状況や環境によって異なることがあります。

消耗品ステータスレポート

本機にセットされている消耗品の状態をレポートで確認できます。

モノクロ 6 行タッチパネル機



<メニュー> ▶ <レポート出力> ▶ <リストプリント> ▶ <消耗品ステータスレポート> ▶ 画面に表示されている用紙がセットされていることを確認し、< OK >を選択 ▶ <はい>

モノクロ 5 行 UI 機



 ▶ <レポート出力> ▶ <消耗品ステータスレポート> ▶ 画面に表示されている用紙がセットされていることを確認し、< OK >を選択 ▶ <はい>

カートリッジログレポート

トナーカートリッジやドラムカートリッジの利用実績などをレポートで確認できます。

モノクロ 6 行タッチパネル機



＜メニュー＞▶＜レポート出力＞▶＜リストプリント＞▶＜カートリッジログレポート＞▶画面に表示されている用紙がセットされていることを確認し、＜OK＞を選択▶＜はい＞

モノクロ 5 行 UI 機



▶＜レポート出力＞▶＜カートリッジログレポート＞▶画面に表示されている用紙がセットされていることを確認し、＜OK＞を選択▶＜はい＞

無償保証や保守サービスについて

6AAS-08A

ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

ご愛用いただく製品向けに、保守サービスをパッケージ化した「キャノンサービスパック（CSP）」と契約型の保守サービス制度「キャノン・ケア・ギャランティ（CCG）」を用意しています。

「キャノンサービスパック（CSP）」や「キャノン・ケア・ギャランティ（CCG）」は、電話による障害の解決支援や設置先での修理対応、安定した運用稼動のための定期点検（CCG のみ）を実施します。

- ▶無償保証について(P. 466)
- ▶キャノンサービスパック（CSP）(P. 467)
- ▶キャノン・ケア・ギャランティ（CCG）(P. 469)

無償保証について

6AAS-08C

弊社の機器登録用ウェブサイトにお客様が機器情報をご登録いただくことで、お買い上げ日から1年間無償保証サービスを提供いたします。

下記ホームページからご登録をお願いいたします。

canon.jp/biz-regists

ご登録後に保証書を電子発行（ウェブサイトでの閲覧および印刷）いたしますので、印刷の上、大切に保管願います。

無償保証の保守サービスをお受けになるためには、ご登録後に電子発行される保証書、お買い上げ日が確認できる書面（納品書、領収書等）をあわせて、お買上げ販売店またはサービス実施店にご提示ください。

キヤノンサービスパック（CSP）

6AAS-08E

キヤノンサービスパック（以下 CSP）は、万一故障した場合の訪問料、作業料、部品代（*1）がパッケージ化された保守サービス商品です。無償保証期間を含めた複数年パック（3 年、4 年、5 年）、または保証期間後の 1 年パックから選択することができます。

*1 キヤノンマーケティングジャパンが別途定める特定の部品料金はこの限りではありません。

CSP のメリット

安心 1：予期せぬ出費を防ぐ

修理復旧作業にかかる費用は CSP の料金に含まれているため、部品代（*1）やその交換にかかる費用は発生しません。あらかじめ保守料金を予算化でき、予期せぬ出費を防ぐことができます。（CSP は、故障が発生した際に修理・調整をおこなうサービスです）

安心 2：安心の技術力

キヤノン認定のカスタマーエンジニアがお客様先へ訪問し、機器の診断から修理作業まできめ細やかなサービスを提供します。お客様に部品の交換作業をお願いすることはありません。

安心 3：コールセンターの的確な対応

CSP は保守専用のコールセンターで障害の内容を承ります。障害の内容に応じて復旧方法のアドバイスやサービス実施店への修理手配などの的確な対応を行ないます。

修理受付時間：月～金曜日 9:00～17:30

- ご連絡先の電話番号はお客様 ID シールに記載しております。
- 祝祭日、年末年始等のキヤノンマーケティングジャパンが指定する休日を除きます。

安心 4：簡単購入、簡単登録

CSP はパッケージ化された商品のため簡単に購入することができます。
また、契約書による契約手続きは不要で、CSP 購入後の保守登録は WEB、FAX、郵送で申請できます。



- 詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
canon.jp/csp

購入時の注意

購入タイミング

CSP スタンダードは対象製品の販売と同時にご購入ください。
CSP 保証延長は、無償保証期間経過後に CSP 保証延長を付ける場合、無償保証期間が終了する 3 ヶ月前から終了日までにご購入ください。CSP スタンダード 3 年、4 年パックの保守期間経過後に CSP を付ける場合は、保守期間が終了する 3 ヶ月前から保守終了日までにご購入ください。

サービス提供可能期間

CSP のサービス提供可能期間は延長期間を含め、対象製品お買い上げより最大 5 年間です。

CSP の登録期間

CSP のご購入後お早めにご登録ください。

CSP の登録申請後に発送する ID シールに障害発生時の電話連絡先を記載しています。

購入後の注意

1. 下記の事由による対象製品の故障または損傷については、CSP の対象外とさせていただきます。

- 対象製品取り扱い上の不注意または誤用
- 火災、天災地変等の不可抗力、その他キャノン MJ またはサービス実施店の責によらざる事由
- キャノン MJ 指定以外の製品、部品、付属品、消耗品（キャノン MJ の定める規格に適合しない用紙や再生品のカートリッジ等）の使用
- キャノン MJ またはサービス実施店以外の者が実施した改造、修理、分解、加工、設置、輸送・移動
- 電氣的ノイズ、公衆回線障害、その他外的要因

2. 前項の他、下記の作業についても本サービスの対象外とさせていただきます。

- 対象製品の移動及び撤去作業
- 対象製品のオーバーホール及び改造作業

キヤノン・ケア・ギャランティ（CCG）

6AAS-08F

キヤノン・ケア・ギャランティ（以下 CCG）は、無償保証期間後にいつでも締結可能（*1）な年間契約型の保守サービス制度で、万一故障した場合の訪問料、作業料、部品代（*2）が含まれています。

*1 ご契約を申し込まれる機器が正常に稼働していない場合は、ご契約できません。

*2 キヤノンマーケティングジャパンが別途定める特定の部品料金はこの限りではありません。

キヤノン保守契約制度のメリット

安心 1：予期せぬ出費を防ぐ

修理復旧作業にかかる費用は CCG の料金に含まれているため、部品代（*2）やその交換にかかる費用は発生しません。あらかじめ保守料金を予算化でき、予期せぬ出費を防ぐことができます。（CCG は、故障が発生した際に修理・調整を行うサービスです）

安心 2：安心の技術力

キヤノン認定のカスタマーエンジニアがお客様先へ訪問し、製品の診断から修理作業まできめ細やかなサービスを提供します。お客様に部品の交換作業をお願いすることはありません。

安心 3：保守内容のカスタマイズ

保守料金の支払い方法（一括払い／月払い）や契約の自動更新、点検作業の追加など、お客様のご要望に合わせて契約内容をカスタマイズすることが可能です。（*3）

安心 4：時間外サービス

土日や夜間など、サービス実施時間を延長することができます。

- 別途追加契約が必要になります。（*3）

*3 条件によっては契約をお受けできない場合があります。



- 詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
canon.jp/ccg

購入後の注意

1. 下記の事由による対象製品の故障または損傷については、CCG の対象外とさせていただきます。

- 対象製品取り扱い上の不注意または誤用
- 火災、天災地変等の不可抗力、その他キヤノン MJ またはサービス実施店の責によらざる事由
- キヤノン MJ 指定以外の製品、部品、付属品、消耗品（キヤノン MJ の定める規格に適合しない用紙や再生品のカートリッジ等）の使用
- キヤノン MJ またはサービス実施店以外の者が実施した改造、修理、分解、加工、設置、輸送・移動
- 電氣的ノイズ、公衆回線障害、その他外的要因

2.前項の他、下記の作業についても本サービスの対象外とさせていただきます。

- 対象製品の移動及び撤去作業
- 対象製品のオーバーホール及び改造作業

消耗品

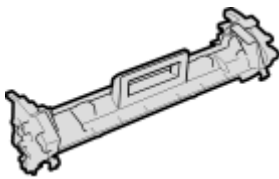
6AAS-08H

本機の消耗品やその交換目安について説明します。消耗品は、本機をお買い上げの販売店またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。消耗品のお取り扱いおよび保管に際しては、注意事項をお守りください。最適な印刷品位のため、交換用トナー、カートリッジ及びパーツは、キヤノン純正品のご使用をおすすめします。



- 消耗品のお取り扱いおよび保管に関しては、本製品に同梱されている「かんたん設置ガイド」の注意事項をお守りください。
- 本機の設置環境や印刷する用紙サイズ、原稿の種類によって、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

■ トナーカートリッジ



付属のトナーカートリッジ

付属のトナーカートリッジの平均印字可能枚数および質量は次のとおりです。

- 平均印字可能枚数*
1,700 枚
- 質量
約 0.3 Kg

交換用のトナーカートリッジ

最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。

キヤノン純正トナーカートリッジ	トナーカートリッジの平均印字可能枚数および質量
Canon Toner Cartridge 051 (キヤノントナーカートリッジ 051)	● 平均印字可能枚数* 1,700 枚 ● 質量 約 0.3 Kg
Canon Toner Cartridge 051H (キヤノントナーカートリッジ 051H)	● 平均印字可能枚数* 4,100 枚 ● 質量 約 0.4 Kg

*国際標準化機構（International Organization for Standardization）により発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準（ISO/IEC 19752）に準拠し、A4 サイズの普通紙を使用、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合の枚数です。



● **ご注意**

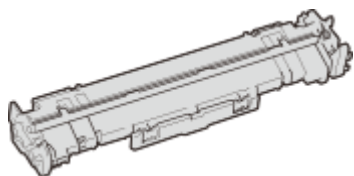
トナーカートリッジの偽造品に関するご注意

- キヤノン製トナーカートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。「偽造品」はキヤノン株式会社の商標権を侵害するものです。また誤って「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
global.canon/ctc



- トナーカートリッジを交換するとき **▶ トナーカートリッジを交換する(P. 448)**

■ ドラムカートリッジ



付属のドラムカートリッジ

付属のドラムカートリッジの平均印字可能枚数および質量は次のとおりです。

- 平均印字可能枚数*
23,000 枚
- 質量
約 0.2 Kg

交換用のドラムカートリッジ

最適な印刷品位のため、交換用ドラムカートリッジは、キヤノン純正ドラムカートリッジのご使用をおすすめします。

キヤノン純正ドラムカートリッジ	ドラムカートリッジの平均印字可能枚数および質量
Canon Drum Cartridge 051 (キヤノンドラムカートリッジ 051)	● 平均印字可能枚数* 23,000 枚 ● 質量 約 0.2 Kg

*平均印字可能枚数は、弊社評価基準において、A4 普通紙を 2 枚ずつ間隔をあけて（2 枚間欠）印刷した場合です。



ドラムカートリッジの偽造品に関するご注意

- キヤノン製ドラムカートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。「偽造品」はキヤノン株式会社の商標権を侵害するものです。また誤って「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
global.canon/ctc



- ドラムカートリッジを交換するとき ▶ **ドラムカートリッジを交換する(P. 452)**

困ったときは

困ったときは	475
よくあるトラブル	477
設置／設定のトラブル	478
コピー／印刷（プリント）のトラブル	482
ファクス／電話のトラブル	485
正しく印刷できない	487
きれいに印刷できない	489
用紙がしわになったり、カールしたりする	499
用紙が正しく送られない	501
メッセージや#で始まる番号（エラーコード）が表示される	502
メッセージごとの対処方法	503
エラーコードごとの対処方法	516
紙がつまったら	523
フィーダーに原稿がつまった	525
本体内部に用紙がつまった	528
トラブルが解決しないときは	532

困ったときは

6AAS-08J

トラブルが発生した場合は、お問い合わせいただく前に、まず本章で対処方法を確認してください。

■よくあるトラブル

本機の動作がおかしいときや、故障かな？と思ったときなどの対処方法について説明します。▶よくあるトラブル(P. 477)



■正しく印刷できない

きれいに印刷できないときや、用紙にしわやカールが発生したときの対処方法について説明します。▶正しく印刷できない(P. 487)



■メッセージや#で始まる番号（エラーコード）が表示される

ディスプレイにメッセージやエラーコード（3桁の数字）が表示された場合の対処方法について説明します。▶メッセージや#で始まる番号（エラーコード）が表示される(P. 502)



■紙がつまったら

用紙がつまったときの対処方法について説明します。▶紙がつまったら(P. 523)



■トラブルが解決しないときは

トラブルが解決しないときのお問い合わせ先についてご紹介しています。▶**トラブルが解決しないときは(P. 532)**



よくあるトラブル

6AAS-08K

本機をご使用中にトラブルが発生した場合、お問い合わせの前にこの項目をチェックしてください。それでもなお、トラブルが解消されない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

次の項目をチェックしてください

➡ 電源は入っていますか？／電源コードは接続されていますか？

- 電源が入っていても本機に反応がない場合、一度電源を切り、電源コードが正しく接続されているか確認して、再度電源を入れてください。電源コードの接続については、「かんたん設置ガイド」を参照してください。🔴 **マニュアルの種類と内容(P. 563)**

➡ 電話コード、LAN ケーブル、USB ケーブルは正しく接続されていますか？

- 正しく接続されているか確認してください。また、電話コードの接続口と、その他ケーブルの接続口を間違えないようにご注意ください。
🔴 **電話回線に接続する(P. 75)**
🔴 **各部の名称とはたらき(P. 95)**

➡ スリープモードになっていませんか？

- 一定時間何も操作をしないと、省エネのために自動的に節電状態（スリープモード）になり、操作ができなくなります。スリープモードを解除するには電源ボタン以外のキーを押してください。

➡ ディスプレーにメッセージが表示されていませんか？

- トラブルが発生するとメッセージが表示されます。🔴 **メッセージごとの対処方法(P. 503)**

チェックしても解決しないときは

トラブルの状況に合った項目を選んでください。

- 🔴 **設置／設定のトラブル(P. 478)**
- 🔴 **コピー／印刷（プリント）のトラブル(P. 482)**
- 🔴 **ファクス／電話のトラブル(P. 485)**

設置／設定のトラブル

6AAS-08L

あわせて **よくあるトラブル(P. 477)** をご覧ください。

- 無線 LAN／有線 LAN 接続のトラブル(P. 478)
- USB 接続のトラブル(P. 481)
- プリントサーバー経由のトラブル(P. 481)

無線 LAN／有線 LAN 接続のトラブル

無線 LAN と有線 LAN を同時に接続できない。

- 無線 LAN と有線 LAN を同時に接続することはできません。USB と無線 LAN、USB と有線 LAN はそれぞれ同時にお使いいただけます。

リモート UI が表示されない。

- < HTTP を使用 > や < リモート UI を使用 > の設定が < ON > になっていますか？
 - HTTP 通信を無効にする(P. 343)
 - リモート UI を無効にする(P. 344)
- モノクロ 6 行タッチパネル機を無線 LAN で接続している場合、ホーム画面に Wi-Fi アイコンが表示されていて、IP アドレスが正しく設定されているかを確認してからリモート UI を起動しなおしてください
 - ホーム画面(P. 113)
 - ネットワークの設定を確認する(P. 39)
- 有線 LAN で接続している場合、ケーブルが正しく接続され、IP アドレスが正しく設定されているかを確認してからリモート UI を起動しなおしてください。
 - 有線 LAN に接続する(P. 17)
 - ネットワークの設定を確認する(P. 39)
- プロキシサーバーをお使いではありませんか？その場合は、ウェブブラウザのプロキシサーバーの設定で、[例外]（プロキシを使用しないアドレス）に本機の IP アドレスを追加してください。
- ファイアウォールでパソコンの通信が制限されていませんか？間違えて設定してしまったためにリモート UI が表示されなくなったときは、操作パネルから < IPv4 アドレスフィルター >、< IPv6 アドレスフィルター >、または < MAC アドレスフィルター > を < OFF > にしてください。
 - ファイアウォールで通信制限する(P. 310)
 - < IPv4 アドレスフィルター >(P. 427)
 - < IPv6 アドレスフィルター >(P. 427)
 - < MAC アドレスフィルター >(P. 428)

ネットワークにつながらない。

- IP アドレスの設定に失敗している可能性があります。再度 IP アドレスを設定しなおしてください。
 - IP アドレスを設定する(P. 32)
- 無線 LAN で接続する場合は、本機がネットワークに接続できる状態か、確認してください。
 - 無線 LAN に接続できないときは(P. 479)

設定された IP アドレスがわからない。▶ネットワークの設定を確認する(P. 39)

有線 LAN から無線 LAN へ、無線 LAN から有線 LAN への変更ができない。

- 有線 LAN、無線 LAN を変更するときに本機の操作パネルからも切り替え操作を行いましたか？これを行わないと本機は接続方法を変更できません。

▶有線 LAN か無線 LAN かを選択する(P. 16)

接続したい無線 LAN ルーターの SSID やネットワークキーがわからない。

- 無線 LAN ルーター本体または箱に記載がないか確認してください。

アクセスポイント一覧に、接続したい無線 LAN ルーターの SSID が表示されない。

- メモした無線 LAN ルーターの SSID が間違っていないか確認してください。
▶SSID やネットワークキーを確認する(P. 31)
- 無線 LAN ルーターの SSID が公開されていない（ステルス機能*を使用している）場合は、無線 LAN ルーターで SSID が公開されるように設定してください。

*無線 LAN ルーターの SSID を他の機器が自動検出できないようにする機能です。

- 本機がネットワークに接続できる状態か、確認してください。

▶無線 LAN に接続できないときは(P. 479)

意図しない接続先に自動的にダイヤルアップする（ネットワークにダイヤルアップルーターが接続されている場合）。

- ダイヤルアップルーターでブロードキャストを通す必要がない場合は、ダイヤルアップルーターの設定はブロードキャストを通さない設定にしてください。ダイヤルアップルーターでブロードキャストを通す必要がある場合は、設定が正しいかどうか確認してください。
- DNS サーバーが外部のネットワークにある場合は、本機が接続されているネットワーク上の機器に接続する場合でも、接続先はホスト名ではなく、IP アドレスを使用して設定してください。
- 本機が接続されているネットワーク上に DNS サーバーがあり、DNS サーバーに外部のネットワークに接続されている機器の情報が登録されている場合は、その設定が正しいかどうか確認してください。

無線 LAN に接続できないときは



1 パソコンの状態を確認する

- パソコンと無線 LAN ルーターの設定は完了していますか？
- 無線 LAN ルーターのケーブル類（電源ケーブルや LAN ケーブルなど）が抜けていませんか？
- 無線 LAN ルーターの電源が入っていますか？

上記を確認しても解決しない場合：

- 各機器の電源をいったん切り、再度入れなおしてください。
- 少し時間をおいて、再度ネットワークに接続できるか確認してください。



2



本機の電源が入っているか確認する

- 電源が入っているときは、いったん切ってから、再度入れなおしてください。



3



本機と無線 LAN ルーターの設置場所を確認する

- 本機と無線 LAN ルーターの距離が離れすぎていませんか？
- 本機と無線 LAN ルーターの間に壁などの障害物がありませんか？
- 近くに電子レンジやデジタルコードレス電話機などの電波を発生する機器がありませんか？



4



以下の設定をしない

- ▶ WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する（プッシュボタン方式）(P. 20)
- ▶ WPS PIN コード方式で設定する(P. 23)
- ▶ 無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 25)
- ▶ すべて入力して設定する(P. 28)



MEMO

手動入力での設定が必要な場合

無線 LAN ルーターが次のように設定されているときは、手動入力で設定してください（▶すべて入力して設定する(P. 28)）。

- ANY 拒否*がオンになっている
- 自動生成した WEP キー（16 進数）が設定されている
- ステルス機能がオンになっている

* 接続しようとしている機器が SSID を「ANY」または「空白」に設定している場合、無線 LAN ルーターが接続を拒否する機能です。

無線 LAN ルーター側の設定変更が必要な場合

無線 LAN ルーターが次のように設定されているときは、ルーター側の設定を変更してください。

- MAC アドレスフィルタリングが設定されている
- IEEE 802.11n のみで通信している状態で、WEP を選択しているか、WPA/WPA2 の暗号化方式を TKIP に設定している

USB 接続のトラブル

通信できない。

- USB ケーブルを交換してください。USB ケーブルが長い場合は短いものに変更してください。
- USB ハブを使用しているときは、本機とパソコンを USB ケーブルで直接接続するようにしてください。

プリントサーバー経由のトラブル

接続するプリントサーバーが見つからない。

- プリントサーバーとパソコンが正しく接続されていますか？
- プリントサーバーは起動されていますか？
- プリントサーバーに接続する権限はありますか？ 不明な場合は、サーバーの管理者にお問い合わせください。
- [ネットワーク探索] は有効になっていますか？
▶ **[ネットワーク探索] を有効にする(P. 571)**

共有プリンターに接続できない。

- ネットワーク上でプリントサーバー内のプリンターは表示されますか？ 表示されない場合は、ネットワークやサーバーの管理者にお問い合わせください。
▶ **プリントサーバー内の共有プリンターの表示方法(P. 572)**

コピー／印刷（プリント）のトラブル

6AAS-08R

あわせて ▶よくあるトラブル(P. 477) をご覧ください。

きれいにコピー／印刷できない。または用紙にしわやカールが発生する。▶正しく印刷できない(P. 487)

印刷できない。

- Windows のテストページは印刷できますか？印刷できるときは、本機やプリンタードライバーに問題はありません。アプリケーションの印刷設定を確認してください。

▶Windows のテストページの印刷方法(P. 573)

テストページが印刷されないときは、お使いの環境に応じた項目をチェックしてください。

■ 無線 LAN 接続の場合

- 無線 LAN の接続状態（電波強度）を確認してください。
- ▶ネットワークの設定を確認する(P. 39)



- 接続状態が悪いときは、次のことを試してください。
 - 無線 LAN ルーターのチャンネルを変更してください。複数の無線 LAN ルーターがある場合は、チャンネルの間隔を 5 チャンネル以上離してください。
 - 無線 LAN ルーターの電波出力を変更できる場合は、出力を上げてください。
- パソコンが無線 LAN 接続の場合に、本機とパソコンが接続している無線 LAN ルーターの SSID は同じですか？異なるときは本機の無線 LAN 接続の設定をやりなおしてください。
 - ▶ネットワークの設定を確認する(P. 39)
 - ▶パソコンが接続している SSID を確認する(P. 578)
 - ▶無線 LAN に接続する(P. 18)



無線 LAN 接続の設定をやりなおすとき

- 接続する無線 LAN ルーターはパソコンが接続している SSID と同じものを選んでください。
- 使用するポートは正しく選択されていますか？使用するポートがないときは、ポートを作成してください。
 - ▶プリンターポートの確認方法(P. 576)
 - ▶印刷ポートの設定をする(P. 46)
- ファイアウォールでパソコンの通信が制限されていませんか？間違えて設定してしまったために本機にアクセスできなくなったときは、操作パネルから＜IPv4 アドレスフィルター＞、＜IPv6 アドレスフィルター＞、または＜MAC アドレスフィルター＞を＜OFF＞にしてください。
 - ▶ファイアウォールで通信制限する(P. 310)
 - ▶＜IPv4 アドレスフィルター＞(P. 427)
 - ▶＜IPv6 アドレスフィルター＞(P. 427)
 - ▶＜MAC アドレスフィルター＞(P. 428)

- セキュリティソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを無効にしてください。
- プリンタードライバをインストールしなおしてください。
▶ **ドライバをインストールする(P. 70)**
- ネットワーク上の他のパソコンから印刷できますか？他のパソコンからも印刷できない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

■ 有線 LAN 接続の場合

- 使用するポートは正しく選択されていますか？使用するポートがないときは、ポートを作成してください。
▶ **プリンターポートの確認方法(P. 576)**
▶ **印刷ポートの設定をする(P. 46)**
- ファイアウォールでパソコンの通信が制限されていませんか？間違えて設定してしまったために本機にアクセスできなくなったときは、操作パネルから＜IPv4 アドレスフィルター＞、＜IPv6 アドレスフィルター＞、または＜MAC アドレスフィルター＞を＜OFF＞にしてください。
▶ **ファイアウォールで通信制限する(P. 310)**
▶ **＜IPv4 アドレスフィルター＞(P. 427)**
▶ **＜IPv6 アドレスフィルター＞(P. 427)**
▶ **＜MAC アドレスフィルター＞(P. 428)**
- セキュリティソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを無効にしてください。
- プリンタードライバをインストールしなおしてください。
▶ **ドライバをインストールする(P. 70)**
- ネットワーク上の他のパソコンから印刷できますか？他のパソコンからも印刷できない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

■ USB 接続の場合

- 使用するポートは正しく選択されていますか？使用するポートがないときやわからないときは、プリンタードライバをインストールしなおしてください。インストールしなおすと自動的に正しいポートが作成されます。
▶ **プリンターポートの確認方法(P. 576)**
▶ **ドライバをインストールする(P. 70)**
- 双方向通信は有効になっていますか？双方向通信を有効にしたときは、パソコンと本機を再起動してください。
▶ **双方向通信の確認方法(P. 577)**
- セキュリティソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを無効にしてください。
- パソコンの他の USB ポートに接続してください。
- 他のパソコンに USB 接続して印刷できますか？他のパソコンからも印刷できない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

■ プリントサーバー経由の場合

- プリントサーバーから印刷できますか？プリントサーバーから印刷できるときは、プリントサーバーとお使いのパソコンの接続を確認してください。
▶ **プリントサーバー経由のトラブル(P. 481)**
 - セキュリティソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを無効にしてください。
 - プリンタードライバをインストールしなおしてください。
▶ **ドライバをインストールする(P. 70)**
 - 他のパソコンからプリントサーバーを介して印刷できますか？他のパソコンからも印刷できない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。
-
- エラーが起きていませんか？ジョブ履歴を確認してください。
▶ **コピー状況や履歴を確認する(P. 187)**
▶ **印刷状況や履歴を確認する(P. 238)**

印刷が遅く感じる。^{*}

- メモリー内に蓄積されているデータを印刷または削除してください。

^{*} メモリー残量が少なくなると動作が遅くなることがあります。ただし、これはパソコンなどでも起こる現象で異常ではありません。

Google Cloud Print で印刷できない。▶Google Cloud Print を使う (P. 297)

印刷を開始するまでに時間がかかる。

- 幅の狭い用紙を印刷しませんでしたか？ 幅の狭い用紙を印刷したあとは、印刷品質を保つために本体の冷却を行うことがあり、その場合は次の印刷を開始するまでに時間がかかります。そのまましばらくお待ちください。冷却が終わると、印刷が再開されます。

ファクス／電話のトラブル

6AAS-08S

あわせて **よくあるトラブル(P. 477)** をご覧ください。

- 送信のトラブル(P. 485)
- 受信のトラブル(P. 486)

送信のトラブル

ファクスが送信できない。

- 外付け電話機を使用中ではありませんか？通話が終了するまでお待ちください。
- エラーが発生していませんか？通信管理レポートをプリントして確認してください。
●通信管理レポート（モノクロ6行タッチパネル機）(P. 460)
- 電話回線は正しく設定されていますか？
●電話回線に接続する(P. 75)
- 海外へ送信する場合、ポーズを挿入してください。
●ファクス送信の基本操作(P. 203)

履歴から宛先を指定してファクス送信ができない。

- 本機の電源を切りませんでしたか？この場合、保存されていた履歴は削除されます。
- <新規宛先の制限>を<ON>に設定しませんでしたか？この場合、<ON>にする以前の履歴は削除されます。
- <履歴からの再送信を制限>を<ON>に設定しませんでしたか？この場合、履歴から宛先を指定できません。

光回線（ひかり電話）環境でファクスが送信できない。

- 本機は NTT のアナログ回線規格に準拠しており、光回線や IP 電話回線などを利用した場合、接続環境や接続機器によっては正しく動作しないこともあります。この場合は、光回線や IP 電話の事業者にお問い合わせください。

きれいにファクス送信できない。

- 原稿台ガラスまたはフィーダーを清掃してください。清掃しても改善されない場合は、受信側のファクスに問題がある可能性があります。
●原稿台ガラスを清掃する(P. 439)
●フィーダーを清掃する(P. 440)

受信のトラブル

きれいに受信できない。または用紙にしわやカールが発生する。▶正しく印刷できない
(P. 487)

電話とファクスが自動的に切り替わらない。

- 受信モードが＜FAX/TEL 切替＞または＜留守 TEL 接続＞に設定されていることを確認してください。
▶ファクスを受信する(P. 212)
- メモリー残量が少なくなっている可能性があります。メモリー内に蓄積されているデータを印刷または削除してください。
▶メモリー内の文書を確認／転送／削除する(P. 223)
▶メモリー内の文書を印刷する(P. 222)

ファクスを自動受信できない。

- 受信モードが＜FAX/TEL 切替＞、＜自動受信＞、＜留守 TEL 接続＞のいずれかに設定されていることを確認してください。
▶ファクスを受信する(P. 212)
- メモリー残量が少なくなっている可能性があります。メモリー内に蓄積されているデータを印刷または削除してください。
▶メモリー内の文書を確認／転送／削除する(P. 223)
▶メモリー内の文書を印刷する(P. 222)

光回線（ひかり電話）環境でファクスが受信できない。

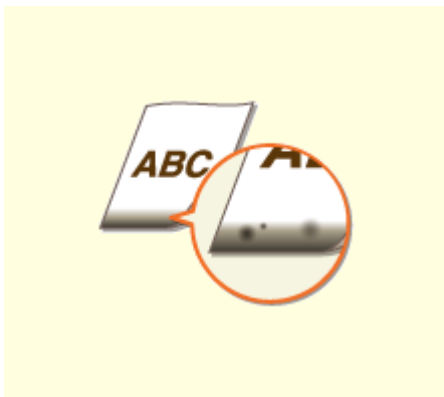
- 本機は NTT のアナログ回線規格に準拠しており、光回線や IP 電話回線などを利用した場合、接続環境や接続機器によっては正しく動作しないこともあります。この場合は、光回線や IP 電話の事業者にお問い合わせください。

正しく印刷できない

6AAS-08U

きれいに印刷できないとき、または用紙にしわやカールが発生したときは、こちらの対処方法をお試しください。それでもなお、改善されない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

■画質に問題がある ▶きれいに印刷できない(P. 489)



▶用紙の端が汚れる(P. 489)



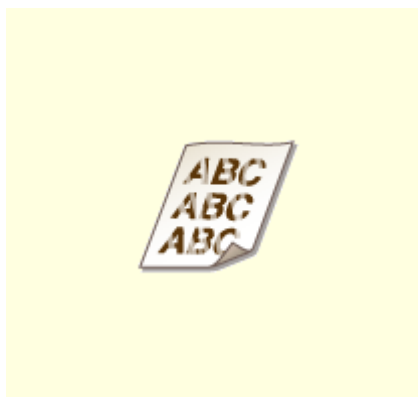
▶にじんだような汚れが付く(P. 489)



▶印刷しない部分に残像が現れる(P. 490)



▶トナーが飛び散ったような汚れが付く(P. 490)



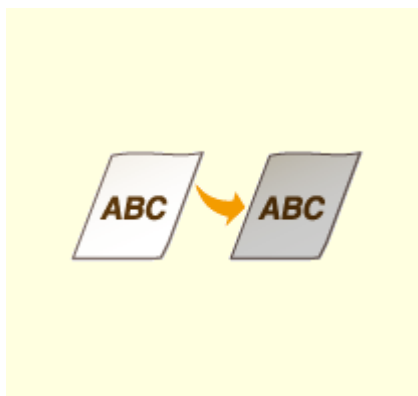
▶印刷がかすれる(P. 491)



▶ページの一部分が印刷されない(P. 493)



▶すじ（線）が入る／印字ムラが出る(P. 493)



▶印字が全体的に黒ずむ(P. 495)



▶部分的に白く抜ける(P. 496)



▶点状の汚れが付く(P. 497)



▶用紙のウラが汚れる(P. 497)



▶プリントしたバーコードが読み取れない(P. 498)

■出力紙に問題がある ▶用紙がしわになったり、カールしたりする(P. 499)



▶しわになる(P. 499)



▶カールする(P. 499)

■給紙がおかしい ▶用紙が正しく送られない(P. 501)



▶斜めに印刷される(P. 501)



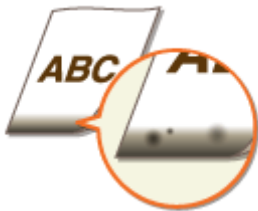
▶用紙が給紙されない／用紙が重なって送られる(P. 501)

きれいに印刷できない

6AAS-08W

本体内部の汚れが印刷結果に影響する場合があります。まず、本体のお手入れを行ってください。▶**日常のお手入れ(P. 437)**

用紙の端が汚れる



→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。また、用紙サイズと種類を正しく設定してください。
 - ▶用紙について(P. 552)
 - ▶用紙をセットする(P. 135)
 - ▶用紙サイズと種類を設定する(P. 151)

→ 余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷していませんか？

- プリンタードライバで余白なしに設定すると、この現象が起こることがあります。本機で印刷できる範囲は、用紙の周囲 5 mm（封筒の上下は 10 mm）を除いた部分です。印刷する文書の周囲に余白を確保してください。
 [仕上げ] タブ ▶ [処理オプション] ▶ [印字領域を広げて印刷] ▶ [しない]

にじんだような汚れが付く



→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。
 - ▶用紙について(P. 552)
 - ▶用紙をセットする(P. 135)
- 適切な用紙を使用しても改善されない場合は、＜特殊印字モード A＞または＜特殊印字モード Z＞に設定を変更すると改善されることがあります。＜モード 1＞よりも＜モード 2＞の方が印刷品質を向上させることができます。

▶<特殊処理>(P. 420)

印刷しない部分に残像が現れる



→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。
 - ▶用紙について(P. 552)
 - ▶用紙をセットする(P. 135)

→ トナーカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- トナーカートリッジの残量を確認して、必要に応じてトナーカートリッジを交換してください。
- トナーカートリッジの残量にかかわらず、本機の使用環境やトナーカートリッジ内部の劣化により寿命に達している場合があります。
 - ▶トナーカートリッジを交換する(P. 448)

→ ドラムカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- ドラムカートリッジの残量を確認して、必要に応じてドラムカートリッジを交換してください。
- ドラムカートリッジの残量にかかわらず、本機の使用環境やドラムカートリッジ内部の劣化により寿命に達している場合があります。
 - ▶ドラムカートリッジを交換する(P. 452)

トナーが飛び散ったような汚れが付く



→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。
 - ▶用紙について(P. 552)
 - ▶用紙をセットする(P. 135)
- <特殊印字モード U>を< ON >に設定すると改善されることがあります。
 - ▶<特殊処理>(P. 420)

→ 紙粉や粉塵の多い用紙を使用していませんか？

- 用紙に紙粉や粉塵が多く含まれていると、印刷時に汚れが付くことがあります。＜特殊印字モード L＞を＜ON＞に設定すると改善されることがあります。
▶＜特殊処理＞(P. 420)

→ トナーカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- トナーカートリッジの残量を確認して、必要に応じてトナーカートリッジを交換してください。
- トナーカートリッジの残量にかかわらず、本機の使用環境やトナーカートリッジ内部の劣化により寿命に達している場合があります。
▶トナーカートリッジを交換する(P. 448)

→ ドラムカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- ドラムカートリッジの残量を確認して、必要に応じてドラムカートリッジを交換してください。
- ドラムカートリッジの残量にかかわらず、本機の使用環境やドラムカートリッジ内部の劣化により寿命に達している場合があります。
▶ドラムカートリッジを交換する(P. 452)

印刷がかすれる



→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。また、用紙サイズと種類を正しく設定してください。
▶用紙について(P. 552)
▶用紙をセットする(P. 135)
▶用紙サイズと種類を設定する(P. 151)

→ 紙粉の多い用紙を使用していませんか？

- 紙粉の多い用紙を使用すると、画像がかすれたり、すじが入ったりすることがあります。＜特殊印字モード G＞を＜ON＞に設定すると改善されることがあります。
▶＜特殊処理＞(P. 420)

→ 表面の粗い用紙を使用していますか？

- 表面の粗い用紙を使用すると、画像がかすれることがあります。＜特殊印字モード Q＞を＜ON＞に設定すると改善されることがあります。
▶＜特殊処理＞(P. 420)



- < ON >に設定すると、画質が変わることがあります。

→ 湿度が高い環境で使用していませんか？

- <特殊印字モード T>を< ON >に設定すると改善されることがあります。
▶<特殊処理>(P. 420)



- < ON >に設定したときは、オモテ面を印刷してから一定時間が経過したときや湿度環境によっては、画質が変わったり、紙づまりが発生したりする場合があります。

→ すでに印刷された用紙のウラ面に印刷しましたか？

- すでに印刷された用紙のウラ面に印刷すると薄くなる場合があります。<特殊印字モード R>を< ON >に設定すると改善されることがあります。
▶<特殊処理>(P. 420)



- < ON >に設定したときは、オモテ面を印刷してから一定時間が経過したときや湿度環境によっては、画質が変わったり、紙づまりが発生したりする場合があります。

→ 適切な環境で使用していますか？

- 適切な場所へ設置しなおしてください。
▶本機を移動する(P. 457)

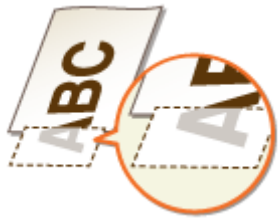
→ トナーカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- トナーカートリッジの残量を確認して、必要に応じてトナーカートリッジを交換してください。
- トナーカートリッジの残量にかかわらず、本機の使用環境やトナーカートリッジ内部の劣化により寿命に達している場合があります。
▶トナーカートリッジを交換する(P. 448)

→ ドラムカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- ドラムカートリッジの残量を確認して、必要に応じてドラムカートリッジを交換してください。
- ドラムカートリッジの残量にかかわらず、使用環境やドラムカートリッジの内部の劣化により、寿命に達している場合があります。
▶ドラムカートリッジを交換する(P. 452)

ページの一部が印刷されない



→ 余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷していませんか？

- プリンタードライバーで余白なしに設定すると、この現象が起こることがあります。本機で印刷できる範囲は、用紙の周囲 5 mm（封筒の上下は 10 mm）を除いた部分です。印刷する文書の周囲に余白を確保してください。
[仕上げ] タブ ▶ [処理オプション] ▶ [印字領域を広げて印刷] ▶ [しない]

→ 用紙ガイドを用紙にぴったり合わせていますか？

- ガイドの合わせかたがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、文書の一部が欠けて印刷されることがあります。
▶ 用紙をセットする(P. 135)

すじ（線）が入る／印字ムラが出る



→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。
▶ 用紙について(P. 552)
▶ 用紙をセットする(P. 135)

→ 原稿台ガラスが汚れていませんか？

- 原稿台ガラス、および原稿台ガラスカバーやフィーダーの裏面を清掃してください。
▶ 原稿台ガラスを清掃する(P. 439)

→ 定着器のクリーニングはしていますか？

- 定着器をクリーニングしてください。
▶ 定着器を清掃する(P. 444)

→ 表面の粗い用紙を使用していますか？

- 表面の粗い用紙を使用すると、画像がかすれることがあります。＜特殊印字モード Q＞を＜ON＞に設定すると改善されることがあります。
▶＜特殊処理＞(P. 420)



- ＜ON＞に設定すると、画質が変わることがあります。

→ 湿度が高い環境で使用していませんか？

- ＜特殊印字モード T＞を＜ON＞に設定すると改善されることがあります。
▶＜特殊処理＞(P. 420)



- ＜ON＞に設定したときは、オモテ面を印刷してから一定時間が経過したときや湿度環境によっては、画質が変わったり、紙づまりが発生したりする場合があります。

→ 紙粉の多い用紙を使用していませんか？

- 紙粉の多い用紙を使用すると、画像がかすれたり、すじが入ったりすることがあります。＜特殊印字モード G＞を＜ON＞に設定すると改善されることがあります。
▶＜特殊処理＞(P. 420)

→ はがきに印刷するときに印刷がかすれたり印字ムラが出ますか？

- ＜はがき定着改善モード＞の設定を変更してください。＜ON＞に設定すると改善されることがあります。
▶＜はがき定着改善モード＞(P. 424)



- ＜ON＞に設定すると、用紙がカールすることがあります。

→ トナーカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- トナーカートリッジの残量を確認して、必要に応じてトナーカートリッジを交換してください。
- トナーカートリッジの残量にかかわらず、本機の使用環境やトナーカートリッジ内部の劣化により寿命に達している場合があります。
▶トナーカートリッジを交換する(P. 448)

→ ドラムカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- ドラムカートリッジの残量を確認して、必要に応じてドラムカートリッジを交換してください。
- ドラムカートリッジの残量にかかわらず、本機の使用環境やドラムカートリッジ内部の劣化により寿命に達している場合があります。
▶ドラムカートリッジを交換する(P. 452)

印字が全体的に黒ずむ



→ 印刷したはがきが全体的に黒ずみますか？

- <はがき下地補正>の設定を変更してください。設定すると改善されることがあります。
▶ <はがき下地補正> (P. 424)



- 設定を有効にすると、線が細くなったり、印刷しない部分に残像が現れたりすることがあります。また、印刷濃度が薄くなることがあります。

→ <コピー設定>の<濃度補正>を濃く設定していませんか？

- 薄くなるように設定しなおしてください。
▶ <濃度補正> (P. 398)

→ 下地に色が付いていたり、汚れていたりする原稿や、新聞など紙が薄くウラ面の文字や画像が透けて見える原稿をコピーしていませんか？

- 原稿を確認して濃度を正しく調整してください。
▶ コピーの基本操作 (P. 180)

→ 特定の用紙を使用していませんか？

- お使いの用紙によっては、印刷面が黒ずむことがあります。用紙を確認して、別の用紙に変更してください。
▶ 用紙について (P. 552)
- <特殊印字モード U>または<特殊印字モード G>を<ON>に設定すると、改善されることがあります。
▶ <特殊処理> (P. 420)



- 設定を有効にしても改善の効果が得られないことがあります。

→ 適切な環境で使用していますか？

- 適切な場所へ設置しなおしてください。
- トナーカートリッジを適切な場所に保管し、2～3時間してから再度、印刷してみてください。不具合が改善される場合があります。それでも改善されない場合は、トナーカートリッジを交換してください。
▶ トナーカートリッジを交換する (P. 448)
- オプションの環境ヒーターを装着すると、改善されることがあります。

▶オプション機器について(P. 562)

→ドラムカートリッジを直射日光が当たる場所に長時間置いていませんか？

- ドラムカートリッジを適切な場所に保管し、2～3時間してから再度、印刷してみてください。不具合が改善される場合があります。それでも改善されない場合は、ドラムカートリッジを交換してください。

▶ドラムカートリッジを交換する(P. 452)

部分的に白く抜ける



→湿った用紙を使用していませんか？

- 適切な用紙に交換してください。

▶用紙をセットする(P. 135)

→適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。

▶用紙について(P. 552)

▶用紙をセットする(P. 135)

→トナーカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- トナーカートリッジの残量を確認して、必要に応じてトナーカートリッジを交換してください。
- トナーカートリッジの残量にかかわらず、本機の使用環境やトナーカートリッジ内部の劣化により寿命に達している場合があります。

▶トナーカートリッジを交換する(P. 448)

→ドラムカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- ドラムカートリッジの残量を確認して、必要に応じてドラムカートリッジを交換してください。
- ドラムカートリッジの残量にかかわらず、本機の使用環境やドラムカートリッジ内部の劣化により寿命に達している場合があります。

▶ドラムカートリッジを交換する(P. 452)

点状の汚れが付く



➔ 定着器のクリーニングはしていますか？

- 定着器をクリーニングしてください。
▶ 定着器を清掃する(P. 444)

用紙のウラが汚れる



➔ 印刷データのサイズよりも小さい紙をセットしていませんか？

- 印刷データのサイズとセットしている用紙サイズが合っているか確認してください。

➔ 定着器のクリーニングはしていますか？

- 定着器をクリーニングしてください。
▶ 定着器を清掃する(P. 444)

➔ 両面印刷したときに汚れが付きますか？

- 両面印刷時に、用紙のウラ面が汚れてしまうことがあります。＜特殊印字モード R＞を＜ON＞に設定すると改善されることがあります。
▶ ＜特殊処理＞(P. 420)



- ＜ON＞に設定すると画質が変わる場合があります。また、印刷して一定時間経過していたり、周囲の湿度によっては用紙がつまったりする場合があります。

プリントしたバーコードが読み取れない



➡ 小さなバーコードや、線の太いバーコードを使っていませんか？

- バーコードを大きくしてください。
- <線幅選択>の設定を変更すると改善されることがあります。
▶ <特殊処理> (P. 420)

用紙がしわになったり、カールしたりする

6AAS-08X

しわになる



→ 紙は正しくセットされていますか？

- 用紙を斜めにセットしたり、積載制限ガイドを超えてセットしたりするとしわになることがあります。
▶ 用紙をセットする(P. 135)

→ 湿った用紙を使用していないですか？

- 適切な用紙に交換してください。
▶ 用紙をセットする(P. 135)

→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。
▶ 用紙について(P. 552)
▶ 用紙をセットする(P. 135)

カールする



→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。また、用紙サイズと種類を正しく設定してください。
▶ 用紙について(P. 552)
▶ 用紙をセットする(P. 135)
▶ 用紙サイズと種類を設定する(P. 151)
- <用紙種類>をより薄い用紙の設定に変更してください。たとえば<普通紙 (71～89 g/m²)>に設定していた場合は、<普通紙 L (61～70 g/m²)>または<普通紙 L2 (60 g/m²)>に設定を変更してください。

▶用紙サイズと種類を設定する(P. 151)

▶用紙について(P. 552)

- 文書を印刷する面（用紙のオモテとウラ）を逆にして、用紙をセットしなおしてください。



- お使いの用紙によっては、まれに症状が悪化することがあります。そのような場合は元の面に戻してください。

→ 湿った用紙を使用していませんか？

- 適切な用紙に交換してください。

▶用紙をセットする(P. 135)

用紙が正しく送られない

6AAS-08Y

斜めに印刷される



→ 用紙ガイドを用紙にぴったり合わせていますか？

- ガイドの合わせかたがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、斜めに印刷されます。
▶ **用紙をセットする(P. 135)**

→ カールしたはがきまたは封筒に印刷していませんか？

- カールを取ってから印刷してください。
▶ **封筒・はがきをセットする(P. 144)**

用紙が給紙されない／用紙が重なって送られる



→ 用紙を適切にセットしていますか？

- 用紙をよくさばき、紙が貼り付かないようにしてください。
- 用紙が正しくセットされているか確認してください。
▶ **用紙をセットする(P. 135)**
- セットした用紙の枚数や、使用している用紙が適切か確認してください。
▶ **用紙について(P. 552)**
▶ **用紙をセットする(P. 135)**
- 異なるサイズや異なる種類の用紙をいっしょにセットしていないか確認してください。
- 厚紙の種類によっては正しく給紙されない場合があります。その場合は、用紙の前後の向きを変更するか、文書をプリントする面（オモテとウラ）を逆にしてセットしなおしてください。

メッセージや#で始まる番号（エラーコード）が表示される

6AAS-090

本機のディスプレイにメッセージが表示されたり、「#」で始まる番号（エラーコード）が表示されたりしたときは、次の参照先から対処方法を確認してください

- ▶メッセージごとの対処方法(P. 503)
- ▶エラーコードごとの対処方法(P. 516)

メッセージごとの対処方法

6AAS-091

ファクス送信に失敗したときや、メモリー容量がいっぱいになったときなど、操作に支障が生じた場合は画面にメッセージが表示されます。メッセージの詳細については以下をご覧ください。

- 🔴英数字(P. 503)
- 🔴あ~お(P. 505)
- 🔴か~こ(P. 506)
- 🔴さ~そ(P. 507)
- 🔴た~と(P. 508)
- 🔴な~の(P. 511)
- 🔴は~ほ(P. 512)
- 🔴ま~も(P. 512)
- 🔴や~よ(P. 513)
- 🔴ら~ろ(P. 514)

英数字

AOSS 接続できませんでした。しばらく待ってから再度設定してください。

何らかのエラーが発生し、AOSS での接続が失敗した。

- しばらく待ってから、再度設定を行ってください。それでも接続できない場合は、無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントが AOSS に対応しているか確認してください。また、他の接続方式（WPS／らくらく無線スタート）に対応している可能性もあります。

AOSS に対応している場合

ネットワークに接続できる状態か、確認してください。

- 🔴**設置／設定のトラブル(P. 478)**

AOSS に対応していない場合

他の接続方式で設定してください。

- 🔴**無線 LAN に接続する(P. 18)**

Google クラウド プリントが使用できません。サーバーとの通信エラーが発生。／Google クラウド プリント使用不可。サーバー通信エラー発生

何らかのエラーが発生し、クラウドプリントができない。

無線 LAN または有線 LAN に正しく接続されているか確認してください。

- 🔴**有線 LAN に接続する(P. 17)**
- 🔴**無線 LAN に接続する(P. 18)**

- クラウドプリントで使用しているポートがファイアウォールなどでブロックされている可能性があります。お使いのパソコンで 5222 ポートが使用可能な状態か確認してください。
- ネットワークでプロキシサーバーを使用している場合、プロキシサーバーと本機のプロキシ設定が正しいか確認してください。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 🔴**プロキシを設定する(P. 317)**

Google クラウド プリントが使用できません。サーバ認証ができません。／Google クラウド プリント使用不可。
サーバ認証失敗。

クラウドプリントのサーバ認証ができなかった。または登録情報の取得に失敗した。

- 本機の日付／時刻の設定が正しいか確認してください。
 ▶<日付/時刻の設定>(P. 391)

PC との接続が切断されました。接続を確認してください。

スキャン中にパソコンとの接続が切断された。

- 本機とパソコンの接続を確認してください。
 ▶スキャナーとして使うための準備をする(P. 78)

WEP キーが正しく設定されていません。WEP 設定を確認してください。／WEP キーが正しく設定されていません。WEP 設定を確認して下さい

接続したい無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントのネットワークキー（WEP キー）が正しく設定されていない。

- 無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントのネットワークキー（WEP キー）を確認し、設定しなおしてください。
 ▶SSID やネットワークキーを確認する(P. 31)
 ▶無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 25)
 ▶すべて入力して設定する(P. 28)

本機の認証方式が<共有キー>で設定されているのに、無線 LAN ルーターまたはアクセスポイント側は「オープン（Open System）」で設定されている。

- アクセスポイント選択方式で接続するか、手動入力方式で WEP の認証方式を<オープンシステム>に変更して接続しなおしてください。
 ▶無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 25)
 ▶すべて入力して設定する(P. 28)
- 無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントで WEP の認証方式を「共有（Shared Key）」に変更したあと、接続しなおしてください。変更方法については、お使いの無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

WPS 接続できませんでした。しばらく待ってから再度設定してください。／WPS 接続できませんでした。

WPS で自動設定を試みましたが、何らかのエラーが発生して接続に失敗した。

- しばらく待ってから、再度設定を行ってください。それでも接続できない場合は、無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントが WPS に対応しているか確認してください。また、他の接続方式（AOSS／らくらく無線スタート）に対応している可能性もあります。

WPS に対応している場合

ネットワークに接続できる状態か、確認してください。

- ▶設置／設定のトラブル(P. 478)

WPS に対応していない場合

他の接続方式で設定してください。

- ▶無線 LAN に接続する(P. 18)

あ~お

アクセスポイントが見つかりません。

WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定を試みたが、所定の時間内に無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントを検出できなかった。

- 制限時間に注意して接続しなおしてください。
 - ▶WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する（プッシュボタン方式）(P. 20)
 - ▶WPS PIN コード方式で設定する(P. 23)

接続方式の選択を間違えた。

- 正しい方式を選択して接続しなおしてください。
 - ▶WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する（プッシュボタン方式）(P. 20)

無線 LAN ルーターの SSID やネットワークキーを手動で入力したが、入力内容に間違いがある。

- SSID を正しく入力しなおしてください。
 - ▶SSID やネットワークキーを確認する(P. 31)
 - ▶すべて入力して設定する(P. 28)

ネットワーク側の設定に問題があり、無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントを検出できなかった。

- ネットワークに接続できる状態か、確認してください。
 - ▶設置/設定のトラブル(P. 478)
- 解決しない場合は、無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントのセキュリティ設定を確認してください。

アクセスポイントの接続数が最大に達しているため接続できませんでした。

すでに最大接続数に達した無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントに接続しようとした。

- 無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントに接続している機器（クライアント）の数を減らしてください。最大接続数については、お使いの無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

インポートできません。ファイルにエラーを検出しました。

アドレス帳のインポートに失敗した

- 本機とパソコンを接続する USB ケーブルを確認してください。
- インポートするアドレス帳の内容が正しいか確認してください。
 - ▶付属のソフトウェアでアドレス帳データを読み込む／書き出す(P. 364)

エクスポートできません。ファイル作成中にエラーを検出しました。

アドレス帳のエクスポートに失敗した。

- 本機とパソコンを接続する USB ケーブルを確認してください。
- パソコンのアドレス帳の保存先フォルダーにアクセス権限があるか確認してください。アクセス権限がないときは、アクセス権限のあるユーザーでログオンするか、アドレス帳の保存先を変更してください。
 - ▶付属のソフトウェアでアドレス帳データを読み込む／書き出す(P. 364)



アドレス帳の保存先フォルダーにアクセス権限がないと、アドレス帳は使えません。その場合は、アクセス権限のあるユーザーでログオンするか、アドレス帳の保存先を変更してください。

か~こ

カートリッジ通信エラー。他社トナーカートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があります。／カートリッジ通信エラー-他社トナーカートリッジ または偽造品がセットされている可能性があります。

トナーカートリッジが正しくセットされていないか、トナーカートリッジが故障している可能性がある。

- トナーカートリッジをセットしなおしてください。何度かセットしなおしても、メッセージが引き続き表示されている場合は、トナーカートリッジが故障している可能性があります。お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご相談ください。

▶ **トナーカートリッジの交換手順(P. 449)**

カートリッジ通信エラー。他社ドラムカートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があります。／カートリッジ通信エラー-他社ドラムカートリッジ または偽造品がセットされている可能性があります。

ドラムカートリッジが正しくセットされていないか、ドラムカートリッジが故障している可能性がある。

- ドラムカートリッジをセットしなおしてください。何度かセットしなおしても、メッセージが引き続き表示されている場合は、ドラムカートリッジが故障している可能性があります。お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご相談ください。

▶ **ドラムカートリッジの交換手順(P. 453)**

開始できませんでした。

PC でかんたん接続（ケーブルレスセットアップ）開始中にエラーが発生した。

-  を押して前の画面に戻り、＜PC でかんたん接続＞を再度実行してください。
- ＜PC でかんたん接続＞を再度実行しても同じメッセージが表示される場合は、いったん本体の電源を切って再起動してください。

共有キー認証ができませんでした。WEP 設定を確認してください。

接続したい無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントのネットワークキー（WEP キー）が正しく設定されていない。

- 無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントのネットワークキー（WEP キー）を確認し、設定しなおしてください。
 - ▶ **SSID やネットワークキーを確認する(P. 31)**
 - ▶ **すべて入力して設定する(P. 28)**
- アクセスポイント選択方式で接続するか、手動入力方式で WEP の認証方式を＜オープンシステム＞に変更して接続しなおしてください。
 - ▶ **無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 25)**
 - ▶ **すべて入力して設定する(P. 28)**

本機の認証方式は＜共有キー＞に設定されているのに、無線 LAN ルーターまたはアクセスポイント側は「オープン (Open System)」で設定されている。

- 無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントで WEP の認証方式を「共有 (Shared Key)」に変更したあと、接続しなおしてください。変更方法については、お使いの無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

クリーニングできませんでした。

クリーニング中に紙づまりが起きた。

- つまった用紙を取り除いて用紙を正しくセットし、もう一度クリーニングを実行してください。
 - ▶ 本体内部に用紙がつまった(P. 528)
 - ▶ 定着器を清掃する(P. 444)

グループに登録されている宛先は宛先の種類を変更できません。

選んだ宛先がグループダイヤルに登録されているため、編集できなかった。

- グループダイヤルに登録されている宛先の種類を変更するには、一度グループダイヤルから宛先を削除し、種類を変更してからグループダイヤルに登録をやりなおしてください。

グループは指定できません。

<オンフック>を押したあとに宛先としてグループダイヤルを指定した。

- <オンフック>を選ぶとグループダイヤルの宛先は指定できません。<宛先を指定してください>の画面で<終了>を選んでから、<オンフック>を選ばずに宛先を指定してファクス送信してください。

現在日時を設定できませんでした。

ネットワークで何らかのエラーが発生して通信にタイムアウトで失敗した。

- 本機の接続しているネットワークの環境を確認してください。
- <現在日時の設定>で時刻を手動設定するか、[SNTP 設定] で [SNTP を使用する] のチェックボックスからチェックを外してください。
 - ▶ 現在日時を設定する(P. 12)
 - ▶ SNTP の設定をする(P. 68)

さ~そ

受信データをプリントできません。

次の原因で受信文書が印刷できない。

- トナーカートリッジまたはドラムカートリッジの交換時期が近づいている
- カバーが開いている
- トナーカートリッジまたはドラムカートリッジがセットされていない
- 用紙がセットされていない
- 用紙や原稿がつまっている
- 何らかの異常が発生している
- 上記のいずれかに該当しないか確認してください。また、原因や対処が表示されている場合は、その内容を確認してください。

主電源を入れ直してください。復帰しない場合は販売店または担当サービスにご連絡ください。

／主電源を入れ直してください。復帰しない場合は販売店または担当サービスにご連絡ください。

本体に何らかのエラーが発生している。

- 電源スイッチを切り、10 秒以上待ち、再度電源スイッチを入れます。これで問題が解消しない場合は、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。ご連絡の際、表示された＜ Ennn-nnnn ＞をお知らせください。

新規宛先の指定と登録が制限されています。

送信時の宛先指定がアドレス帳に限定されている。

- アドレス帳以外の方法で宛先指定するには＜新規宛先の制限＞を＜ OFF ＞にする必要があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。
● **新規宛先の入力を制限する(P. 338)**

接続できませんでした。

何らかのエラーが発生し、アクセスポイントモードでの接続が失敗した。

- しばらく待ってから、再度設定を行ってください。それでも接続できない場合は、いったん電源を切って再起動してください。
● **ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）(P. 280)**

接続できませんでした。PSK 設定を確認してください。

接続したい無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントのネットワークキー（PSK）が正しく設定されていない。

- 無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントのネットワークキー（PSK）を確認し、設定しなおしてください。
● **SSID やネットワークキーを確認する(P. 31)**
● **無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 25)**
● **すべて入力して設定する(P. 28)**
● ネットワークキーを確認しても解決しない場合は、ネットワークに接続できる状態か、確認してください。
● **設置／設定のトラブル(P. 478)**

た~と

タイムアウトにより PC でかんたん接続を終了しました。

パソコンに接続できないまま PC でかんたん接続（ケーブルレスセットアップ）の開始から 30 分経過した。

-  を押して前の画面に戻り、＜ PC でかんたん接続＞を再度実行してください。

ダイレクト接続が切断されました。

モバイル機器との接続が切断された。

- ダイレクト接続しなおしてください。
● **ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）(P. 280)**

ダイレクト接続が切断されました。ネットワーク接続を確認してください。／ダイレクト接続が切断されました。ネットワーク接続を確認してください

モバイル機器との接続が切断された。

- ダイレクト接続しなおしてください。
● **ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）(P. 280)**

ダイレクト接続中の無線機器の数が最大に達しています。別の無線機器を接続する場合は、現在接続中の機器を切断してください。

ダイレクト接続中のモバイル機器の数が最大に達した。

- 別のモバイル機器をダイレクト接続するには、現在接続中のモバイル機器を切断してから接続しなおしてください。
●ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）(P. 280)

ダイレクト接続を開始できません。

アクセスポイントモード開始中にエラーが発生した。

- 「192.168.22.xx」以外の IP アドレスに設定してください。それでも接続できない場合は、サブネットマスクの設定を確認してください。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
●IPv4 アドレスを設定する(P. 33)

ダイレクト接続を開始できません。ネットワーク接続を確認してください。

本機がアクセスポイントに接続していない状態で、アクセスポイントモードを開始した。

- 本機をアクセスポイントに接続したあと、アクセスポイントモードを開始してください。

他社トナーカートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があります。カートリッジ残量を正しく表示できません。／他社トナーカートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があります。

キヤノン純正トナーカートリッジを使用していない可能性がある。

- 交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジの使用をおすすめします。
●消耗品(P. 471)

他社ドラムカートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があります。カートリッジ残量を正しく表示できません。／他社ドラムカートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があります

キヤノン純正ドラムカートリッジを使用していない可能性がある。

- 交換用ドラムカートリッジは、キヤノン純正ドラムカートリッジの使用をおすすめします。
●消耗品(P. 471)

正しい認証情報を設定してください。

クライアント認証情報（鍵ペアと証明書、ユーザー名とパスワード、および CA 証明書）が正しく設定されていない。

- 設定した認証方式および認証情報（鍵ペアと証明書、ユーザー名とパスワード、および CA 証明書）を確認してください。
●IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 329)

通信先から応答がありませんでした。

ネットワークケーブルが抜けているか、スイッチで問題が発生している可能性がある。

- ネットワークケーブルおよびスイッチの状況を確認してください。

トナーカートリッジが寿命になりました。

トナーカートリッジが寿命に達した。

- トナーカートリッジを交換してください。
▶トナーカートリッジを交換する(P. 448)

トナーカートリッジ残量を正しく表示できません。／トナーカートリッジ 残量を正しく表示できません。

トナーカートリッジが正しくセットされていないか、トナーカートリッジが故障している可能性がある。

- トナーカートリッジをセットしなおしてください。何度かセットしなおしても、メッセージが引き続き表示されている場合は、トナーカートリッジが故障している可能性があります。お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご相談ください。
▶トナーカートリッジを交換する(P. 448)

キヤノン純正トナーカートリッジを使用していない可能性がある。

- 交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジの使用をおすすめします。
▶消耗品(P. 471)

トナーカートリッジ 寿命トナーカートリッジ の交換を推奨。／トナーカートリッジ 寿命トナーカートリッジ 交換を推奨

トナーカートリッジが寿命に達した。

- トナーカートリッジの交換をおすすめします。
▶トナーカートリッジを交換する(P. 448)

トナーカートリッジの準備をおすすめします。／トナーカートリッジ の準備をおすすめします。

トナーカートリッジの交換時期が近づいた。

- 大量にプリントするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします。
▶消耗品(P. 471)

トナーカートリッジをセットしてください。

トナーカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない。

- トナーカートリッジを正しくセットしてください。
▶トナーカートリッジを交換する(P. 448)

ドラムカートリッジが寿命になりました。

ドラムカートリッジが寿命に達した。

- ドラムカートリッジを交換してください。
▶ドラムカートリッジを交換する(P. 452)

ドラムカートリッジ残量を正しく表示できません。／ドラムカートリッジ 残量を正しく表示できません。

ドラムカートリッジが正しくセットされていないか、ドラムカートリッジが故障している可能性がある。

- ドラムカートリッジをセットしなおしてください。何度かセットしなおしても、メッセージが引き続き表示されている場合は、ドラムカートリッジが故障している可能性があります。お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご相談ください。

▶ドラムカートリッジを交換する(P. 452)

キヤノン純正ドラムカートリッジを使用していない可能性がある。

- 交換用ドラムカートリッジは、キヤノン純正ドラムカートリッジの使用をおすすめします。
▶消耗品(P. 471)

ドラムカートリッジ 寿命ドラムカートリッジ の交換を推奨。／ドラムカートリッジ 寿命ドラムカートリッジ 交換を推奨

ドラムカートリッジが寿命に達した。

- ドラムカートリッジの交換をおすすめします。
▶ドラムカートリッジを交換する(P. 452)

ドラムカートリッジの準備をおすすめします。／ドラムカートリッジ の準備をおすすめします。

ドラムカートリッジの交換時期が近づいた。

- 大量にプリントするときは、ドラムカートリッジを交換することをおすすめします。
▶消耗品(P. 471)

ドラムカートリッジをセットしてください。

ドラムカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない。

- ドラムカートリッジを正しくセットしてください。
▶ドラムカートリッジを交換する(P. 452)

な~の

入力文字数が間違っているか不正な文字が入力されています。

無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントのネットワークキー（WPA/WPA2-PSK または WEP キー）が正しく入力されていない。

- 無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントのネットワークキー（WPA/WPA2-PSK または WEP キー）を確認し、設定しなおしてください。ネットワークキーの確認方法については、お使いの無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。
▶SSID やネットワークキーを確認する(P. 31)
▶無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 25)
▶すべて入力して設定する(P. 28)

認証に必要な情報をリモート UI から設定してください。

[IEEE 802.1X 設定] の設定内容に不備がある。

- [ログイン名] が正しく設定されているか確認してください。
- [TLS を使用する]、[TTLS を使用する]、[PEAP を使用する] の中の少なくとも 1 つにチェックマークが付いているか確認してください。
- TLS を使用する場合、鍵ペアが登録されているか確認してください。
- TTLS または PEAP を使用する場合、ユーザー名とパスワードが正しく設定されているか確認してください。
▶IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 329)

認証方式の設定を確認してください。

本機で設定した認証方式と RADIUS サーバーで設定した認証方式が一致していない。

- 本機と RADIUS サーバーで設定されている認証方式が一致しているかを確認して、正しい認証方式を設定してください。
 ▶ IEEE 802.1X 認証の設定をする (P. 329)

は~ほ

ファクスが受信できません。相手から正しくファクスが送信されているか確認してください。

35 秒以内に操作をしなかったためタイムアウトになった。

- 相手先に連絡してもう一度ファクスを送信してもらい、「ピー」という音を確認したらすぐに＜受信スタート＞を選びます。
 ▶ ファクスを受信する (P. 212)

複数の宛先が指定されているため送信できません。

複数の宛先にファクス送信できないように設定されている。

- 複数の宛先を指定するには、＜同報送信の制限＞を＜ OFF ＞または＜同報送信の確認＞に設定する必要があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。
 ▶ 同報送信を制限する (P. 340)

ホストから応答がありませんでした。

ネットワークケーブルが抜けているか、スイッチで問題が発生している可能性がある。

- ネットワークケーブルおよびスイッチの状況を確認してください。
 ▶ ネットワーク環境を設定する (P. 14)

本体の充電が切れたため、時刻が更新されませんでした。時刻の設定が正しくないと Google クラウド プリントを使用できません

本体の充電が切れたため、正しい時刻設定を維持できなかった。

- 時刻を正しく設定しなおしてください。
 ▶ 現在日時を設定する (P. 12)

ま~も

無線 LAN 通信できませんでした。主電源を OFF/ON した後、再度設定してください。／無線 LAN 通信できませんでした。

無線 LAN 接続の設定中に何らかのエラーが発生した。

- いったん電源を切って再起動し、設定しなおしてください。
- 再起動しても解決しない場合は、ネットワークに接続できる状態か、確認してください。
 ▶ 設置／設定のトラブル (P. 478)

- 無線 LAN の接続を確認しても解決しない場合は、無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントのセキュリティ設定を確認してください。

無線機器からの接続を検知できませんでした。

所定の時間内にモバイル機器を検出できなかった。

- 制限時間に注意して接続しなおしてください。
▶ **ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）** (P. 280)

メモリーがいっぱいです。／メモリーがいっぱいです。

メモリー容量が不足していたため、ファクスの送信やスキャンができなかった。

- 送信待ち、または印刷待ちの文書がある場合は、処理が終了するまでお待ちください。
- メモリーに保存されている受信文書が残っている場合は、印刷または削除してください。
▶ **受信した文書をいったん本機に保存する（メモリー受信）** (P. 222)
- ページ数の多い原稿を送信する場合は、原稿を分割して送信してください。
- ファクスを送信する場合は、原稿を読み込むときの解像度を下げてください。
▶ **ファクス送信の基本操作**(P. 203)
- スキャンをする場合は、ファイル形式を容量の小さいものに変更してください。
▶ **スキャンの基本操作**(P. 243)

メモリーがいっぱいのため読み込みを中止します。プリントしますか？／メモリーがいっぱいのため読み込みを中止します。プリントしますか？

メモリー容量が不足して原稿を読み込めなかった。

- 読み込まれたページまで印刷するか、ジョブをキャンセルするか選択してください。
- 原稿を分けてコピーしてください。

や~よ

用紙がつまりました。

紙がつまった。

- つまった用紙や原稿を取り除いて、もう一度印刷してください（印刷は、自動で再開される場合もあります）。
▶ **紙がつまったら**(P. 523)

用紙と設定サイズが不一致

操作パネルでの用紙サイズ設定と、実際にセットしている用紙サイズが合っていない。

- <用紙設定>に設定されている用紙サイズと、実際にセットされている用紙サイズを合わせてください。

すでにセットされている用紙を使う場合

<用紙設定>の設定内容を、セットされている用紙のサイズに合わせて変更してください。

- ▶ **用紙サイズと種類を設定する**(P. 151)



パソコンから印刷するときは、プリンタードライバーの用紙サイズが実際の用紙のサイズと合っているかどうかを確認してください。

設定を変えずに用紙をセットしなおす場合

＜用紙設定＞で設定されているサイズの用紙をセットしてください。

▶用紙をセットする(P. 135)

用紙なし: XXXX*

* XXXX には＜カセット 1＞または＜手差し＞が表示されます。

給紙カセットまたは手差し給紙口に用紙がセットされていない。

- 用紙をセットしてください。

▶用紙をセットする(P. 135)

レポートやリストをプリントできる用紙がセットされていない。

- レポートやリストは、A4 またはレターサイズの用紙にプリントできます。A4 またはレターサイズの用紙をセットし、用紙サイズを設定してください。

▶用紙をセットする(P. 135)

▶用紙サイズと種類を設定する(P. 151)

受信文書を印刷できる用紙がセットされていない。

- 受信文書は、A4 またはレターサイズの用紙に印刷できます。A4 またはレターサイズの用紙をセットし、用紙サイズを設定してください。また、セットした用紙に合わせ、＜普通紙 (71～89 g/m²)＞＜普通紙 L (61～70 g/m²)＞＜再生紙＞＜色紙 (61～70 g/m²)＞のいずれかの用紙種類を設定してください。

▶用紙をセットする(P. 135)

▶用紙サイズと種類を設定する(P. 151)



A4 またはレター以外のサイズの用紙に印刷した場合、画像が欠けたり、分割して印刷されることがあります。

ら～ろ

らくらく無線スタートでの接続ができませんでした。しばらく待ってから再度設定してください。

何らかのエラーが発生し、らくらく無線スタートでの接続が失敗した。

- しばらく待ってから、再度設定を行ってください。それでも接続できない場合は、無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントがらくらく無線スタートに対応しているか確認してください。また、他の接続方式（WPS/AOSS）に対応している可能性もあります。

らくらく無線スタートに対応している場合

ネットワークに接続できる状態か、確認してください。

▶設置／設定のトラブル(P. 478)

らくらく無線スタートに対応していない場合

他の接続方式で設定してください。

▶無線 LAN に接続する(P. 18)

冷却中です。しばらくお待ちください。

定着器の温度が上昇している。

- 定着器の温度が下がるまでしばらくお待ちください。定着器の温度が下がると、メッセージの表示が消えます。

冷却中です。しばらくたってから、もう一度実行してください。

定着器の温度が上昇している。

- 定着器の温度が下がるまでしばらくお待ちください。定着器の温度が下がったあとに、再度操作してください。

エラーコードごとの対処方法

6AAS-092

プリントできなかったときやファクス／スキャンの送受信に失敗したときなど、何らかのエラーが起こると、そのエラーが3桁の数字（エラーコード）として、レポートやシステム状況画面のメッセージに表示されます。各エラーコードが表示された原因とその解決方法について、以下で確認してください。なお、エラーのレポートを出力する方法や記載情報については **▶レポートやリストを印刷する(P. 460)** を参照してください。ジョブ履歴の画面については、**▶<状況確認>画面(P. 117)** を参照してください。



送信ジョブ履歴		
ファクス	10:40AM	OK
ファクス	10:45AM	NG #018

#001

フィーダーに原稿がつかまっている。

- つまった原稿を取り除いてください。
▶フィーダーに原稿がつかまった(P. 525)

#003

データ量が大きく、ファクスの送受信ができなかった。

- 送信時：解像度を下げ、原稿を分割して読み込んでください。
▶ファクス送信の基本操作(P. 203)
- 受信時：相手先に連絡し、原稿を分割して送信してもらうか、解像度を下げて送信してもらうてください。

#005

制限時間内に応答がなかったためファクスが送信できなかった。

- 相手機の電源が入っていない場合や、通話中の場合はファクスを送信できないことがあります。相手に連絡し、対処してもらうてください。また、海外送信時にこのエラーコードが表示される場合はポーズを使ってみてください。
▶ファクス送信の基本操作(P. 203)

#012

相手の記録紙がなくなったためファクスが送信できなかった。

- 用紙を補給してもらうよう相手先に連絡してください。

#018

通話中などで相手機から応答がなかったためファクスが送信できなかった。

- 相手の電源が入っていない場合や、通話中の場合はファクスを送信できないことがあります。相手に連絡し、対処してもらってください。また、海外送信時にこのエラーコードが表示される場合はポーズを使ってみてください。
▶ **ファクス送信の基本操作(P. 203)**

#022

パソコンからのファクス送信ができないように設定されている。

- パソコンからファクス送信するには、＜ファクスドライバーからの送信＞を＜ON＞に設定する必要があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。
▶ **パソコンからのファクス送信を制限する(P. 340)**

指定した宛先がアドレス帳から削除されたためファクスを転送できなかった。

- 転送先をアドレス帳に登録しなおしてください。エラー終了した転送文書がメモリーに残っている場合は、再送信することができます。
▶ **宛先を登録する(P. 168)**
▶ **転送に失敗した文書を印刷／再送信／削除する(P. 224)**

#037

メモリー容量がいっぱいになっている。

- 送信待ち、または印刷待ちの文書がある場合は、処理が終了するまでお待ちください。
- メモリーに保存されている受信文書が残っている場合は、印刷または削除してください。
▶ **受信した文書をいったん本機に保存する（メモリー受信）(P. 222)**
- ページ数の多い原稿を送信する場合は、原稿を分割して送信してください。
- ファクスを送信する場合は、原稿を読み込むときの解像度を下げてください。
▶ **ファクス送信の基本操作(P. 203)**
- FAX ドライバーから宛先を 1 件だけ指定してください。

#099

印刷や送受信などを中止する操作をした。

- 操作を中止した場合はこのエラーコードが表示されますが、異常ではありません。必要に応じてもう一度操作してください。

#752

SMTP サーバー名の設定が間違っているため、E メール送信ができなかった。

- SMTP サーバー名を確認し、正しい設定に変更してください。
 - ▶ E メール送信の設定をする(P. 80)
 - ▶ Eメールの通信設定をする(P. 83)

ドメイン名の設定が間違っているため、E メール送信ができなかった。

- ドメイン名を確認し、正しい設定に変更してください。
 - ▶ DNS の設定をする(P. 58)

本機がネットワークに正しく接続されていないため、E メール送信ができなかった。

- ネットワークに接続できる状態か、確認してください。
 - ▶ 設置／設定のトラブル(P. 478)

#753

ネットワークケーブルが抜けているため、E メール送信、または共有フォルダーへの保存ができなかった。

- ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
 - ▶ 有線 LAN に接続する(P. 17)

#755

TCP/IP が正しく機能していないため、E メール送信や共有フォルダーへの保存ができなかった。

- < TCP/IP 設定 > の設定を確認し、正しく設定してください。
 - ▶ < ネットワーク設定 > (P. 374)

IP アドレスが設定されていない。

- IP アドレスを正しく設定してください。
 - ▶ IP アドレスを設定する(P. 32)

通信開始までの待機時間を設定しているため、起動後すぐに通信できない。

- 電源を入れてもすぐには通信できません。< 起動時の接続待機時間 > で設定した時間が経過するまで待ってから送信しなおしてください。
 - ▶ ネットワーク接続時の待機時間を設定する(P. 57)

#801

E メール送信時、SMTP サーバーとの間でタイムアウトエラーが発生した。

- SMTP がネットワークで正常に動作しているか確認してください。
 - ネットワークに接続できる状態か、確認してください。
- ▶ **設置／設定のトラブル(P. 478)**

SMTP サーバーからエラーが返ってきた。

- SMTP サーバーが正しく設定されているか確認してください。

宛先が正しく設定されていない。

- 宛先の設定を確認してください。

スキャンした文書を共有フォルダーへ送信しようとしたが、フォルダーエラーで送信できなかった。

- 共有フォルダーと、共有フォルダーのあるパソコンのいずれも正常に動作しているか確認してください。

共有フォルダーへの保存時に指定されたフォルダー名あるいはパスワードが間違っている。

- 宛先の設定を確認してください。

#802

SMTP/POP3 サーバー名の設定を間違えている。

- SMTP/POP3 サーバー名を正しく設定してください。
- ▶ **E メール送信の設定をする(P. 80)**
▶ **Eメールの通信設定をする(P. 83)**

#804

共有フォルダーへのアクセス権がない。

- 送信ユーザー（宛先に登録したユーザー名）に対して、保存先フォルダーへの書き込み権限を与えてください。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

共有フォルダーへの保存時に指定されたフォルダー名が間違っている。

- 宛先の設定を確認してください。

#806

共有フォルダーへの保存時に指定するユーザー名またはパスワードが間違っていた。

- 共有フォルダーに登録されているユーザー名とパスワードと同じものをアドレス帳の宛先に登録してください。
- ▶ **共有フォルダーへの保存設定をする(P. 87)**
▶ **リモート UI から宛先を登録する(P. 358)**

E メール送信で指定したメールアドレスが間違っている。

- 正しいメールアドレスを指定して送信しなおしてください。アドレス帳の宛先を使った場合は、メールアドレスが正しいかどうか確認してください。
▶宛先を登録する(P. 168)

#810

E メール送信時、POP3 サーバーからエラーが返ってきた。

- POP3 サーバーのアドレスが正しく設定されているか確認してください。
- お使いのメールサーバーやネットワークが正常に動作しているか確認してください。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

#813

POP3 サーバーで使用するログイン名またはパスワードの設定を間違えている。

- POP3 サーバーで使用するログイン名またはパスワードを正しく入力してください。

#839

SMTP 認証で使用するユーザー名とパスワードの設定を間違えている。

- ユーザー名とパスワードを正しく設定してください。
▶E メール送信の設定をする(P. 80)
▶E メールの通信設定をする(P. 83)

#841

E メール送信で、メールサーバーと共通の暗号アルゴリズムが存在しない。

- SMTP サーバーに設定されている [SMTP で TLS を使用する] のチェックマークを外してください。
▶E メールの通信設定をする(P. 83)
- メールサーバーの設定に、共通の暗号アルゴリズムを追加してください。

SMTP サーバーとの通信時に TLS サーバー証明書の検証エラーが発生した。

- リモート UI を使用して、SMTP サーバー側の TLS サーバー証明書を署名した CA 証明書が本機に登録されていることを確認してください
- SMTP サーバー側の TLS サーバー証明書が正しいものであることを確認してください。
- TLS サーバー証明書が自己証明書ではないことを確認してください。

#844

POP before SMTP 送信時に、POP3 サーバーとの TLS 暗号化通信に失敗した。

- POP3 サーバーの TLS 暗号化通信設定を確認してください。
 - POP3 サーバーに設定されている [POP で TLS を使用する] のチェックマークを外してください。解決しないときは、[送信前の POP 認証する] のチェックマークを外し、通信設定を POP before SMTP 以外の設定に切り替えてください。
- ▶Eメールの通信設定をする(P. 83)

POP3 サーバーとの通信時に TLS サーバー証明書の検証エラーが発生した。

- リモート UI を使用して、POP3 サーバー側の TLS サーバー証明書を署名した CA 証明書が本機に登録されていることを確認してください。
- POP3 サーバー側の TLS サーバー証明書が正しいものであることを確認してください。
- TLS サーバー証明書が自己証明書ではないことを確認してください。

#846

POP 認証に失敗したため E メールが送信できなかった。

- 設定を確認して、操作をやりなおしてください。
- ▶Eメールの通信設定をする(P. 83)

#852

使用中に何らかの原因で電源が切れた。

- 電源プラグがしっかりとコンセントに差し込まれているかどうか確認してください。

#853

処理できるデータ量を超えたため印刷できなかった。

- 大量ページの文書を印刷しようとしたときなどに発生します。一度に印刷するページを減らすか、印刷待機中や印刷中の文書がないときに印刷してください。それでも印刷できない場合は、文書データに不具合がないか確認してください。

パソコン側から印刷を中止した。

- 印刷データがパソコンから本機に送信されているときに操作を中止すると、このエラーコードが表示されますが、異常ではありません。必要に応じてもう一度印刷してください。

本機が対応しない解像度で PC ファックスを送信しようとした。

- FAX ドライバーの送信解像度を下げてください。

#995

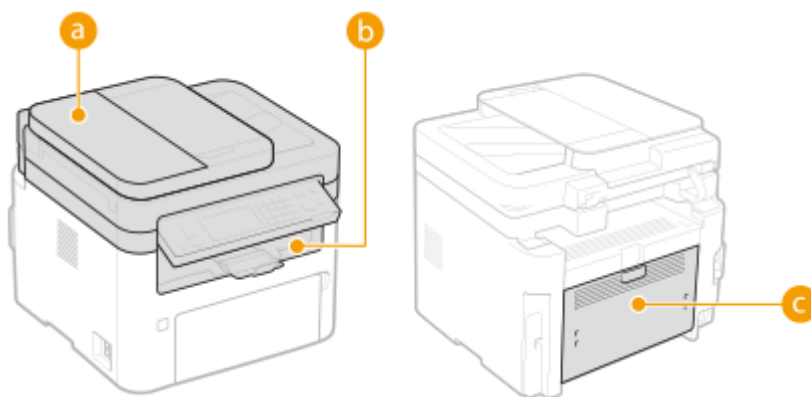
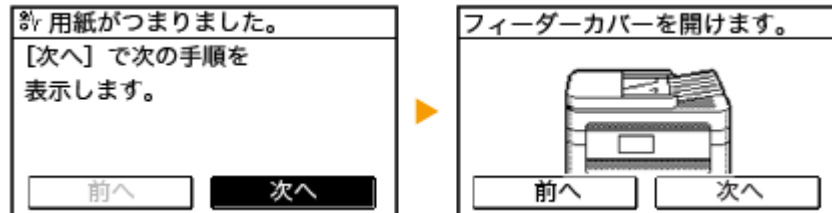
待機中の文書の送信を中止した。

- 必要に応じてもう一度送信しなおしてください。

紙が詰まったら

6AAS-093

紙が詰まると、画面に＜用紙が詰まりました。＞と表示され、＜次へ＞（▶）を選ぶと簡易的な対処方法が表示されます。画面を見ても対処方法がわからないときは、以下の参照先を確認し、詰まった紙を取り除いてください。



a フィーダー

▶ フィーダーに原稿が詰まった(P. 525)

b 本体内部

▶ 本体内部に用紙が詰まった(P. 528)

c 背面

▶ 本体内部に用紙が詰まった(P. 528)



作業するときは電源を切らない

- 電源を切ると、印刷中のデータが消去されます。特にファクス受信中はご注意ください。

用紙が破れたとき

- 切れ端が残らないように、すべて取り除いてください。

紙づまりが繰り返し起こるとき

- 用紙を平らな場所でそろえてから本機にセットしてください。
- お使いの用紙が本機に適しているか確認してください。▶ **用紙について(P. 552)**
- 詰まった用紙の切れ端が本体内部に残っていないか、確認してください。
- 表面が粗い用紙を使用するときは、＜用紙種類＞を＜ボンド紙 1 (60～104 g/m²)＞または＜ボンド紙 2 (105～163 g/m²)＞に設定してください。
 - ▶ **給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する(P. 152)**
 - ▶ **手差し給紙口の用紙サイズと種類を設定する(P. 154)**
 - ▶ **パソコンから印刷する(P. 233)**

つまった用紙を本体から無理に取り除かない

- 無理に取り除こうとすると、部品などを損傷する恐れがあります。どうしても取り除けない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にご連絡ください。▶ **トラブルが解決しないときは(P. 532)**

フィーダーに原稿がつまった

6AAS-094

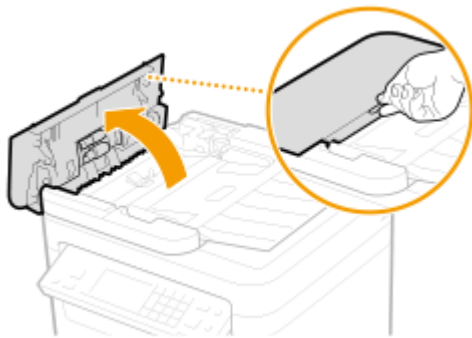
原稿がフィーダーにセットされているときは、作業の前にまず原稿を取り除いてください。そのあと、以下の手順で確認します。つまっている用紙がかんたんに取り除けない場合は無理に引き抜こうとせず、次の手順に進んでください。

- ▶ フィーダーに原稿がつまった (MF269dw) (P. 525)
- ▶ フィーダーに原稿がつまった (MF266dn / MF265dw / MF264dw) (P. 526)

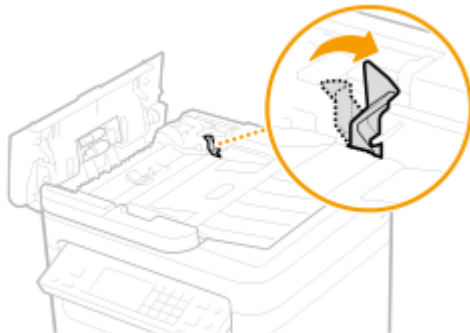
フィーダーに原稿がつまった (MF269dw)

1 フィーダーカバーの下で原稿がつまっているか確認する

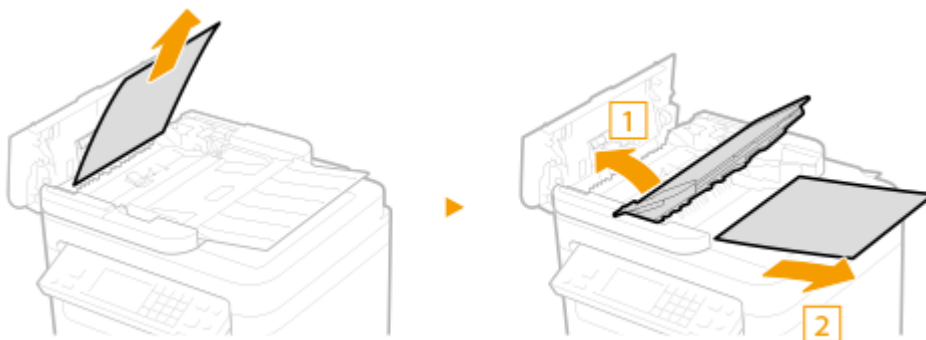
- 1 フィーダーカバーを開ける



- 2 レバーを動かしてロックを解除する

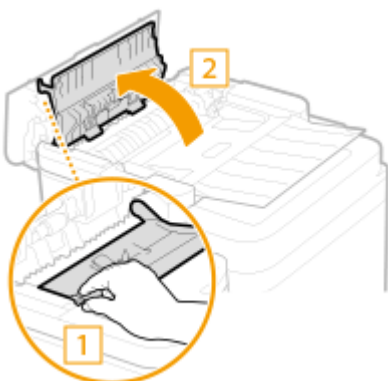


- 3 原稿をゆっくり引き抜く



2 フィーダー内部に原稿がつまっているか確認する

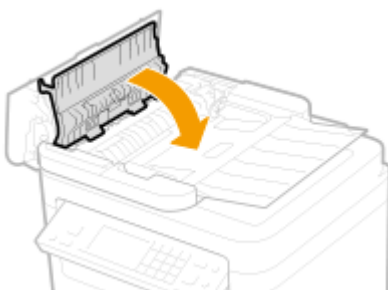
- 1 緑色のつまみを持って、中カバーを開ける



- 2 原稿をゆっくり引き抜く



- 3 中カバーを閉める

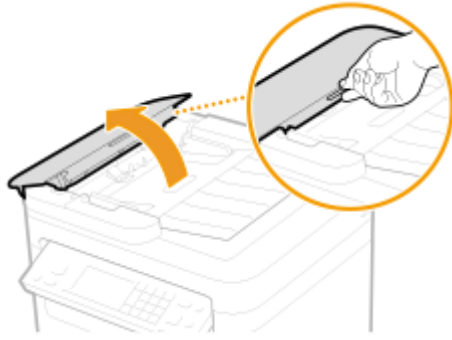


3 レバーを元の位置に戻し、フィーダーカバーを閉める

4 原稿を再度セットする

フィーダーに原稿がつまった (MF266dn / MF265dw / MF264dw)

1 フィーダーカバーを開ける



2 原稿をゆっくり引き抜く



3 フィーダーカバーを閉める

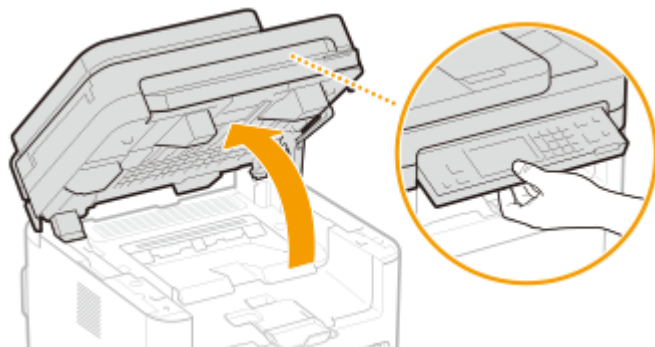
4 原稿を再度セットする

本体内部に用紙がつまった

6AAS-095

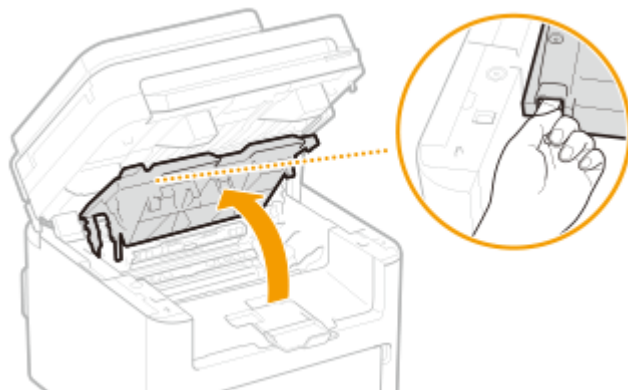
以下の手順に従って用紙を取り除いてください。つまっている用紙がかんたんに取り除けない場合は無理に引き抜こうとせず、メッセージに表示されている別の位置の手順を行ってください。

1 操作パネル部を持ち上げる



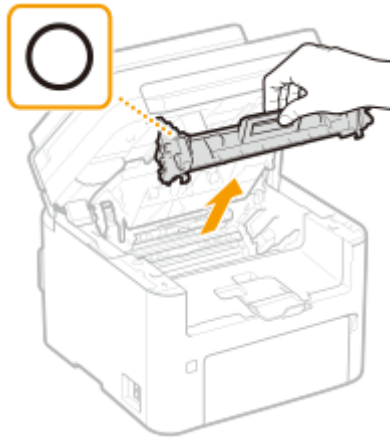
- フィーダーまたは原稿台ガラスカバーが完全に閉まっていないと操作パネル部を持ち上げることはできません。無理に持ち上げると故障の原因になります。

2 トナーカバーを開ける



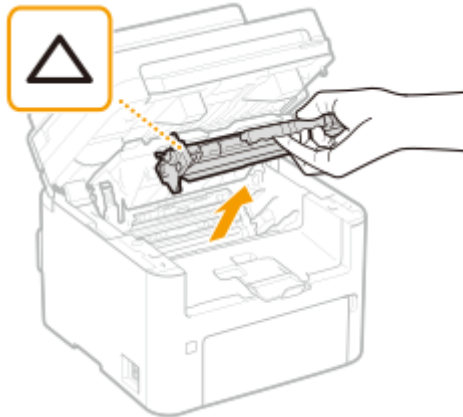
3 カートリッジを取り出す

1 トナーカートリッジを取り出す



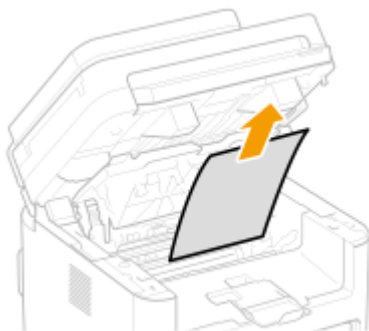
トナーカートリッジを振ったり、傾けたりしないでください。また、トナーカートリッジに何かを当てるなどの衝撃を与えないでください。トナーカートリッジに残ったトナーが漏れることがあります。トナーカートリッジをスロットと同じ角度でゆっくり取り出してください。

2 ドラムカートリッジを取り出す



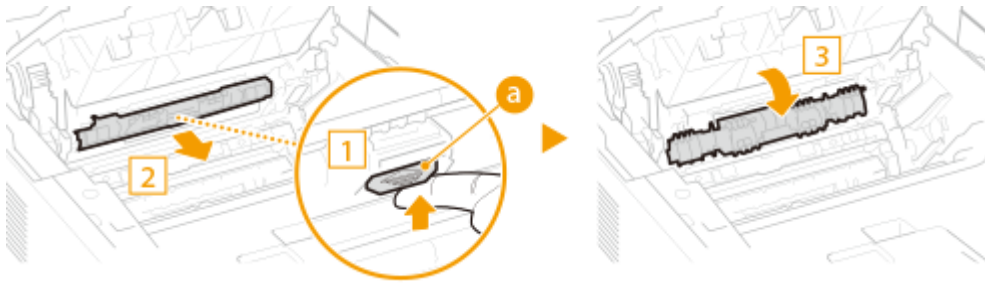
ドラムカートリッジを振ったり、傾けたりしないでください。また、ドラムカートリッジに何かを当てるなどの衝撃を与えないでください。ドラムカートリッジに残ったトナーが漏れることがあります。ドラムカートリッジをスロットと同じ角度でゆっくり取り出してください。

4 用紙をゆっくり引き抜く

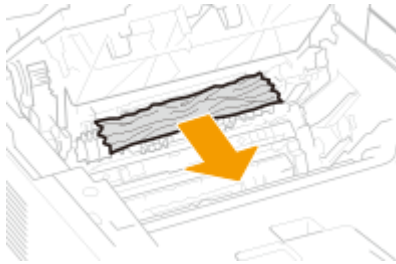


5 排紙ガイド内部に用紙がつまっているか確認する

- 1** ボタン (a) を押しながら、排紙ガイドを手前に引き出す



- 2** 用紙をゆっくり引き抜く

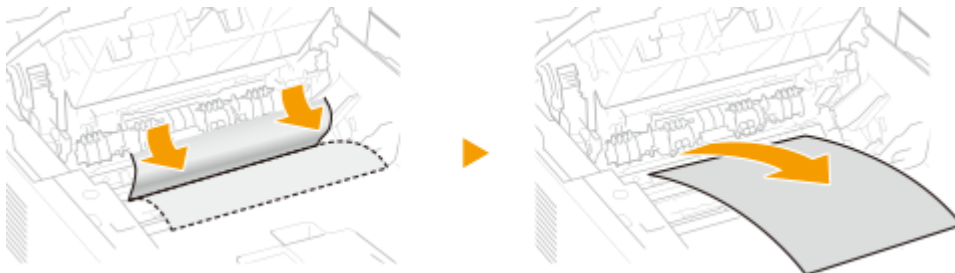


- 3** 排紙ガイドを閉める

6 本体内部に用紙がつまっているか確認する

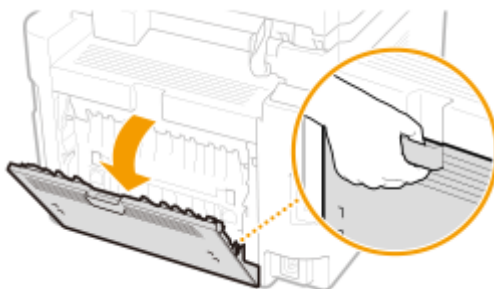
- 1** 用紙をゆっくり引き抜く

- 用紙の両側を持ち、用紙の先端を下方方向に引き出し、上に引き抜きます。

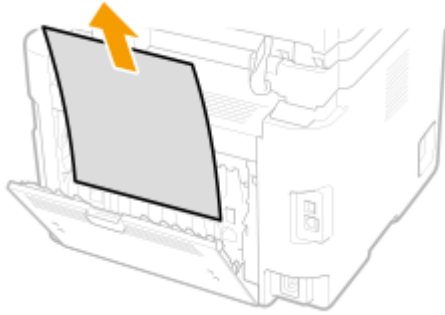


7 後ろカバー内部に用紙がつまっているか確認する

- 1** 後ろカバーを開ける



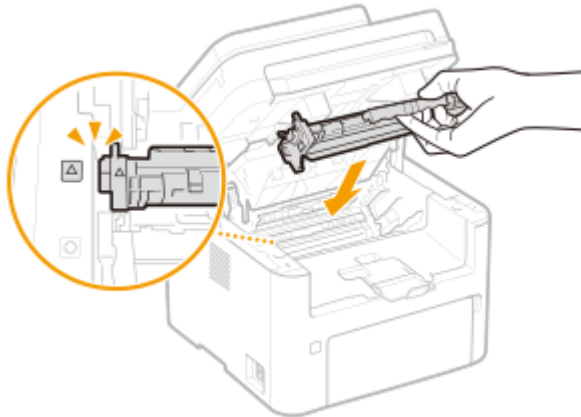
- 2** 用紙をゆっくり引き抜く



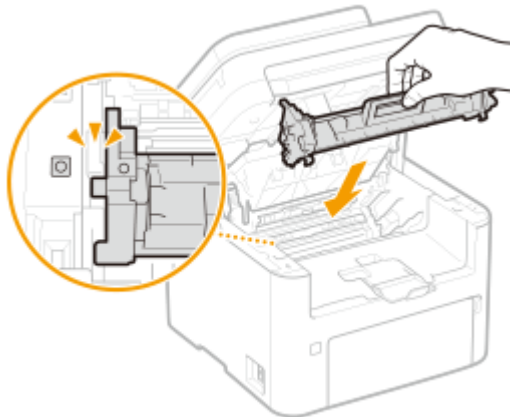
3 後ろカバーを閉める

8 カートリッジを取り付ける

1 ドラムカートリッジを取り付ける



2 トナーカートリッジを取り付ける



9 トナーカバーを閉め、操作パネル部をおろす

⇒ 紙詰まりのメッセージが消えて、印刷可能な状態になります。

トラブルが解決しないときは

6AAS-096

トラブルが解決しないときは、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。



ご注意

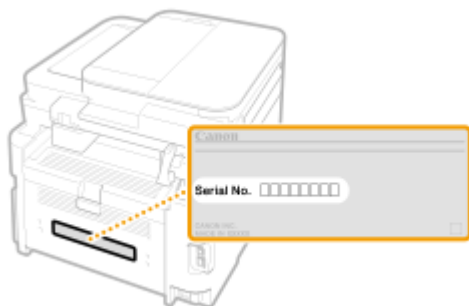
自力で分解修理しない

- ご自分で分解修理した場合、保証の対象外になることがあります。

■ お問い合わせの際は

あらかじめ次の情報をお手元にご用意ください。

- 製品名（MF269dw / MF266dn / MF265dw / MF264dw / MF262dw）
- 購入先の販売店
- トラブルの内容（具体的な操作内容とその結果など）
- シリアルナンバー（本体背面のラベルに記載）



MEMO

操作パネルでシリアルナンバーを確認する

-  ▶ <デバイス情報> ▶ <シリアル No.> で確認することもできます。

付録

付録	534
第三者のソフトウェアについて	535
活用術	536
節約してエコロジー	537
効率アップの使いこなし術	539
紙の文書をスッキリ電子化	541
まだあるこんな使い方	543
おもな仕様	545
本体	546
フィーダー	550
用紙について	552
ファクス機能	555
スキャン機能	556
プリント機能	557
管理機能	558
サポート環境	559
ネットワーク環境	561
オプション機器について	562
マニュアルの種類と内容	563
ユーザーズガイドの使いかた	564
ユーザーズガイドの画面構成	565
ユーザーズガイドの読みかた	569
Windows の基本操作	571
メニュールートマップ	580
おことわり	581

付録

6AAS-097

本機の仕様、ユーザーズガイドの使いかた、免責事項や著作権など、お客様に知っておいていただきたい情報を記載しています。必要に応じてお読みください。

■仕様を調べる

本体の仕様、ネットワーク環境、プリント機能などに関する仕様を調べたいときにご覧ください。



▶おもな仕様(P. 545)

■本機のマニュアルについて調べる

本機の機能や操作方法を調べるための各種マニュアルや、ユーザーズガイド（本マニュアル）の使いかたを調べたいときにご覧ください。



▶マニュアルの種類と内容(P. 563)

▶ユーザーズガイドの使いかた(P. 564)

■その他

役立つ情報、免責、著作権などを知りたいときにご覧ください。



▶第三者のソフトウェアについて(P. 535)

▶活用術(P. 536)

▶Windows の基本操作(P. 571)

▶メニュールートマップ(P. 580)

▶おことわり(P. 581)

第三者のソフトウェアについて

6AAS-098

第三者のソフトウェアに関する情報を知りたいときは、次のアイコンをクリックしてください。



活用術

6AAS-099

カテゴリー別に本機を活用するヒントをご紹介します。用途やシーンに合わせて、便利で役に立つ活用術をお試しください。

- ▶節約してエコロジー(P. 537)
- ▶効率アップの使いこなし術(P. 539)
- ▶紙の文書をスッキリ電子化(P. 541)
- ▶まだあるこんな使い方(P. 543)

節約してエコロジー

6AAS-09A



用紙やトナーの使用量を抑える、電力量を少なくする、などの節約法をご紹介します。



両面印刷で用紙枚数を半分に

コピーだけでなく、パソコンからの印刷や受信ファクスにも両面機能が使えます。大量印刷はもちろん、数ページの少量印刷でも両面機能で積極的に用紙を節約してください。複数ページを1枚の用紙にまとめて印刷する集約印刷と組み合わせることも可能。最大 32 ページ分の文書が1枚にまとめられ大変エコロジーです。

▶ **コピーの基本操作**(P. 180)

▶ **パソコンから印刷する**(P. 233)

▶ **<ファクス設定>**(P. 400) ▶ **<受信プリント設定>** ▶ **<両面記録>**



複数原稿を用紙1枚にまとめて印刷

オフィスに積み重ねられたファイルの山。探すのにも一苦労です。そんなときにはこの機能を使ってスッキリさせましょう。1枚の用紙に複数の原稿をまとめて縮小印刷でき、資料のスリム化にはうってつけです。両面印刷とあわせて使えばさらに効果的！「整理整頓」と「用紙節約」を同時に実現できます。

▶ **原稿を1ページにまとめる（ページ集約）**(P. 193)

▶ **パソコンから印刷する**(P. 233)



節電モードでエコロジー



ペーパーレスファクス

操作時以外は徹底して消費電力を抑える「スリープモード」。一定時間使わないでいると、電源を切ることなく最低限の電力消費に抑えこみます。必要なときはスピーディーに立ち上がり、ストレスを感じさせません。また、操作パネルのボタンを使えば好みのタイミングでこまめな節電も可能。見えないところでコストダウン＆省エネのお手伝いをします。

▶ **スリープモードにする(P. 166)**

ファクスには必ず用紙が必要だと思いませんか？これまで無意識に印刷していたその用紙はもう必要ありません。パソコンで作った文書をそのままファクス送信。ペーパーレスで素早い対応が可能です。また、受信文書をいったんメモリーに保存し、必要なものだけを印刷すれば、ダイレクトメールなどで用紙をムダに消費する心配もありません。

▶ **パソコンからファクスを送信する(PC ファクス)(P. 228)**

▶ **受信した文書をいったん本機に保存する(メモリー受信)(P. 222)**

効率アップの使いこなし術

6AAS-09C



複雑な操作を簡単に。本機が効率アップのお手伝いをします。



アドレス帳を使ってカンタン送信

ファクスやEメールを送るたびに宛先を入力するのは手間がかかる…。そんなときはアドレス帳を活用しましょう。宛先を登録しておけば、送信時にボタン1つで入力可能。よく送る宛先はワンタッチダイヤルに登録しておくと、優先的に表示されるのでさらに便利です。アドレス帳はパソコンに保存してバックアップするだけでなく、他の機種で読み込んで共有することも可能です。

- ▶宛先を登録する(P. 168)
- ▶リモート UI から宛先を登録する(P. 358)
- ▶ファクス送信の基本操作(P. 203)
- ▶スキャンの基本操作(P. 243)
- ▶リモート UI からアドレス帳を保存する／読み込む(P. 362)



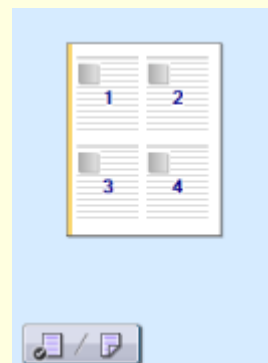
複数の操作をワンブッシュで

ショートカットキーを上手に使うことで毎日の作業をスピードアップさせましょう。たとえば、＜用紙節約＞（**用紙節約コピー**）を使えば「両面コピー」と「集約コピー」を同時に行えます。また、スキャンするとき＜スキャン→PC1＞（**Scan→PC**）や＜スキャン→PC2＞を使えば、読み込み形式やデータの保存先をそのつど設定する必要はありません。原稿をセットしてショートカットを押す。それだけでOKです。

- ▶＜用紙節約コピー＞を使う(P. 195)
- ▶ショートカットキーを使ってスキャンする(P. 246)



デスクにしながら本機を設定



直感的な操作ですばやく印刷設定

デスクのパソコンから本機を遠隔管理できます。用紙やトナーの残量を確認できるだけでなく、文字入力の多いアドレス帳などの一括設定もキーボードを使ってラクラクこなせます。手間を省いて、時間を節約しましょう。

▶ **パソコンから本機を管理する（リモート UI）（P. 345）**

プリンタードライバーのプレビューイメージ上の直感的な操作で、ページレイアウト、とじ方向や片面・両面の切り替えなどが容易に設定できます。かんたんなクリック操作でイメージをつかみながら設定できるので便利です。

▶ **パソコンから印刷する（P. 233）**

紙の文書をスッキリ電子化

6AAS-09E



文書を電子化すれば、パソコンでの編集はもちろん、Eメールなどを使ってコストや時間を削減することができます。



手書きのメモをスキャンしてEメール送信

ふと思いついたアイデア。すかさずメモしたもの、メモ自体の所在を忘れてしまった。そうならないためにも、アイデアはすぐにスキャンしてEメールで携帯などに送信しましょう。操作はパソコン要らずのファクス感覚。自分宛てに送信すれば備忘録、仲間に送ればアイデアの共有に一役買います。

▶ スキャンの基本操作(P. 243)



会議資料をスキャンしてスピーディーに共有

紙文書も電子化すればデータ共有しやすくなります。たとえば、社内会議で使う資料。スキャンしてパソコンの共有フォルダーに保存したら、その場所をメンバーに伝えるだけでOK。紙を配付する必要はありません。配付先が多く文書がかさばるほどに役立つ機能です。

▶ スキャンの基本操作(P. 243)



気になる部分をスキャン

新聞や雑誌で気になる部分を、ハサミで切り取る感覚でそこだけスキャン。切り取り範囲はプレビュー画面で指定でき、出力サイズや画像調整も自由自在！編集ソフトを使わずにスピーディーに電子化できます。

▶ ScanGear MF を使う(P. 275)



サーチャブル PDF でラクラク検索

文字検索可能なPDF、それが「サーチャブルPDF」です。文字と画像が混在した原稿をスキャンすると、文字部分がOCRによってテキストデータに。文字情報の検索はもちろん、必要な部分をコピーしてMicrosoft OfficeのExcelやWordにペーストすることができます。顧客データや住所録などを一からタイピングする必要もなくなります。



- 新聞や雑誌など、他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

- ▶ スキャンの基本操作(P. 243)
- ▶ パソコンを使ってスキャンする（リモートスキャン）(P. 272)



作成中の文書に直接画像を追加

パソコンで作成中の文書に、スキャン画像を直接取り込むことができます。スキャンのために別のアプリケーションを起動する必要はありません。使用しているアプリケーションでさっとスキャンしてパッと取り込み。画像を取り込んだら、そのまま元の作業に戻れます。

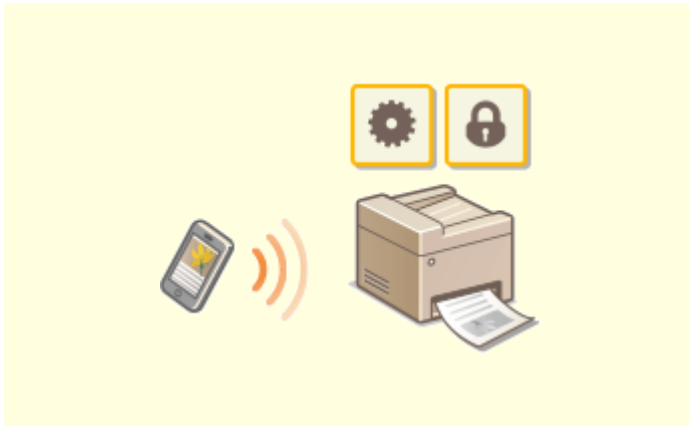
- ▶ アプリケーションから原稿を読み込む(P. 273)

まだあるこんな使い方

6AAS-09F



自宅、オフィス、外出先。さまざまなシーンで使える便利な機能がそろっています。



スマートフォン／タブレットを活用

タブレットを使って出張の移動時間に仕上げた企画書をすぐに印刷したい！スマートフォンに会議で配付された資料を取り込みたい！そんなときは、Canon PRINT Business を使うと便利です。また、無線 LAN ルーターのない環境でもモバイル機器から無線で直接本機に接続することもできます。

PC レス、迅速、簡単！スピード時代に相応しい機能が仕事や趣味をいっそう充実させます。

▶ **モバイル機器と連携する(P. 277)**



Google Cloud Print でどこでも手元から印刷

出張中、タブレットを使って車中で仕上げた企画書。取材の合間にスマートフォンで撮影した写真。Google Cloud Print を使えば、離れた場所からでもオフィスや自宅にある本機で印刷できます。

▶ **Google Cloud Print を使う(P. 297)**



無線 LAN でケーブルレス接続

ケーブルを使わず無線でパソコンと接続できるので、オフィスはスッキリ。狭いスペースはもちろんのこと、洗練された見映えの店舗でも設置場所に困りません。むずかしそうな接続設定もボタン操作でかんたんに完了。初めての方でも心配ありません。



外出先でもファクスを逃さずキャッチ

自動転送機能を使って、外出先でも受信ファクスをパソコンや携帯で確認。訪問先のファクスにも転送可能です。出先でも移動中の車内でもタイミングを逃さず大切な情報をキャッチできます。

▶ **受信した文書を自動転送する(P. 224)**

▶無線 LAN に接続する(P. 18)

おもな仕様

6AAS-09H

本製品が改良されて仕様が変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になったりすることがありますので、ご了承ください。本製品に関する情報は、キヤノンホームページ（<https://global.canon/>）を参照してください。

■ 本体に関する仕様について

- ▶ 本体(P. 546)
- ▶ フィーダー(P. 550)
- ▶ 用紙について(P. 552)

■ 機能に関する仕様について

- ▶ ファクス機能(P. 555)
- ▶ スキャン機能(P. 556)
- ▶ プリント機能(P. 557)
- ▶ 管理機能(P. 558)

■ お使いになる環境について

- ▶ サポート環境(P. 559)
- ▶ ネットワーク環境(P. 561)

本体

6AAS-09J



- 給紙箇所ごとの用紙サイズ・種類については「[用紙について\(P. 552\)](#)」を参照ください。

機種名	Canon Satera MF269dw / MF266dn / MF265dw / MF264dw / MF262dw
形式	デスクトップ
カラー対応	白黒
読み取り解像度	600 dpi × 600 dpi
書き込み解像度	600 dpi × 600 dpi
階調	256 階調
複写原稿	最大 215.9 mm × 297.0 mm まで シート/ブック (原稿高さ 40 mm 質量 2 kg まで)
複写サイズ／複写用紙	用紙サイズ - 最大：215.9 mm × 355.6 mm^{*1} - 最小：76.2 mm × 127 mm^{*1} 画像欠け幅 先端： - 原稿台ガラスからのコピー 5 mm ± 2.0 mm - フィーダーからのコピー 5 mm ± 3.0 mm 左右： - 原稿台ガラスからのコピー 5 mm ± 2.0 mm - フィーダーからのコピー 5 mm ± 3.0 mm 用紙坪量 60 g/m² ～ 163 g/m²
用紙種類	用紙について(P. 552)

ウォームアップタイム ^{*2}	主電源立ち上げ時 15.0 秒以下 スリープモードからの立ち上げ時 1.6 秒以下
ファーストコピータイム (A4)	8.2 秒以下
連続複写速度 ^{*3} (A4)	28.0 枚/分
原稿読み取り速度 (A4)	2.6 秒以下 (300 dpi × 600 dpi)
複写倍率	25 % ～ 400 % (1 %刻み)
給紙方式／給紙容量 ^{*4}	給紙カセット 250 枚 (80 g/m ²) ／250 枚 (64 g/m ²) 手差し給紙口 1 枚 (80 g/m ²) ／1 枚 (64 g/m ²)
排紙方式／排紙容量 ^{*4}	100 枚 (68 g/m ²)
連続複写枚数	999 枚
電源	100V、50/60Hz、6.2A
消費電力 ^{*2}	最大消費電力 1,000 W 以下 スリープモード時 ● 約 0.8 W (USB 接続) ● 約 1 W (有線 LAN 接続) ● 約 1 W (無線 LAN 接続) 電源スイッチ切断時 0.5 W 以下
エネルギー消費効率 (省エネ法 (平成 25 年 3 月 1 日付) で定められた測定方法による数値)	MF269dw : 43 kWh/年 (区分名: プリンター C) MF266dn : 42 kWh/年 (区分名: プリンター C) MF265dw :

	42 kWh/年（区分名：プリンター C） MF264dw： 41 kWh/年（区分名：プリンター C） MF262dw： 40 kWh/年（区分名：プリンター C）
大きさ （幅×奥行×高さ）	MF269dw / MF266dn / MF265dw / MF264dw： 390 mm × 405 mm × 375 mm MF262dw： 390 mm × 405 mm × 327 mm
質量	MF269dw： 本体 *5 約 13.3 kg 消耗品 🔴消耗品(P. 471) MF266dn / MF265dw / MF264dw： 本体 *5 約 12.4 kg 消耗品 🔴消耗品(P. 471) MF262dw： 本体 *5 約 10.8 kg 消耗品 🔴消耗品(P. 471)
機械占有寸法	「かんたん設置ガイド」を参照 🔴マニュアルの種類と内容(P. 563)
メモリー容量	RAM： 256 MB
使用環境	温度：10℃～30℃ 湿度：20 %～80 %（相対湿度・結露しないこと）

*1 手差し給紙口を含む

*2 使用環境、使用条件によって変わる場合があります。

*3 A4 片面等倍時。普通紙、同一データを連続印刷した場合の自社試験による速度です（コピーは原稿台使用時）。はがきや小サイズ紙など、用紙の種類・サイズ・送り方向などによっては印刷速度が低下します。また連続印刷時に、複合機本体の温度調整や画質調整などのため動作を休止もしくは遅くさせる場合があります。

*4 設置環境や使用する用紙によって異なる場合があります。

*5 トナーカートリッジとドラムカートリッジを除く

フィーダー

6AAS-09K

原稿送り装置の種類	MF269dw : 自動両面原稿送り装置 MF266dn / MF265dw / MF264dw : 自動原稿送り装置
原稿サイズ ^{*1} ／種類	MF269dw : 原稿サイズ - 最大：216 mm × 356 mm - 最小：140 mm × 127 mm 原稿坪量 - 片面原稿：50 g/m² ～ 105 g/m² (1 枚 50 g/m² ～ 128 g/m²) - 両面原稿：60 g/m² ～ 105 g/m² MF266dn / MF265dw / MF264dw : 原稿サイズ - 最大：216 mm × 356 mm - 最小：148 mm × 105 mm 原稿坪量 - 片面原稿：50 g/m² ～ 105 g/m² (1 枚 50 g/m² ～ 128 g/m²)
原稿の収容可能枚数 (A4)	MF269dw : 50 枚 (80 g/m ²) MF266dn / MF265dw / MF264dw : 35 枚 (80 g/m ²)
原稿読み取り速度	MF269dw : コピー時 (300 dpi × 600 dpi, A4) 片面読取： 22 ページ/分 両面同時読取： 8 ページ/分 スキャン時 (300 dpi × 600 dpi, A4) ^{*2} 片面読取： - フルカラー (PDF) : 7.3 ページ/分 - 白黒 (TIFF) : 11.0 ページ/分 両面同時読取： - フルカラー (PDF) : 2.4 ページ/分 - 白黒 (TIFF) : 4 ページ/分 MF266dn / MF265dw / MF264dw :

	コピー時 (300 dpi × 600 dpi, A4) 20 ページ/分 スキャン時 (300 dpi × 600 dpi, A4) ^{*2} ● フルカラー (PDF) : 7.6 ページ/分 ● 白黒 (TIFF) : 10.1 ページ/分
--	--

^{*1} 最適な画像品質を保つため、A6 サイズの原稿は原稿台ガラスから読み込むことをおすすめします。

^{*2} 使用環境、使用条件によって変わる場合があります。

用紙について

6AAS-09L

本機で利用できる用紙は以下のとおりです。

■使用可能な用紙サイズ

○：使用可能 ×：使用不可

用紙サイズ	給紙カセット	手差し給紙口	自動両面印刷 ^{*1}
A4 ^{*2}	○	○	○
B5	○	○	×
A5 ^{*3}	○	○	×
A6 ^{*4}	○	○	×
リーガル	○	○	○
レター ^{*2}	○	○	○
ステートメント	○	○	×
エグゼクティブ	○	○	×
Oficio	○	○	○
Oficio (Brazil)	○	○	○
Oficio (Mexico)	○	○	○
Letter (Government)	○	○	×
Legal (Government)	○	○	×
Foolscap	○	○	○
Foolscap (Australia)	○	○	×
Legal (India)	○	○	○

用紙サイズ	給紙カセット	手差し給紙口	自動両面印刷 ^{*1}
3x5inch	○	○	×
F4A	○	○	○
はがき	○	○	×
往復はがき	○	○	×
4面はがき	○	○	×
封筒 長形 3号	○	○	×
封筒 洋形長 3号	○	○	×
ユーザー設定サイズ	○ ^{*5}	○ ^{*5}	×

^{*1} 用紙をセットしなすことなく、自動で両面に印刷することができます。

^{*2} ファクス受信文書の印刷が可能です。

^{*3} 横向きに用紙をセットした場合は、プリンタードライバーからのみ指定できます。

^{*4} プリンタードライバーからのみ使用できます。

^{*5} 76.2 × 127.0 mm ～ 215.9 × 355.6 mm までのユーザー設定サイズを使用できます。

■使用可能な用紙種類

本機は、非塩素用紙を使用できます。

○：使用可能 ×：使用不可

用紙の種類		給紙カセット	手差し給紙口	自動両面印刷 ^{*1}
普通紙	71 ～ 89 g/m ²	○	○	○ ^{*2}
普通紙 L	61 ～ 70 g/m ²	○	○	○ ^{*2}
普通紙 L2	60 g/m ²	○	○	○ ^{*2}
厚紙 1	90 ～ 105 g/m ²	○	○	○ ^{*2}
厚紙 2	106 ～ 120 g/m ²	○	○	×
厚紙 3	121 ～ 163 g/m ²	○	○	×

用紙の種類		給紙カセット	手差し給紙口	自動両面印刷 ^{*1}
厚紙 4 ^{*3}	121 ~ 163 g/m ²	○	○	×
色紙	61 ~ 70 g/m ²	○	○	○ ^{*2}
ボンド紙 1	60 ~ 104 g/m ²	○	○	○ ^{*2}
ボンド紙 2	105 ~ 163 g/m ²	○	○	×
再生紙		○	○	○ ^{*2}
ラベル用紙		○	○	×
はがき ^{*4}		○	○	×
封筒		○	○	×
封筒 H ^{*5}		○	○	×

^{*1} 用紙をセットしなおすことなく、自動で両面に印刷することができます。

^{*2} 使用できる用紙サイズは A4、リーガル、レター、Oficio、Oficio (Brazil)、Oficio (Mexico)、Legal (India)、Foolscap、F4A です。

^{*3} 121 ~ 163 g/m² の用紙を＜厚紙 3＞の設定で使用したときに、トナーが十分に定着せずかすれる場合は、こちらの用紙種類を選んでください。

^{*4} インクジェット用の郵便はがき、郵便往復はがきを使用することはできません。

^{*5} 用紙種類を＜封筒＞に設定したときに、トナーが十分に定着せずかすれる場合は、こちらの用紙種類を選んでください。

ファクス機能

6AAS-09R

適用回線 ^{*1}	一般加入電話回線（PSTN）
走査線密度	標準モード G3 : 8 dot/mm × 3.85 ライン/mm ファインモード G3 : 8 dot/mm × 7.7 ライン/mm スーパーファインモード G3 : 8 dot/mm × 15.4 ライン/mm
通信速度 ^{*2}	Super G3 : 33.6 kbps G3 : 14.4 kbps
符号化方式	MH、MR、MMR
通信モード	Super G3、G3
最大送信原稿サイズ	A4
記録紙サイズ	●用紙について(P. 552)
電送時間	約 3.0 秒 ^{*3}

^{*1} 電話回線の抵抗値と本機の抵抗値の合計が 1,700 Ω を超える場合など、電話回線や地域などの条件によって通信できないことがあります。このようなときには、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご相談ください。

^{*2} 自動フォールバック機能付き。

^{*3} A4：自社原稿、標準モード、ECM（MMR）送信時

スキャン機能

6AAS-09S

形式	カラスキャナー
原稿読み取りサイズ（最大）	原稿台ガラスからの読み取り 本体の「複写原稿」と同じ ● 本体(P. 546) フィーダーからの読み取り フィーダーの「原稿サイズ／種類」と同じ ● フィーダー(P. 550)
解像度（最大）	600 dpi × 600 dpi
原稿読み取り速度	原稿台ガラスからの読み取り 本体の「原稿読み取り速度」と同じ ● 本体(P. 546) フィーダーからの読み取り フィーダーの「原稿読み取り速度」と同じ ● フィーダー(P. 550)
インターフェイス	USB USB 1.1 Full-Speed、USB 2.0 Hi-Speed 有線 LAN 10BASE-T、100BASE-TX（IEEE 802.3 準拠） 無線 LAN IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n
対応プロトコル*	SMB（TCP/IP）、SMTP、TCP/IP、USB
出力フォーマット（プッシュスキャン）	TIFF（MMR）、JPEG（シングルページ）、PDF

* 機能によって使えない形式があります。

プリント機能

6AAS-09U

■CARPS2 プリンター機能

形式	内蔵型
プリントサイズ	🔴用紙について(P. 552)
連続印刷速度	本体の「連続複写速度」と同じ 🔴本体(P. 546)
解像度	データ処理 1,200 dpi × 1,200 dpi, 600 dpi × 600 dpi
ページ記述言語	CARPS2
対応プロトコル	TCP/IP : LPD、Port9100、IPP、IPPS、WSD
内蔵フォント	なし
インターフェイス	USB USB 1.1 Full-Speed、USB 2.0 Hi-Speed 有線 LAN 10BASE-T、100BASE-TX (IEEE 802.3 準拠) 無線 LAN IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n

管理機能

6AAS-09W

■ ファイアウォールを設定する場合

- 指定できる IP アドレス（IP アドレスの範囲）は IPv4 と IPv6 とでそれぞれ最大 4 です。
- 指定できる MAC アドレスは最大 10 です。

■ 鍵と証明書の登録について

- 鍵や CA 証明書をパソコンからインストールする場合は、次の条件を満たしているか確認してください。

形式	● 鍵：PKCS#12^{*1} ● CA 証明書：X.509 DER 形式/PEM 形式
ファイルの拡張子	● 鍵：「.p12」、「.pfx」 ● CA 証明書：「.cer」
公開鍵のアルゴリズム (および鍵長)	● RSA（512 ビット^{*2}、1024 ビット、2048 ビット、4096 ビット） ● ECDSA（P256、P384、P521）
証明書の署名アルゴリズム	● RSA：SHA-1^{*3}、SHA-256、SHA-384^{*4}、SHA-512^{*4}、MD2^{*5}、MD5^{*5} ● ECDSA：SHA-1^{*3}、SHA-256、SHA-384、SHA-512

^{*1} 鍵に含まれている証明書は、CA 証明書の動作条件に準じます。

^{*2} 署名アルゴリズムが SHA-1 または SHA-256 の場合のみ使用できます。

^{*3} 鍵生成の鍵と証明書署名要求（CSR）またはリモート UI からのインストール時のみ使用できます。

^{*4} 鍵のアルゴリズムが 1024 ビット以上の場合のみ使用できます。

^{*5} リモート UI からのインストール時のみ使用できます。



- 証明書失効リスト（CRL）には対応していません。

サポート環境

6AAS-09X

WSD スキャン時のシステム環境	- Windows Vista - Windows 7 - Windows 8 - Windows 8.1 - Windows 10
リモート UI の使用環境 ^{*1}	Windows - Windows Vista / 7 / 8.1 / 10 : Internet Explorer 11 以降 - Windows 10 : Microsoft Edge macOS - Mac OS X 10.6 以降 - Safari 3.2.1 以降 Android - Chrome iOS - Safari
ファイル送信可能なファイルサーバー	SMB - Windows Vista SP2 / 7 / 8 / 8.1 / 10 - Windows Server 2008 / Server 2012 - Solaris Version 2.6 以降 - Red Hat Linux 7.2 以降 - Mac OS X 10.6 以降 SMTP - Sendmail 8.12.5 以降 - Sendmail 8.13.x - Sendmail 8.14.x - Exchange Server 2003 / 2007 / 2010 - Lotus Domino 6.x / 7.x / 8.x
SEND 設定ツールの動作条件	OS - Windows Vista/7/8.1/10/Server 2003/Server 2008 ウェブブラウザ - Microsoft Internet Explorer 7.0 以降 ディスプレイ 256 色以上、解像度 800 × 600 ピクセル以上の SVGA モニター
ユーザズガイドの使用環境	Windows - Internet Explorer 9 以降 - Microsoft Edge - Firefox

	● Firefox ESR ● Chrome^{*2}
	macOS
	● Safari ● Firefox ● Chrome^{*2}
	Linux
	● Firefox
	iOS
	● Safari^{*2}
	Android
	● Chrome^{*2}

^{*1} ウェブブラウザの設定で Cookie と JavaScript を利用できるようにしておいてください。

^{*2} インターネット上のマニュアル閲覧時のみ

ネットワーク環境

6AAS-09Y

■ ネットワーク仕様（共通）

対応プロトコル	TCP/IP ● フレームタイプ：Ethernet II ● プリントアプリケーション：LPD、Raw、IPP、IPPS、WSD、Mopria、Google Cloud Print、AirPrint、Windows10 Mobile Print
---------	--

■ ネットワーク仕様（有線）

インターフェイス	10BASE-T、100BASE-TX（RJ-45）
----------	----------------------------

■ ネットワーク仕様（無線）

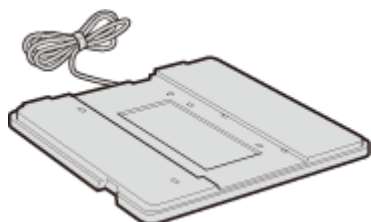
準拠規格	IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n
伝送方式	IEEE 802.11b（変調方式：DS-SS） IEEE 802.11g（変調方式：OFDM 方式） IEEE 802.11n（変調方式：OFDM 方式）
周波数範囲	2.412 GHz ～ 2.472 GHz
最大周波数電力	15.9 dBm
通信モード	● インフラストラクチャーモード ● アクセスポイントモード
セキュリティ（暗号方式）	インフラストラクチャーモード時 ● 128（104）／64（40）bit WEP ● WPA-PSK（TKIP/AES-CCMP） ● WPA2-PSK（TKIP/AES-CCMP） アクセスポイントモード時 WPA2-PSK（AES-CCMP）
設定方法	WPS（Wi-Fi Protected Setup）、手動設定、AOSS、らくらく無線スタート

オプション機器について

6AAS-0A8

本機の機能を十分にご活用いただくために、次のようなオプション機器を用意しています。オプション機器は、本機をお買い上げの販売店またはお近くのキャノン販売店にてお買い求めください。

環境ヒーター EH-C



用紙の吸湿を低減させるためのヒーターです（本体とは別に電源が必要となります）。

取り付け方法



マニュアルの種類と内容

6AAS-0A0

本機では、次のマニュアルを提供しています。目的と用途に合わせてお使いください。

かんたん設置ガイド		はじめにこのマニュアルをお読みください。箱を開けて梱包材を取り外す作業から、本機を使用できる状態にするまでの設定を説明しています。 
かんたん操作ガイド		基本的な操作について、わかりやすく説明しています。 
ユーザーズガイド（本マニュアル）		ウェブブラウザを使って閲覧するマニュアルで、本機のすべての機能を説明しています。使用目的から調べたり、キーワードを入力して目的のページを検索したりできます。▶ ユーザーズガイドの使いかた(P. 564)
Send 設定ガイド		スキャンした画像を E メールで送信したり、共有フォルダーに保存したりするときにお読みください。準備や設定について説明しています。

ユーザーズガイドの使いかた

6AAS-0A1

ユーザーズガイドはパソコンやモバイル機器で見るマニュアルで、本機のすべての機能が掲載されています。使用目的から調べることでも、キーワードを入力して目的のページをすばやく検索することもできます。ここでは、ユーザーズガイドの画面構成や読みかたについて説明します。また、ユーザーズガイドの表示を設定することもできます。

■ユーザーズガイドの画面構成

ユーザーズガイドを構成する画面や配置されているボタンなどの使いかたについて説明します。▶**ユーザーズガイドの画面構成(P. 565)**

■ユーザーズガイドの読みかた

ユーザーズガイドで使われているマークの意味や、操作パネル上のキーやパソコン画面上のボタンをどのように表記しているかなど、ユーザーズガイドをお読みになるうえで知っておいていただきたいことがらについて説明します。▶**ユーザーズガイドの読みかた(P. 569)**

■ユーザーズガイドの表示を設定する

ユーザーズガイドの文字サイズを変更したり、ユーザーズガイドを表示する機器に合わせた画面レイアウトに切り替えたりすることができます。



探したい内容を見つける

もくじから探す

- 画面左に配置されている「もくじ」から項目を選ぶことで目的のページを探します。

検索して探す

- 「印刷設定」、「トナーカートリッジ」のようなキーワードを入力して検索すると、それを含むページが候補として表示されますので、その中から目的のページを探します。「ネットワークに接続」のような文章をキーワードとすることもできます。また、複数のキーワードをスペース（空白）で区切る AND 検索にも対応しています。検索画面の内容や操作方法については、▶**検索(P. 567)** を参照してください。

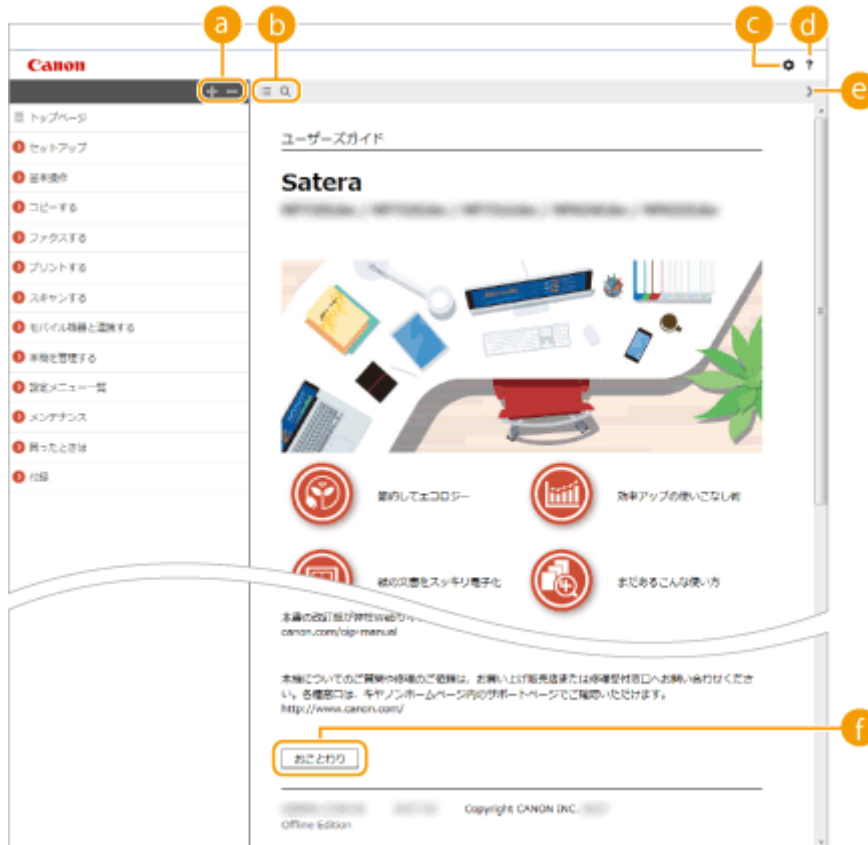
ユーザーズガイドの画面構成

6AAS-0A2

ユーザーズガイドはいくつかの画面に分かれていて、それぞれ内容が異なります。

トップページ

ユーザーズガイドを起動すると最初に表示されるページです。



☰ をクリックすると、章の下にある項目もすべて表示されます。☒ をクリックすると元の表示に戻ります。



クリックすると、もくじと検索の表示を切り替えることができます。もくじ表示中に ☰、検索表示中に 🔍 を連続してクリックすると、表示／非表示が切り替わります。



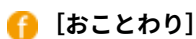
文字サイズやレイアウトなど、ユーザーズガイドの表示方法を設定できます。



ユーザーズガイドの見かたや検索のしかたなどが記載されています。



クリックすると、前後のページを表示します。



本機の使用にあたり、注意していただきたいことが記載されています。

本文ページ

機能の使いかたや設定方法が説明されています。



a ナビゲーション

どの章のどの項目を見ているのかを確認することができます。

b

クリックすると、該当するページにジャンプします。元に戻るときはウェブブラウザの [戻る] ボタンをクリックします。



- クリックすると元のページが暗くなり、別の画面がポップアップで表示される場合があります。この画面から元のページに戻るときは、画面内の [閉じる] ボタンを押してください。



🔍 をクリックすると、隠れていた詳細説明が表示されます。📄 をクリックすると表示が閉じます。



現在表示しているページの先頭に戻ります。

検索

🔍 をクリックすると検索画面が表示されます。キーワード検索を利用して目的のページを探すときに使います。



a [キーワードを入力]

キーワードを入力して 🔍 をクリックすると、検索結果が表示されます。複数のキーワードをスペース（空白）で区切ると、すべてのキーワードを含むページが検索できます。また、キーワードをダブルクォーテーションで囲むと完全に一致するページのみを検索できます。

b 検索結果

指定したキーワードを含むすべてのページが表示されますので、この中から目的のページを探し、項目名をクリックします。



- 指定したキーワードは、検索結果に太字で表示されます。

ユーザーズガイドの読みかた

6AAS-0A3

ユーザーズガイドで使われるマークやボタン、画面などについて説明します。なお、警告事項や注意事項については、本製品に同梱されている「かんたん設置ガイド」の「安全にお使いいただくために」にも掲載されています。あわせてご確認ください。

マークについて

安全上のご注意、取り扱い上の制限／注意、知っておくと便利なこと、などにはマークがついています。



製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止することを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。



操作の参考となることや補足説明が書かれています。



知っておくと便利な機能や、使いかたのヒントなどを記載しています。

キーについて

操作パネル上のキーやパソコン画面上のボタンなどを次のように表記しています。

種類	ユーザーズガイドでの表記例
操作パネル上のキー	 
操作パネル上のディスプレイ	<タイマー設定> <用紙が残りわずかです。>
パソコン画面上のボタンなど	[詳細設定]



- 同じ操作でも、モノクロ6行タッチパネル機ではディスプレイ上のボタンをタップし、モノクロ5行UI機では操作パネル上のキーを押す場合は、両方を併記しています。たとえば、<メニュー>画面を表示する操作は、「<メニュー> () を押す」と表記しています。

▲／▼／ について（モノクロ5行UI機）

操作パネルの ▲／▼／ は、設定などで目的の項目を選ぶときに使いますが、ユーザーズガイドでは記載を省略しています。▲／▼で<XXXX>を選び、 を押す操作をユーザーズガイドでは以下のように表記しています。

1 <XXXXX>を選ぶ

パソコンの画面について

ユーザーズガイドで使われている画面は特に断りがないかぎり MF269dw のものを掲載しています。お使いの機種や OS によっては、掲載している画面内容と一部異なる場合があります。また、ドライバーやソフトウェアはバージョンアップによって画面内容が変更されている場合があります。

イラストについて

ユーザーズガイドで使われているイラストは特に断りがないかぎり MF269dw のものを掲載しています。ただし、機種によって違いがある場合は複数掲載し、「MFXXX / MFXXX」のように機種名も表示しています。また、トナーカートリッジのイラストは、Canon Toner Cartridge 051 のものを掲載しています。

Windows の基本操作

6AAS-0A5

- ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 571)
- ▶ [ネットワーク探索] を有効にする(P. 571)
- ▶ プリントサーバー内の共有プリンターの表示方法(P. 572)
- ▶ [ソフトウェア/マニュアル セットアップ] 画面の表示方法(P. 573)
- ▶ Windows のテストページの印刷方法(P. 573)
- ▶ プロセッサバージョンの確認方法(P. 574)
- ▶ コンピューター名の確認方法(P. 575)
- ▶ プリンターポートの確認方法(P. 576)
- ▶ 双方向通信の確認方法(P. 577)
- ▶ パソコンが接続している SSID を確認する(P. 578)
- ▶ Windows ストアアプリから印刷やファクス送信をするときは(P. 579)



- お使いのパソコンによっては操作が異なる場合があります。

■ プリンターフォルダーの表示方法

Windows Vista

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [プリンタ] をクリックします。

Windows 7/Server 2008 R2

[スタート] ▶ [デバイスとプリンター] を選びます。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [デバイスとプリンターの表示] を選びます。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [デバイスとプリンターの表示] を選びます。

Windows 10

[スタート] ▶ [Windows システム ツール] ▶ [コントロールパネル] ▶ [ハードウェアとサウンド] ▶ [デバイスとプリンター] を選びます。

Windows Server 2008

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [プリンタ] をダブルクリックします。

Windows Server 2016

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [ハードウェア] ▶ [デバイスとプリンター] を選びます。

■ [ネットワーク探索] を有効にする

ネットワーク上のパソコンを確認するときは、[ネットワーク探索] を有効に設定してください。

Windows Vista

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows 7/Server 2008 R2

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [共有の詳細設定の変更] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [共有の詳細設定の変更] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [共有の詳細設定の変更] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows 10

[

Windows Server 2008

[スタート] ▶ [コントロールパネル] を選ぶ ▶ [ネットワークと共有センター] をダブルクリック ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows Server 2016

[

■ プリントサーバー内の共有プリンターの表示方法

1 エクスプローラーを表示する

Windows Vista/7/Server 2008

[スタート] ▶ [すべてのプログラム] または [プログラム] ▶ [アクセサリ] ▶ [エクスプローラ] を選びます。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [エクスプローラー] を選びます。

Windows 8.1/Server 2012 R2

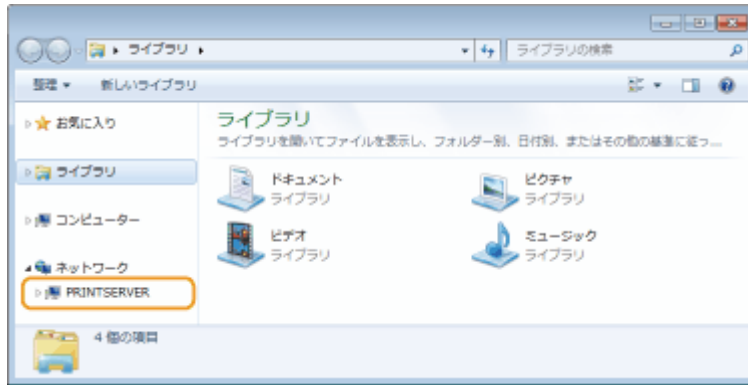
[スタート] を右クリック ▶ [エクスプローラー] を選びます。

Windows 10/Server 2016

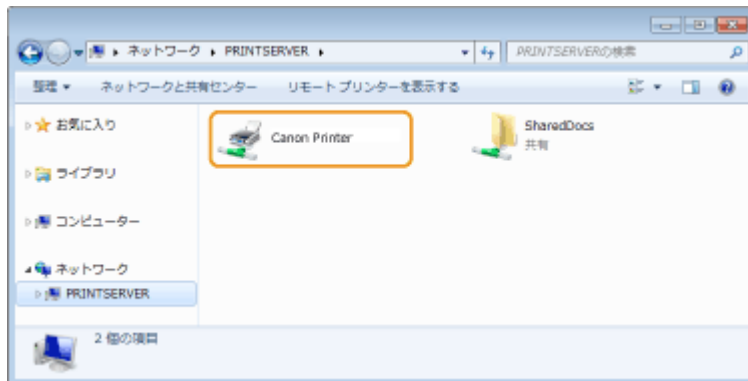
[

2 [ネットワーク] または [マイネットワーク] からプリントサーバーを選ぶ

- ネットワーク上のパソコンを確認するには、ネットワーク探索を有効にしたり、ネットワーク上でパソコンを検索したりする必要がある場合があります。



⇒ 共有プリンターが表示されます。



■ [ソフトウェア/マニュアル セットアップ] 画面の表示方法

CD-ROM/DVD-ROM をセットしても、[ソフトウェア/マニュアル セットアップ] 画面が表示されないときは、次の操作を行ってください。ここでは CD-ROM/DVD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM/DVD-ROM ドライブ名は、お使いのパソコンによって異なります。

Windows Vista/7/Server 2008

[スタート] ▶ [プログラムとファイルの検索] または [検索の開始] に「D:\MInst.exe」と入力 ▶ キーボードの [ENTER] キーを押します。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [ファイル名を指定して実行] ▶ 「D:\MInst.exe」と入力 ▶ [OK] をクリックします。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [ファイル名を指定して実行] ▶ 「D:\MInst.exe」と入力 ▶ [OK] をクリックします。

Windows 10

検索ボックスに「D:\MInst.exe」と入力 ▶ 検索結果に表示された [D:\MInst.exe] をクリックします。

Windows Server 2016

[検索] をクリック ▶ 「D:\MInst.exe」と入力 ▶ 検索結果に表示された [D:\MInst.exe] をクリックします。

■ Windows のテストページの印刷方法

Windows のテストページを印刷して、プリンタードライバの動作を確認することができます。

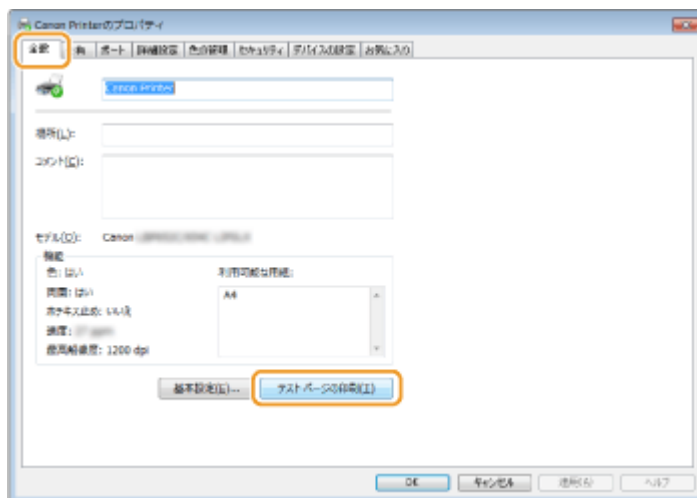
1 給紙カセットに、A4 サイズの用紙をセットする (給紙カセットにセットする(P. 137))

2 プリンターフォルダーを表示する ●プリンターフォルダーの表示方法(P. 571)

3 本機のプリンタードライバのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする



4 [全般] タブで [テストページの印刷] をクリックする



⇒ テストページが印刷されます。

■ プロセッサバージョンの確認方法

お使いの Windows が、32 ビット版か 64 ビット版かわからない場合は、次の手順で確認することができます。

1 [コントロールパネル] を表示する

Windows Vista/7/Server 2008

[スタート] ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 10/Server 2016

手順 2 へ進んでください。

2 [システム] を表示する

Windows Vista/7/8/Server 2008 R2/Server 2012

[システムとメンテナンス] または [システムとセキュリティ] ▶ [システム] をクリックします。

Windows 10/Server 2016

[設定] ▶ [システム] ▶ [バージョン情報] を選びます。

Windows Server 2008

[システム] をダブルクリックします。

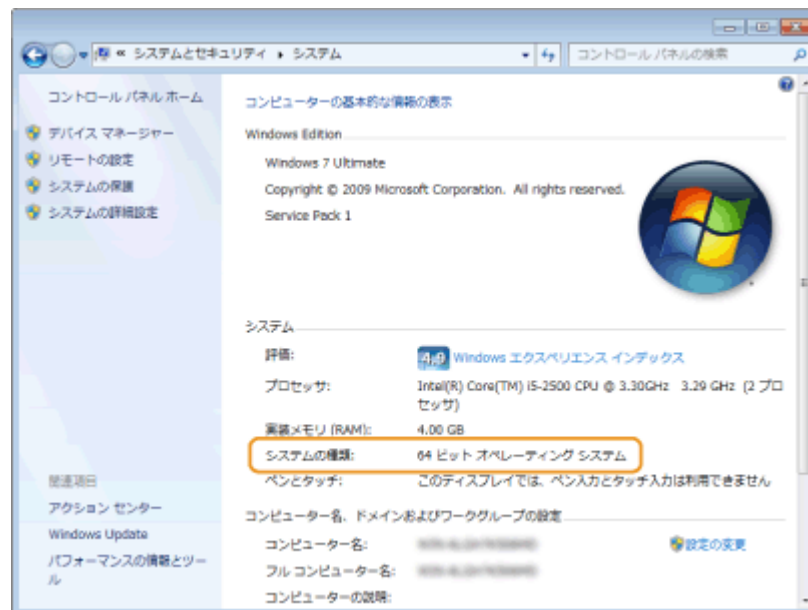
3 プロセッサバージョンを確認する

32 ビット版のとき

[32 ビットオペレーティングシステム] と表示されます。

64 ビット版のとき

[64 ビットオペレーティングシステム] と表示されます。



■ コンピューター名の確認方法

1 [コントロールパネル] を表示する

Windows Vista/7/Server 2008

[スタート] ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 10

[

Windows Server 2016

[

2 [システム] を表示する

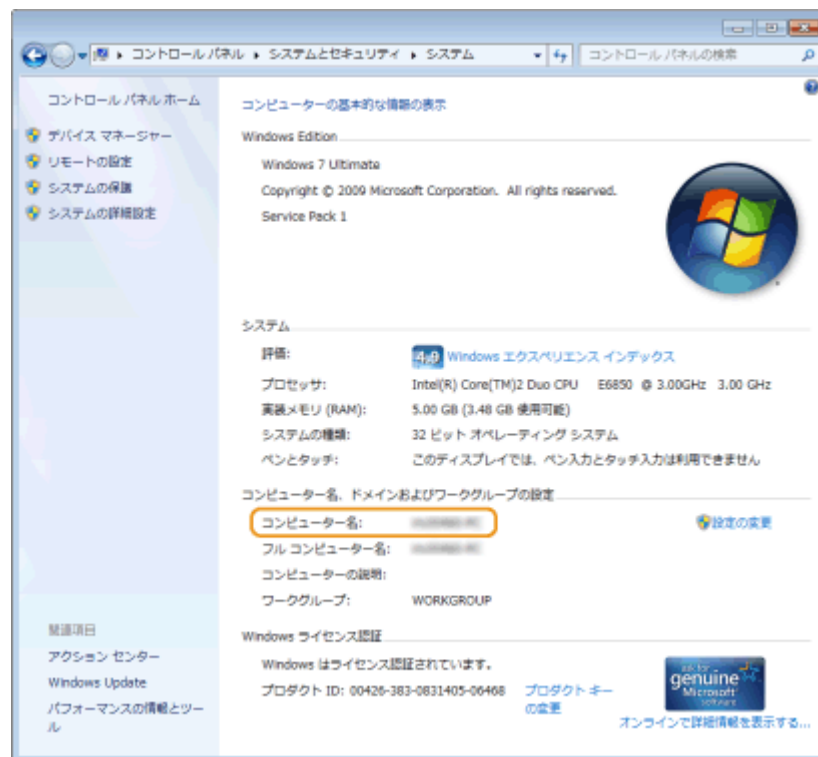
Windows Vista/7/8/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2016

[システムとメンテナンス] または [システムとセキュリティ] ▶ [システム] をクリックします。

Windows Server 2008

[システム] をダブルクリックします。

3 コンピューター名を確認する



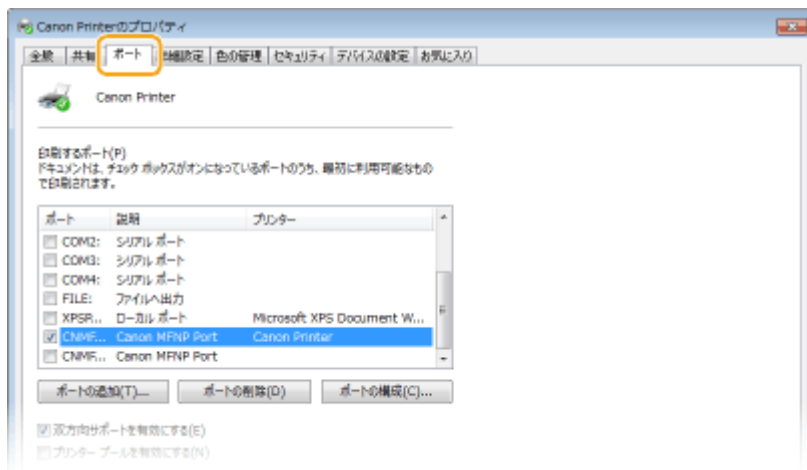
■ プリンターポートの確認方法

1 プリンターフォルダーを開く ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 571)

2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする



3 [ポート] タブでポートが正しく選択されていることを確認する



ネットワーク接続の場合に本機の IP アドレスを変更したとき

- 選択されているポートの「説明」が「Canon MFNP Port」の場合は、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続は維持されますので、新しいポートを追加する必要はありません。「Standard TCP/IP Port」の場合は、新しいポートを追加する必要があります。▶印刷ポートの設定をする(P. 46)

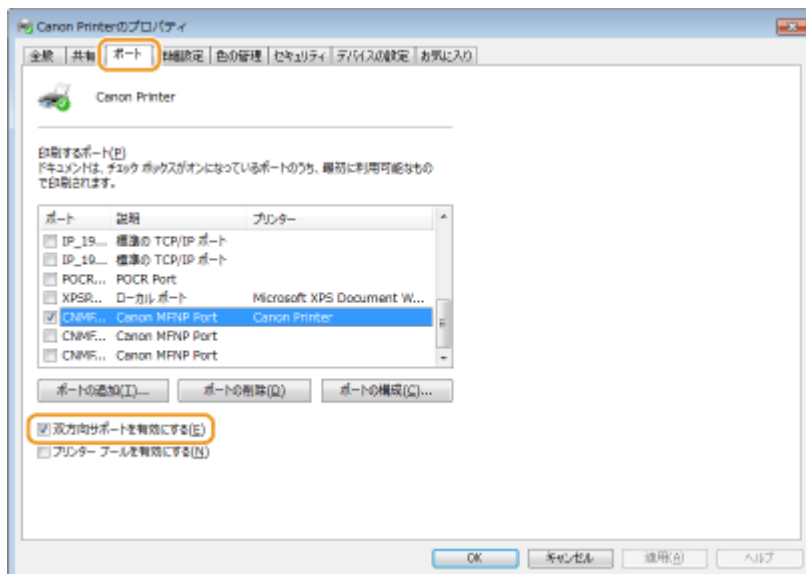
■双方向通信の確認方法

1 プリンターフォルダーを表示する ▶プリンターフォルダーの表示方法(P. 571)

2 本機のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする



3 [ポート] タブで [双方向サポートを有効にする] にチェックマークが付いていることを確認する



■ パソコンが接続している SSID を確認する

パソコンが無線 LAN でネットワークに接続されている場合、タスクトレイに表示されている 、、 または  をクリックすると、接続している無線 LAN ルーターの SSID が表示されます。



■ Windows ストアアプリから印刷やファクス送信をするときは

Windows 8.1/Server 2012 R2

画面右側のチャームを表示 ▶ [デバイス] ▶ [印刷] ▶ 本機のドライバー ▶ [印刷] をタップまたはクリックします。

Windows 10

Windows ストアアプリの [印刷] ▶ 本機のドライバー ▶ [印刷] をタップまたはクリックします。

Windows Server 2012

画面右側のチャームを表示 ▶ [デバイス] ▶ 本機のドライバー ▶ [印刷] をタップまたはクリックします。



- この方法で印刷またはファクス送信した場合は、使用できる機能は制限されます。
- 「印刷するには入力が必要です。デスクトップへ移動します。」というメッセージが表示されたときは、デスクトップに移動し、必要な操作を行ってください。メッセージは印刷時やファクス送信時などにユーザー名を確認するように設定している場合に表示されます。

メニュールートマップ

6AAS-0A6

本機の画面に表示される設定項目については、メニュールートマップ（PDF マニュアル）を参照してください。

モノクロ 6 行タッチパネル機

» **PDF** メニュールートマップ

モノクロ 5 行 UI 機

» **PDF** メニュールートマップ

おことわり

6AAS-0A7

■化学安全情報について

製品の安全データシート（SDS）は <https://canon.jp/ecology/>にて提供しております。

■国際エネルギースタープログラムについて



国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。

■IPv6 Ready Logo について



本製品は、IPv6 Forum が定める IPv6 Ready Logo Phase-1 を取得した IPv6 Protocol Stack を利用しています。

■物質エミッションの拡散に関する認定基準について

本製品は、エコマーク基準の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品推奨トナーを使用し、印刷を行った場合について、エコマーク基準に基づき試験を実施しました。）

■免責事項

- 本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。
- PDF 形式のマニュアルを見るとき、Adobe Reader が使用できない場合は、Vivid Document Imaging Technologies 社製の PDF Preview などをお使いください。

■商標について

Adobe、Acrobat、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

Apple、Bonjour、iPad、iPhone、iPod touch、Safari、Mac、macOS および OS X は、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Internet Explorer、Microsoft Edge、Excel および PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

iOS は、米国および他の国々で登録された Cisco の商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。

Mopria®, the Mopria® Logo and the Mopria® Alliance logo are registered trademarks and service marks of Mopria Alliance, Inc. in the United States and other countries. Unauthorized use is strictly prohibited.

Google Cloud Print、Google Chrome、Android は、Google Inc.の登録商標または商標です。

「AOSS™」は株式会社バッファローの商標です。

らくらく無線スタートは NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。

UFST: Copyright © 1989 - 1996, 1997, 2003, 2004, 2008, 2014 all rights reserved, by Monotype Imaging Inc.

This product contains the Universal Font Scaling Technology or UFST® under license from Monotype Imaging, Inc. UFST® is a trademark of Monotype Imaging, Inc. registered in the United States Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions.

Portions of this software are copyright © 2007 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.



Copyright © 2008 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Protected by U.S. Patents 6,185,684; 6,205,549; 7,213,269; 7,272,628; 7,278,168; Patents pending in the U.S. and other countries.

All instances of the name PostScript in the text are references to the PostScript language as defined by Adobe Systems Incorporated unless otherwise stated. The name PostScript also is used as a product trademark for Adobe Systems' implementation of the PostScript language interpreter.

Except as otherwise stated, any reference to a "PostScript printing device," "PostScript display device," or similar item refers to a printing device, display device or item (respectively) that contains PostScript technology created or licensed by Adobe Systems Incorporated and not to devices or items that purport to be merely compatible with the PostScript language.

Adobe, the Adobe logo, Adobe LiveCycle® Policy Server, InDesign, PostScript, the PostScript Logo, and PostScript 3 are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

All other trademarks are the property of their respective owners.

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 著作権

本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.
 This license is copied below, and is also available with a FAQ at:
<https://openfontlicense.org>

 SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

1) Neither the Font Software nor any of its individual components,

in Original or Modified Versions, may be sold by itself.

2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.

3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.

4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.

5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

別途固有のライセンス条件が用意されている第三者のソフトウェアについて

第三者のソフトウェアおよびライセンス条件につきましては、下記「ソフトウェア一覧表」および対応するライセンス全文をご参照ください。

「ソフトウェア一覧表」

ソフトウェア	ライセンス全文 (許諾条件) 参照先: ページ
Adobe PDF Scan Library	2
bldimake	5
FreeType	6
Incl	11
JPEG	12
math	13
mDNSResponder	14
mDNSResponder (mDNSShared 部分)	18
snmp	19
OpenSSL	22
xpm	26

Portions use software under the following terms:

This product contains either BSAFE and/or TIPEM software by RSA Security Inc.

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).
Copyright (c) 1998-2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>)."

Alternately, this acknowledgment may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgments normally appear.

4. The names "Xerces" and "Apache Software Foundation" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact apache@apache.org.
5. Products derived from this software may not be called "Apache", nor may "Apache" appear in their name, without prior written permission of the Apache Software Foundation.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the Apache Software Foundation and was originally based on software copyright (c) 1999, International Business Machines, Inc.,

<http://www.ibm.com>. For more information on the Apache Software Foundation, please see <http://www.apache.org/>.

March 27, 2003

Portions of this product are based on Modifications created from the Original Code known as the "Sablotron XSLT Processor". The Sablotron XSLT Processor is subject to the Mozilla Public License Version 1.1 (the "License"). You may obtain a copy of the License at <http://www.mozilla.org/MPL/>

Software distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is the Sablotron XSLT Processor.

The Initial Developer of the Original Code is Ginger Alliance Ltd. Portions created by Ginger Alliance are Copyright (C) 2000 Ginger Alliance Ltd. All Rights Reserved.

Pursuant to sections 3.2 and 3.6 of the License, the Modifications created by Adobe Systems Incorporated are available as Source Code. The Modifications may be downloaded via the Internet from:

<http://partners.adobe.com/asn/tech/xml/sablotron/index.jsp>

The Original Code may be downloaded via the Internet from:

<https://sourceforge.net/projects/sablotron/>

Portions Copyright (c) 1997-1999 Silicon Graphics Computer Systems, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. Silicon Graphics makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

The Loki Library

Portions Copyright (c) 2001 by Andrei Alexandrescu . This code accompanies the book: Alexandrescu, Andrei.

"Modern C++ Design: Generic Programming and Design Patterns Applied".

Portions Copyright (c) 2001. Addison-Wesley. Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. The author or Addison-Wesley Longman make no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

Updated Information/Additional Third Party Code Information available at <http://www.adobe.com/go/thirdparty>.

bldimake

Copyright (c) 1985, 1986, 1987, 1988 The Open Group

All right Reserved.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE OPEN GROUP BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of The Open Group shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from The Open Group.

FreeType

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by
David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

=====

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

- o We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. ('as is' distribution)
- o You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. ('royalty-free' usage)
- o You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge

somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. ('credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products. We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

"""

Portions of this software are copyright © <year> The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

"""

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms

=====

0. Definitions

Throughout this license, the terms 'package', 'FreeType Project', and 'FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the 'FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

'You' refers to the licensee, or person using the project, where 'using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a 'program' or 'executable'. This program is referred to as 'a program using the FreeType

engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive. If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED 'AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

- o Redistribution of source code must retain this license file ('FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered,

original files must be preserved in all copies of source files.

- o Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: 'FreeType Project', 'FreeType Engine', 'FreeType library', or 'FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

o freetype@nongnu.org

Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.

o freetype-devel@nongnu.org

Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at

<http://www.freetype.org>

--- end of FTL.TXT ---

Incl

Copyright (c) 1994-96 SunSoft, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SUNSOFT INC. OR ITS PARENT COMPANY BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of SunSoft, Inc. shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from SunSoft, Inc.

JPEG

"this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group."

math

Copyright (c) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunPro, a Sun Microsystems, Inc. business.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

copysignf.c:*	Copyright (c) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.
math_private.h:*	Copyright (c) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.
powf.c:*	Copyright (c) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.
scalbnf.c:*	Copyright (c) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

- a. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
- b. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
- c. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

- d. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner] Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0> Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

mDNSResponder (mDNSShared 部分)

* Copyright (c) 2003-2004, Apple Computer, Inc. All rights reserved.

*

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without

* modification, are permitted provided that the following conditions are met:

*

* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice,

* this list of conditions and the following disclaimer.

* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice,

* this list of conditions and the following disclaimer in the documentation

* and/or other materials provided with the distribution.

* 3. Neither the name of Apple Computer, Inc. ("Apple") nor the names of its

* contributors may be used to endorse or promote products derived from this

* software without specific prior written permission.

*

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY APPLE AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY

* EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED

* WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE

* DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL APPLE OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY

* DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES

* (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;

* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND

* ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT

* (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS

* SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

*/

snmp

Copyright 1988, 1989 by Carnegie Mellon University

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

CMU DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL CMU BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

* All rights reserved.

*

* This package is an SSL implementation written

* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

*

* This library is free for commercial and non-commercial use as long as

* the following conditions are adhered to. The following conditions

* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,

* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation

* included with this distribution is covered by the same copyright terms

* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*

* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in

- * the code are not to be removed.
- * If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
- * as the author of the parts of the library used.
- * This can be in the form of a textual message at program startup or
- * in documentation (online or textual) provided with the package.
- *
- * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
- * modification, are permitted provided that the following conditions
- * are met:
- * 1. Redistributions of source code must retain the copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
- * documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
- * must display the following acknowledgement:
- * "This product includes cryptographic software written by
- * Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
- * The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library
- * being used are not cryptographic related :-).
- * 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
- * the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
- * "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
- *
- * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
- * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
- * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
- * ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
- * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
- * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
- * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
- * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
- * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
- * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
- * SUCH DAMAGE.
- *
- * The licence and distribution terms for any publically available version or
- * derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be

* copied and put under another distribution licence

* [including the GNU Public Licence.]

*/

Copyright 1988, 1989 by Carnegie Mellon University

Copyright 1989 TGV, Incorporated

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and TGV not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

CMU AND TGV DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL CMU OR TGV BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

OpenSSL

OpenSSL License

```
/* =====  
 * Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.  
 *  
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without  
 * modification, are permitted provided that the following conditions  
 * are met:  
 *  
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright  
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer.  
 *  
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright  
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer in  
 * the documentation and/or other materials provided with the  
 * distribution.  
 *  
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this  
 * software must display the following acknowledgment:  
 * "This product includes software developed by the OpenSSL Project  
 * for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"  
 *  
 * 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to  
 * endorse or promote products derived from this software without  
 * prior written permission. For written permission, please contact  
 * openssl-core@openssl.org.  
 *  
 * 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"  
 * nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written  
 * permission of the OpenSSL Project.  
 *  
 * 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following  
 * acknowledgment:  
 * "This product includes software developed by the OpenSSL Project  
 * for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
```

```

*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
* =====
*
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com).  This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
*/

```

Original SSLeay License

```

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.
*
* This package is an SSL implementation written
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
*
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as
* the following conditions are aheared to.  The following conditions
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code.  The SSL documentation
* included with this distribution is covered by the same copyright terms
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*

```

- * Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
- * the code are not to be removed.
- * If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
- * as the author of the parts of the library used.
- * This can be in the form of a textual message at program startup or
- * in documentation (online or textual) provided with the package.
- *
- * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
- * modification, are permitted provided that the following conditions
- * are met:
- * 1. Redistributions of source code must retain the copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
- * documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
- * must display the following acknowledgement:
- * "This product includes cryptographic software written by
- * Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
- * The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library
- * being used are not cryptographic related :-).
- * 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
- * the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
- * "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
- *
- * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND
- * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
- * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
- * ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
- * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
- * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
- * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
- * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
- * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
- * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
- * SUCH DAMAGE.
- *
- * The licence and distribution terms for any publically available version or

- * derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
- * copied and put under another distribution licence
- * [including the GNU Public Licence.]
- */

xpm

Copyright (c) 1989-95 GROUPE BULL

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL GROUPE BULL BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of GROUPE BULL shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from GROUPE BULL.